

内閣府 令和7年度委託調査事業

学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査
調査結果 報告書

2025年12月12日

株式会社マーケティング・コミュニケーションズ

目次

調査結果報告書要旨

- (1) 調査の概要 . . . 5
- (2) 本調査のまとめ . . . 6

第一章 調査結果概要・回答者の基本属性

- (1) 調査の概要 . . . 25
- (2) 回答者属性 . . . 26
- (3) ウェイトによる補正 . . . 28

第二章 就職活動に関する意識と準備

- (1) 就職・採用活動時期に関する認知状況 . . . 33
- (2) 就職・採用活動の時期（就活日程ルール）に関する認識と考え . . . 34
- (3) 就職・採用活動についての考え . . . 36

第三章 インターンシップと呼称されるものについて

- (1) インターンシップと呼称されるものへの参加状況 . . . 39
- (2) インターンシップと呼称されるものの効果についての認識 . . . 51

第四章 就職活動内容について

- (1) 企業説明会やセミナー等の参加状況 . . . 60
- (2) エントリーシートの提出状況 . . . 64
- (3) 採用面接の参加状況 . . . 69
- (4) 内々定の状況 . . . 75
- (5) 採用試験・面接等を受けた経路 . . . 85
- (6) 就職活動の始まりと終わりの認識 . . . 88

第五章 就職活動における諸問題について

- (1) 履修履歴（成績証明書など）の提出の状況 . . . 97
- (2) 採用面接の際の学業や成績等への評価 . . . 99
- (3) 就職活動の日程・時間帯等について . . . 100
- (4) 遠隔地への就職活動への配慮 . . . 103
- (5) 留学経験者への配慮 . . . 104
- (6) 秋・冬採用や通年採用などに関する機会提供や情報発信 . . . 105
- (7) 新型コロナウイルス感染症の影響 . . . 107
- (8) 「オワハラ」の状況 . . . 108
- (9) 「セクシュアルハラスメント」の状況 . . . 122
- (10) 「特定の性別に基づいた性差別的・抑圧的な服装やマナーの押し付け」の状況 . . . 125

目次

第六章 ジョブ型採用について

- (1) ジョブ型採用での就職活動経験について . . . 128
- (2) ジョブ型採用での内々定の状況 . . . 129
- (3) ジョブ型採用とそうでない採用の応募・待遇について . . . 131

第七章 採用プロセスの複線化についての状況

- (1) 採用プロセスの複線化に関する認知状況と認知経路 . . . 134
- (2) 採用プロセスの複線化となるインターンシップの経験 . . . 137
- (3) 採用プロセスの複線化による内々定取得の有無 . . . 139
- (4) 採用プロセスの複線化についての考え . . . 140

第八章 就活ルール解禁前の活動

- (1) 就活ルール解禁前の活動について . . . 142

第九章 文系・理系別の集計

- (1) 文系・理系別の就職活動の内容 . . . 164
- (2) 文系・理系別の就職予定企業について . . . 175

第十章 就職予定の企業の業界別の集計

- (1) 就職予定の企業の業界別の就職活動の内容 . . . 182

調査結果報告書要旨

調査結果報告書要旨

(1) 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、2025年度卒業・修了予定者の就職・採用選考活動の意識・行動等を把握することにより、2026年度以降の就職・採用活動の円滑な実施に資することを目的として実施した。

【参考】就職・採用活動開始時期の変更経緯(大学4年生の場合)

	広報活動開始	採用選考活動開始
2014年度 卒業者	大学3年生 12月	大学4年生 4月
2015年度 卒業者	大学3年生 3月	大学4年生 8月
2016年度 卒業者		
2017年度 卒業者		
2018年度 卒業者		
2019年度 卒業者		
2020年度 卒業者		
2021年度 卒業者		
2022年度 卒業者		
2023年度 卒業者		
2024年度 卒業者		
2025年度 卒業者		大学4年生 6月

2. 調査の実施方法

【対象】：大学4年生、大学院2年生
(医学科・薬学科・歯学科・看護学科・獣医学科、海外からの留学生を除く。)

【方法】：インターネット調査。62の大学から所属対象学生に案内。

【期間】：2025年7月10日から8月11日(8月1日時点の状況を回答)

3. 有効回答件数

対象	大学4年生	大学院2年生	合計
有効回答件数	3,157件	1,258件	4,415件

(注) この資料中、「2024年度調査」とあるのは、内閣府令和6年度委託事業「学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査」、「2023年度調査」とあるのは、内閣府令和5年度委託事業「学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査」、「2022年度調査」とあるのは、内閣府令和4年度委託事業「学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査」、「2021年度調査」とあるのは、内閣府令和3年度委託事業「学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査」、「2020年度調査」とあるのは、内閣府令和2年度委託事業「学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査」、「2019年度調査」とあるのは、内閣府令和元年度委託事業「学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査」、「2018年度調査」とあるのは、内閣府平成30年度委託事業「学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査」、「2017年度調査」とあるのは、内閣府平成29年度委託事業「学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査」、「2016年度調査」は、内閣府平成28年度委託事業「就職・採用活動開始時期変更に係る学生の就職活動等調査」、「2015年度調査」は、内閣府平成27年度委託調査事業「就職・採用活動開始時期の後ろ倒しに係る学生の就職活動等調査」を指す。なお、2016年度調査～今年度調査は8月1日時点で実施しているが、2015年度調査は10月1日時点で実施した。

(注) 2015年度調査～2017年度調査については、原則として大学4年生と大学院2年生の集計を別々に行っていたが、本調査では、2018年度以降調査と同様に、大学4年生と大学院2年生とを合わせた集計も行い、結果を掲載した。なお、大学4年生と大学院2年生とを合わせた集計を行う際には、学校基本調査の在学者数を基にしたウエイトによりデータの補正を行っている。

(注) 原則として「就職活動を行った(終了した)」又は「就職活動を行っている(継続している)」と回答した者が集計対象であるが、一部の回答者を除いて集計をしている設問がある。インターンシップと呼称されるものに関する設問には「これから就職活動を行う予定である」と回答した者も集計対象に含んでいる。

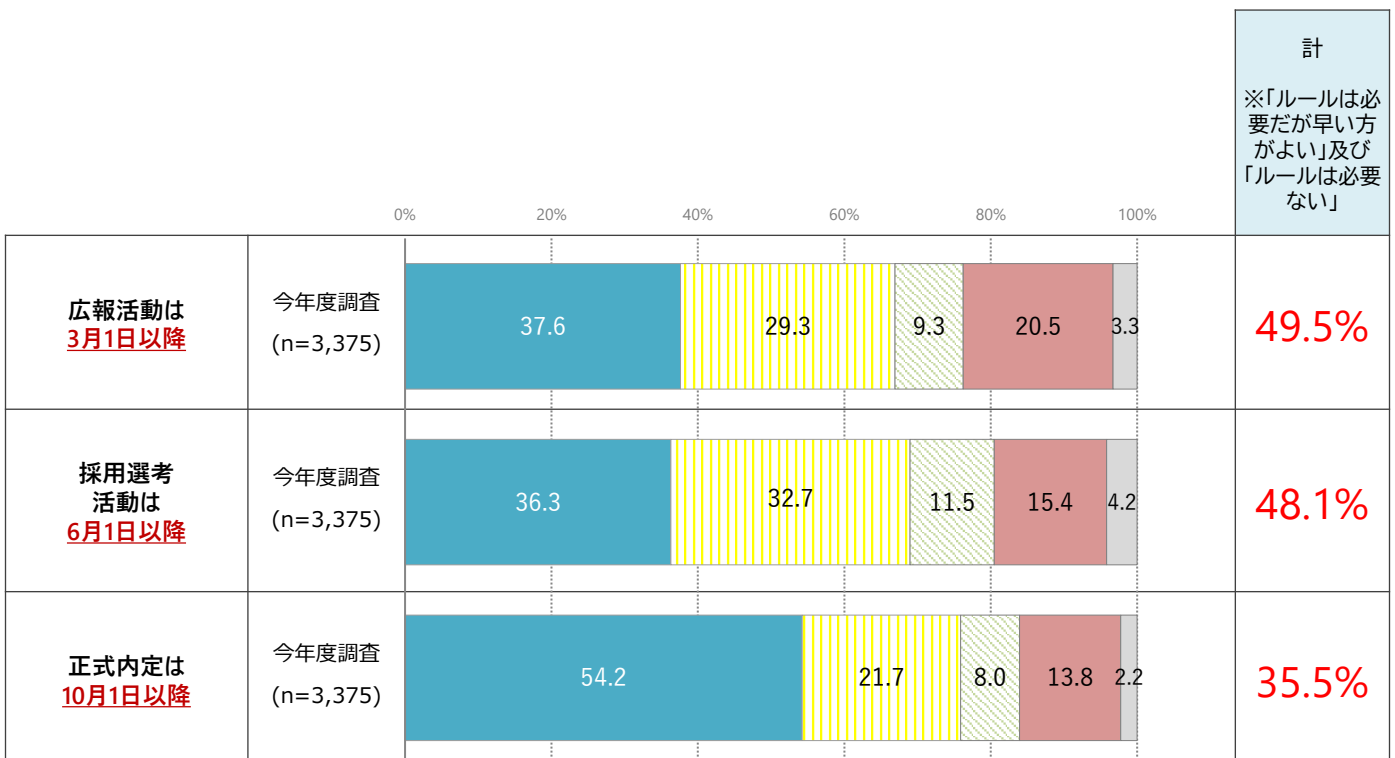
(注) 四捨五入により、複数の選択肢の回答を合わせた結果について、グラフに掲載した個々の選択肢の回答割合を足し合わせたものと小数点以下第1位の値が一致しない場合がある。

(2) 本調査のまとめ

1. 就職・採用活動時期に関する認識

- 内閣府では、就職・採用活動の円滑な実施及び若者の安定的な雇用に資することを目的として、**就職・採用活動に関する学生の意識・行動等の実態について調査**を実施。
(2025年度調査の有効回答数は4,415名(大学4年生:3,157名、大学院2年生:1,258名))
- 就活・採用活動日程(広報活動3月、採用選考活動6月、正式内定10月)について、広報活動については49.5%、採用選考活動については48.1%、正式内定については35.5%の学生が、「ルールは必要だが、現在の開始時期より早い方がよい」、「ルールは必要ない」と回答した。

就職・採用活動時期(就活ルール)に関する認識



- ルールは必要であり、現在の開始時期がよい
- ▨ ルールは必要だが、現在の開始時期より早い方がよい
- ▨ ルールは必要だが、現在の開始時期より遅い方がよい
- ルールは必要ない
- その他

(2) 本調査のまとめ

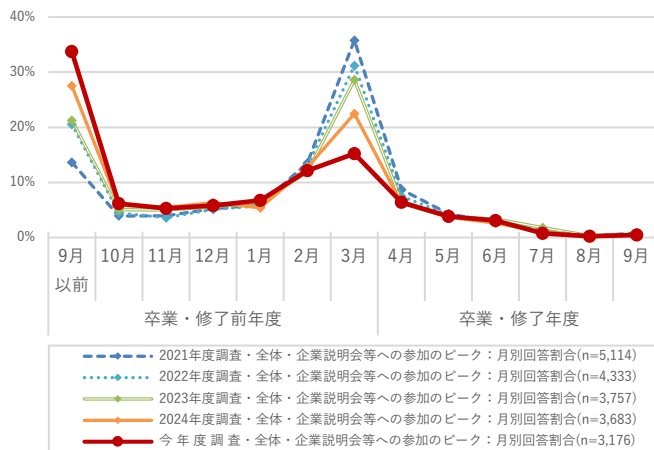
2. 企業説明会やセミナーへの参加時期

- 企業説明会等への参加時期（ピーク）は、卒業・修了前年度の9月以前とする回答割合は33.7%（昨年は27.5%）と、昨年度より更に高まる。
- 「採用を目的とした※」企業説明会等への参加（ピーク）が、9月以前とする回答割合は、14.0%（昨年は10.3%）。

※採用を目的としない説明会等（就職活動の準備に関する説明会、キャリアセミナー・マナー講座、自己啓発セミナー等）は省いて考えていただくように回答者に案内した上で調査を実施。

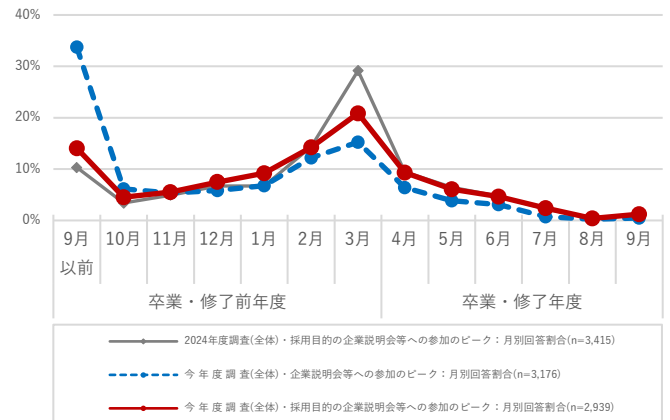
企業説明会やセミナー等へ参加した時期（ピーク）

月別回答割合

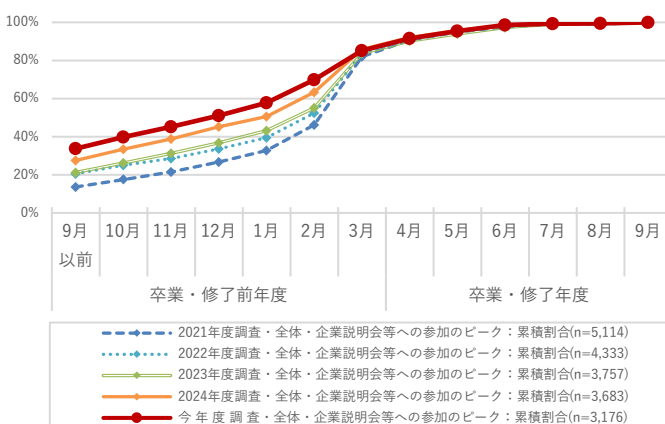


「採用を目的とした」企業説明会やセミナー等へ参加した時期（ピーク）

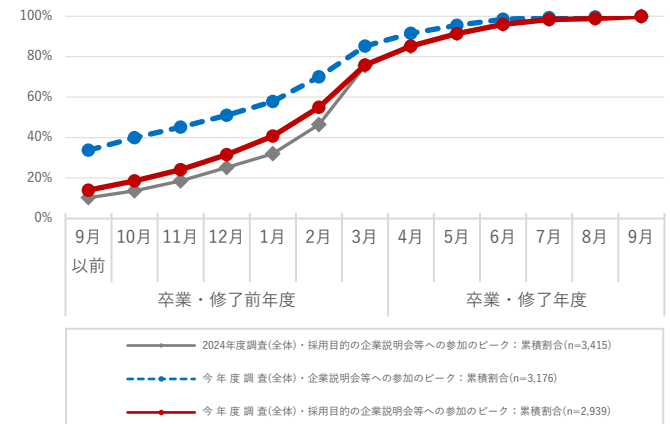
月別回答割合



累積割合



累積割合



(2) 本調査のまとめ

3. 採用面接の実施時期

- 最初に採用面接を受けた時期は、昨年度と比べ、3月の割合が低下。累積で見ると、2月までに約7割の学生が、3月までに約9割の学生が面接を受けている。
- 採用面接のピーク時期は、過去調査と比べ4月の割合が低下し3月と同程度。2月以前の割合は増加傾向。累積割合で見ると、1-3月にピークを迎える割合が増加傾向。

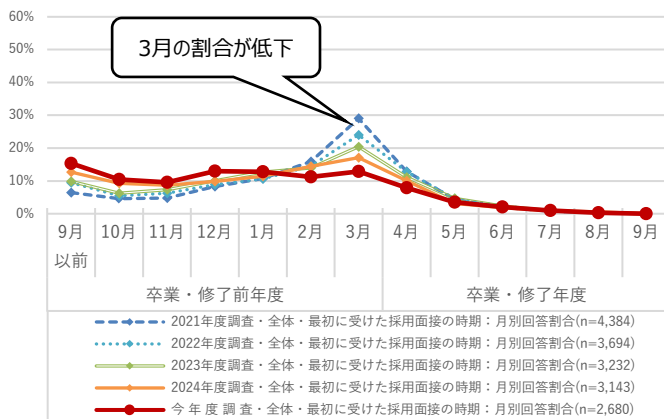
採用面接を受けた時期(最初)

※公務員・教職員志望者除く

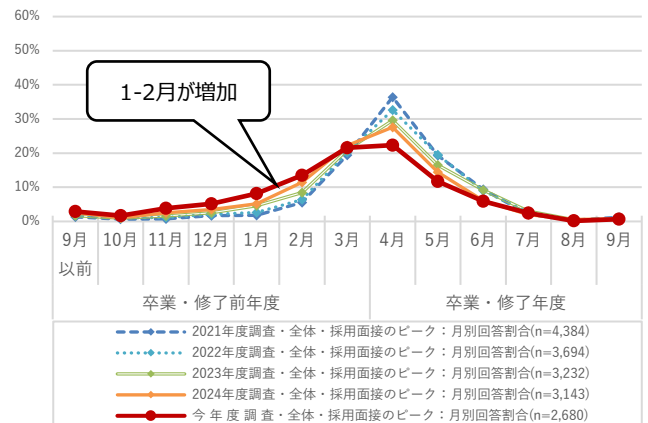
採用面接を受けた時期(ピーク)

※公務員・教職員志望者除く

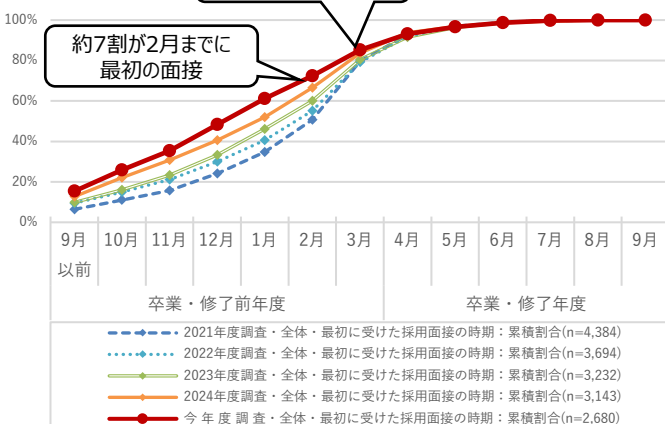
月別回答割合



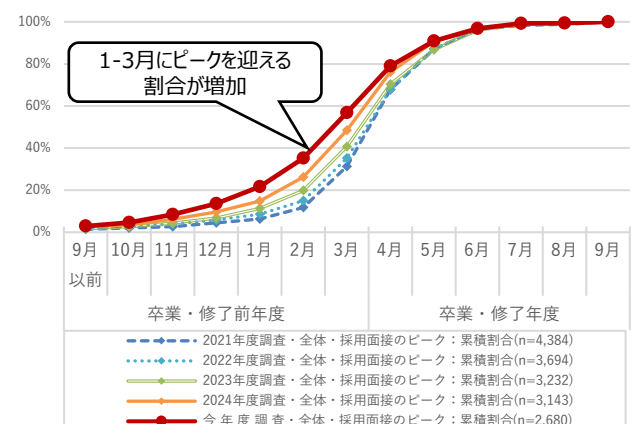
月別回答割合



累積割合



累積割合



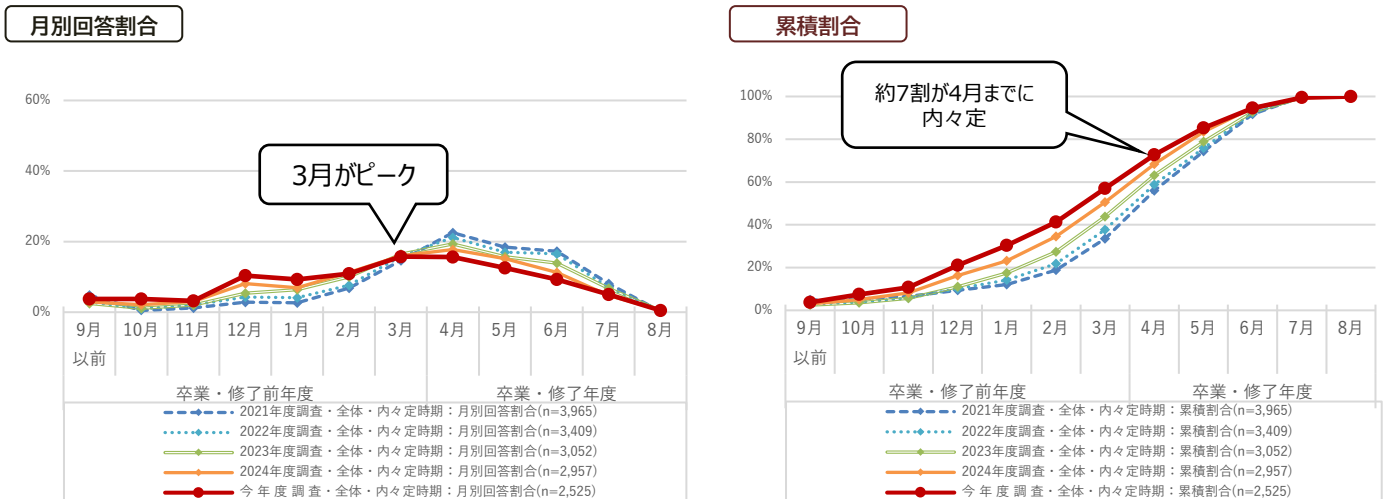
(2) 本調査のまとめ

4. 内々定を受けた時期

- ・ 内々定を受けた時期は、過去調査と比べ4月から6月の割合が下がり、3月が最も高くなった。趨勢的に12月から3月までが高まっている。
- ・ 累積割合では2月までに約4割、4月までに約7割、5月までに約9割の学生が、最初の内々定を受けている。

内々定を受けた時期(最初)

※公務員・教職員志望者除く



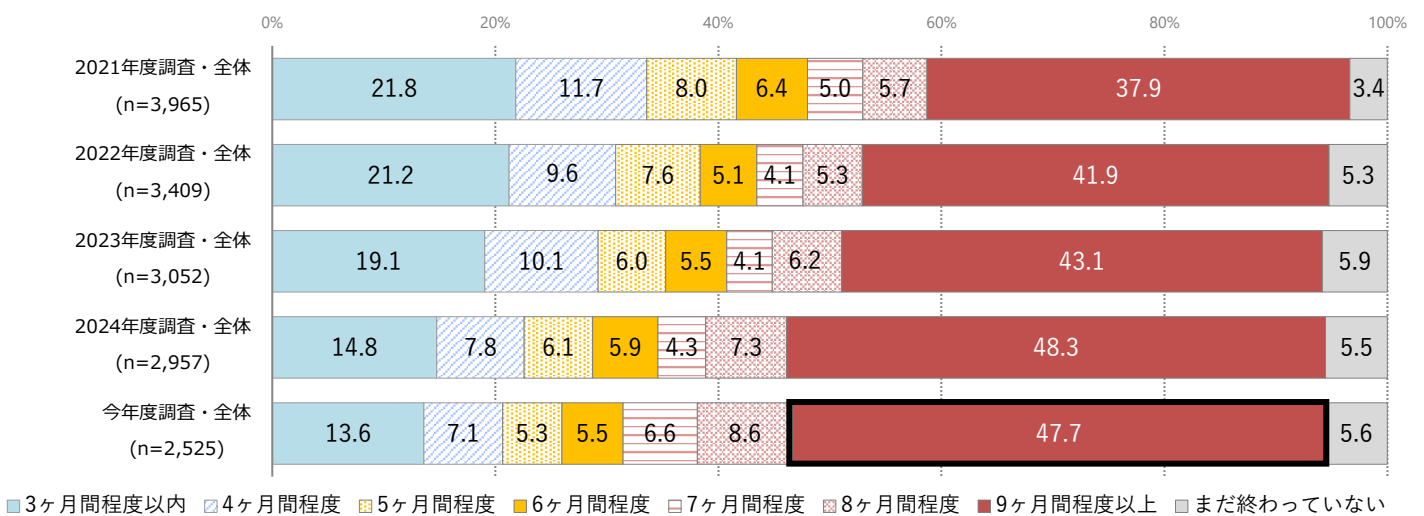
(2) 本調査のまとめ

5. 就職活動に要する期間と学生の認識

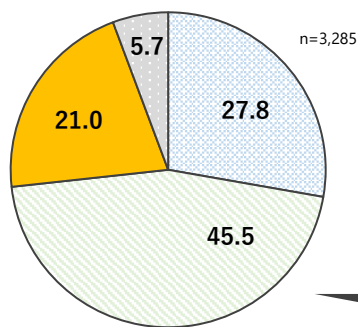
- 2025年度の就職活動に要する期間は、「9ヶ月間程度以上」の割合が約5割と最も高く、2024年度と同程度の数値となった。
- 就職活動が「始まった」と考えるタイミングについては、「インターンシップ関連」で約3割、「就職活動準備」で約5割、「就職活動に関する具体的なアクション」で約2割。詳細結果では、「「インターンシップと称されるもの」に関するウェブサイトに登録した時」が約2割と最も高い。

就職活動の始まりから終わりまでの期間

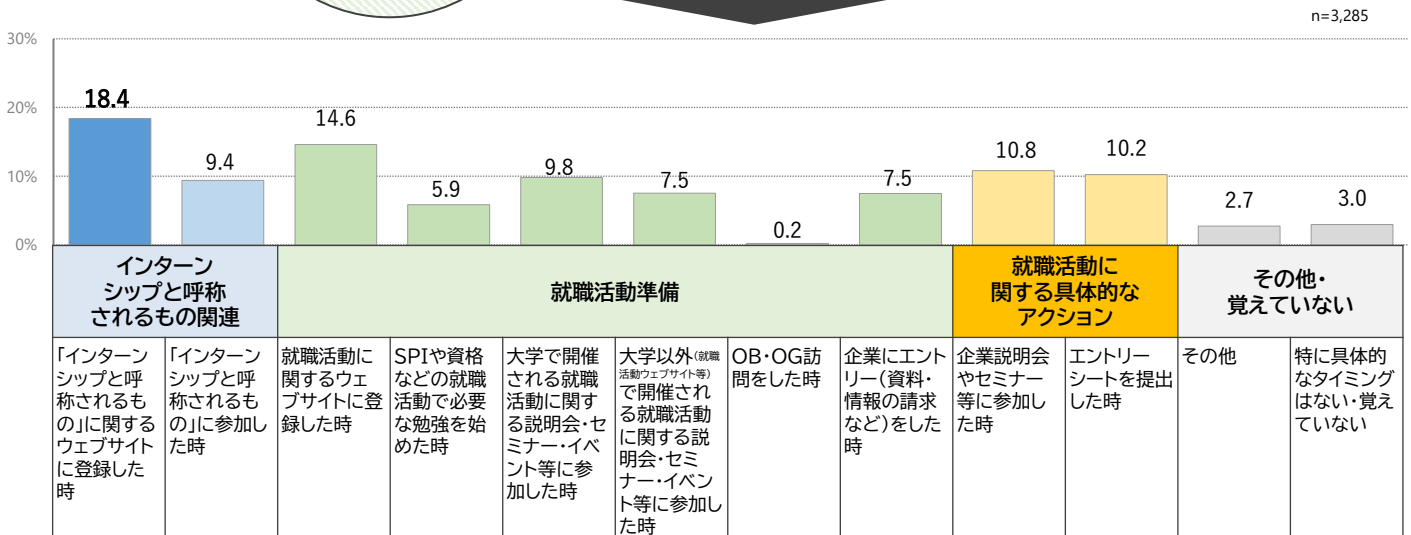
※公務員・教職員志望者除く



就職活動が「始まった」と考えるタイミング



詳細結果



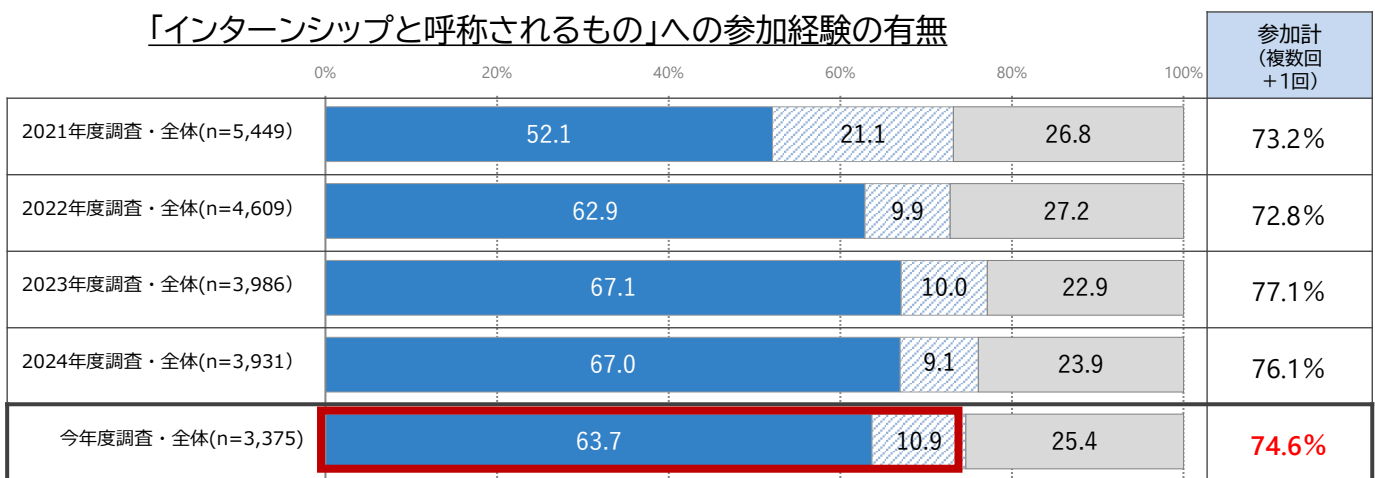
(2) 本調査のまとめ

6. 「インターンシップと称されるもの」への参加状況等

- ・「インターンシップと称されるもの」※に参加した学生は約7割。うち「複数回参加」の回答は63.7%とやや減少。
- ・「インターンシップと称されるもの」に参加した学生のうち、「5日以上」を経験した学生の割合は40.1%（昨年は34.6%）と、昨年度から引き続き増加傾向にある。
- ・参加したうち、最長の日数について、「半日」「1日」を最長とする人は減少傾向にあり、特に「5～10日」の割合が増加している。

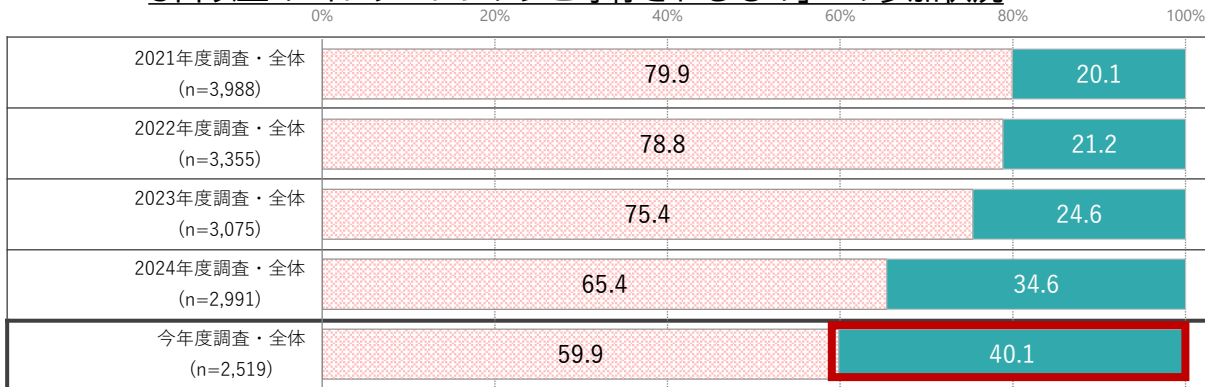
※2023年度調査以降「インターンシップと称されるもの」を対象とし、それ以外のキャリア形成支援は省いて考えていただくように回答者に案内した上で調査を実施。

「インターンシップと称されるもの」への参加経験の有無



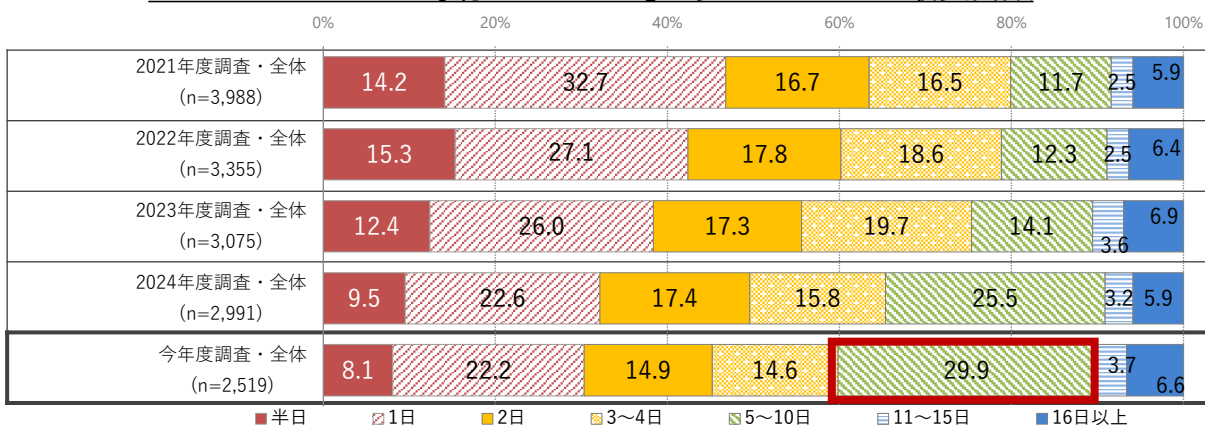
■ 複数回参加したことがある □ 参加したことがある (1回) □ 参加したことがない

5日以上「インターンシップと称されるもの」への参加状況



□ 5日以上未経験者 ■ 5日以上経験者

「インターンシップと称されるもの」に参加したうちの最長日数



■ 半日 □ 1日 ■ 2日 □ 3~4日 □ 5~10日 □ 11~15日 ■ 16日以上

※2023年度調査以降、定義変更に伴い、インターンシップについて「インターンシップと称されるもの」と提示した。

(2) 本調査のまとめ

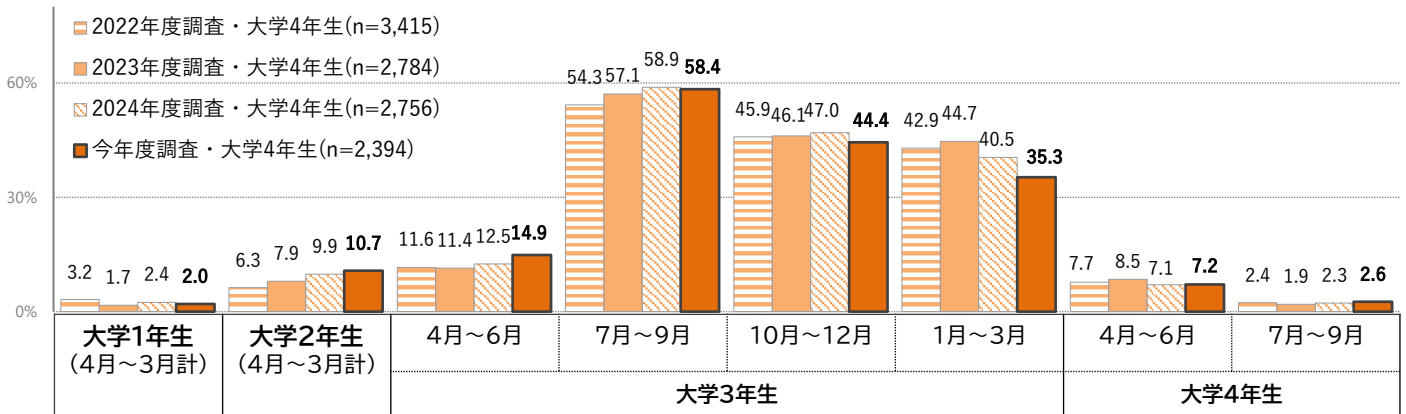
7. 「インターンシップと呼称されるもの」への参加時期

- 「インターンシップと呼称されるもの」への参加の時期は、大学4年生では、大学3年生の7月から本格化。大学院2年生では、大学院1年生の7月から本格化。

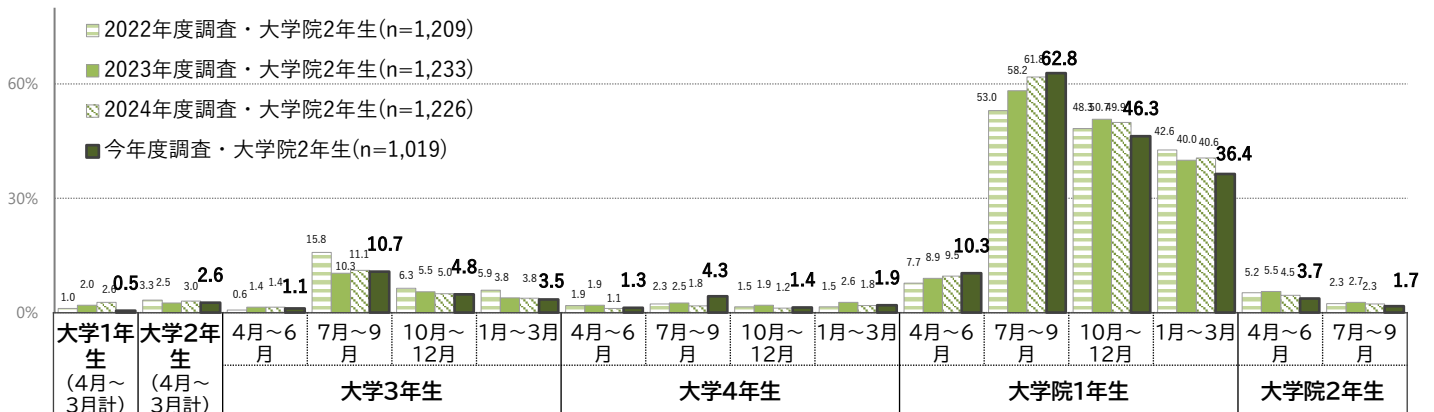
※2023年度調査以降「インターンシップと呼称されるもの」を対象とし、それ以外のキャリア形成支援は省いて考えていただくように回答者に案内した上で調査を実施。

「インターンシップと呼称されるもの」への参加時期

大学4年生



大学院2年生



※2023年度調査以降、定義変更に伴い、インターンシップについて「インターンシップと呼称されるもの」と提示した。

(2) 本調査のまとめ

8. 「インターンシップと呼称されるもの」に参加した効果

- 「インターンシップと呼称されるもの」に参加した効果として、「自分の将来設計（キャリアプラン）を考えるのに役立った」「専門分野における知識、スキルや能力が身についた」「日頃の学修への意欲が上がった」等で「半日または1日」と比べ「5日以上」の方が、割合が高い。
- 「その他」として、「採用選考上の優遇が受けられた」「参加した企業から内々定を受けることにつながった」等の割合が「5日以上」の方が高い。

※2023年度調査以降「インターンシップと呼称されるもの」を対象とし、それ以外のキャリア形成支援は省いて考えていただくように回答者に案内した上で調査を実施。

「インターンシップと呼称されるもの」に参加した効果

※グラフは「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計値

※表は「そう思う」の数値（10%以上差があるものを赤字・赤枠で表記）

■ 半日間または1日間等のインターンシップと呼称されるもの(n=764)

▨ 5日間以上のインターンシップと呼称されるもの(n=1,011)

		「そう思う」	
		半日・1日	5日以上
良い影響	業界・業種を理解することができた	96.4 97.3	60.2% 79.9%
	仕事の内容を具体的に知ることができた	89.6 95.2	50.9% 74.0%
	会社の雰囲気を理解することができた	85.6 94.9	45.3% 74.7%
	自分の将来設計（キャリアプラン）を考えるのに役だった	66.0 87.2	23.9% 50.9%
	日頃の学修への意欲が上がった	40.1 55.0	15.9% 25.3%
	専門分野における知識、スキルや能力が身についた	39.0 60.5	10.4% 25.9%
悪い影響	学業に支障が生じた	21.0 31.6	8.5% 12.8%
	部活動・サークル活動に支障が生じた	26.5 44.1	11.6% 20.3%
その他	参加した企業から、その企業の採用選考に関する詳細な情報を聞くことができた	83.4 81.5	45.9% 51.6%
	「インターンシップと呼称されるもの」への参加者に対する企業説明会等（広報活動）の案内があった	80.5 72.3	48.0% 46.8%
	「インターンシップと呼称されるもの」への参加者に対する採用試験・面接等（採用選考活動）の案内があった	77.9 72.6	48.6% 52.5%
	採用選考の際のプロセスが一部省略されるなど、採用選考上の優遇が受けられた	55.9 64.8	33.9% 50.1%
	参加した企業から内々定を受けることにつながった	38.3 50.3	24.4% 39.9%

※2023年度調査以降、定義変更に伴い、インターンシップについて「インターンシップと呼称されるもの」と提示した。

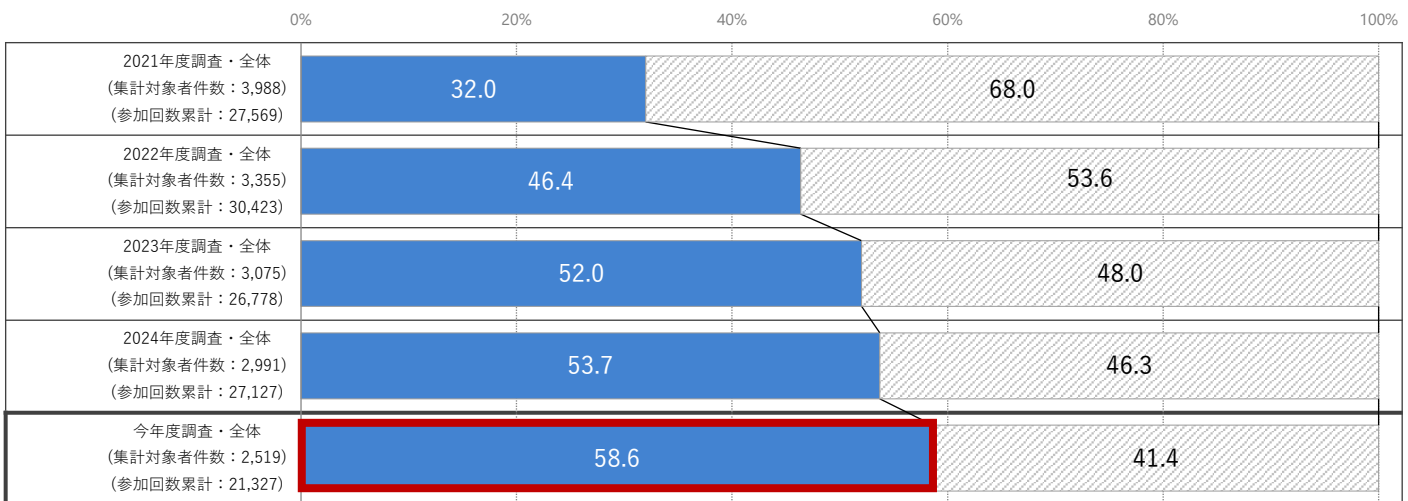
(2) 本調査のまとめ

9. 参加した「インターンシップと称されるもの」における実質的な選考の有無等

- 「インターンシップと称されるもの」が採用のための実質的な選考を含んでいた割合は、昨年度53.7%から今年度58.6%と、年々その割合は高まってきている。
- 「インターンシップと称されるもの」の参加後に、参加者を対象としたアプローチを受けたかについて、「早期選考の案内」が73.5%、「採用説明会・セミナーに参加した(2025年2月以前に開催)」が58.0%、「採用試験、面接等を受けた(2025年5月以前に開催)」が52.3%。

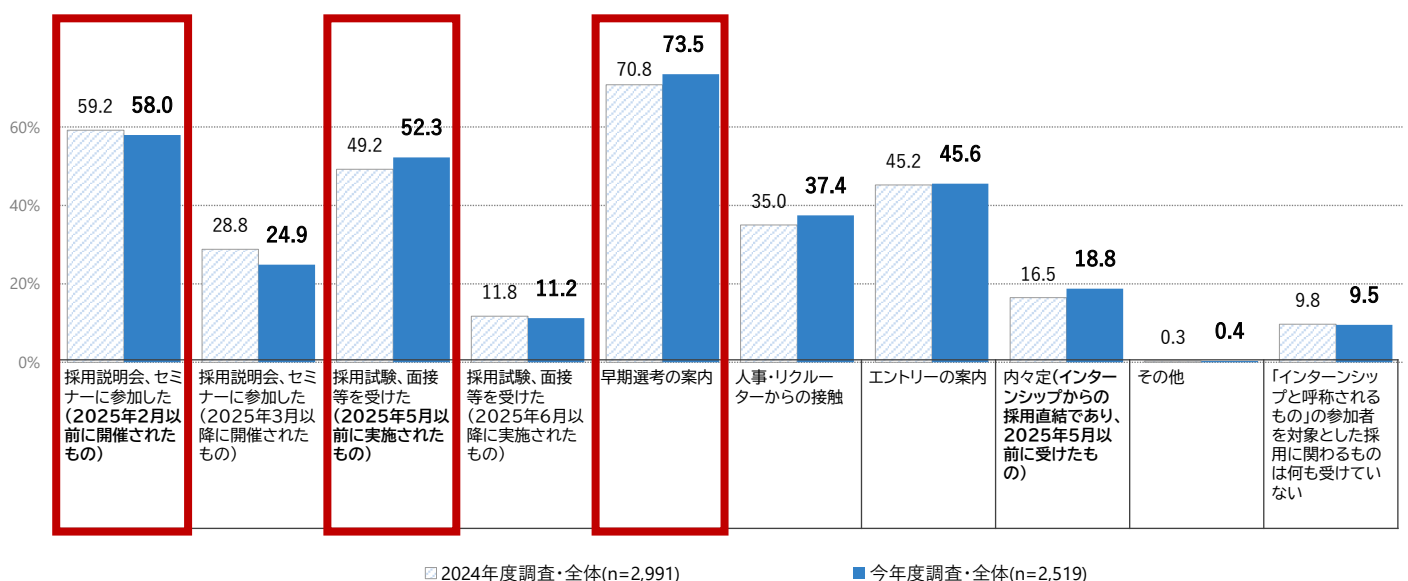
※2023年度調査以降「インターンシップと称されるもの」を対象とし、それ以外のキャリア形成支援は省いて考えていただくように回答者に案内した上で調査を実施。

参加した「インターンシップと称されるもの」における 実質的な選考実施の有無



■ 採用のための実質的な選考を行う活動を含んでいた □ 採用のための実質的な選考を行う活動を含んでいなかった (又は含んでいるかわからなかった)

「インターンシップと称されるもの」の参加後に、 参加者を対象としたアプローチを受けたか



※2023年度調査以降、定義変更に伴い、インターンシップについて「インターンシップと称されるもの」と提示した。

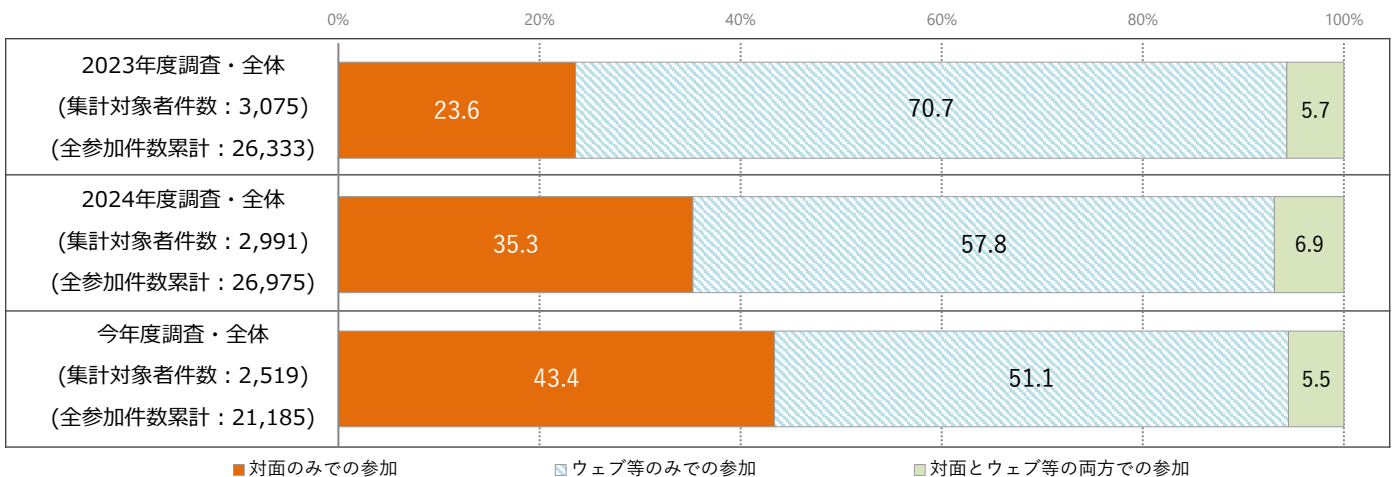
(2) 本調査のまとめ

10. 「インターンシップと呼称されるもの」や採用面接への参加方法

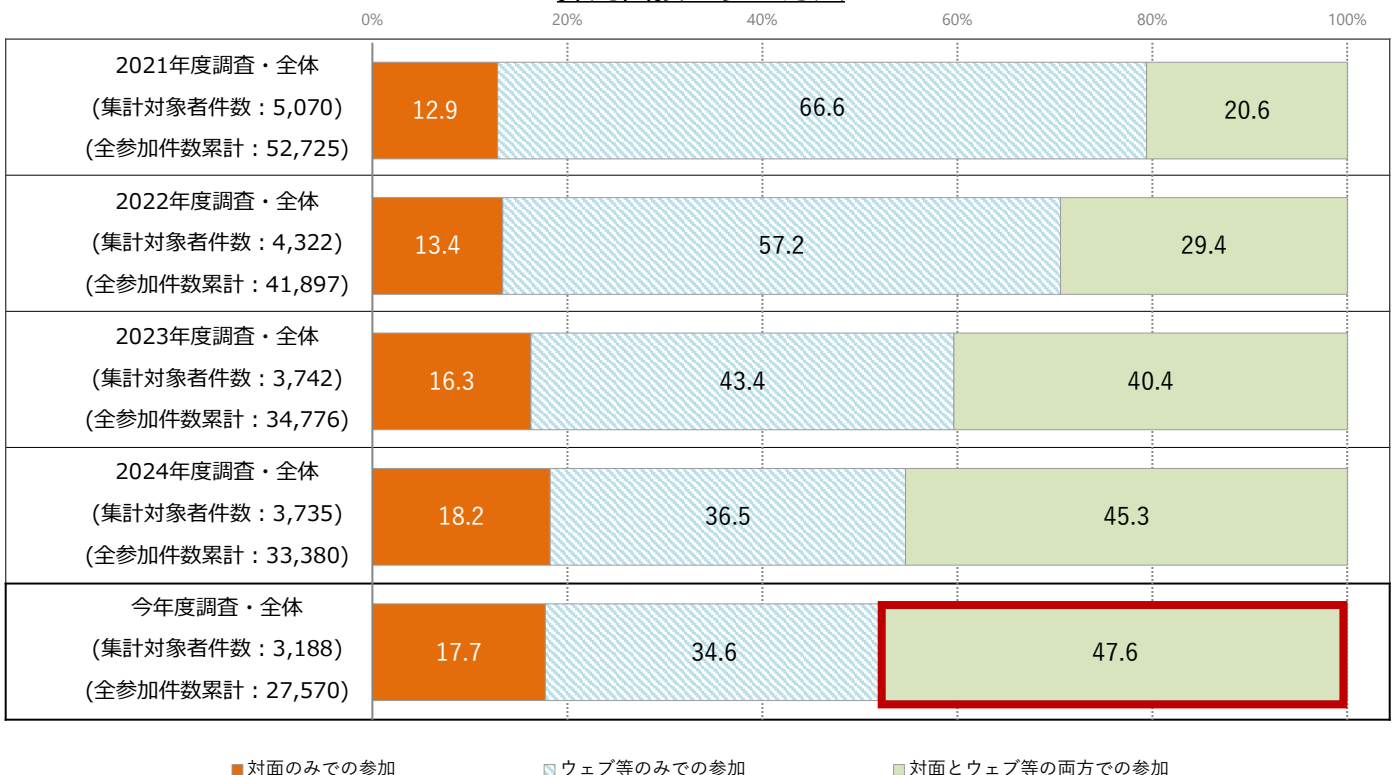
- インターンシップと呼称されるものにおいて、「対面のみでの参加」は約4割、「ウェブ等のみでの参加」は約5割。過年度調査と比較すると、年々「対面のみでの参加」が増加、「ウェブ等のみでの参加」が減少傾向。
- 採用面接において、「ウェブ等のみでの参加」は34.6%と、昨年度から減少。一方で「対面とウェブ等の両方での参加」の割合は、昨年度の45.3%から今年度は47.6%と増加傾向にある。

※2023年度調査以降「インターンシップと呼称されるもの」を対象とし、それ以外のキャリア形成支援は省いて考えていただくように回答者に案内した上で調査を実施。

「インターンシップと呼称されるもの」への参加方法



採用面接の参加方法



※全参加件数は、各方法で実施したと回答した件数を合計した数。

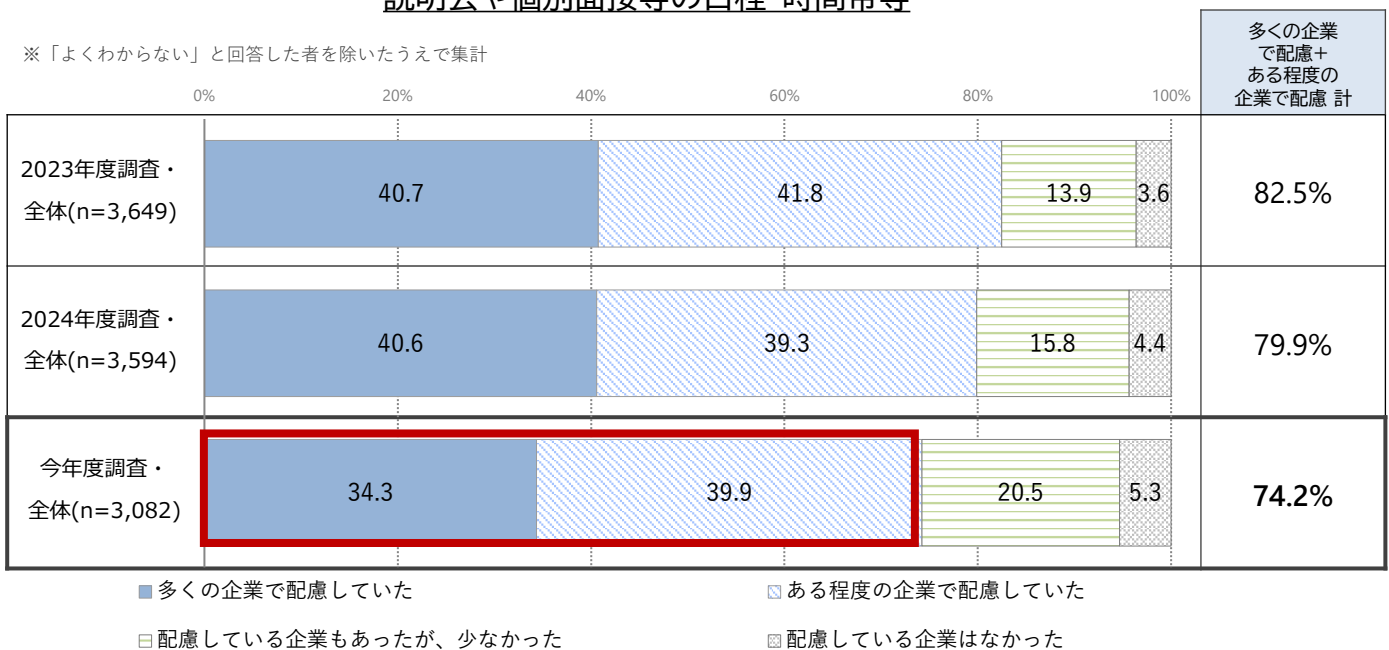
(2) 本調査のまとめ

11. 企業による学業等や留学経験者への配慮

- 多くの企業又はある程度の企業で、
 - 説明会や面接等の日程に関して、授業や試験等の妨げにならないよう配慮がなされていたと感じた学生の割合は約7割と、2024年度調査よりも、やや減少している。
 - 留学経験者向けのスケジュールや情報を示すなど、留学経験者向けの配慮を肯定する学生の回答割合は約6割と、2024年度調査とほぼ同様の結果である。

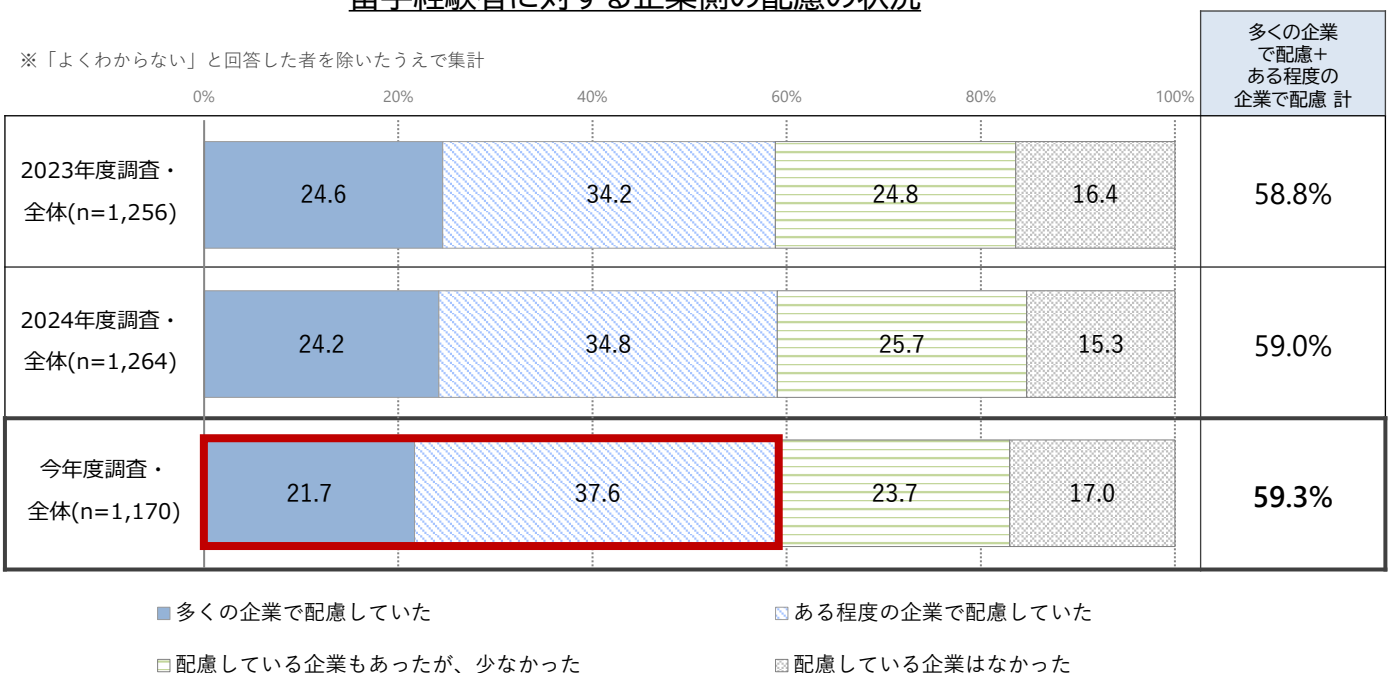
説明会や個別面接等の日程・時間帯等

※「よくわからない」と回答した者を除いたうえで集計



留学経験者に対する企業側の配慮の状況

※「よくわからない」と回答した者を除いたうえで集計



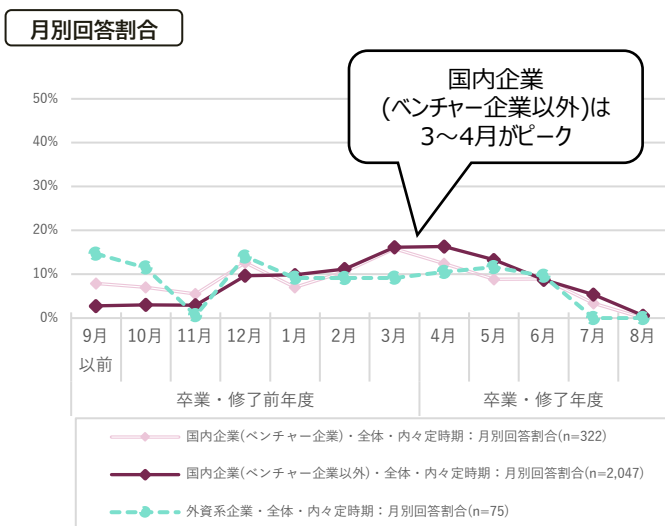
(2) 本調査のまとめ

12. 内々定を受けた時期と企業の種類

- 内々定を受けた時期を企業の種類別に見ると、最初の内々定について「**国内企業(ベンチャー企業以外)**」では「**2025年3月**」「**2025年4月**」が約2割と他時期と比べて比較的高い。
- 就職予定企業では、「**国内企業(ベンチャー企業以外)**」では5月、「**国内企業(ベンチャー企業)**」では6月が最も高い。一方、「**外資系企業**」では3月以前の割合が約5割となり、「**国内企業**」と比べて早い傾向がみられた。

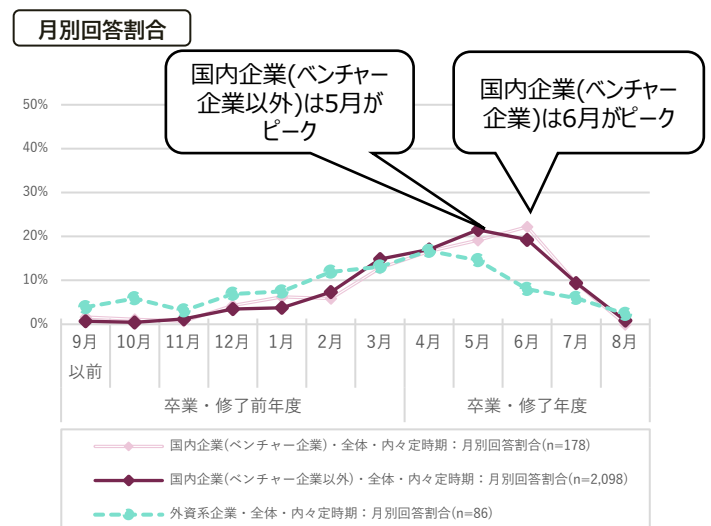
内々定を受けた時期(最初)

※公務員・教職員志望者除く

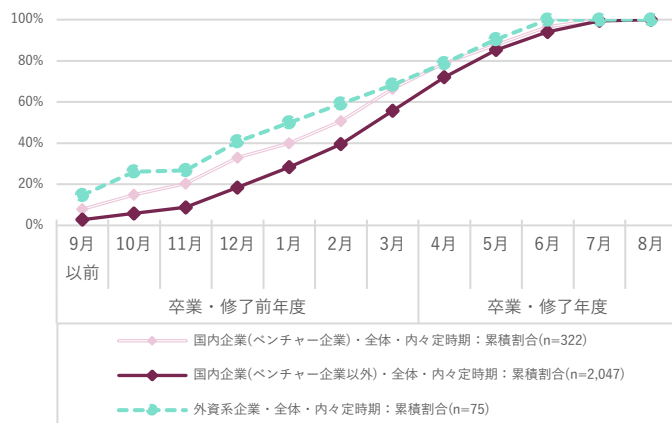


内々定を受けた時期(就職予定企業)

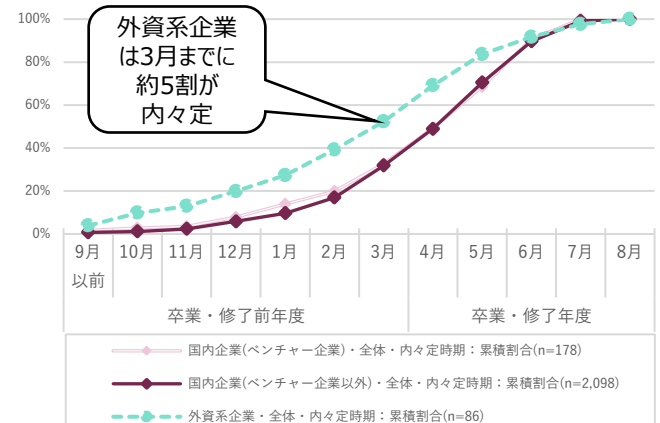
※公務員・教職員志望者除く



累積割合



累積割合



(2) 本調査のまとめ

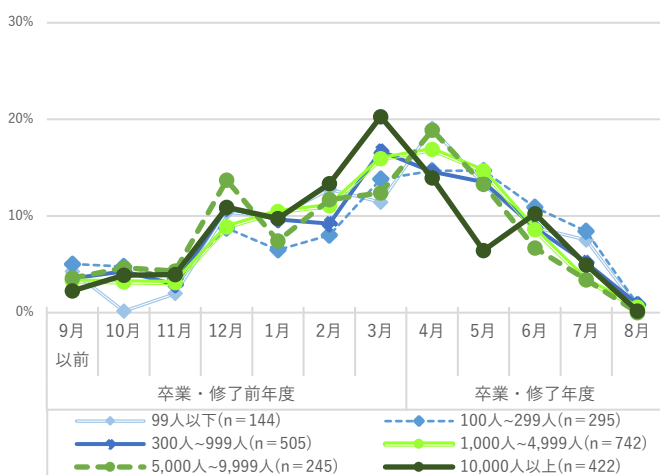
13. 最初に内々定を受けた企業の規模別の内々定時期

- 最初に内々定を受けた企業の規模別に、最初の内々定時期を見ると、「10,000人以上規模」では、3月の割合が約2割と最も高く、他企業規模区分と比べても高い。
- 累積割合で見ると、3月までの最初の内々定割合が最も高いのは「10,000人以上規模」。

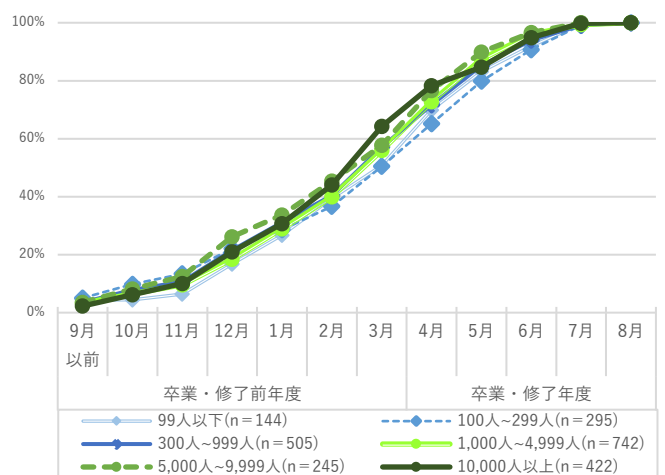
内々定を受けた時期(最初)

※公務員・教職員志望者除く

月別回答割合



累積割合

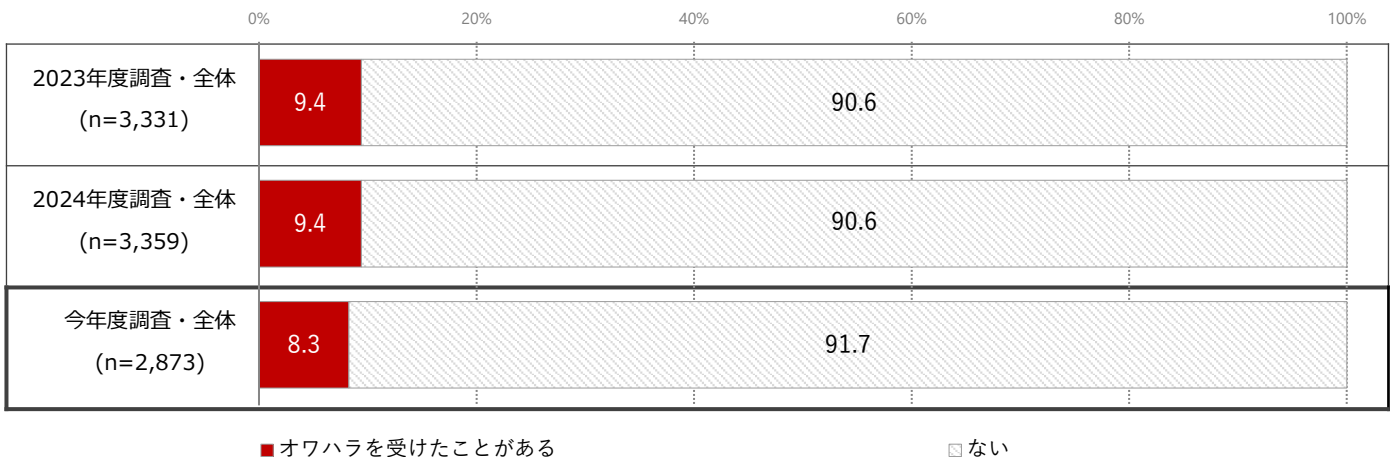


(2) 本調査のまとめ

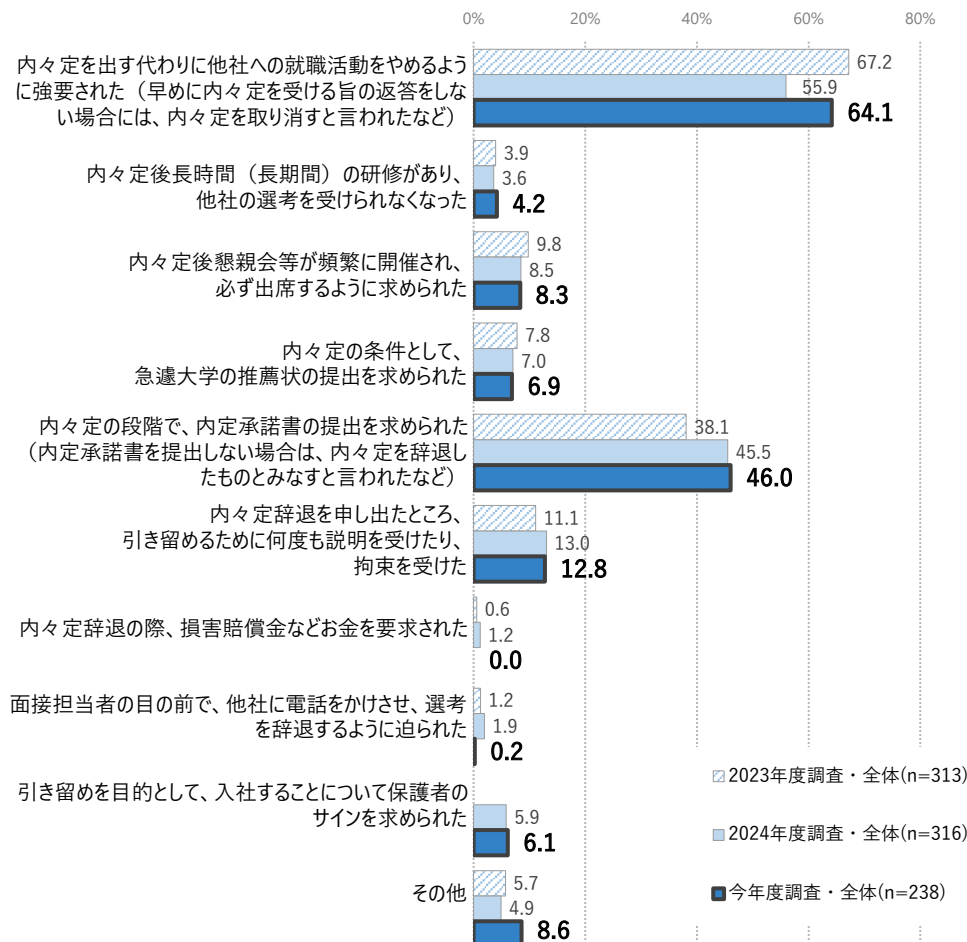
14. オワハラ経験の有無と受けた内容

- オワハラの経験有無について見ると、「オワハラを受けたことがある」とした人は8.3%。過年度調査と、同水準となっている。
- オワハラの内容については、「内々定を出す代わりに他社への就職活動をやめるように強要された」が約6割と最も高い。

「オワハラ」経験の有無



受けた「オワハラ」の内容



※1：オワハラについては、2023年度調査より「企業等から、あなたの意思に反して他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント行為」と案内した上で調査を行っている。

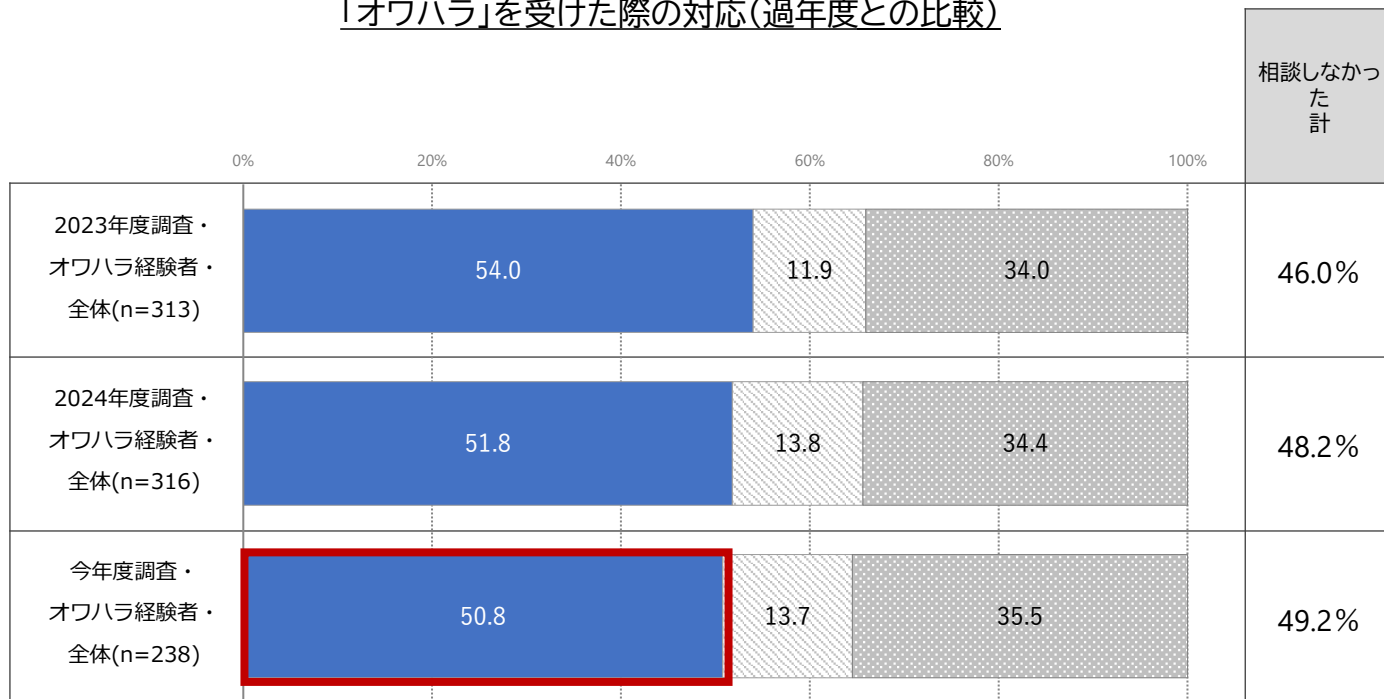
※2：内々定を1社以上から受けた者を集計の対象とした。

(2) 本調査のまとめ

15. オワハラを受けた場合の対応等

- オワハラを受けた際の対応について、「相談した」が50.8%。過年度調査と、同水準となっている。

「オワハラ」を受けた際の対応(過年度との比較)



■ 相談した

▨ 相談するところがわからないので、相談しなかった

▩ 相談するところはわかっていたが、相談しなかった

※1：オワハラについては、2023年度調査より「企業等から、あなたの意思に反して他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント行為」と案内した上で調査を行っている。

※2：内々定を1社以上から受けた者を集計の対象とした。

(2) 本調査のまとめ

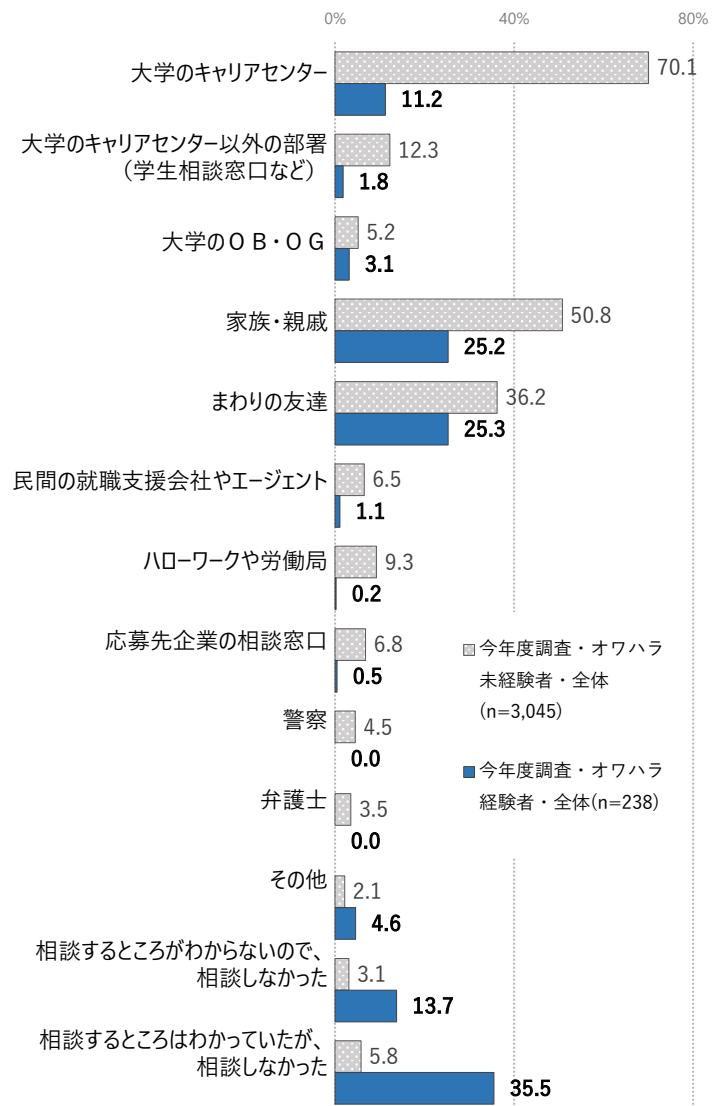
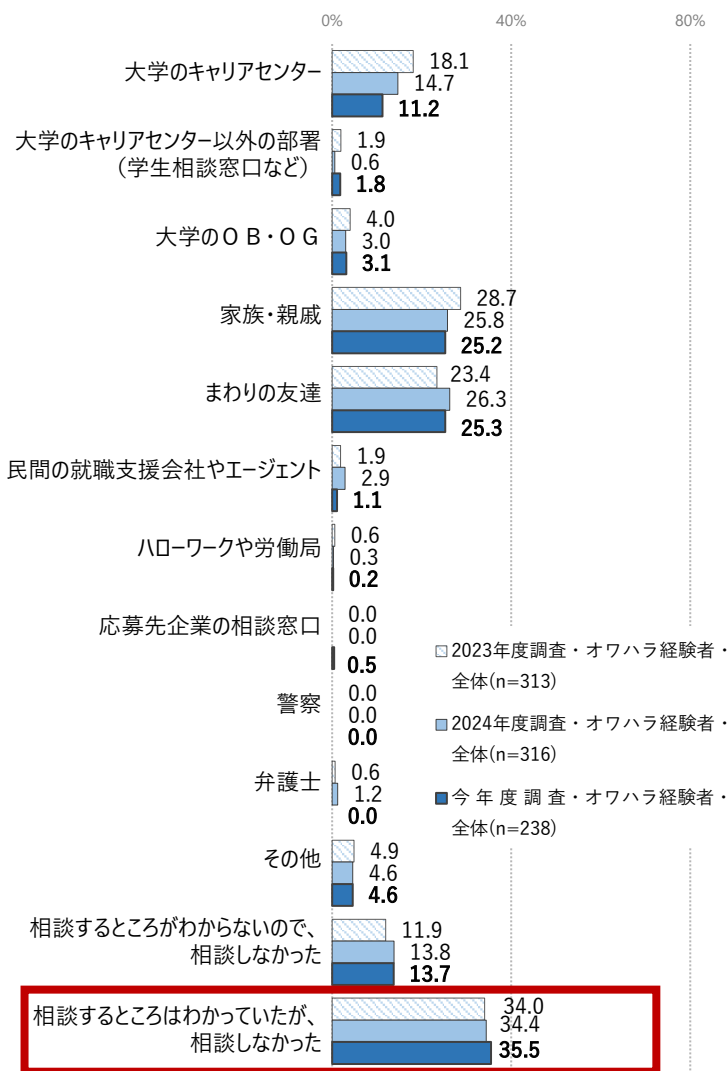
16. オワハラの相談先

- オワハラ経験者の相談先は、2024年度結果と同様「**家族・親戚**」「**まわりの友達**」が約3割。
- オワハラの相談先について、オワハラ経験者と未経験者を比較すると、「**オワハラ未経験者(どこに相談すると思うか)**」では、「**大学のキャリアセンター**」が約7割と最も高いが、実際の「**オワハラ経験者**」の相談先では約1割となっている。

「オワハラ」経験者の相談先(過年度との比較)

「オワハラ」の相談先(経験者・未経験者の比較)

※オワハラ未経験者については、仮に「オワハラ」を受けたらどこに相談すると思うかを聴取。
 オワハラ経験者については、「オワハラ」をどこに相談したかについて聴取。



※1：オワハラについては、2023年度調査より「企業等から、あなたの意思に反して他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント行為」と案内した上で調査を行っている。
 ※2：内々定を1社以上から受けた者を集計の対象とした。

(2) 本調査のまとめ

17. 「採用プロセスの複線化」について

- 採用プロセスの複線化の説明資料提示後の認知状況は、「知らなかった」が62.7%と最も高い。「よく知っていた」+「ある程度知っていた」の計は18.7%。
- 採用プロセスの複線化についての考えについて、「賛成」29.9%、「どちらでもない」30.0%と同程度。「反対」は15.4%となった。

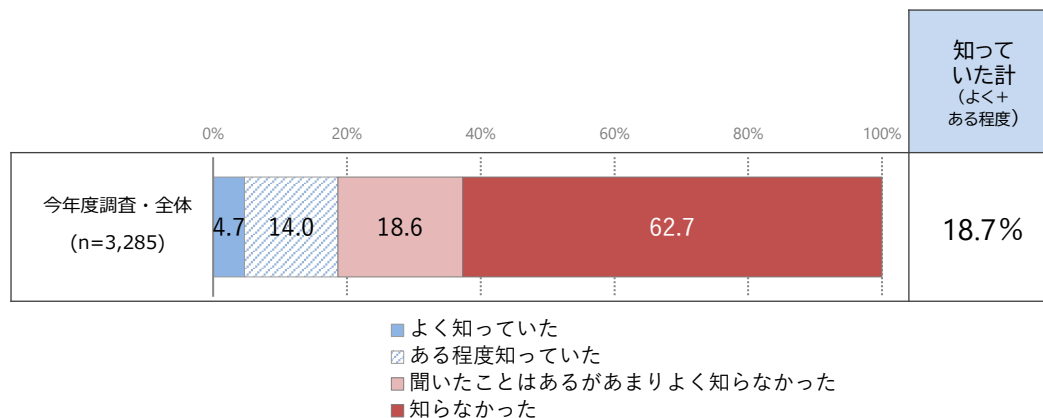
「採用プロセスの複線化」について下記の通り注釈で説明したうえで聴取

※2025年度卒以降の学生については、専門活用型インターンシップ(2週間以上)で卒業・修了年度に入る直前の春休み以降に実施されるものを通じて高い専門的知識や能力を有すると判断された学生については、そのことに着目し、3月から行われる広報活動の周知期間を短縮して、6月より以前のタイミングから採用選考プロセスに移行できます。

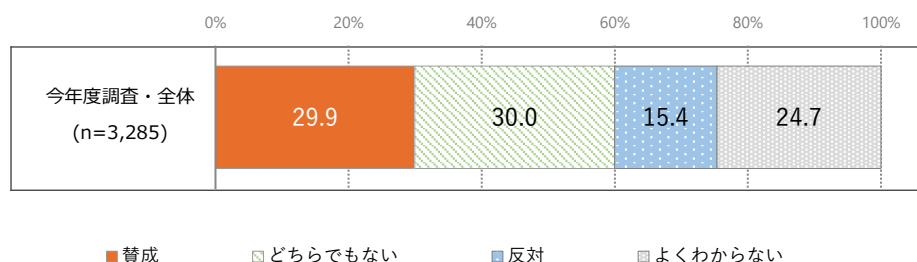
※複線化に対応した専門活用型インターンシップの主な要件:

- 実施期間2週間以上で半分を超える日数の就業体験
- 卒業・修了年次直前の春休み以降に実施
- 職場の社員が学生を指導し、インターンシップ終了後に学生にフィードバックを実施
- インターンシップ実施企業はインターンシップの情報とともに、学生に求める学修成果水準、採用計画に係る情報を開示

採用プロセスの複線化の認知



採用プロセスの複線化についての考え



調査結果報告書本文

第一章 調査結果概要・回答者の基本属性

第一章 調査結果概要・回答者の基本属性

(1) 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、2025年度卒業・修了予定者の就職・採用選考活動の意識・行動等を把握することにより、2026年度以降の就職・採用活動の円滑な実施に資することを目的として実施した。

2. 調査の実施方法

地域、設置主体、規模等を勘案して選定した全国の62の大学に協力いただき、それらの大学から、大学4年生及び大学院修士課程(博士前期課程)2年生(以下、「大学院2年生」と表記)にアンケート調査への協力を依頼していただいた。なお、医学科・薬学科・歯学科・看護学科・獣医学科の学生や海外からの留学生については調査の対象外である旨を案内の上で実施した。

各学生には、インターネット上に開設したアンケート調査のホームページにアクセスし、回答していただいた。ホームページは、2025年7月10日から8月11日までの間開設した。

3. 回答状況

対象学年別の有効回答件数は次の図表の通りである。なお、社会人経験があり元の職場に復帰予定の者や、進学等を予定しており就職活動をする予定がない者等については、集計の過程において、適宜対象から除いて集計を行った。

【学年別の有効回答件数】

対象	大学4年生	大学院2年生	合計
有効回答件数	3,157件	1,258件	4,415件

(2) 回答者属性

本調査への回答が得られた学生の属性に関して、①性別、②大学・大学院の設置主体、③専攻、④大学・大学院の所在地域による割合を、対象学年別に下記に示し、それぞれ右欄に2024年度の学校基本調査※1(文部科学省調べ)の情報(確定版)について掲載した※2。

本調査の回答者の属性の状況を、学校基本調査に基づく全国の母集団の状況と比較すると、性別については大学4年生が「女性」からの回答割合が高く、大学・大学院の設置主体については大学4年生・大学院2年生ともに「国立」からの回答割合が高いなど、若干の偏りが生じている状況にあることが把握できる。

【①性別】

対象	大学4年生		大学院2年生	
	本調査	2024年度 学校基本調査 (確定版)	本調査	2024年度 学校基本調査 (確定版)
男性	44.8%	56.4%	69.5%	70.1%
女性	54.2%	43.6%	28.9%	29.9%
その他・答えたくない	1.0%	-	1.6%	-
集計度数	3,157	553,279	1,258	77,725

【②大学・大学院の設置主体】

対象	大学4年生		大学院2年生	
	本調査	2024年度 学校基本調査 (確定版)	本調査	2024年度 学校基本調査 (確定版)
国立	33.1%	16.5%	70.7%	55.7%
公立	3.0%	5.1%	4.5%	6.0%
私立	63.9%	78.5%	24.9%	38.3%
集計度数	3,157	553,279	1,258	77,725

※1：学校基本調査は、全国全ての学校を対象とした、統計法（平成19年法律第53号）に基づく基幹統計調査である。調査対象として医学科・薬学科・歯学科・看護学科・獣医学科の学生は対象外としていることから、学校基本調査の情報のうち「専攻」について、「保健」の学生数を除いた値を参照した。また本調査では専攻として確認した「情報」は学校基本調査の情報の中でないが、「文系」として集計している。

※2：2025年度の学校基本調査の情報（速報値）では、「性別」「大学・大学院の設置主体別」「大学・大学院の所在地域別」の学生数が公開されているが、「専攻別」の学生数が公開されていないため、2024年度の学校基本調査の情報（確定版）から、大学3年生・大学院1年生の値を用いてウエイトを作成した。比較対象として2024年度の学校基本調査の情報（確定版）の値を掲載している。

なお、本調査の値と2024年度学校基本調査（確定版）いずれの値も、小数点第2位を四捨五入した上で表示しているため、割合の合計が100%を超えたり、小計の値を超えたりする場合がある。性別を尋ねる設問において、「その他」と「答えたくない」の選択肢を設定した。ここでは、これらの回答を「その他」として集計した。

【③専攻】

対象	大学4年生		大学院2年生	
	本調査	2024年度 学校基本調査 (確定版)	本調査	2024年度 学校基本調査 (確定版)
人文科学	21.1%	15.4%	7.6%	5.9%
社会科学	35.9%	36.6%	8.9%	10.0%
情報	5.3%	-	7.6%	-
理学	9.0%	3.7%	29.0%	8.3%
工学	13.0%	17.7%	34.5%	45.1%
農学	3.7%	3.5%	4.5%	5.7%
保健	1.3%	-	2.6%	-
商船	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
家政	1.3%	3.0%	0.1%	0.5%
教育	4.8%	8.1%	2.4%	2.5%
芸術	0.4%	3.4%	0.5%	3.4%
その他	4.3%	8.6%	2.2%	18.6%
文系	73.0%	75.1%	29.3%	40.9%
理系	27.0%	24.9%	70.7%	59.1%
集計度数	3,157	553,279	1,258	77,725

※「人文科学」、「社会科学」、「情報」、「家政」、「教育」、「芸術」、「その他」を「文系」とし、「理学」、「工学」、「農学」、「保健」、「商船」を「理系」としている

(3) ウェイトによる補正

就職・採用活動の状況は、文系・理系などの属性別に差異があると考えられることから、実態について集計結果を示すにあたっては、可能な限り回答者の属性分布を母集団に近似させることが望ましい。そこで、本調査では、「性別」「大学・大学院の設置主体」「文系・理系別」の3点について、それぞれのバランスが母集団に近似するようにウェイト付けを行った上で集計を行うこととした。なお、本調査では過年度調査と同様に、大学4年生と大学院2年生を合わせた集計と、大学4年生と大学院2年生の学年別の集計を行い結果を掲載した。大学4年生と大学院2年生を合わせた集計を行う際にも、学校基本調査の在学者数※1を基にしたウェイトによりデータの補正を行った。分類別のウェイト値は、大学4年生・大学院2年生を合わせた集計結果を示す場合と、別々に示す場合とで、それぞれ設定をした※2。また、①性別、②大学・大学院の設置主体、③専攻、④大学・大学院の所在地域のそれぞれについて、ウェイトによる補正後の分布は、下記、また次ページの表のようになっている※3。これらから、ウェイト補正後は、「性別」「大学・大学院の設置主体」「文系・理系別」の3点について、母集団における分布と近い構成比になっていることが確認できる※4。

※1：2015年度調査から2019年度調査については、各調査年度の学校基本調査の速報値から「性別」「大学・大学院の設置主体別」「専攻別」の大学4年生・大学院2年生の在学者数の情報を用いてウェイト値を作成していたが、2020年度・2021年度・2022年度・2023年度・2024年度・今年度については学校基本調査の速報値に「専攻別」の情報の掲載がなかった。そのため、2021年度の学校基本調査の確定版から「性別」「大学・大学院の設置主体別」「専攻別」の大学3年生・大学院1年生の在学者数の情報を用いてウェイトを作成した。

※2：性別が「その他」の者に関しては、学校基本調査には直接的に対応する値はないが、性別以外の「大学・大学院の設置主体」「文系・理系別」のバランスをふまえてウェイト値を設定した。

※3：ウェイト補正後の集計値に関しては、四捨五入等している関係で、設問により、選択肢ごとの度数と度数合計が一致しない場合がある。また、集計結果の割合(%)は、小数点以下第2位を四捨五入した上で表示しているため、内訳の計が100%にならない場合がある。

※4：「文系・理系別」の詳しい内訳と大学・大学院の所在地域については直接的にウェイト付けの対象としなかったことから、母集団の分布と比べて若干の相違があるが、細部まで補正を行うことが困難であったことから、「性別」「大学・大学院の設置主体別」「文系・理系別」の3点について補正したデータにより集計を行った。なお、ウェイト付けの際には、専攻について「保健」の者を除いた形で値を算出した。

【大学生・大学院生をまとめて集計する際のウエイト値】

本調査			大学4年生	大学院2年生
男性	国立	文系	0.7129	0.5146
		理系	0.6739	0.3121
	公立	文系	2.3235	0.6450
		理系	1.6487	0.5019
	私立	文系	2.0386	0.6002
		理系	2.4698	0.6953
女性	国立	文系	0.5269	0.5363
		理系	0.4707	0.2149
	公立	文系	2.8017	2.0904
		理系	1.0358	0.4748
	私立	文系	1.0794	0.8536
		理系	1.2782	0.4646
その他	国立	文系	0.7394	0.2107
		理系	0.3811	0.3293
	公立	文系	1.6387	0.1286
		理系	0.6764	0.1272
	私立	文系	2.0658	0.4095
		理系	6.8504	1.2243

【大学4年生・大学院2年生を別々に集計する際のウエイト値】

本調査			大学4年生	大学院2年生
男性	国立	文系	0.5823	1.1853
		理系	0.5505	0.7189
	公立	文系	1.8980	1.4859
		理系	1.3467	1.1562
	私立	文系	1.6653	1.3825
		理系	2.0175	1.6018
女性	国立	文系	0.4304	1.2355
		理系	0.3845	0.4950
	公立	文系	2.2886	4.8156
		理系	0.8461	1.0937
	私立	文系	0.8818	1.9664
		理系	1.0442	1.0703
その他	国立	文系	0.5189	0.6579
		理系	0.2675	1.0283
	公立	文系	1.1501	0.4014
		理系	0.4747	0.3970
	私立	文系	1.4499	1.2788
		理系	4.8078	3.8230

※ウエイト値について四捨五入の上小数点以下第4位まで掲載しているが、実際には小数点以下第15位までの値に基づいてウエイト付けを行っている。

【①性別(ウエイトによる補正後)】

本調査	全体	大学4年生	大学院2年生
男性	57.4%	55.9%	69.0%
女性	41.4%	43.1%	29.4%
その他+答えたくない	1.2%	1.0%	1.6%
集計度数	4,415	3,157	1,258

【②大学・大学院の設置主体(ウエイトによる補正後)】

本調査	全体	大学4年生	大学院2年生
国立	21.3%	16.5%	55.7%
公立	5.2%	5.1%	6.0%
私立	73.5%	78.5%	38.3%
集計度数	4,415	3,157	1,258

【③専攻(ウエイトによる補正後)】

本調査	全体	大学4年生	大学院2年生
人文科学	19.7%	20.8%	11.5%
社会科学	36.4%	39.7%	12.6%
情報	6.1%	5.6%	9.7%
理学	9.8%	7.9%	23.3%
工学	14.6%	12.4%	30.4%
農学	3.0%	3.0%	3.4%
保健	1.6%	1.6%	2.0%
商船	0.0%	0.0%	0.0%
家政	1.0%	1.1%	0.1%
教育	3.1%	3.2%	3.0%
芸術	0.5%	0.4%	0.9%
その他	4.1%	4.3%	3.1%
文系	70.9%	75.1%	40.9
理系	29.1%	24.9%	59.1
集計度数	4,415	3,157	1,258

【④大学・大学院の所在地域(ウエイトによる補正後)】

本調査	全体	大学4年生	大学院2年生
北海道・東北	7.3%	6.7%	11.9%
関東	45.3%	44.9%	48.5%
中部	6.1%	6.2%	4.9%
近畿	26.8%	28.1%	17.9%
中国・四国	6.7%	6.5%	8.4%
九州・沖縄	7.7%	7.6%	8.4%
集計度数	4,415	3,157	1,258

以降では、ウェイト補正後のデータに基づき集計を行った。なお、原則として大学4年生・大学院2年生をあわせて集計をした結果と、別々に集計した結果の両方を掲載している。また適宜、過去に実施した「学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査」※1との比較を行い、回答傾向の違いについて把握した。

本資料に掲載した集計結果等に関しては、次のような点に留意されたい。

- ◆集計結果の割合(%)は、小数点以下第2位を四捨五入した上で表示しているため、内訳の計が100%にならない場合がある。
- ◆設問には選択肢からひとつだけ回答するものと、選択肢から複数の項目を回答するものがあり、複数回答する場合の設問では、選択肢別の集計結果の割合合計が100%を超える場合がある。
- ◆本資料で扱う今年度調査の集計について、ほとんどの設問は「就職活動を行った(終えた)」「就職活動を行っている(継続している)」と回答した者が集計対象であるが、一部の設問は「これから就職活動を行う予定である」と回答した者も集計対象に含んでいる。このほか、一部の回答者を除いて集計をしている設問があるが、これらの点はページ下部の注釈にて説明を記載した。

※1：それぞれ、「2015年度調査」「2016年度調査」「2017年度調査」「2018年度調査」「2019年度調査」「2020年度調査」「2021年度調査」「2022年度調査」「2023年度調査」「2024年度調査」と表記し、これら10ヶ年の調査をあわせて「過年度調査」と表記する。また、今回2025年度に実施した「学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査」を「今年度調査」と表記する。なお、2016年度調査、2017年度調査、2018年度調査、2019年度調査、2020年度調査、2021年度調査、2022年度調査、2023年度調査、2024年度調査・今年度調査は8月1日時点で実施しているが、2015年度調査は10月1日時点で実施した。

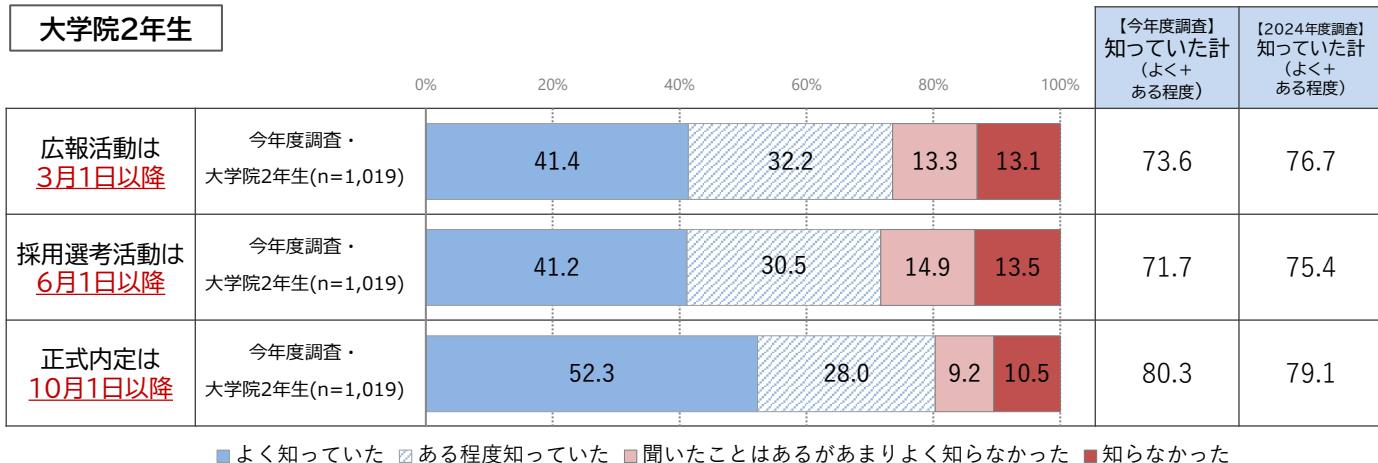
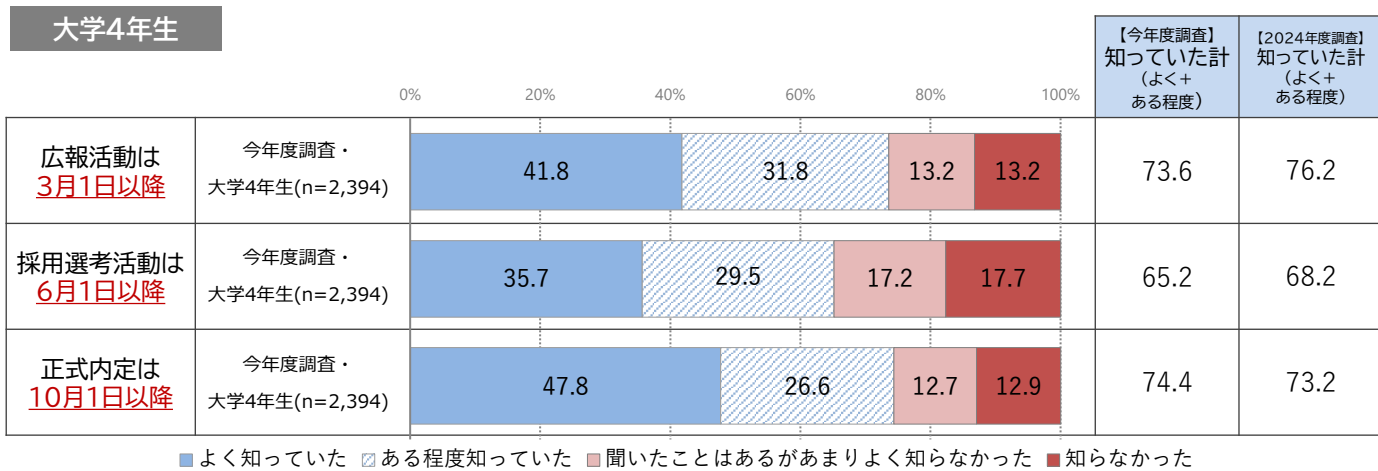
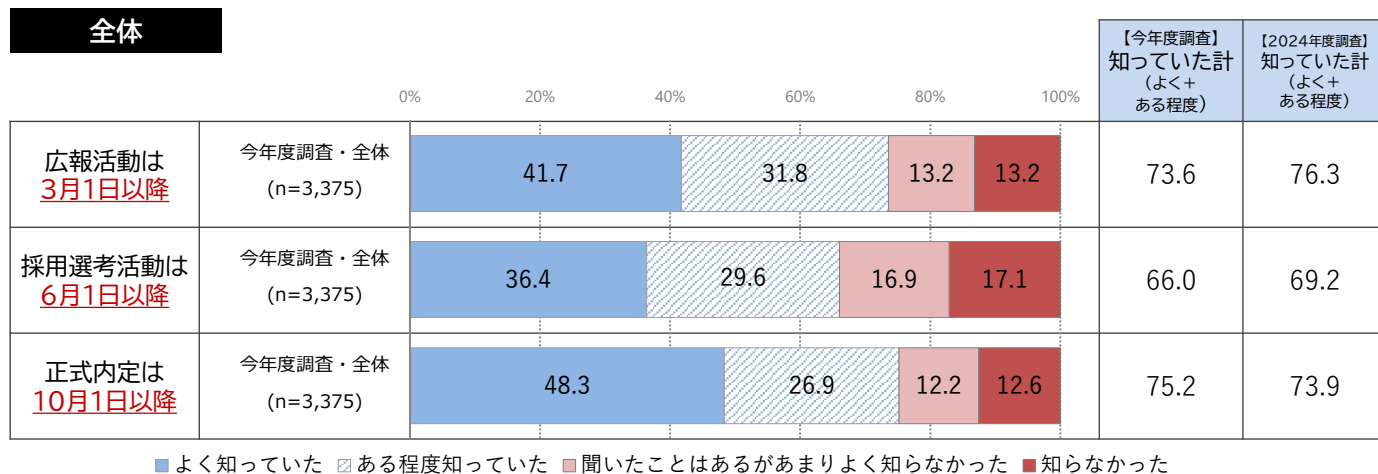
第二章 就職活動に関する意識と準備

第二章 就職活動に関する意識と準備

(1) 就職・採用活動時期に関する認知状況

①就職・採用活動の時期(就活日程ルール)の認知度

就職活動を開始するにあたり、就職・採用活動の時期(就活日程ルール)は、広報活動は3月1日以降、採用選考活動は6月1日以降、正式内定は10月1日以降で行われることについて、それぞれの「知っていた」の回答割合は※1、「正式内定は10月1日以降」が最も高く、約8割。「広報活動は3月1日以降」「採用選考活動は6月1日以降」は、約7割。2024年度調査と比較すると、「広報活動は3月1日以降」、「採用選考活動は6月1日以降」は「知っていた」計の回答割合がやや低くなっている※1。



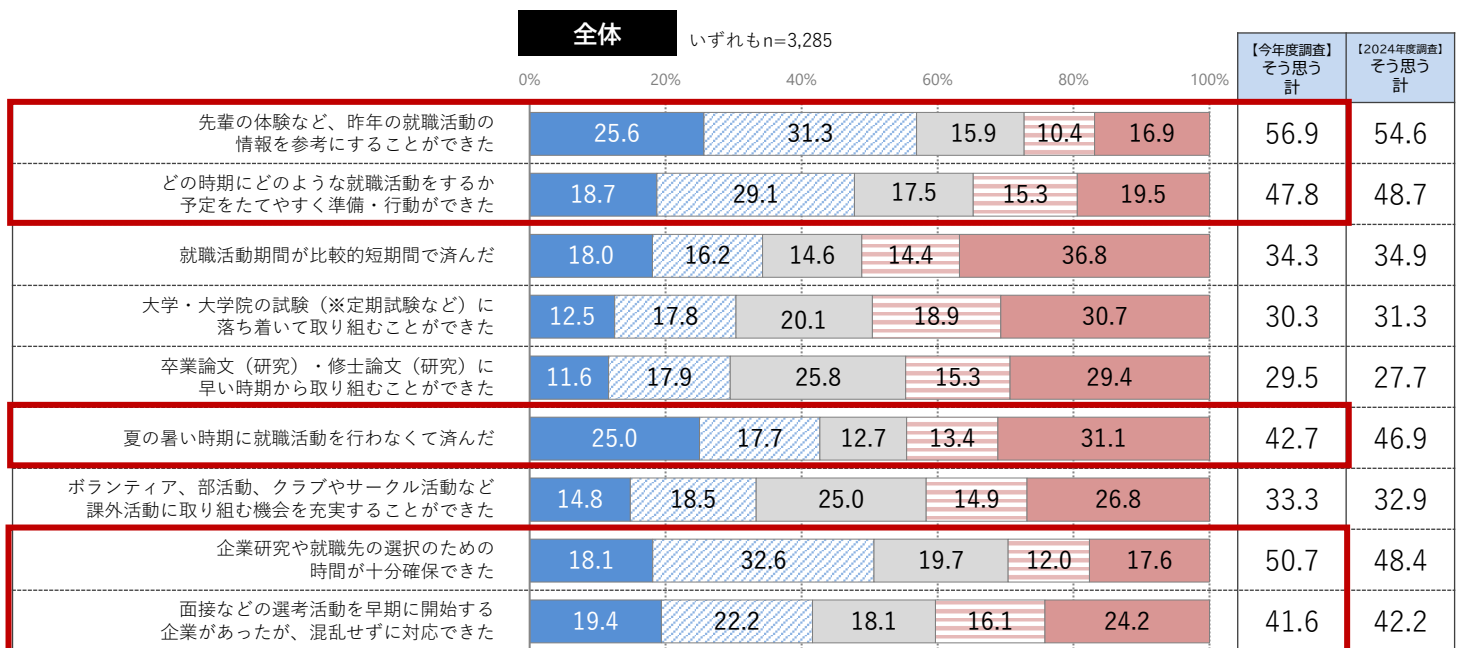
※1：いずれの年度の調査も、「就職活動を行った(終了)」「就職活動を行っている(継続している)」「これから就職活動を行う予定である」と回答した者が集計対象で、「就職活動を行わなかった(行う予定はない)」と回答した者は集計の対象外とした。

(2) 就職・採用活動の時期(就活日程ルール)に関する認識と考え

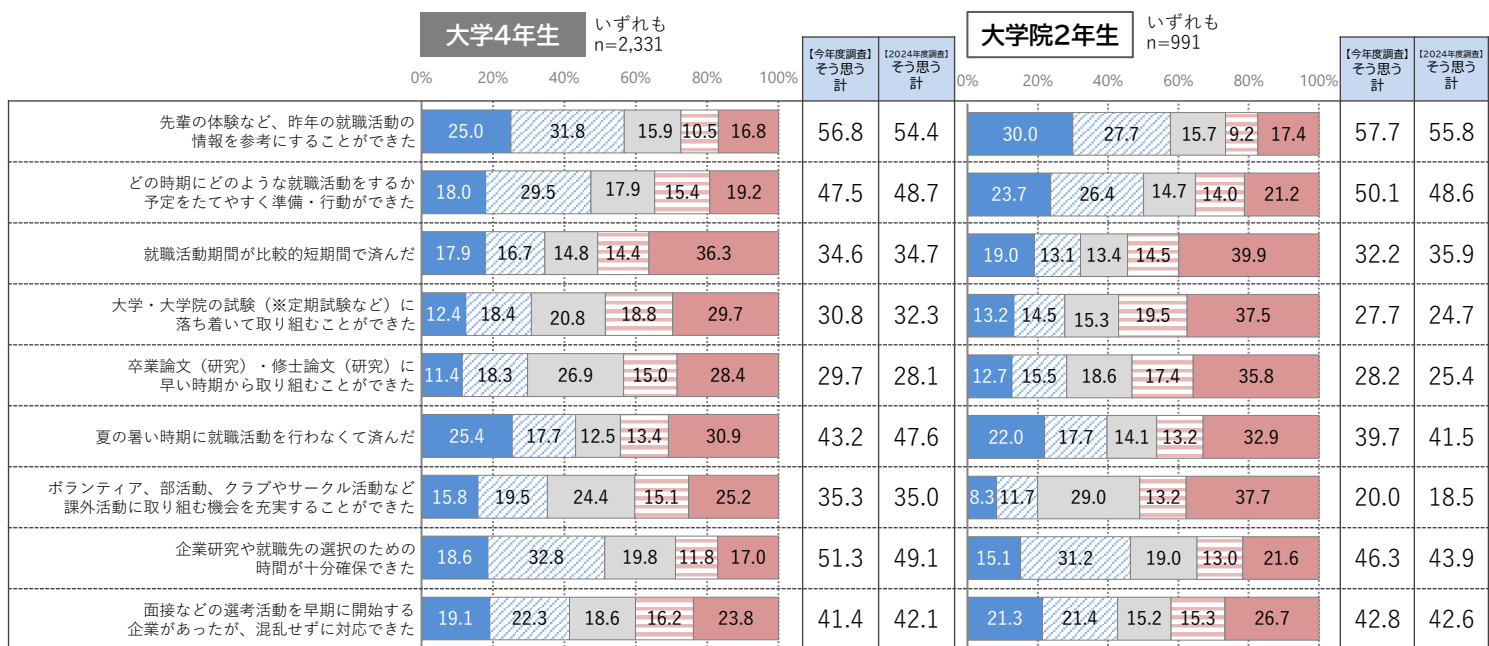
①就職・採用活動の時期(就活日程ルール)についての認識

就職・採用活動の日程が昨年度と同様の時期に設定された(広報活動は3月1日以降、採用選考活動は6月1日以降)ことについて、「先輩の体験など、昨年の就職活動の情報を参考にすることができた」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合が5割を超え最も高く、次いで「企業研究や就職先の選択のための時間が十分確保できた」「どの時期にどのような就職活動をするか予定をたてやすく準備・行動ができた」が約5割、「夏の暑い時期に就職活動を行わなくて済んだ」「面接などの選考活動を早期に開始する企業があったが、混乱せずに対応できた」が続く。

2024年度調査と比較すると、「夏の暑い時期に就職活動を行わなくて済んだ」について、「そう思う」と回答したものの割合が低くなった。



■ そう思う □ どちらかといえばそう思う □ どちらでもない □ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



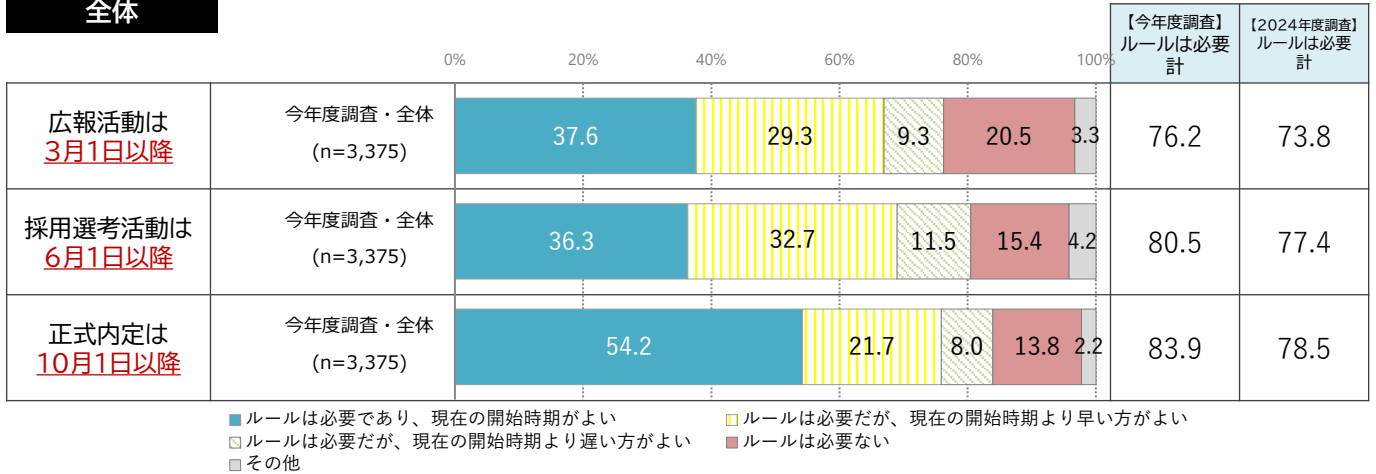
■ そう思う □ どちらかといえばそう思う □ どちらでもない □ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

②就職・採用活動の時期・就活日程ルールに関する考え

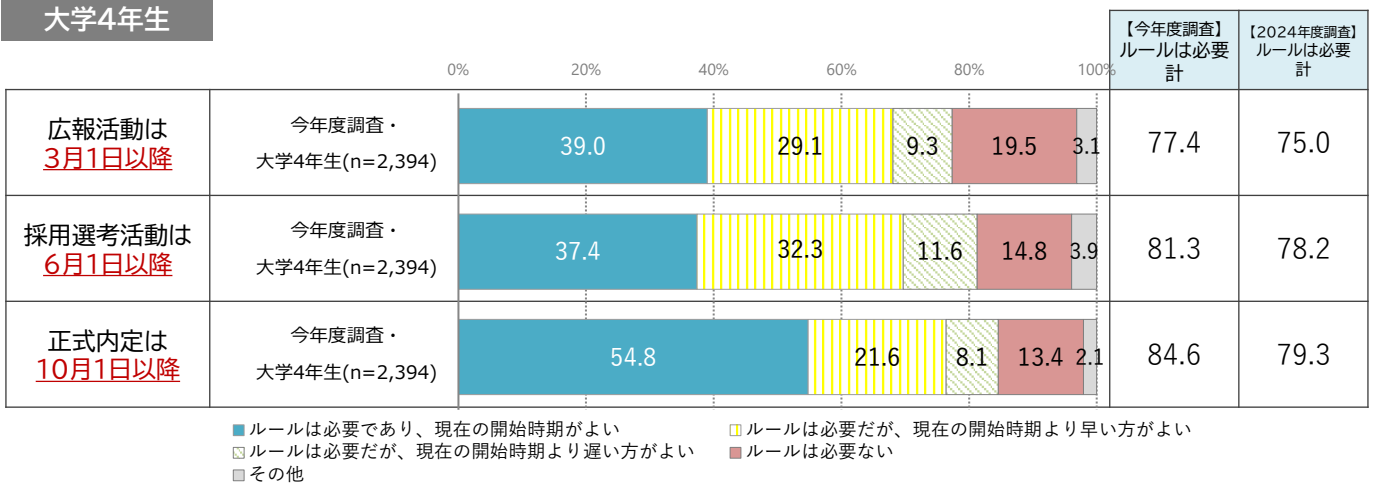
就職・採用活動開始時期や、いわゆる「就活ルール」に関する考えについて、広報活動は3月1日以降、採用選考活動は6月1日以降、正式内定は10月1日以降で行われることに対して、「ルールは必要」※1とする人は、広報活動は3月1日以降、採用選考活動は6月1日以降、正式内定は10月1日以降のすべてで約8割。最も「ルールは必要」が高いのは「正式内定は10月1日以降」で、約5割が「ルールは必要であり、現在の開始時期がよい」とした。

2024年度調査と比べると、どの日程についても「ルールは必要」とする人の割合が高くなっている。

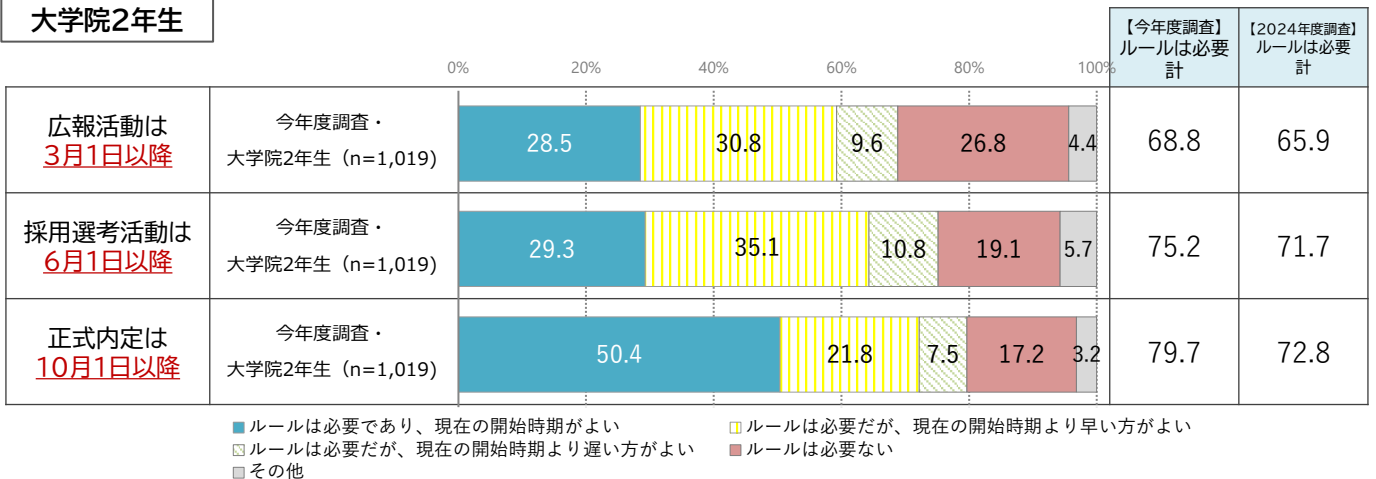
全体



大学4年生



大学院2年生



※1：「ルールは必要」の計は、「ルールは必要であり、現在の開始時期がよい」と、「ルールは必要だが、現在の開始時期より早い方がよい」と、「ルールは必要だが、現在の開始時期より遅い方がよい」を合わせた数値。

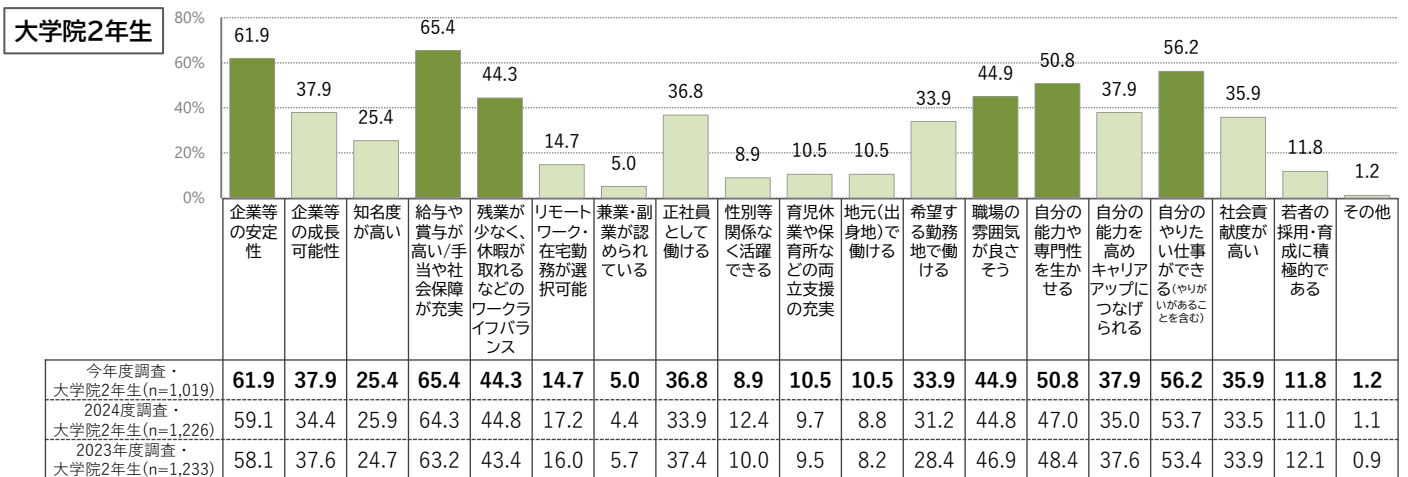
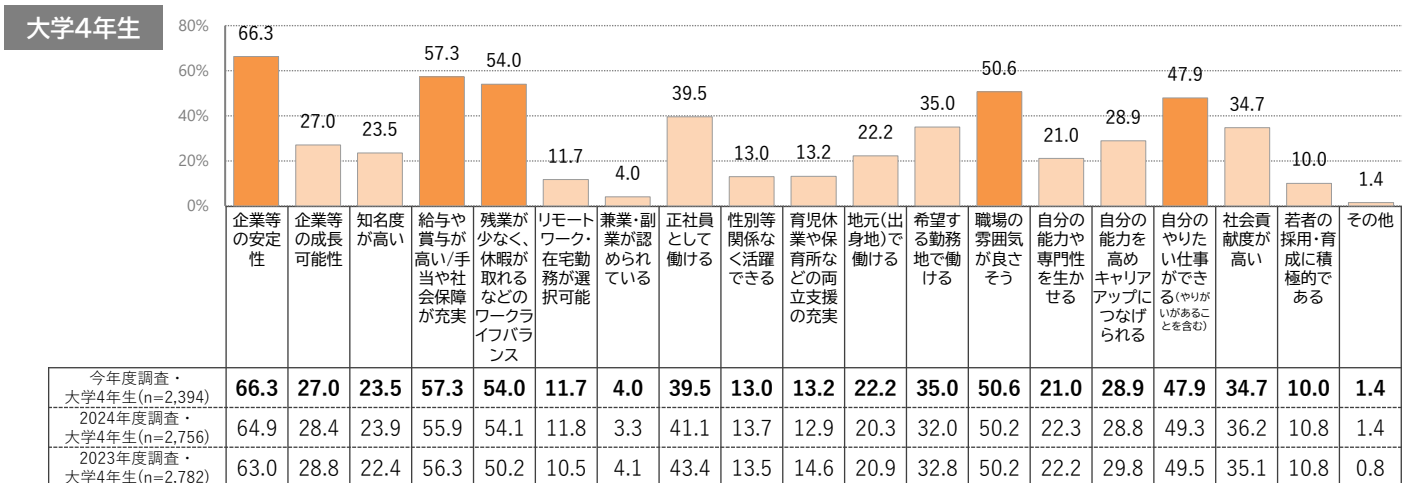
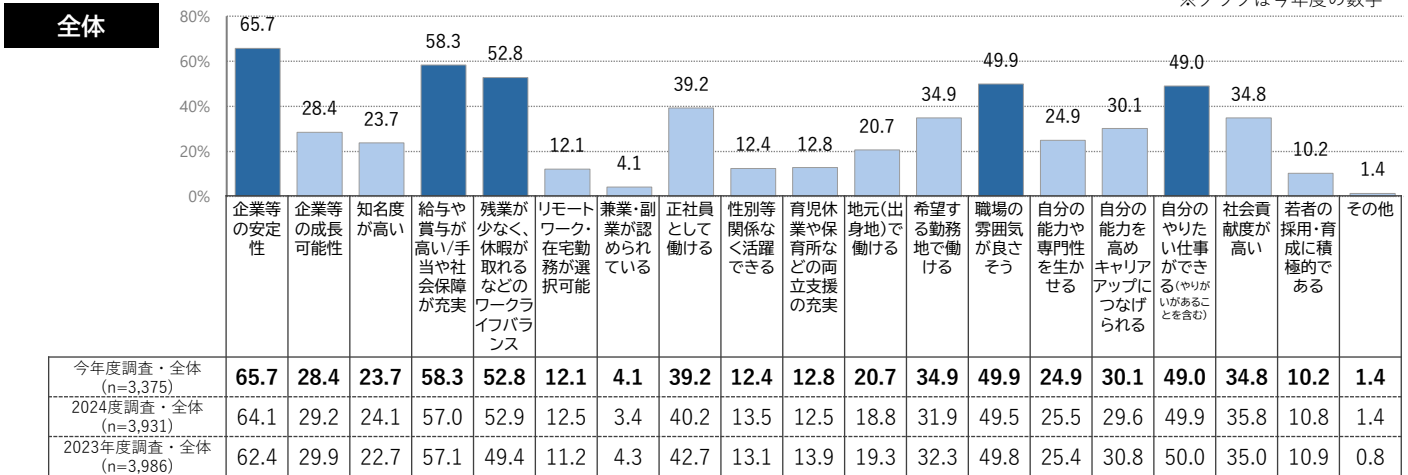
(3) 就職・採用活動についての考え

①就職先を決めるにあたって重視していること

就職先を決めるにあたって重視していることについて※1、「企業等の安定性」との回答が約7割で最も高く、次いで、「給与や賞与が高い/手当や社会保障が充実」「残業が少なく、休暇が取れるなどのワークライフバランス」「職場の雰囲気が良さそう」「自分のやりたい仕事ができる(やりがいがある)」が高くなっている。

過年度調査と比較すると、「希望する勤務地で働ける」が増加傾向にある。

※グラフは今年度の数字

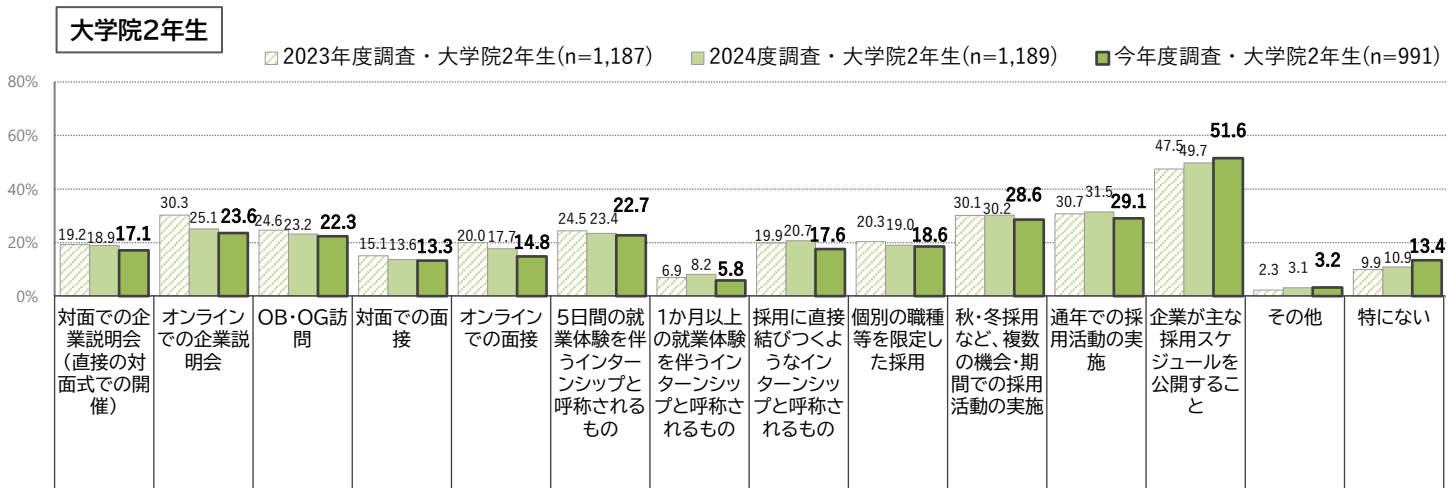
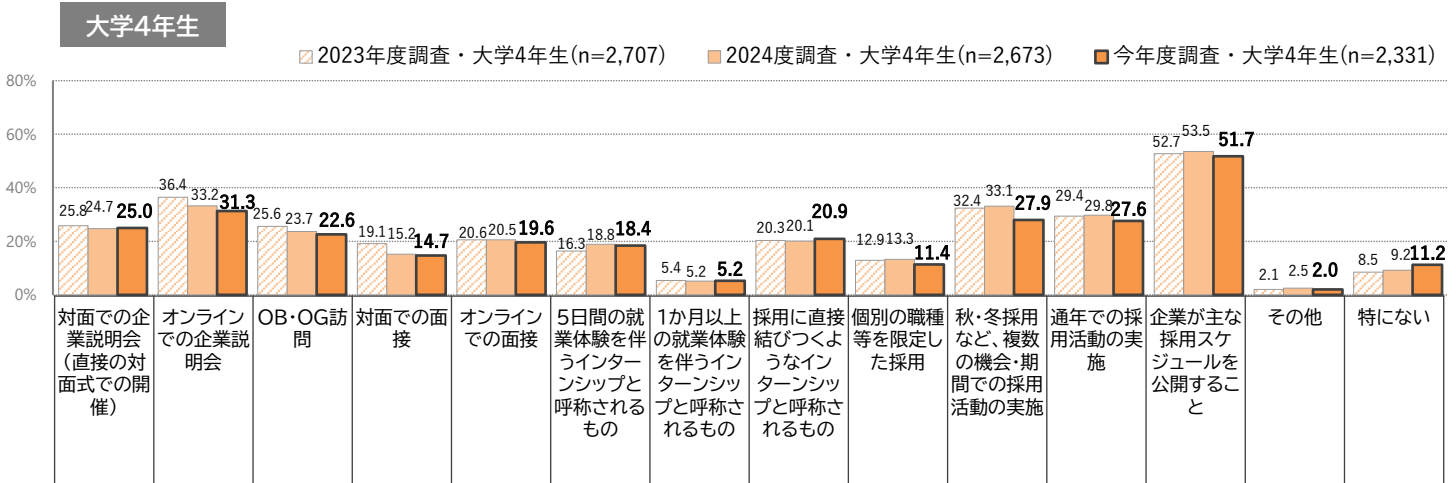
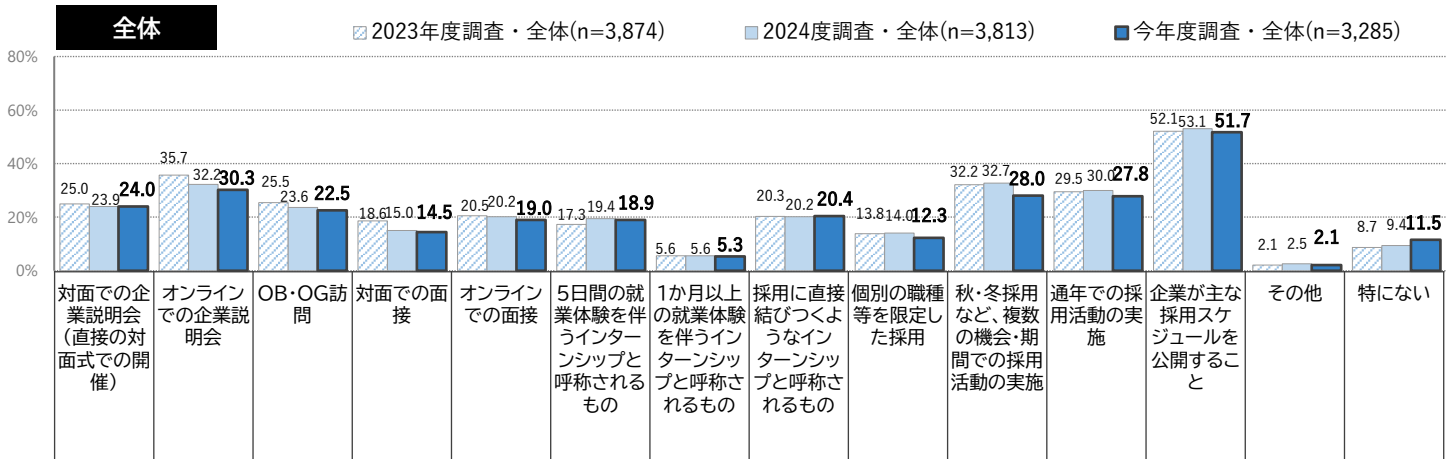


※1: 「就職活動を行った(終えた)」「就職活動を行っている(継続している)」「これから就職活動を行う予定である」と回答した者が集計対象で、「就職活動を行わなかった(行う予定はない)」と回答した者は集計の対象外とした。

②これからの就職・採用活動のあり方として、もっと増やすべきだと考えるもの

現状と比べてこれからの就職・採用活動のあり方として、もっと増やすべきだと考えるものについて、「企業が主な採用スケジュールを公開すること」の回答割合が約5割で最も高く、次いで「オンラインでの企業説明会」「秋採用・冬採用など、複数の機会・期間での採用活動の実施」「通年での採用活動の実施」が約3割となっている。

過年度調査と比較すると、「オンラインでの企業説明会」が減少傾向にある。



第三章 インターンシップと呼称されるものについて

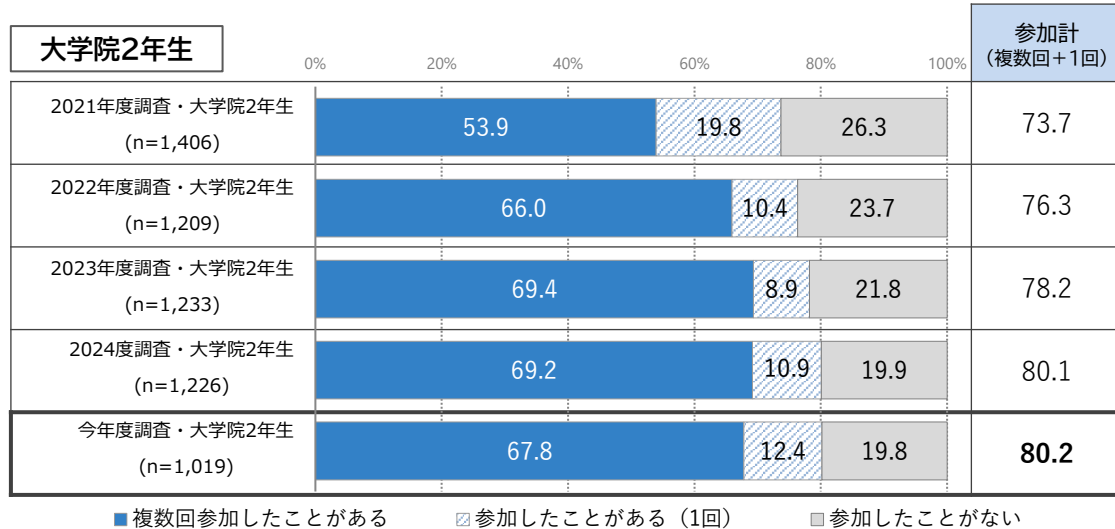
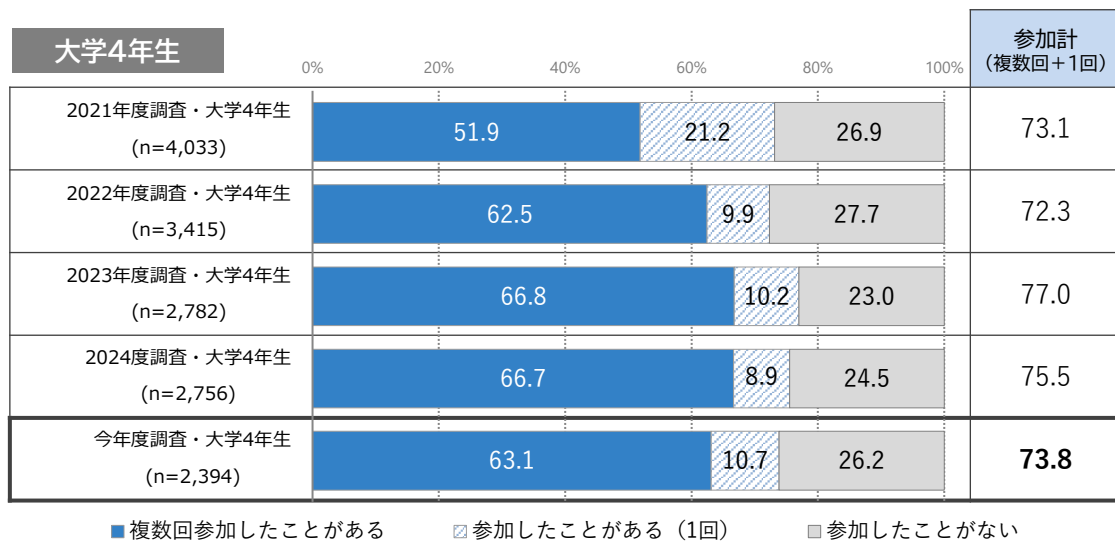
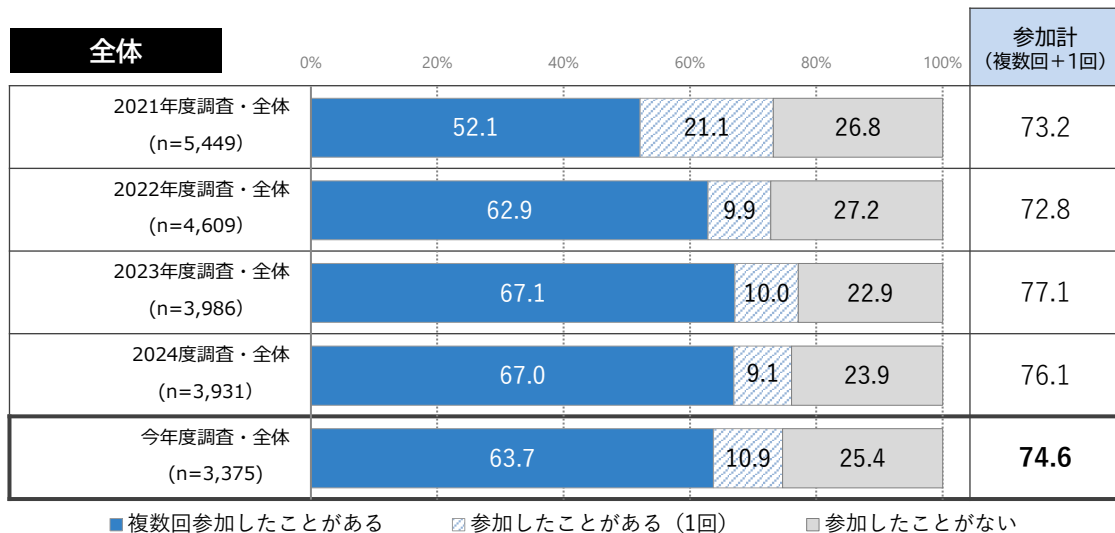
第三章 インターンシップと呼称されるものについて

(1) インターンシップと呼称されるものへの参加状況

①参加の有無

インターンシップと呼称されるもの※1への参加経験について※2、約7割が「参加したことがある」と回答している。なお、約6割が「複数回参加したことがある」と回答している。

2024年度調査と比較すると、「複数回参加したことがある」の割合が、減少傾向にある。



※1：2023年度調査より、定義変更に伴い、インターンシップについて「インターンシップと呼称されるもの」と提示している。
 ※2：2022年度調査より、インターンシップに参加したことがある「日数（半日、1日など）」に対して参加有無を答えてもらい、全ての「日数」に対して「参加していない」と回答した人を「参加したことがない」として処理している。

②参加時期

インターンシップと呼称されるもの※1への参加の時期について※2、大学3年生・大学院1年生の「7月～9月」が約6割と最も高く、次いで「10～12月」が4～5割、「1月～3月」が約4割と高くなっている。

過年度調査と比較すると、大学院1年生の「7月～9月」において、インターンシップと呼称されるものに参加したと回答した割合が高くなっており、年々増加傾向にある。

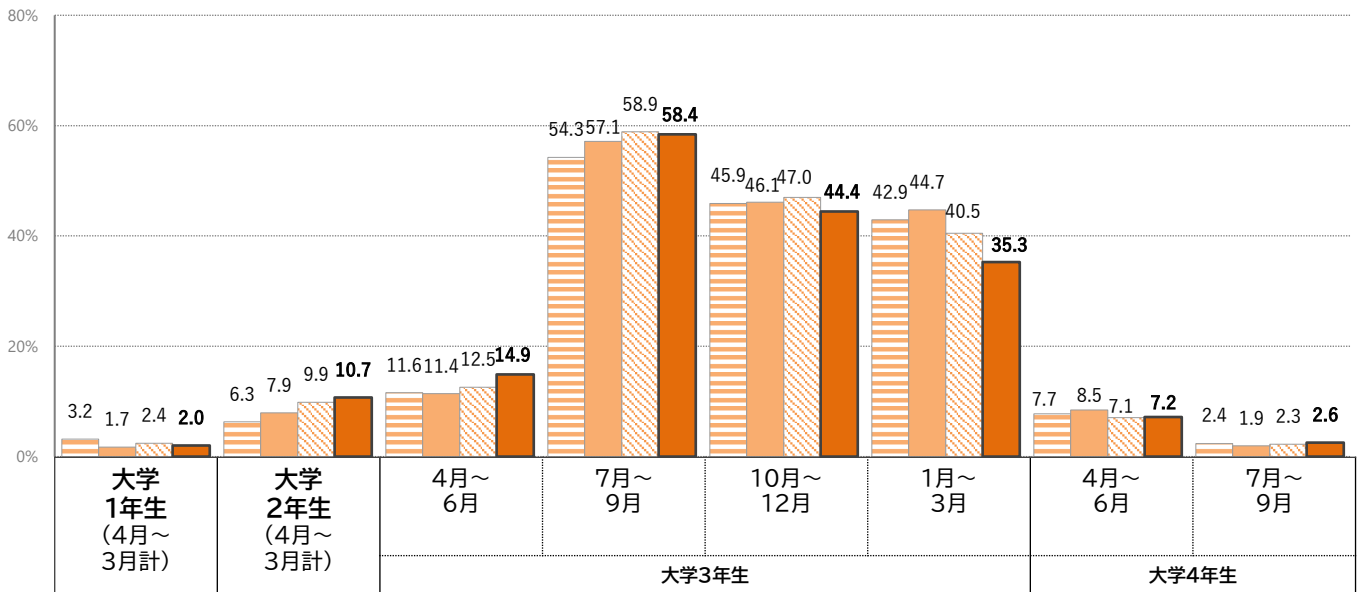
大学4年生

2022年度調査・大学4年生(n=3,415)

2023年度調査・大学4年生(n=2,784)

2024年度調査・大学4年生(n=2,756)

今年度調査・大学4年生(n=2,394)



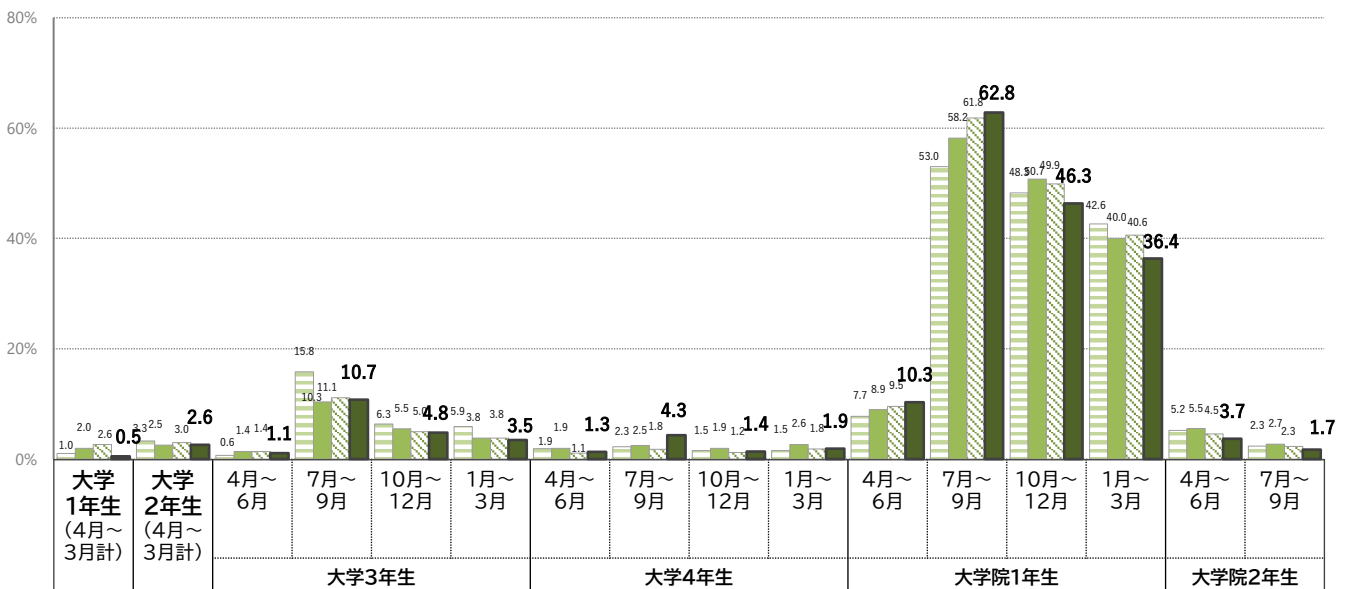
大学院2年生

2022年度調査・大学院2年生(n=1,209)

2023年度調査・大学院2年生(n=1,233)

2024年度調査・大学院2年生(n=1,226)

今年度調査・大学院2年生(n=1,019)



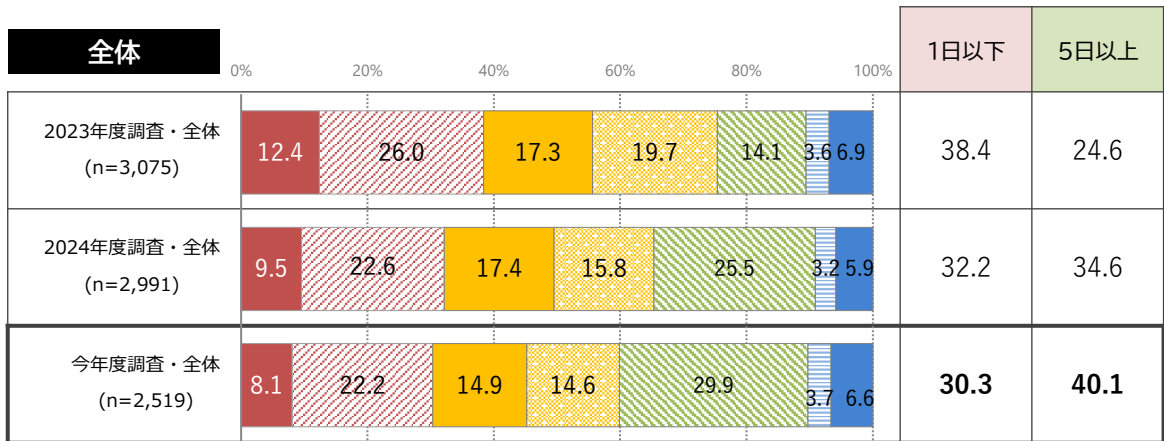
※1：2023年度調査より、定義変更に伴い、インターンシップについて「インターンシップと呼称されるもの」と提示している。

※2：ここでの集計対象（母数）には、「就職活動を行ったもの」を対象としているが、インターンシップと呼称されるものに参加しなかった者も含む。

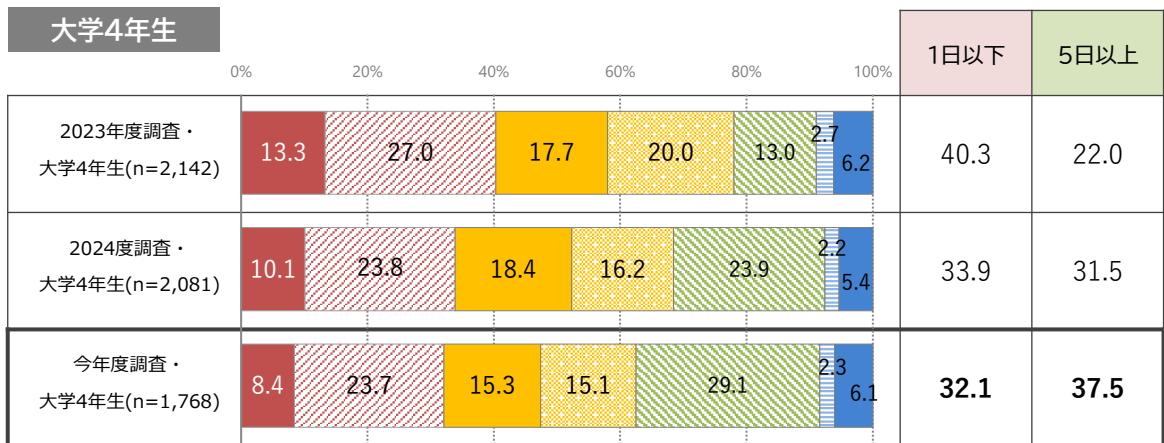
③参加日数(最長の日数)

参加したインターンシップと呼称されるもの※1のうち、最長の日数のものについて集計したところ、「5～10日」の回答割合が約3割で最も高くなっている。なお、「5日以上」の回答は「大学4年生」では約4割、「大学院2年生」では約6割であった。

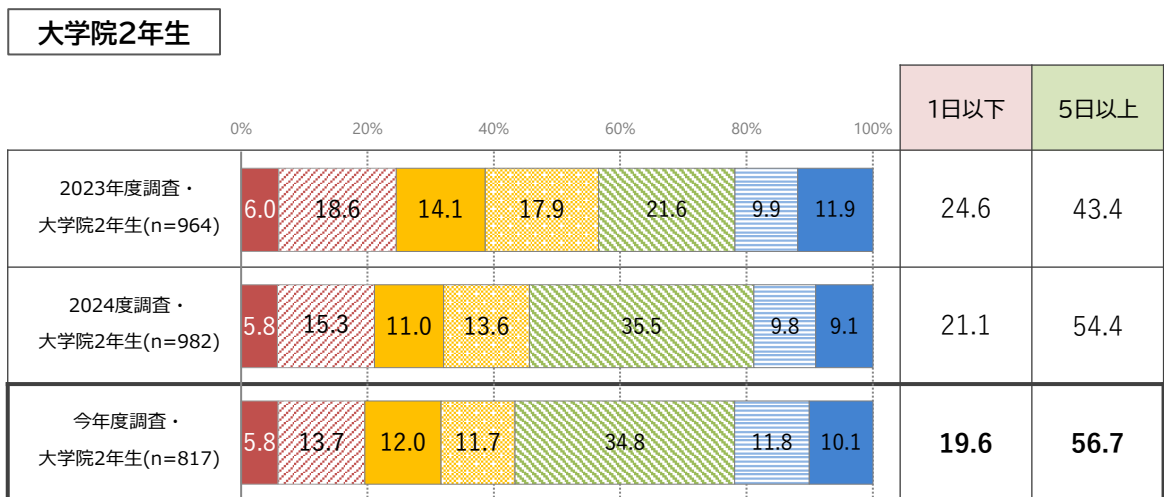
過年度調査と比較すると、今年度調査では「1日以下」を最長とする割合は減少傾向にあり、「5日以上」を最長とする割合が増加している。



■ 半日 ■ 1日 ■ 2日 ■ 3～4日 ■ 5～10日 ■ 11～15日 ■ 16日以上



■ 半日 ■ 1日 ■ 2日 ■ 3～4日 ■ 5～10日 ■ 11～15日 ■ 16日以上

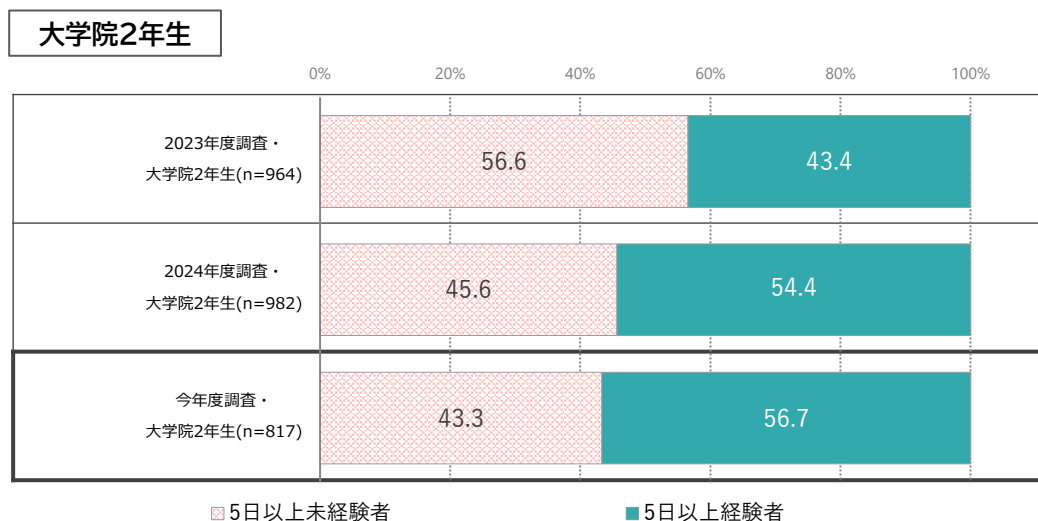
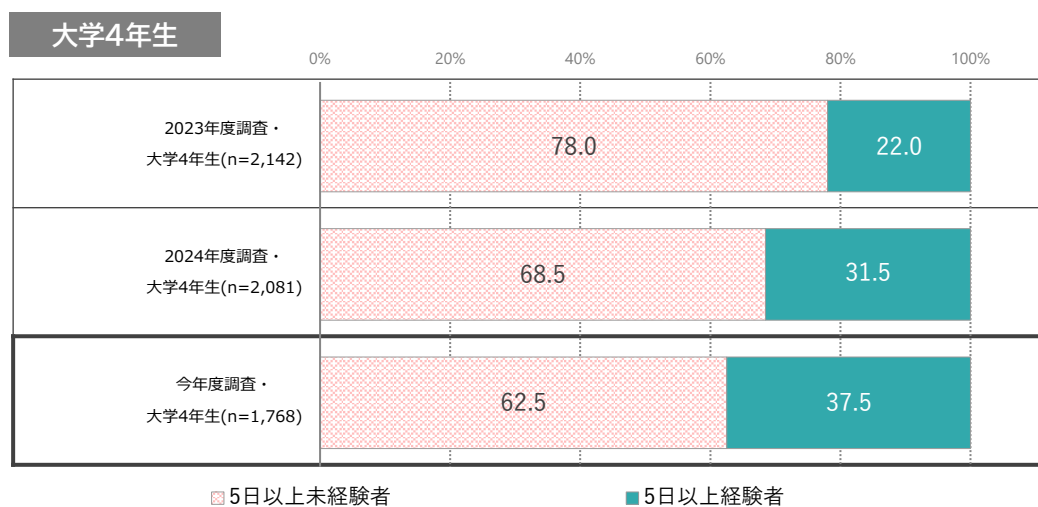
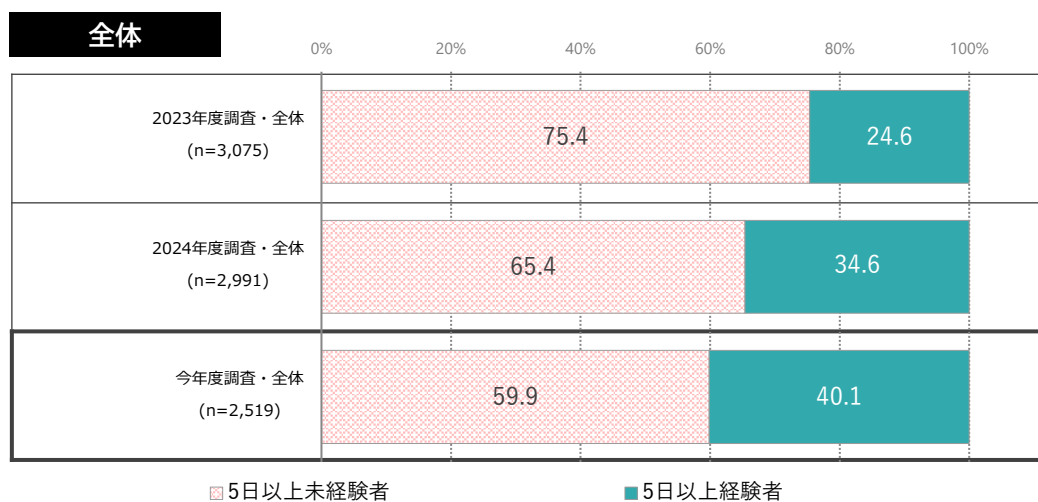


■ 半日 ■ 1日 ■ 2日 ■ 3～4日 ■ 5～10日 ■ 11～15日 ■ 16日以上

※1：2023年度調査より、定義変更に伴い、インターンシップについて「インターンシップと呼称されるもの」と提示している。

④5日以上のインターンシップと呼称されるものの参加状況

すべてのインターンシップと呼称されるもの※1の参加回数のうち、5日以上のインターンシップと呼称されるものの経験者は、全体の約4割であった。この割合は過年度調査と比べて高くなっている。



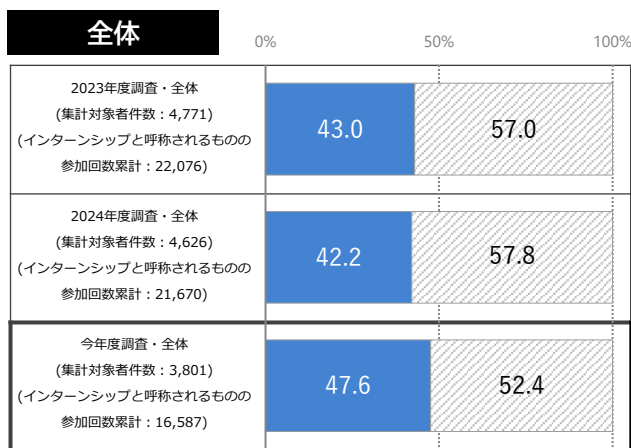
※1：2023年度調査より、定義変更に伴い、インターンシップについて「インターンシップと呼称されるもの」と提示している。

⑤参加したインターンシップと呼称されるものの就業体験等との関係

参加したインターンシップと呼称されるもの※1のなかで、就業体験等※2を伴っていたかどうかを集計すると、「半日間・1日間のインターンシップと呼称されるもの」に関して、就業体験を伴うものだった割合は約5割であり、「5日間以上のインターンシップと呼称されるもの」に関しては、約8割となっている。

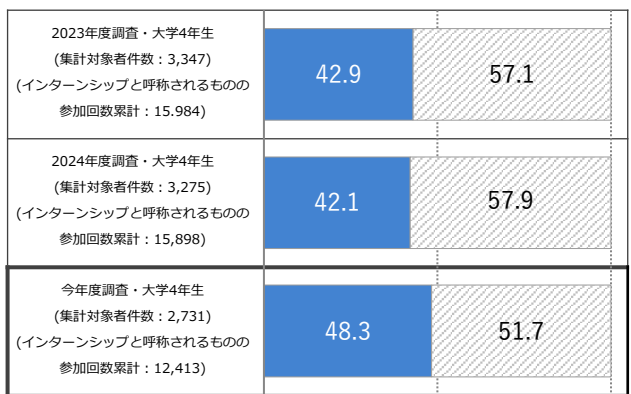
「就業体験等を伴うものだった」の回答割合を2024年度調査と比較すると、「半日間・1日間のインターンシップと呼称されるもの」「5日間以上のインターンシップと呼称されるもの」で増加している。

半日間・1日間のインターンシップと呼称されるもの



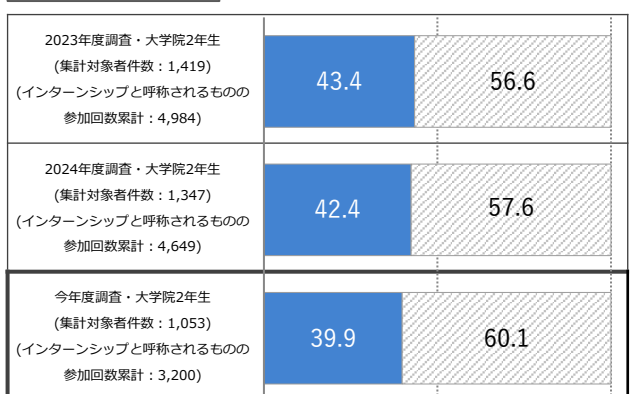
■ 就業体験等を伴うものだった
▨ 就業体験等を伴うものではなかった

大学4年生



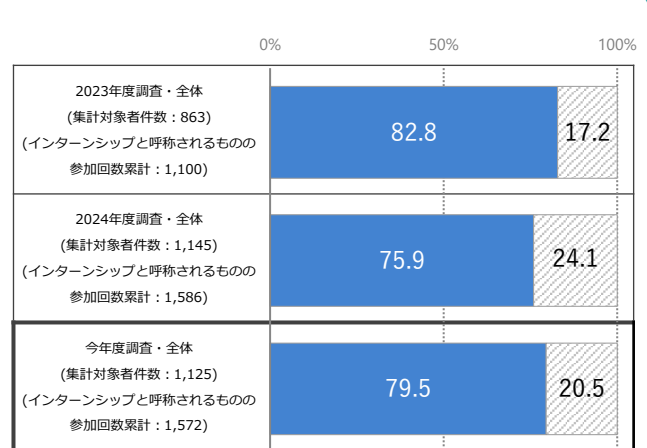
■ 就業体験等を伴うものだった
▨ 就業体験等を伴うものではなかった

大学院2年生

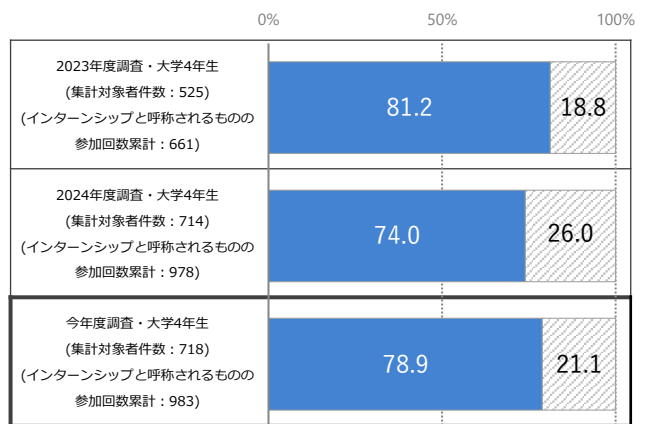


■ 就業体験等を伴うものだった
▨ 就業体験等を伴うものではなかった

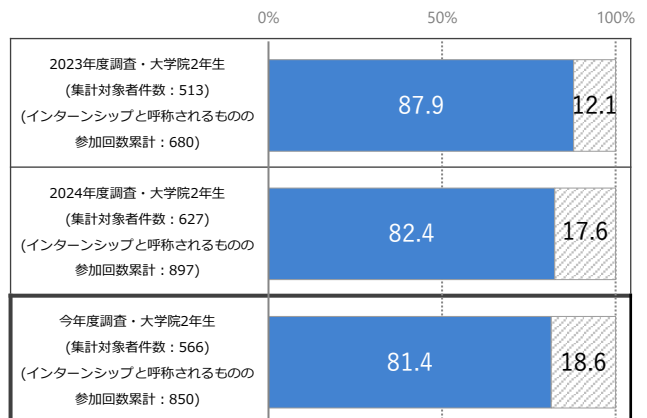
5日間以上のインターンシップと呼称されるもの



■ 就業体験等を伴うものだった
▨ 就業体験等を伴うものではなかった



■ 就業体験等を伴うものだった
▨ 就業体験等を伴うものではなかった



■ 就業体験等を伴うものだった
▨ 就業体験等を伴うものではなかった

※1: 2023年度調査より、定義変更に伴い、インターンシップについて「インターンシップと呼称されるもの」と提示している。

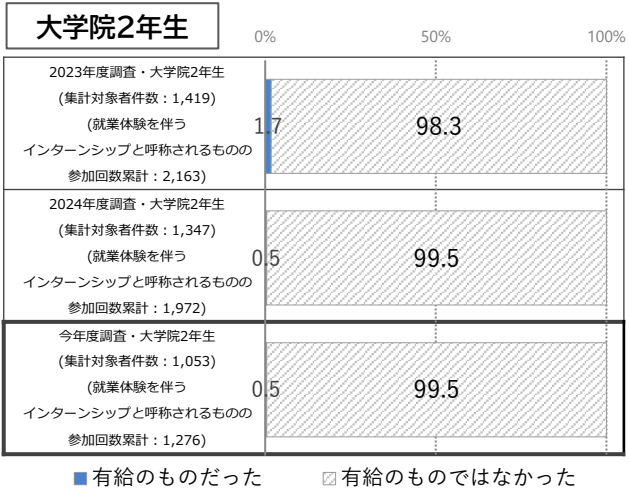
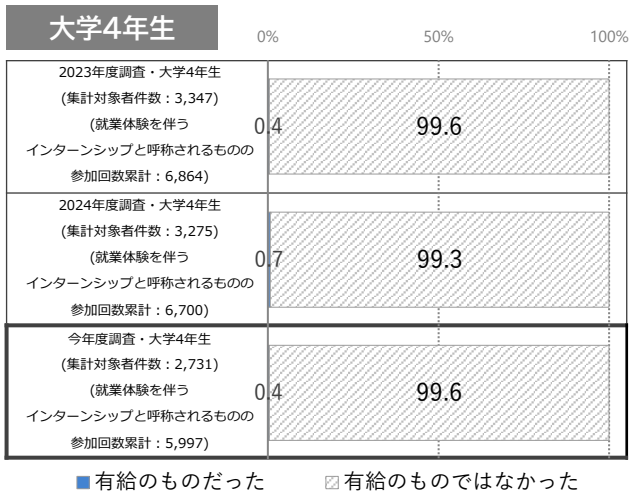
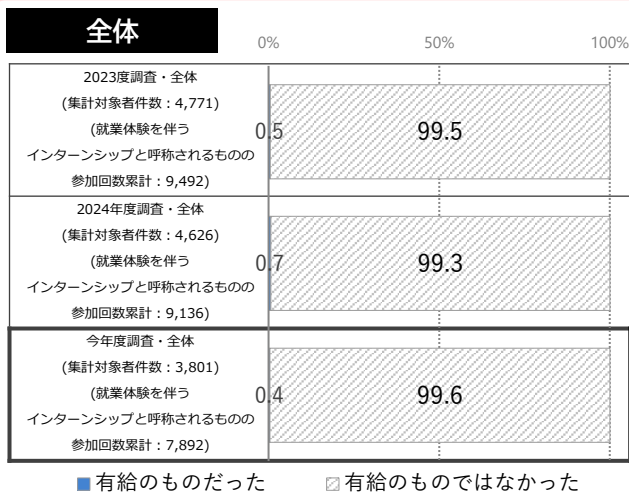
※2: 就業体験とは、企業の業務内容の説明や職場見学のみものは含まない旨、回答者に案内した上で調査を行った。

⑥就業体験を伴ったインターンシップと呼称されるものが有給であったかどうか

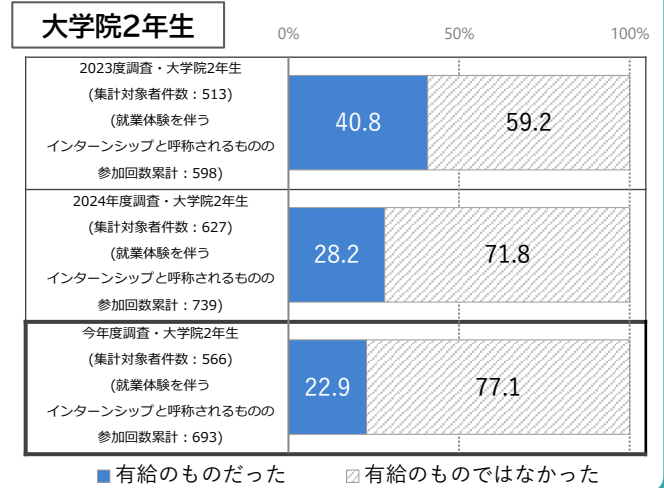
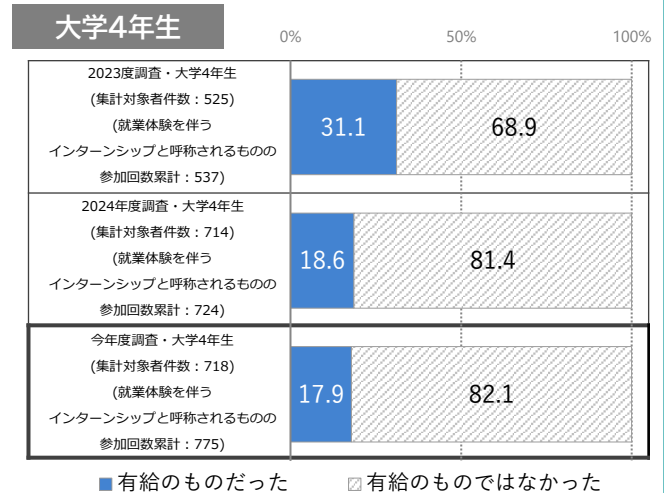
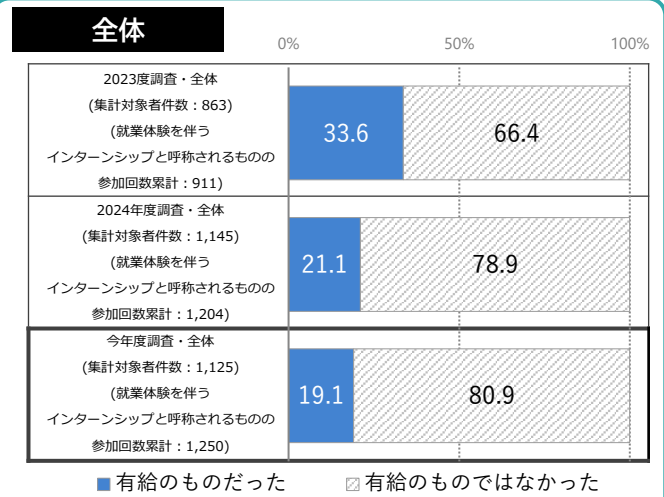
就業体験を伴ったインターンシップと呼称されるもの※1のなかで、有給であったものを集計すると※2、「半日間・1日間のインターンシップと呼称されるもの」に関して、有給のものだった割合は0.4%であり、「5日間以上のインターンシップと呼称されるもの」に関しては、19%となっている。

過年度調査と比較すると、「5日以上」で有給のものだった割合が減少傾向にある。

半日間・1日間のインターンシップと呼称されるもの



5日間以上のインターンシップと呼称されるもの



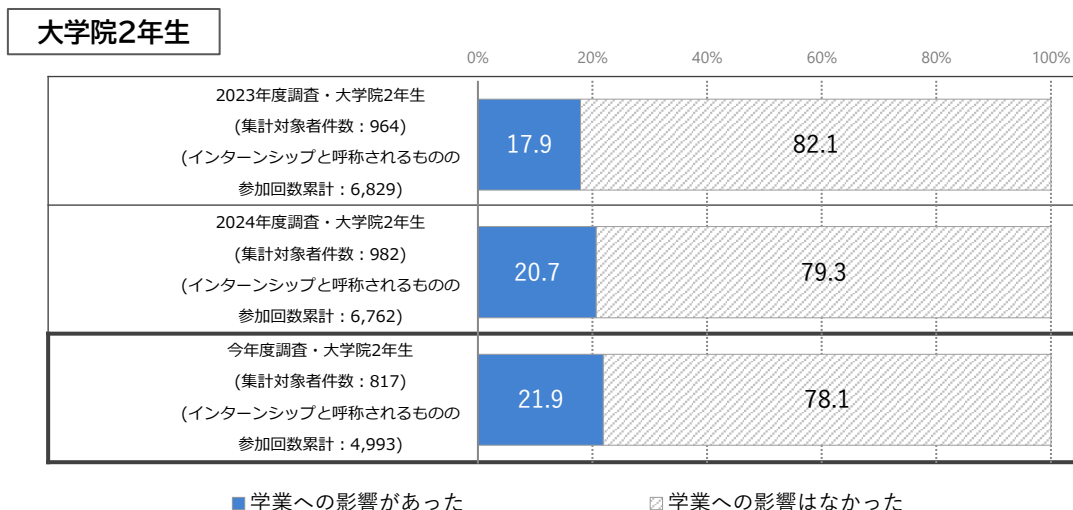
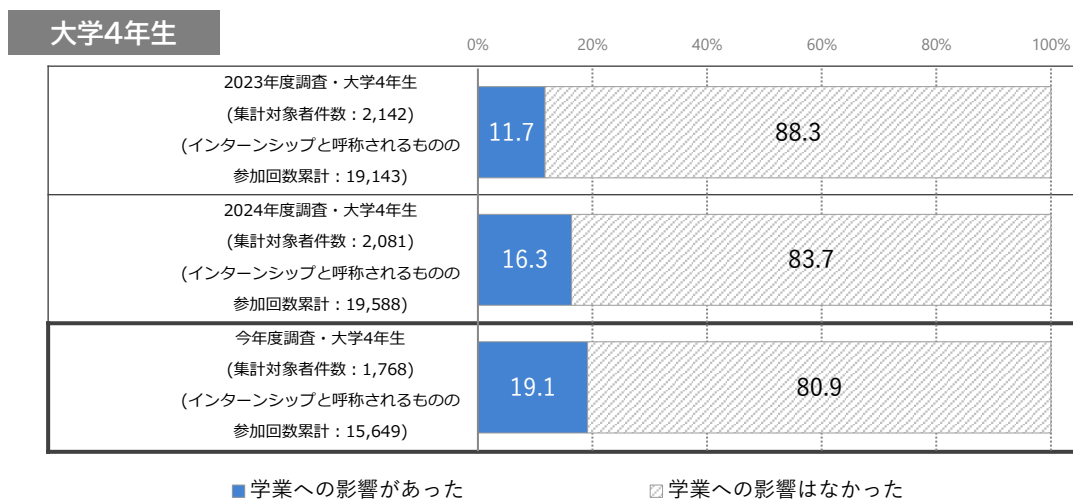
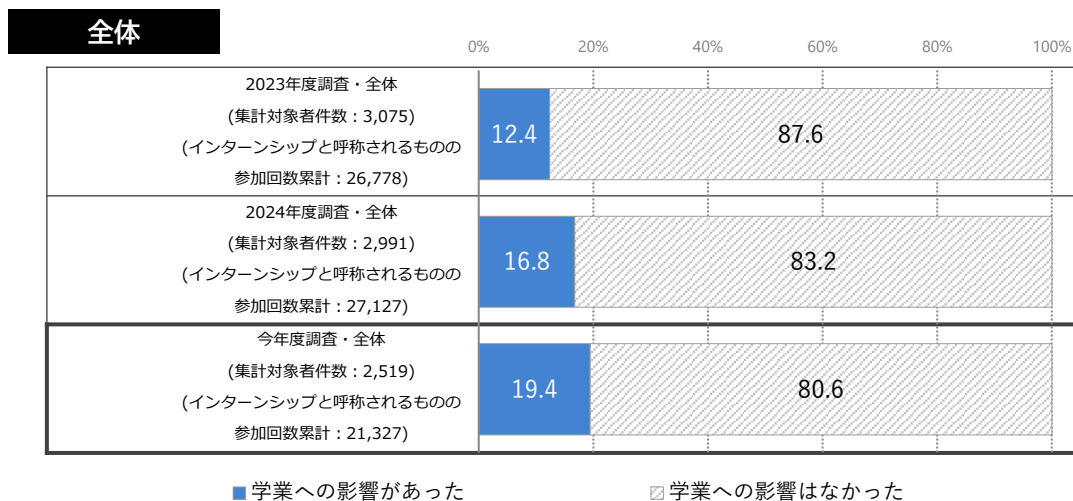
※1：2023年度調査より、定義変更に伴い、インターンシップについて「インターンシップと呼称されるもの」と提示している。

※2：有給のものとは、企業の業務内容の説明や職場見学のみのもは含まない旨、回答者に案内した上で調査を行った。その上で、就業体験を伴ったインターンシップと呼称されるものうち、有給のものが何件あったかで割合を算出している。

⑦参加したインターンシップと呼称されるものの学業(授業)への影響

参加したインターンシップと呼称されるもの※1のなかで、学業への影響※2があったかどうかを集計すると、約2割が「学業への影響があった」とした。

過年度調査と比較すると、「学業への影響があった」とする回答割合は増加傾向にある。

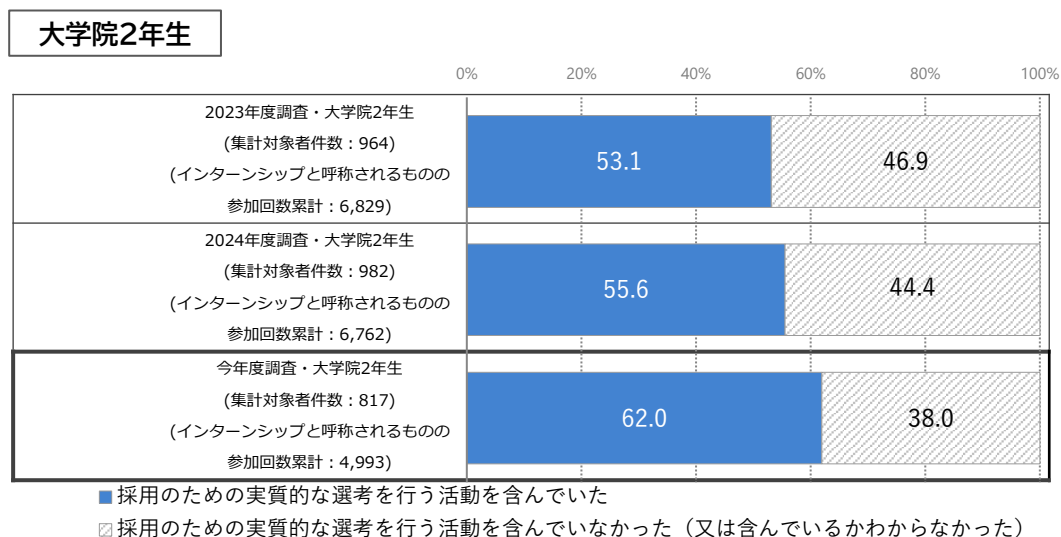
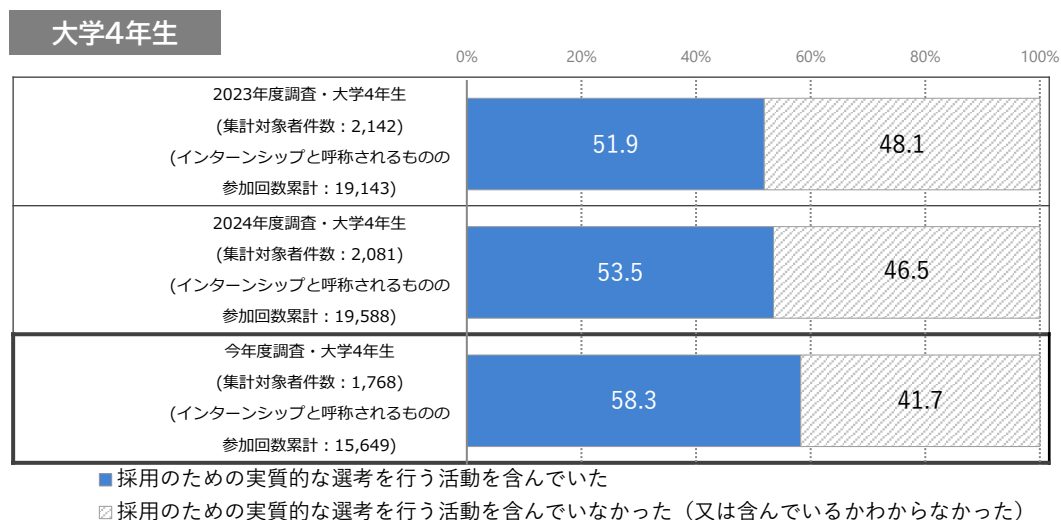
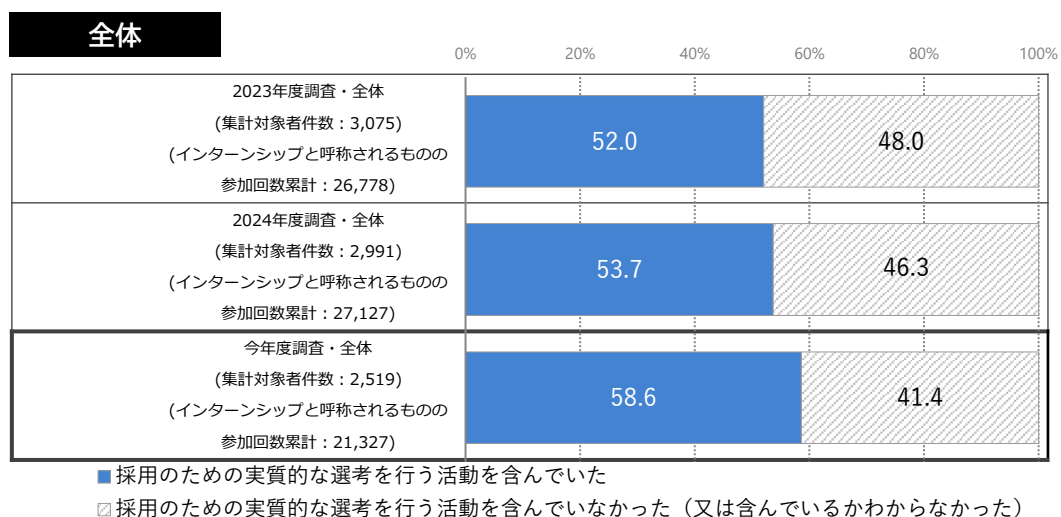


※1：2023年度調査より、定義変更に伴い、インターンシップについて「インターンシップと呼称されるもの」と提示している。

※2：「学業への影響」とは、授業の欠席を伴ったものなど、具体的に影響があったものについて考えていただくよう、回答者に案内した上で調査を行った。

⑧インターンシップと呼称されるものにおける実質的な選考・採用実施の有無

参加したインターンシップと呼称されるもの※1のなかで、採用のための実質的な選考を行う活動※2を含んでいたかどうかを集計すると約6割が実質的な選考を行う活動を含むものであった。
過年度調査と比較すると、実質的な選考を行う活動は増加傾向にある。

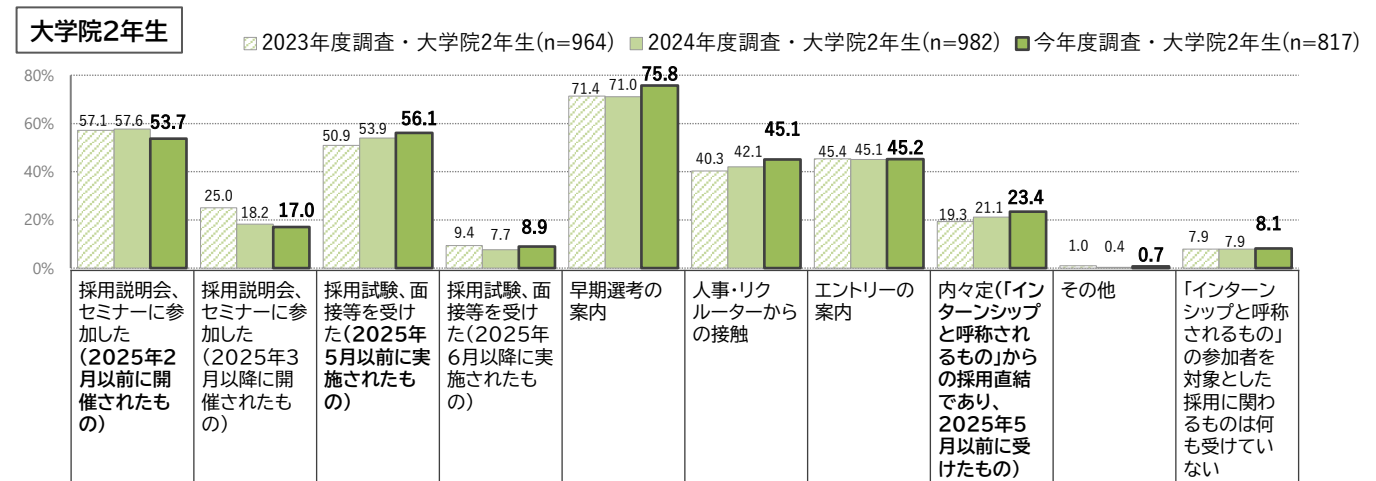
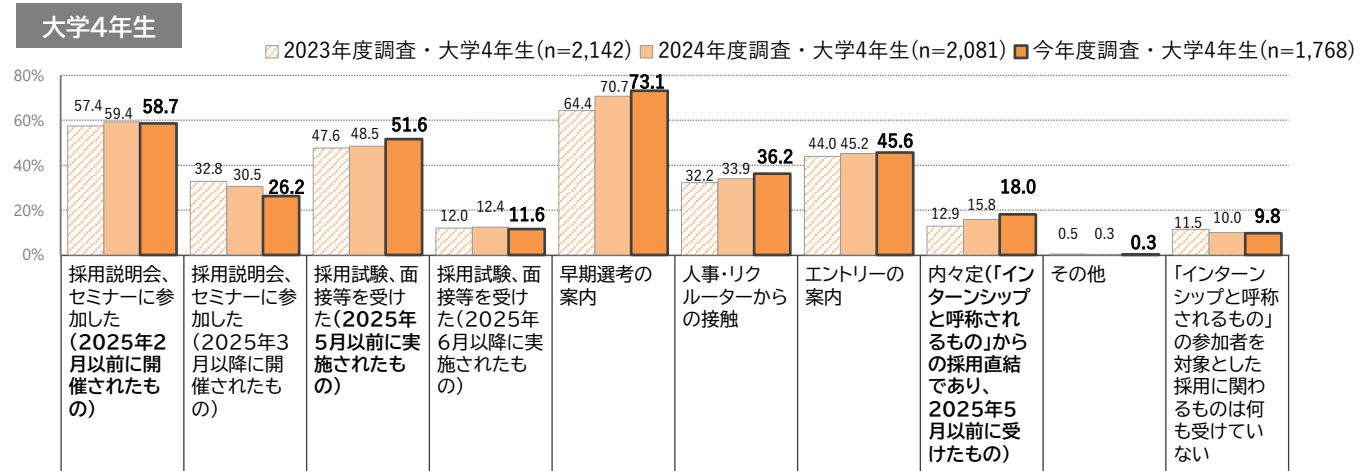
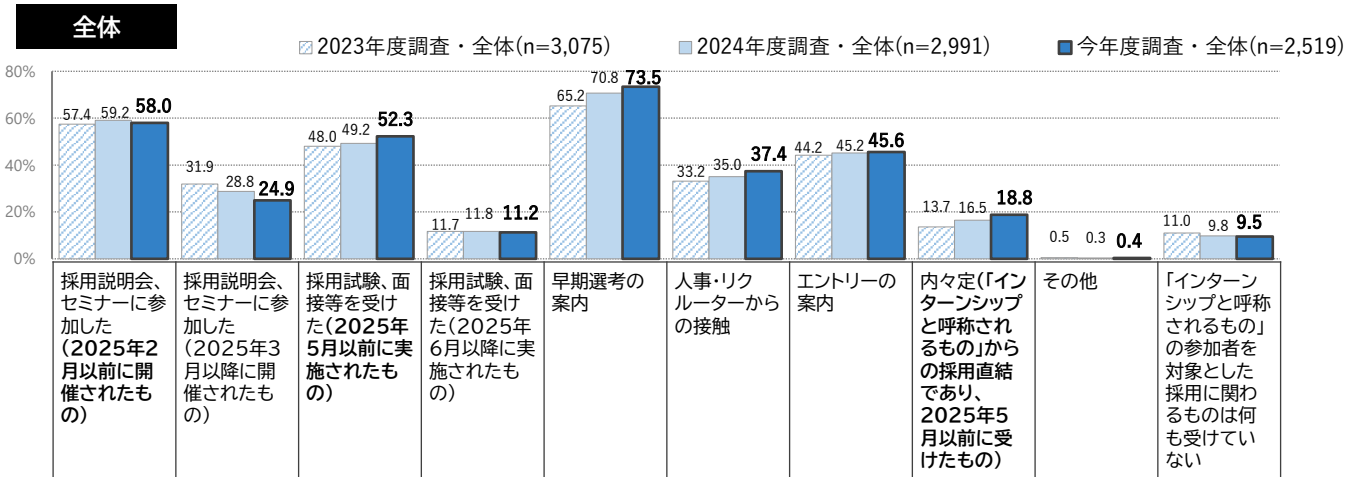


※1: 2023年度調査より、定義変更に伴い、インターンシップについて「インターンシップと呼称されるもの」と提示している。
 ※2: 「採用のための実質的な選考を行う活動」とは、インターンシップと呼称されるものの参加が採用面接等を受けるための必須条件になっていたり、インターンシップと呼称されるものの結果が内々定の獲得に影響したりすることとして考えていただくよう、回答者に案内した上で調査を行った。

⑨インターンシップと呼称されるもの参加後に、参加者を対象としたアプローチを受けたか

インターンシップと呼称されるもの※1参加後に、参加者を対象とした採用説明会・採用面接等のアプローチを受けたかどうかを集計すると、「早期選考の案内」が約7割、「採用説明会・セミナーに参加した(2025年2月以前に開催されたもの)」が約6割、「採用試験、面接等を受けた(2025年5月以前に実施されたもの)」が約5割となった。

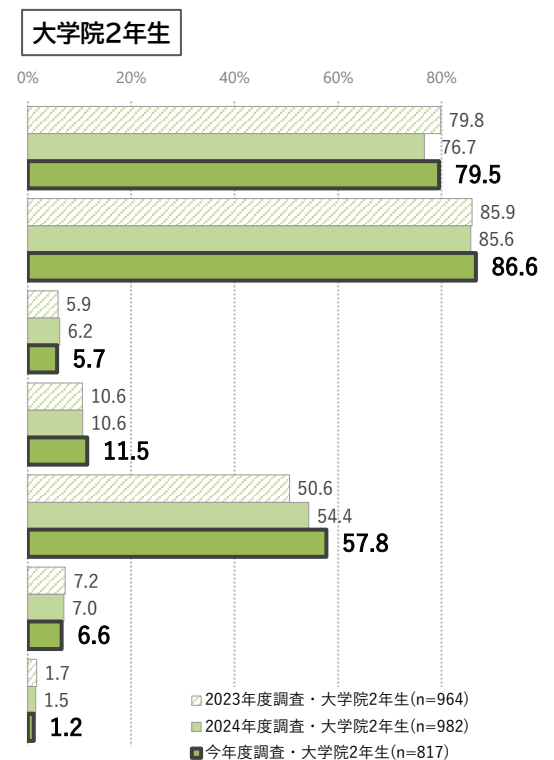
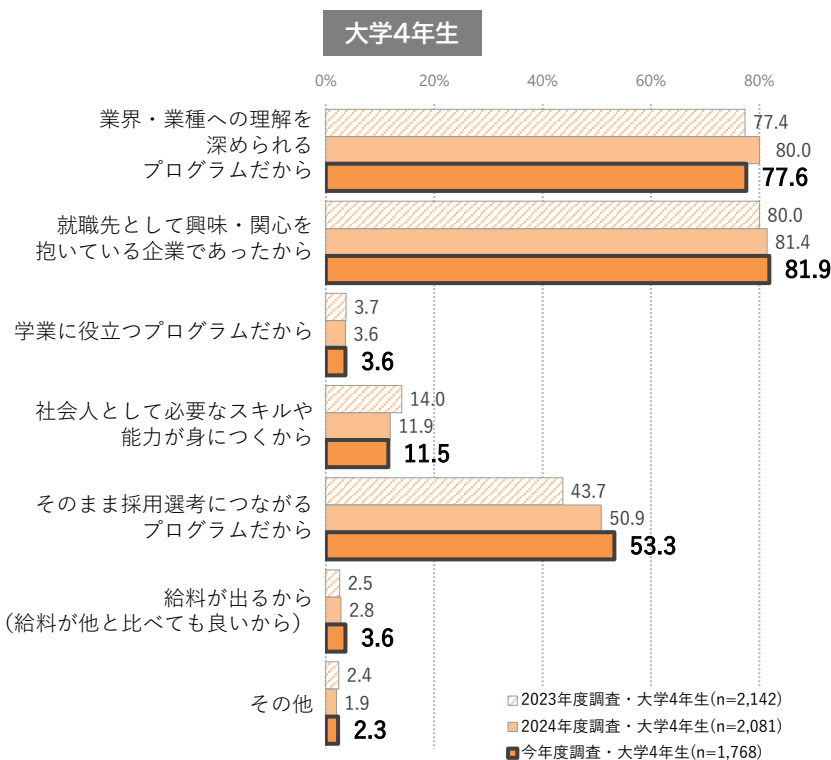
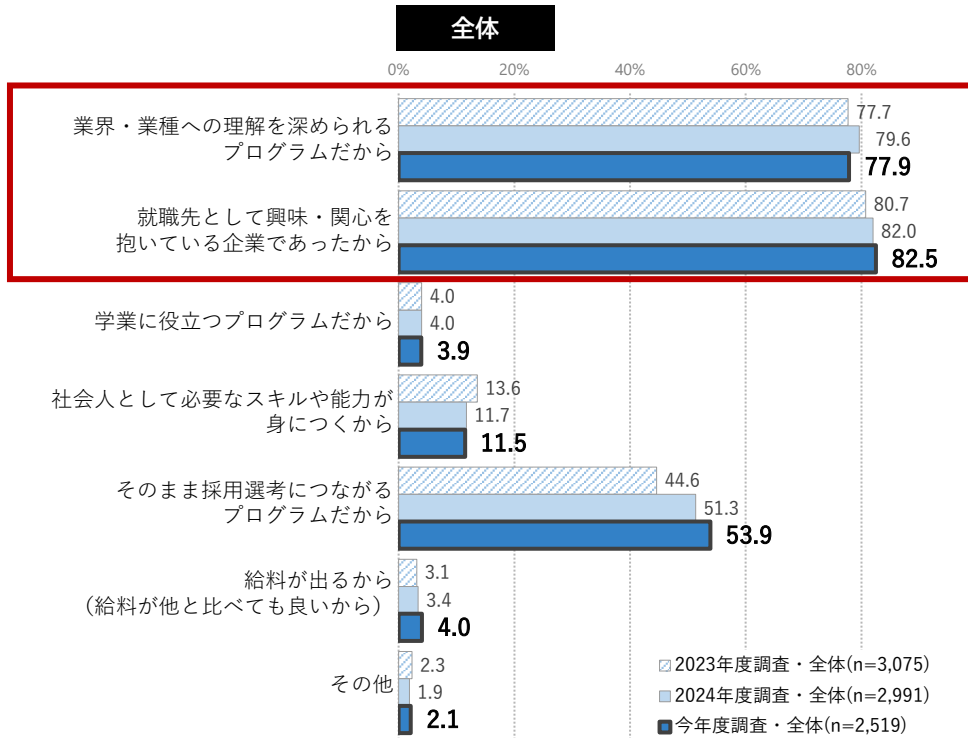
過年度調査と比較すると、多くの項目が増加傾向にある。



※1：2023年度調査より、定義変更に伴い、インターンシップについて「インターンシップと呼称されるもの」と提示している。

⑩インターンシップと呼称されるもの参加基準・選択した理由

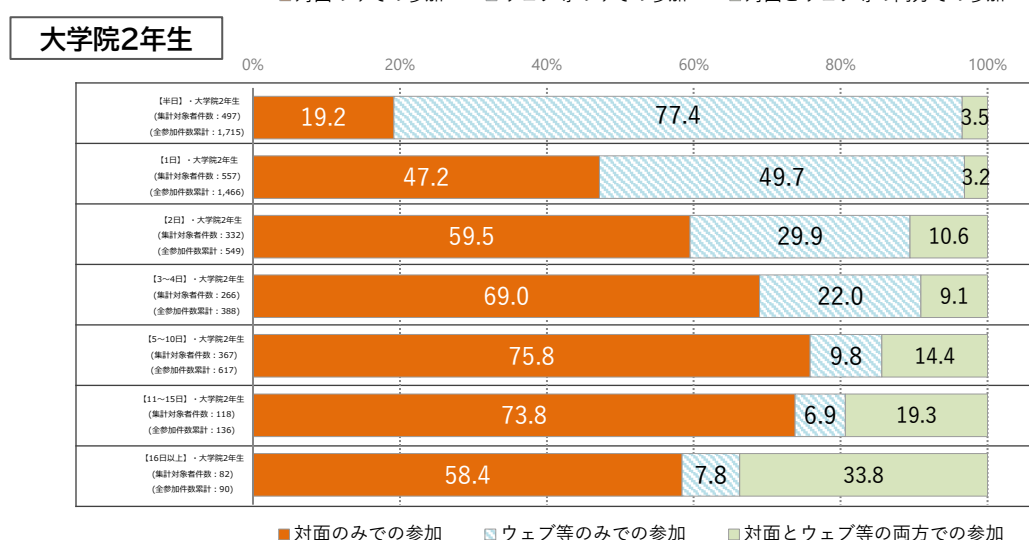
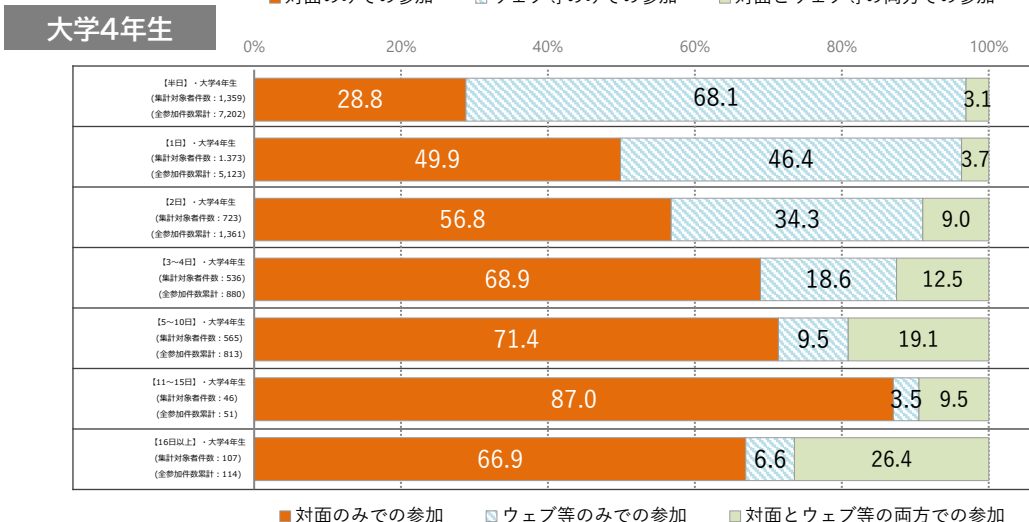
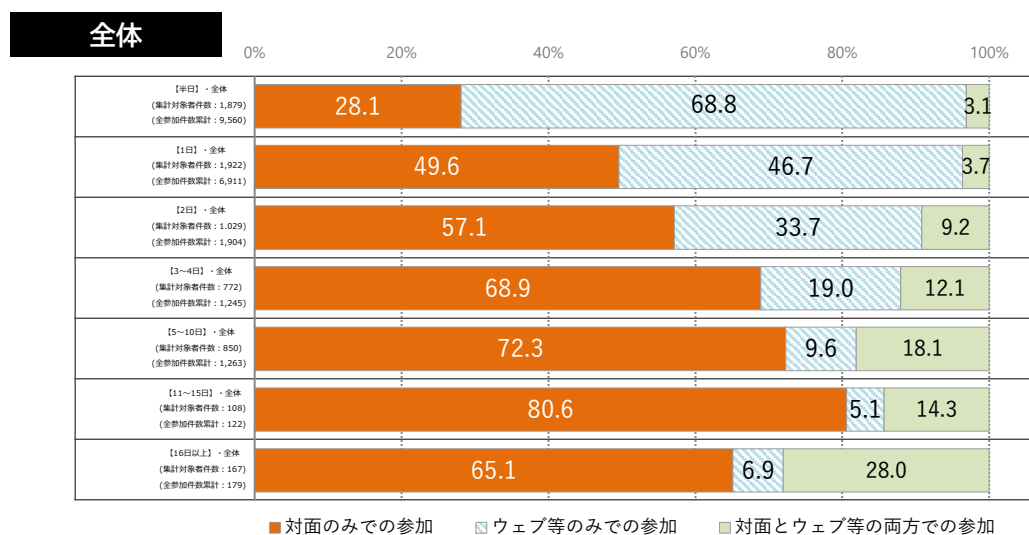
どのような基準でインターンシップと呼称されるもの※1を選択したかについて、「就職先として興味・関心を抱いている企業であったから」「業界・業種への理解を深められるプログラムだから」が約8割、「そのまま採用選考につながるプログラムだから」の回答割合も約5割と比較的高い。「そのまま採用選考につながるプログラムだから」は過年度調査と比較して増加傾向にある。



※1：2023年度調査より、定義変更に伴い、インターンシップについて「インターンシップと呼称されるもの」と提示している。

⑩インターンシップと呼称されるものへの参加方法について

インターンシップと呼称されるもの※1への参加方法について、参加日数別にすべての企業数を累計※2し、実施方法別の企業数が占める割合を集計したところ、全体では「半日」から「11～15日」まで、参加日数の長さと同比例して「対面のみでの参加」の割合が高くなっている。



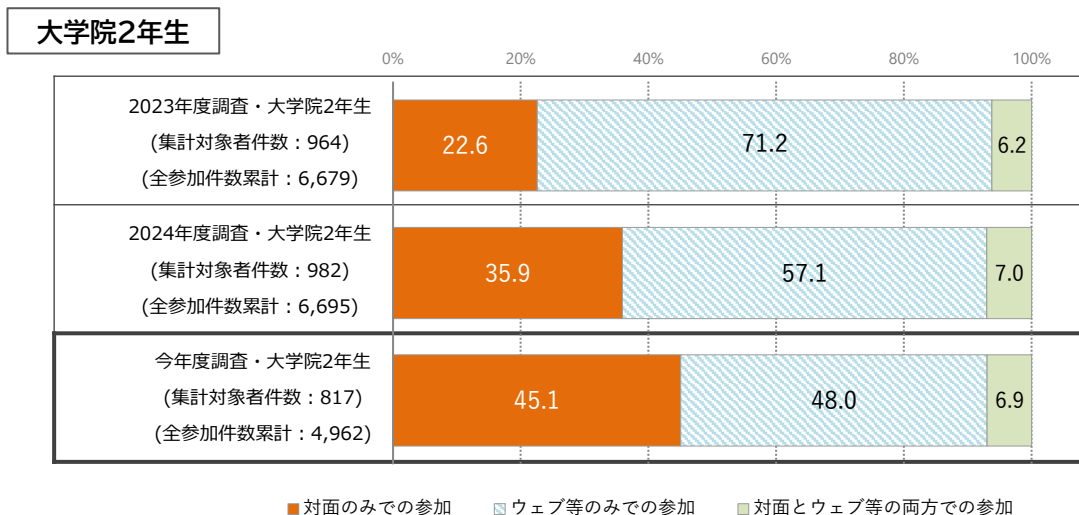
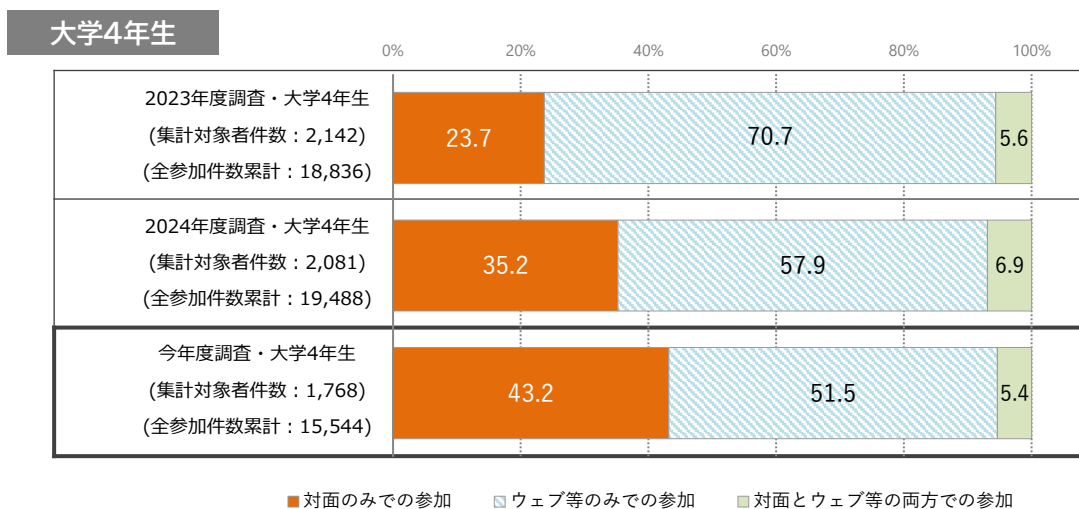
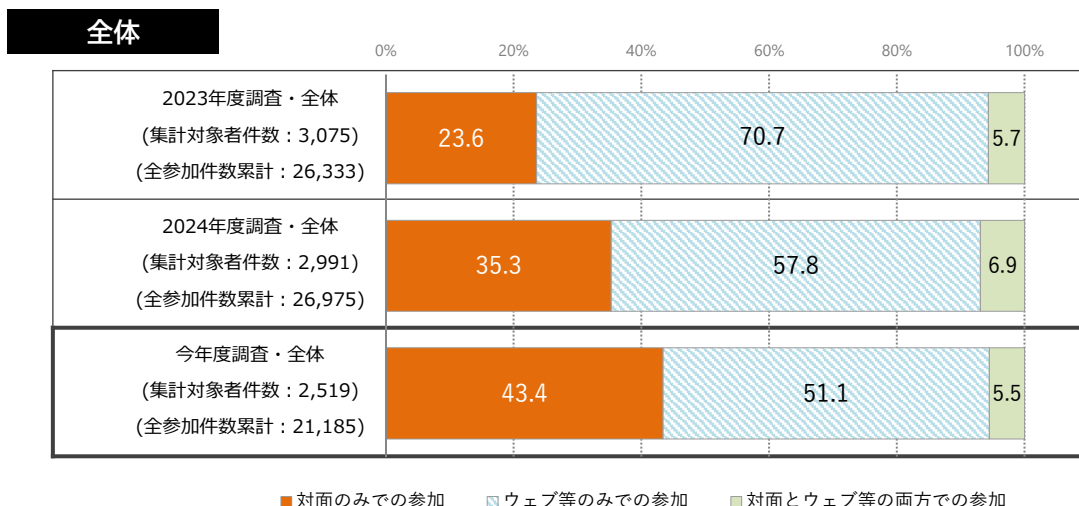
※1：2023年度調査より、定義変更に伴い、インターンシップについて「インターンシップと呼称されるもの」と提示している。

※2：調査においては、合計で何件のインターンシップと呼称されるものに参加したかを尋ねる設問と、対面での実施、ウェブ等での実施の方法別に尋ねる設問を設けているが、前者の「参加件数」と後者の「方法別で尋ねた参加件数」の合計は必ずしも一致せずとも回答が可能ないように設定したことから、前者ではなく後者の合計を用いて累計の値とした。

⑪ インターンシップと呼称されるものへの参加方法について

インターンシップと呼称されるもの※1への参加方法すべての企業数を累計※2し、実施方法別の企業数が占める割合を集計したところ、「ウェブ等のみでの参加」が最も多く約5割となっている。

過年度調査と比較すると、「対面のみでの参加」が増加傾向にある。



※1：2023年度調査より、定義変更に伴い、インターンシップについて「インターンシップと呼称されるもの」と提示している。

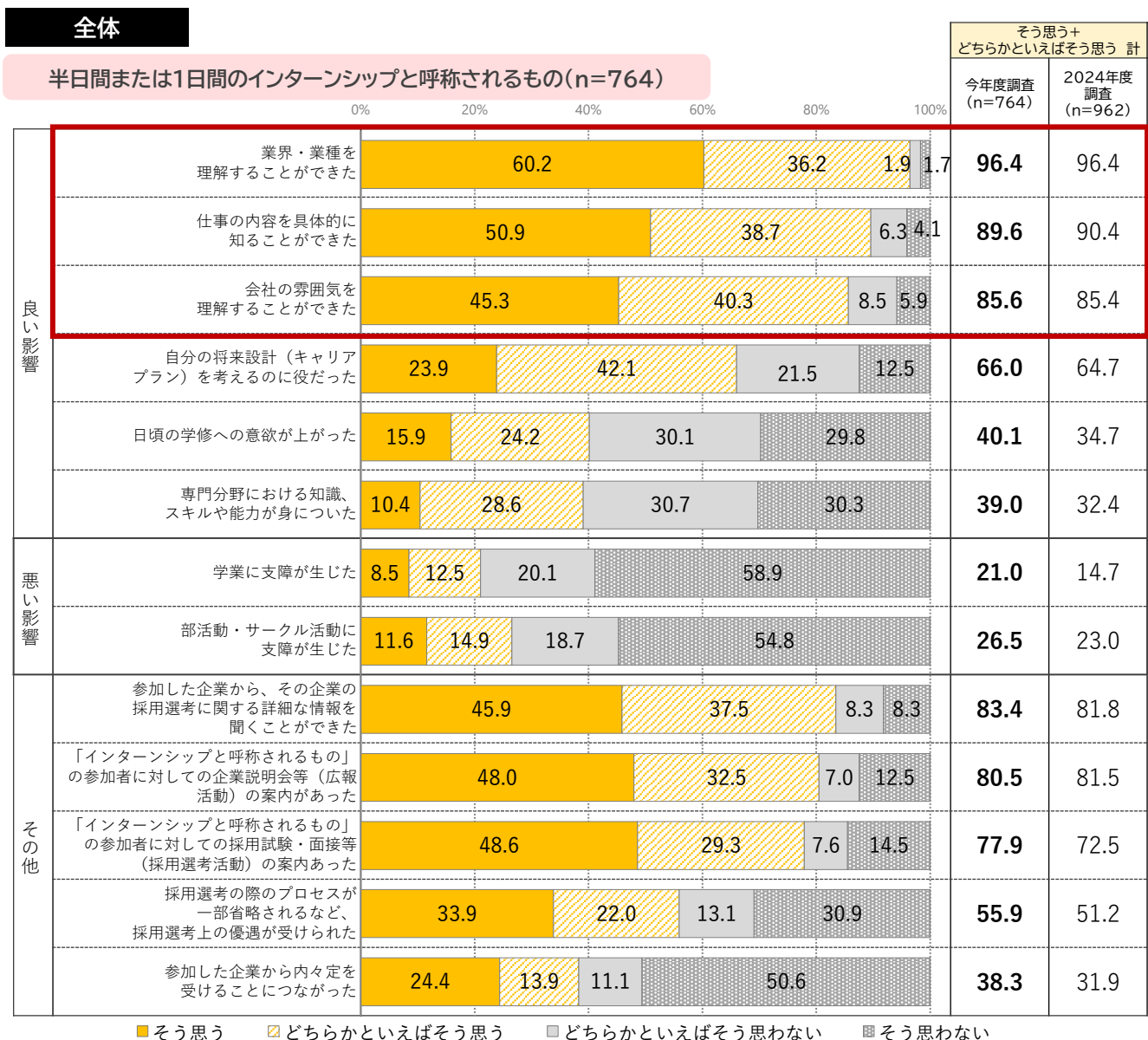
※2：調査においては、合計で何件のインターンシップと呼称されるものに参加したかを尋ねる設問と、対面での実施、ウェブ等での実施の方法別に尋ねる設問を設けているが、前者の「参加件数」と後者の「方法別で尋ねた参加件数」の合計は必ずしも一致せずとも回答が可能なように設定したことから、前者ではなく後者の合計を用いて累計の値とした。

(2) インターンシップと呼称されるものの効果についての認識

①インターンシップと呼称されるものに参加して感じた効果

インターンシップと呼称されるもの※1に参加してどのような効果があったと感じたかについて、参加したインターンシップと呼称されるものを日数別に集計すると※2、「半日または1日間のインターンシップと呼称されるもの」では、「業界・業種を理解することができた」について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合が9割以上、「仕事の内容を具体的に知ることができた」「会社の雰囲気を理解することができた」も約9割と高くなっている。

2024年度調査と比較すると、「良い影響」では「日頃の学修への意欲が上がった」「専門分野における知識、スキルや能力が身についた」が、また「悪い影響」では「学業に支障が生じた」が、「その他」では「インターンシップと呼称されるもの」の参加者に対する採用試験・面接等(採用選考活動)の案内あった」「参加した企業から内々定を受けることにつながった」が高くなっている。



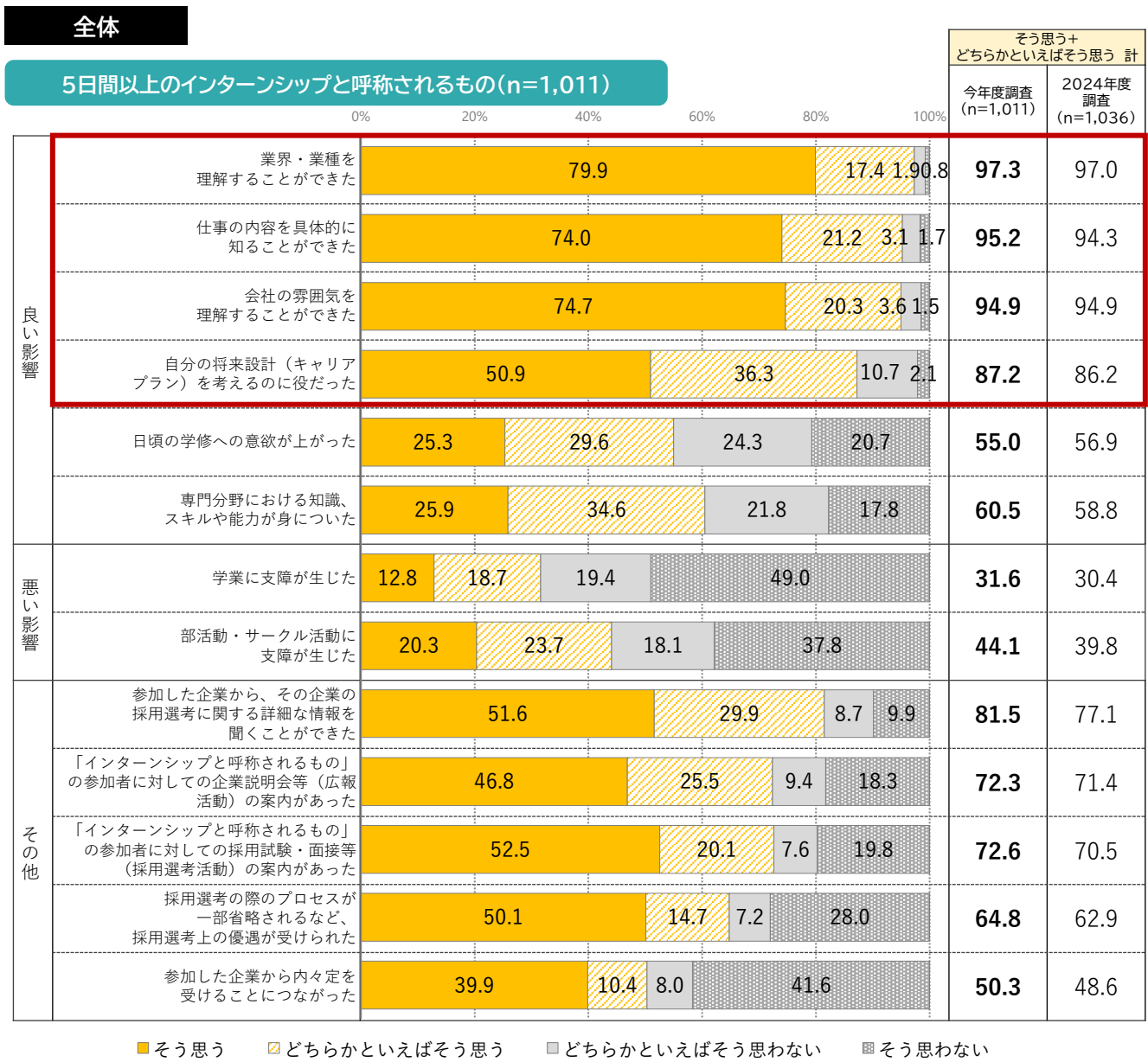
※1：2023年度調査より、定義変更に伴い、インターンシップについて「インターンシップと呼称されるもの」と提示している。

※2：「半日間または1日間のインターンシップと呼称されるもの」についての集計対象者は、参加したインターンシップと呼称されるもののうち最長が「半日」もしくは「1日間」に該当する者、「5日間以上のインターンシップと呼称されるもの」についての集計対象者は、参加したインターンシップと呼称されるもののうち最長が「5日間」以上に該当する者とした上で、「参加したうちの最も長いインターンシップと呼称されるものについて」答えてもらうよう設問を設定した。

①インターンシップと呼称されるものに参加して感じた効果

「5日間以上のインターンシップと呼称されるもの※1」でも、「半日または1日間のインターンシップと呼称されるもの」と同様に、「業界・業種を理解することができた」「仕事の内容を具体的に知ることができた」「会社の雰囲気を理解することができた」について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合が9割以上と高くなっている。さらに「自分の将来設計を考えるのに役だった」も約9割と高い。

2024年度調査と比較すると、「悪い影響」では「部活動・サークル活動に支障が生じた」が、「その他」では「参加した企業から、その企業の採用選考に関する詳細な情報を聞くことができた」が高くなっている。



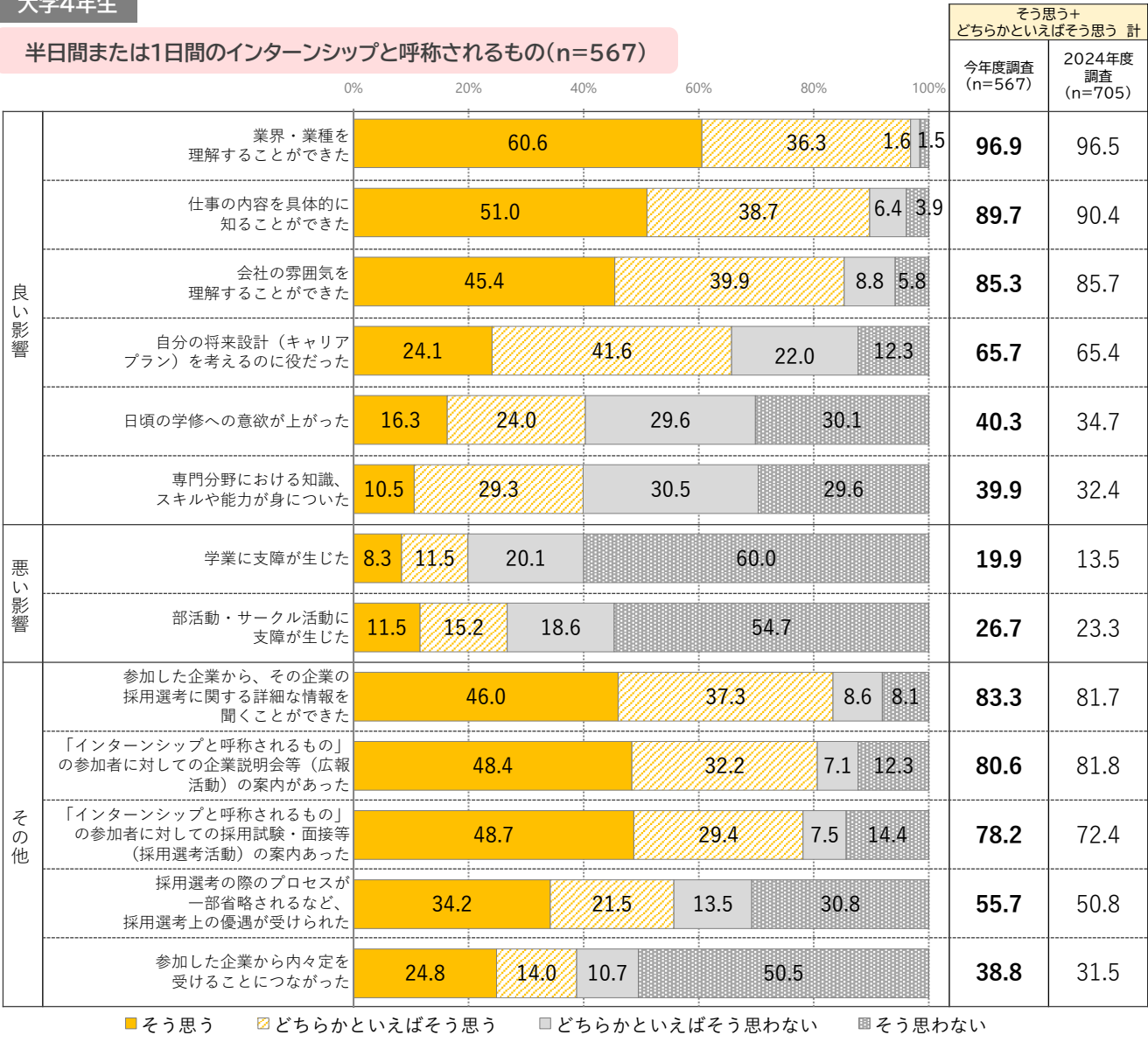
※1：2023年度調査より、定義変更に伴い、インターンシップについて「インターンシップと呼称されるもの」と提示している。

※2：「半日または1日間のインターンシップと呼称されるもの」についての集計対象者は、参加したインターンシップと呼称されるもののうち最長が「半日」もしくは「1日間」に該当する者、「5日間以上のインターンシップと呼称されるもの」についての集計対象者は、参加したインターンシップと呼称されるもののうち最長が「5日間」以上に該当する者とした上で、「参加したうちの最も長いインターンシップと呼称されるものについて」答えてもらうよう設問を設定した。

①インターンシップと呼称されるものに参加して感じた効果

大学4年生

半日間または1日間のインターンシップと呼称されるもの(n=567)

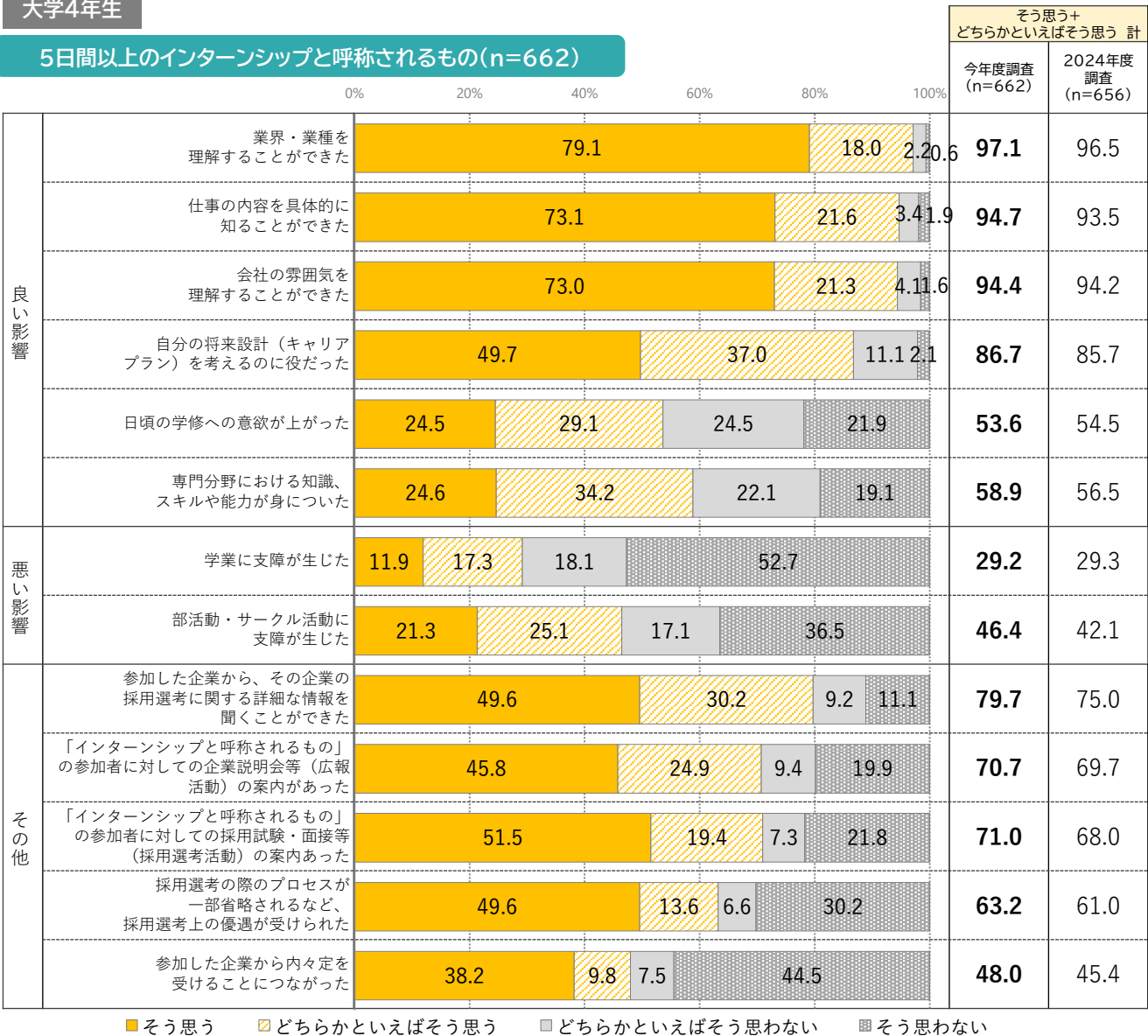


■ そう思う ▨ どちらかといえばそう思う □ どちらかといえばそう思わない ▩ そう思わない

①インターンシップと呼称されるものに参加して感じた効果

大学4年生

5日間以上のインターンシップと呼称されるもの(n=662)

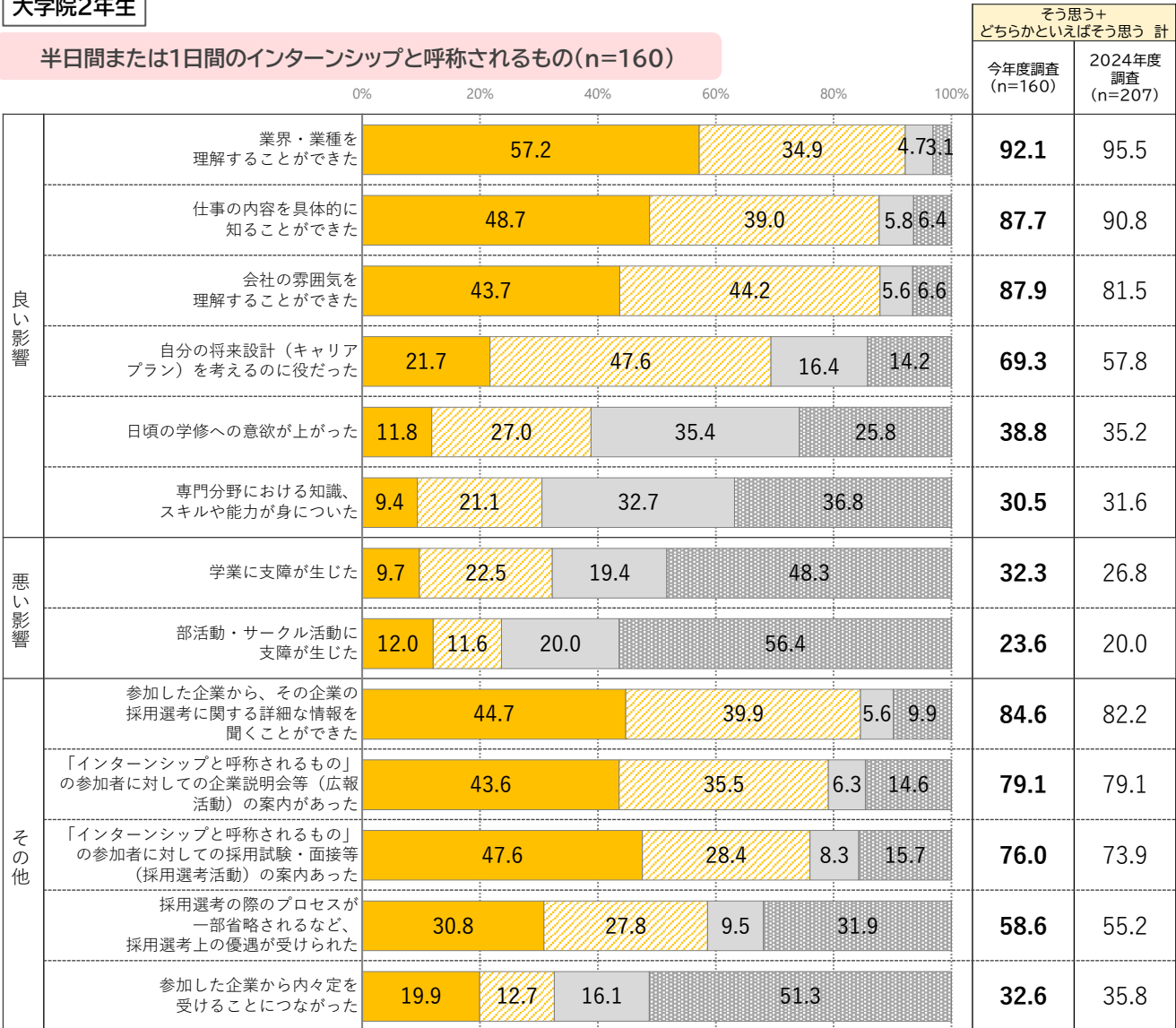


■ そう思う ▨ どちらかといえばそう思う □ どちらかといえばそう思わない ▩ そう思わない

①インターンシップと呼称されるものに参加して感じた効果

大学院2年生

半日間または1日間のインターンシップと呼称されるもの(n=160)

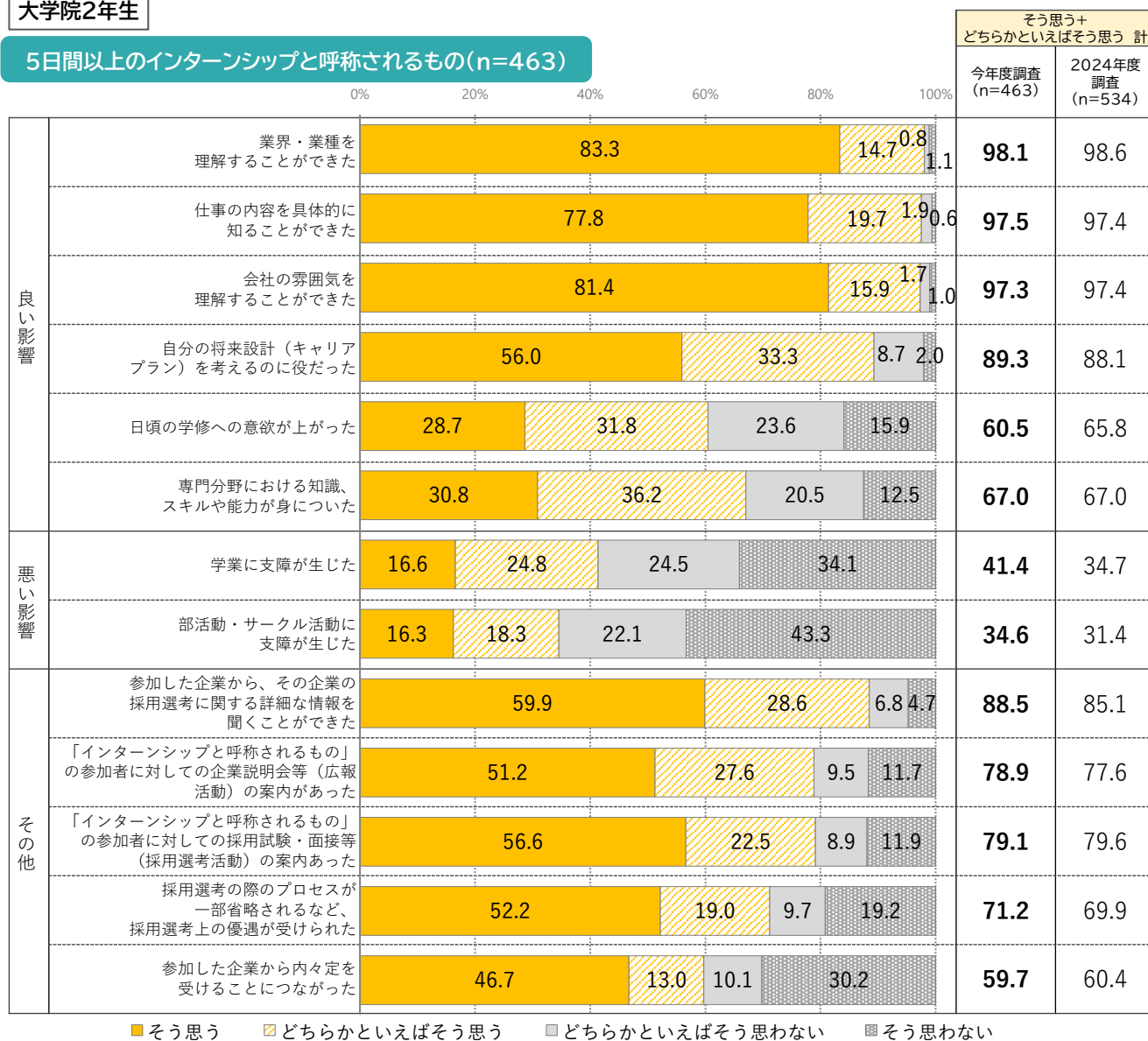


■ そう思う ▨ どちらかといえばそう思う □ どちらかといえばそう思わない ▩ そう思わない

①インターンシップと呼称されるものに参加して感じた効果

大学院2年生

5日間以上のインターンシップと呼称されるもの(n=463)

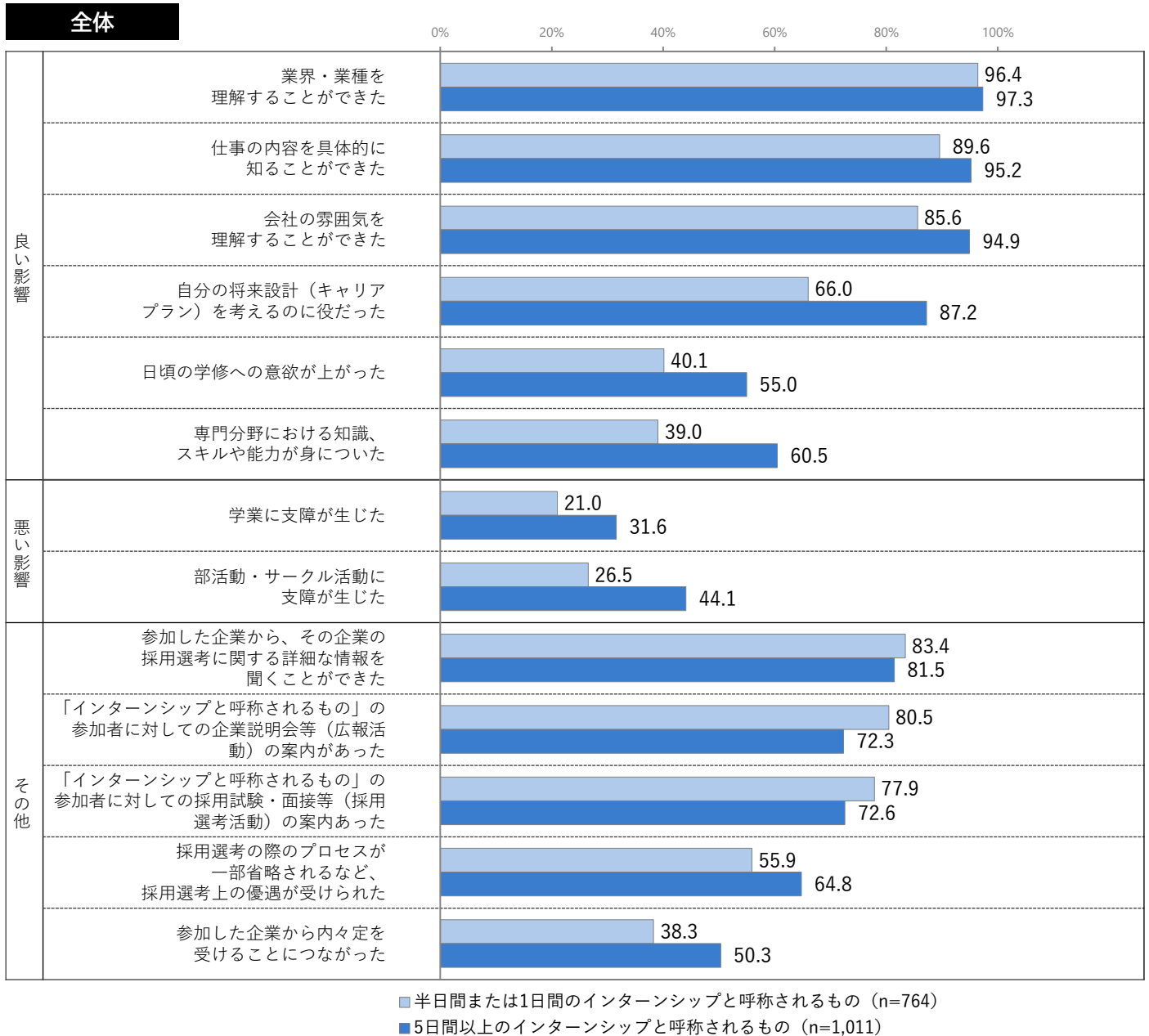


■ そう思う ▨ どちらかといえばそう思う □ どちらかといえばそう思わない ▩ そう思わない

②インターンシップと呼称されるものに参加して感じた効果の比較

インターンシップと呼称されるもの※1に参加してどのような効果があったと感じたかについて、参加したインターンシップと呼称されるもので最も長かった日数別に「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計値を比較した。「良い影響」「悪い影響」ともに、「半日または1日間のインターンシップと呼称されるもの」に比べ「5日以上のインターンシップと呼称されるもの」の方が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の回答割合が高くなっている項目が多い※2。

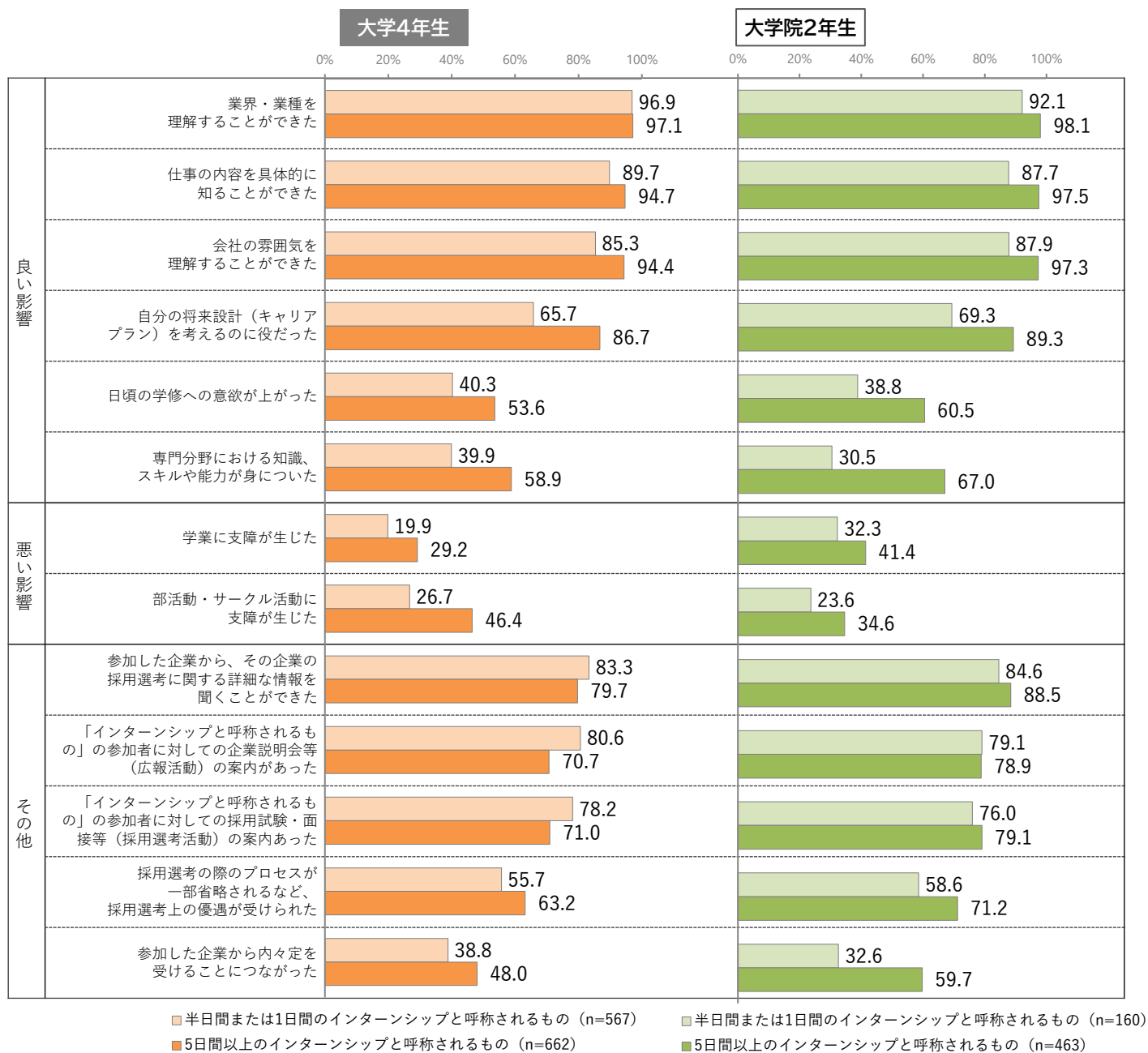
また「その他」の「採用選考の際のプロセスが一部省略されるなど、採用選考上の優遇が受けられた」「参加した企業から内々定を受けることにつながった」も、「半日または1日間のインターンシップと呼称されるもの」に比べ「5日以上のインターンシップと呼称されるもの」の方が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の回答割合が高くなっている。



※1：2023年度調査より、定義変更に伴い、インターンシップについて「インターンシップと呼称されるもの」と提示している。

※2：「半日間または1日間のインターンシップと呼称されるもの」についての集計対象者は、参加したインターンシップと呼称されるものうち最長が「半日」もしくは「1日間」に該当する者、「5日間以上のインターンシップと呼称されるもの」についての集計対象者は、参加したインターンシップと呼称されるものうち最長が「5日間」以上に該当する者とした上で、「参加したうちの最も長いインターンシップと呼称されるものについて」答えてもらうよう設問を設定した。

②インターンシップと呼称されるものに参加して感じた効果の比較



第四章 就職活動内容について

第四章 就職活動内容について

(1) 企業説明会やセミナー等の参加状況

①企業説明会やセミナー等の参加時期

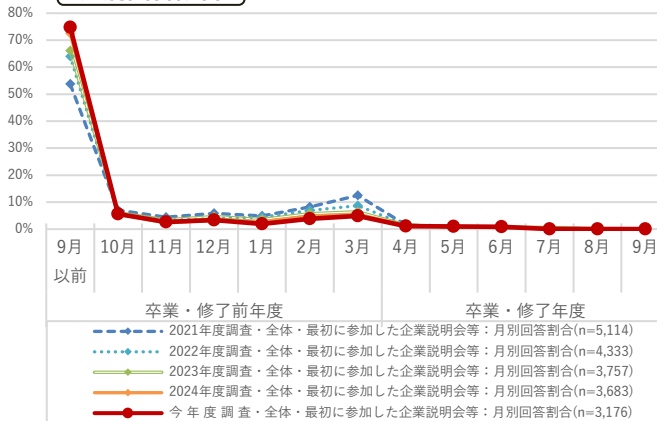
企業説明会やセミナー等について、「最初に参加した時期」は、広報活動開始時期前である「2024年9月以前」の回答割合が約7割と最も高くなっている※1。「参加のピーク」については、「2024年9月以前」が約3割と「2025年3月」を上回り最も割合が高い※2。「最後に参加した時期」については、「2025年3月」の回答割合が約2割と最も高く、「2025年2月」「2025年4月」と続く。

過年度調査と比較すると、「最初」「ピーク」「最後」ともに、少しずつ時期が早まっている。

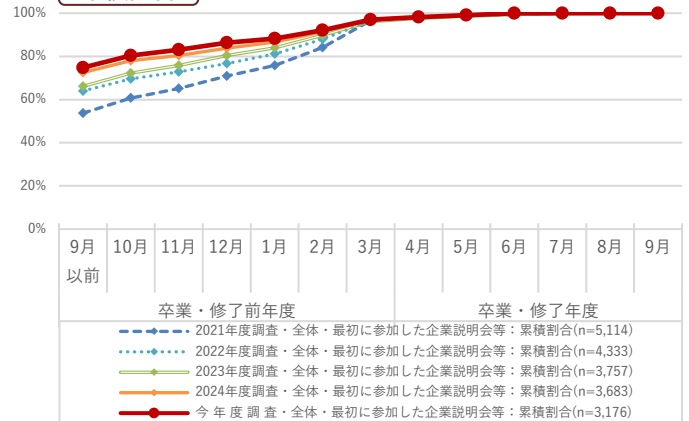
全体

最初に参加した時期

月別回答割合

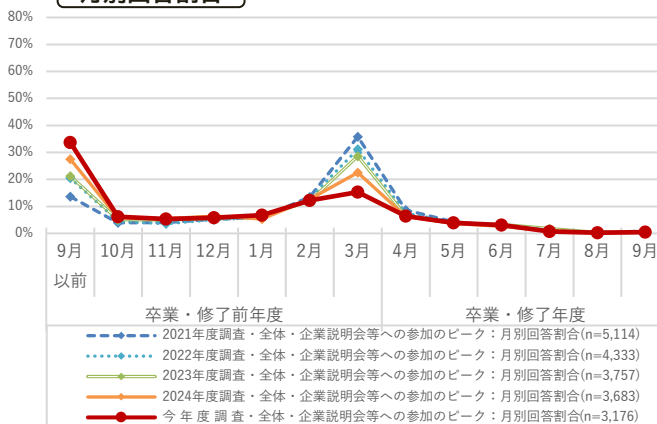


累積割合

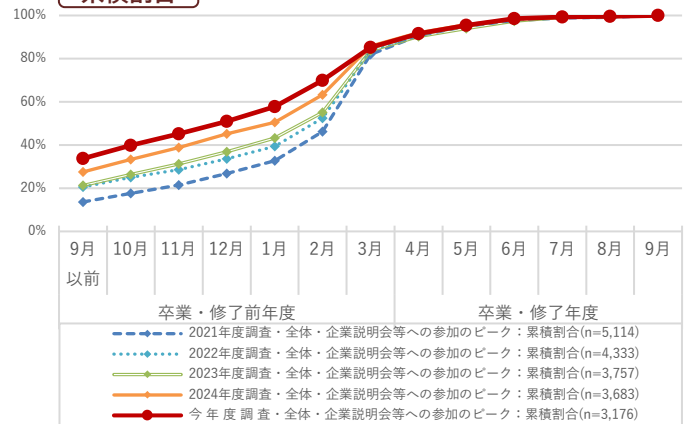


参加のピーク

月別回答割合

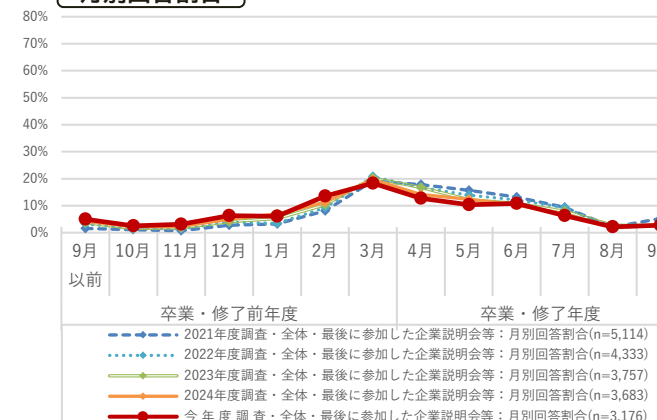


累積割合

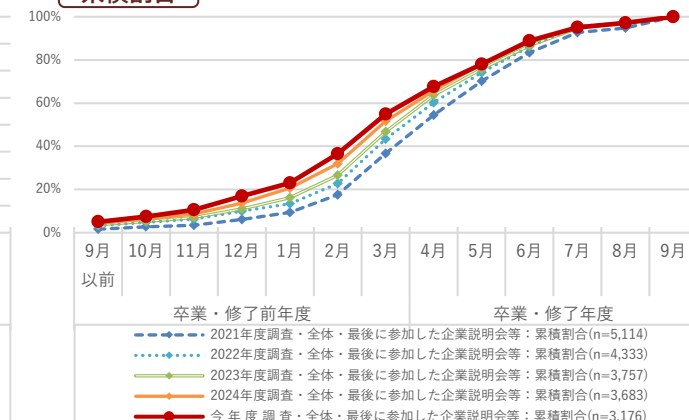


最後に参加した時期

月別回答割合



累積割合



※1：企業説明会やセミナー等に「特段参加しなかった」と回答した者は、集計の対象外とした。

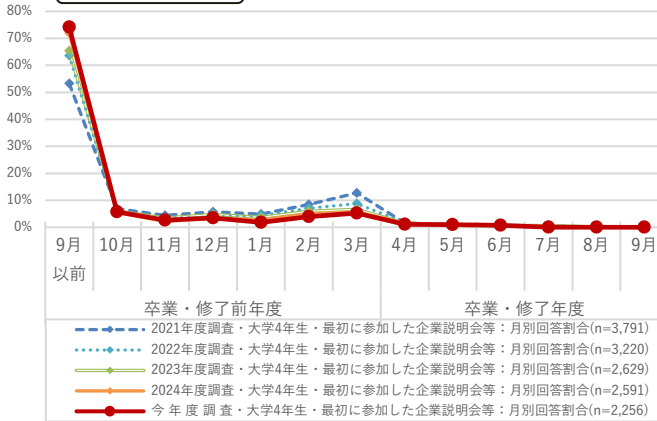
※2：「参加のピーク」および「最後に参加した時期」について、2023年度調査より「卒業・修了年度9月以降（予定）」を選択肢として設けているが、グラフ中では「卒業・修了年度9月」の値として示している（以降、就職活動の時期に関する調査項目について同様）。

①企業説明会やセミナー等の参加時期

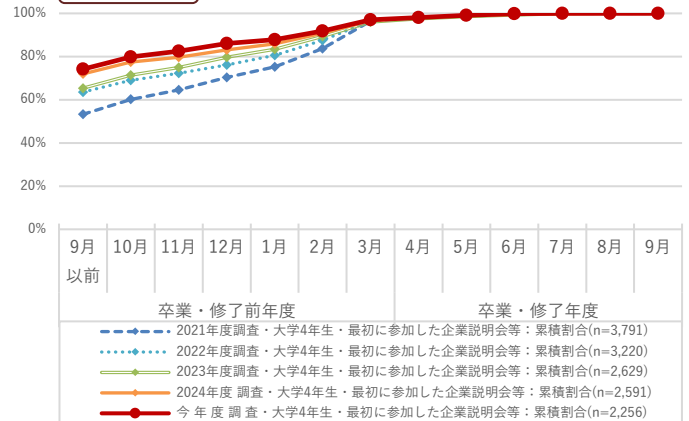
大学4年生

最初に参加した時期

月別回答割合

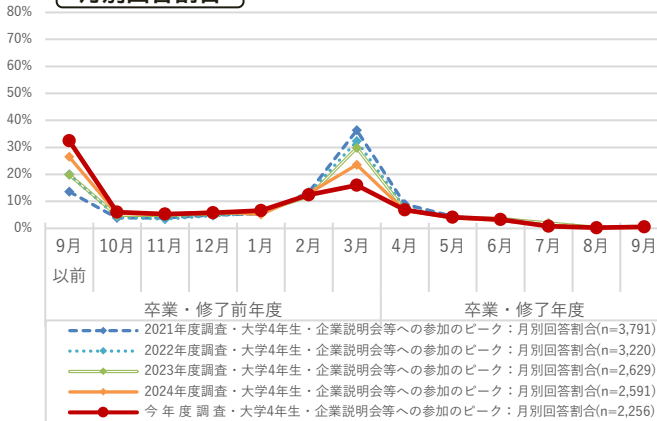


累積割合

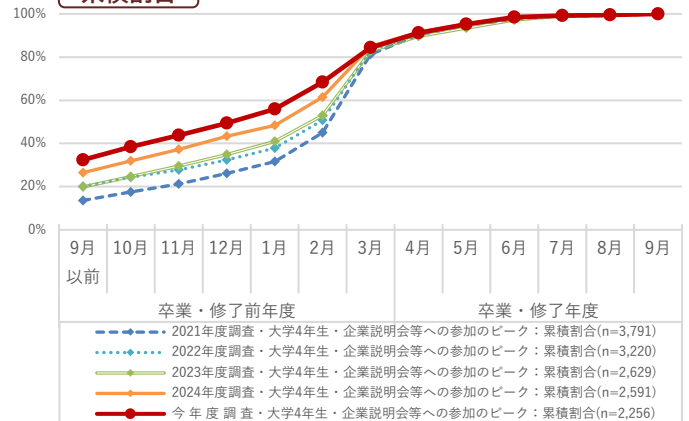


参加のピーク

月別回答割合

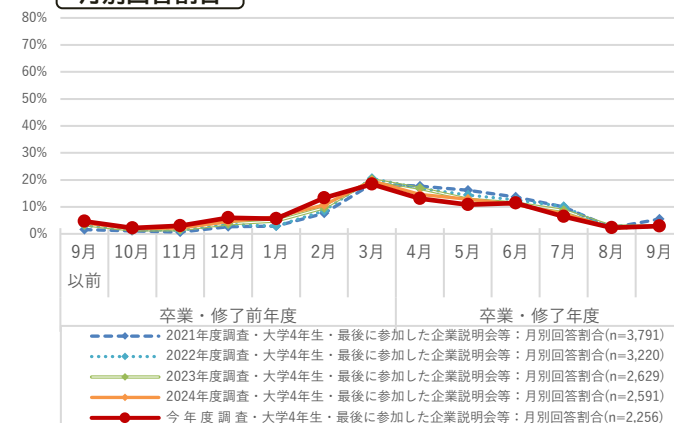


累積割合

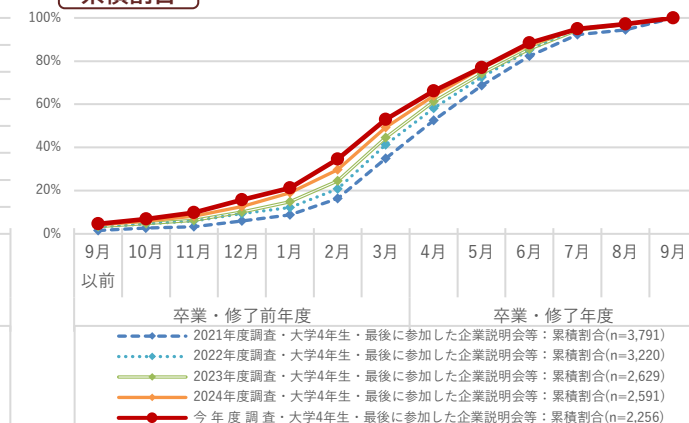


最後に参加した時期

月別回答割合



累積割合

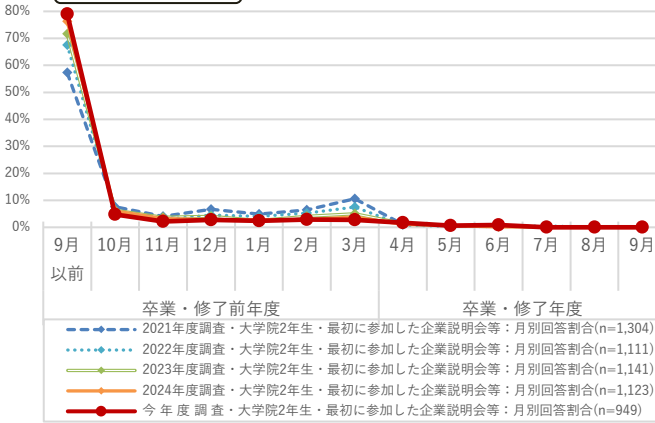


①企業説明会やセミナー等の参加時期

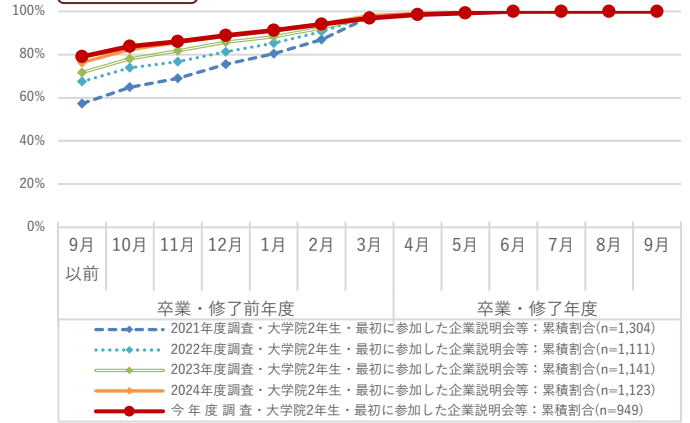
大学院2年生

最初に参加した時期

月別回答割合

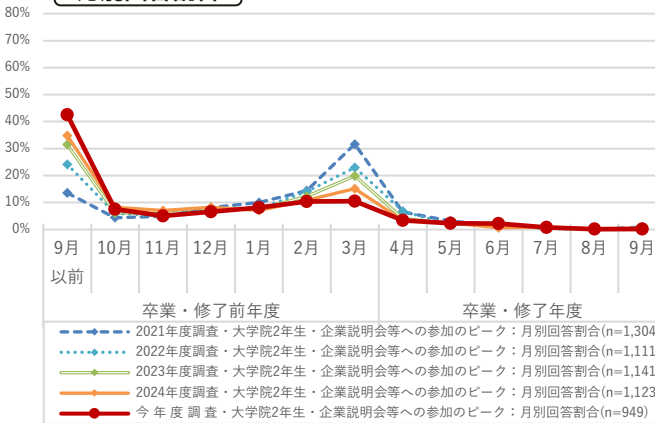


累積割合

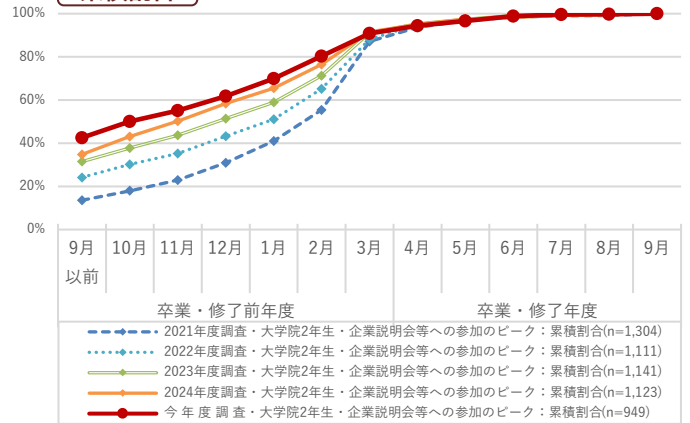


参加のピーク

月別回答割合

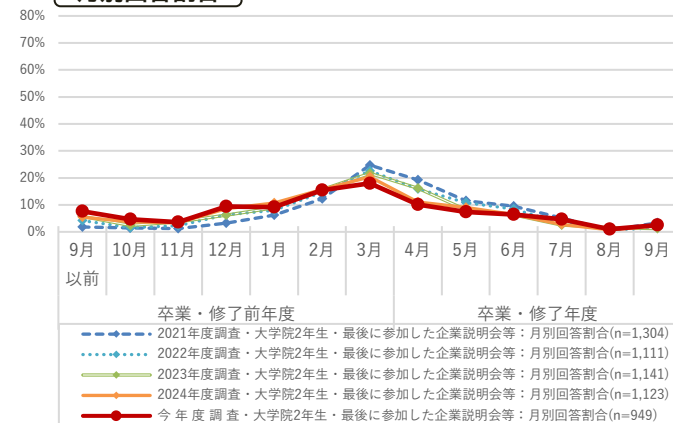


累積割合

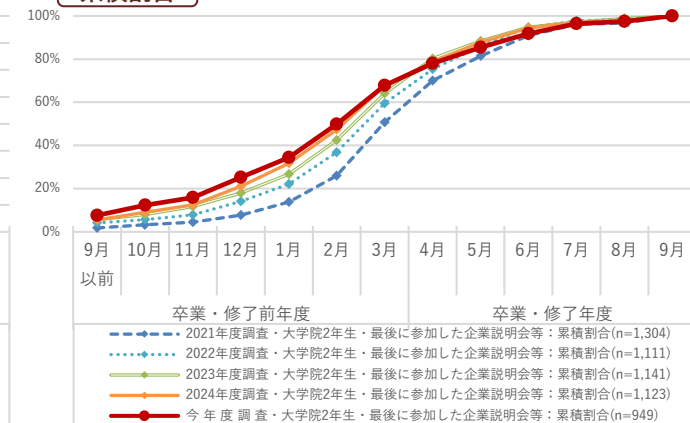


最後に参加した時期

月別回答割合



累積割合



①企業説明会やセミナー等の参加時期

【今年度調査・詳細データ】※全て%

全体

最初の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	47.3	13.4	9.4	4.7	5.6	2.6	3.4	1.9	3.8	4.9	1.1	0.9	0.8	0.1	0.0	0.0
累積割合	47.3	60.7	70.1	74.8	80.4	83.0	86.4	88.3	92.1	97.0	98.2	99.1	99.9	100.0	100.0	100.0
参加のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	5.2	5.4	16.0	7.2	6.2	5.3	5.8	6.8	12.2	15.2	6.4	3.9	3.1	0.7	0.2	0.5
累積割合	5.2	10.6	26.5	33.7	39.9	45.2	51.0	57.8	70.0	85.2	91.6	95.5	98.6	99.3	99.5	100.0
最後の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	1.0	0.6	1.3	2.0	2.5	3.1	6.4	6.1	13.6	18.3	12.7	10.4	10.8	6.3	2.1	2.8
累積割合	1.0	1.7	3.0	5.0	7.5	10.6	16.9	23.0	36.6	54.9	67.6	78.0	88.8	95.1	97.2	100.0

大学4年生

最初の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	45.7	13.8	10.0	4.7	5.7	2.7	3.5	1.8	3.9	5.2	1.1	1.0	0.8	0.1	0.0	0.0
累積割合	45.7	59.5	69.5	74.2	79.9	82.5	86.0	87.9	91.8	97.0	98.1	99.1	99.9	100.0	100.0	100.0
参加のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	4.5	4.9	16.3	6.8	6.0	5.4	5.7	6.6	12.4	15.9	6.8	4.1	3.2	0.7	0.3	0.5
累積割合	4.5	9.4	25.6	32.4	38.4	43.7	49.4	56.0	68.4	84.3	91.2	95.3	98.5	99.3	99.5	100.0
最後の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	1.0	0.6	1.3	1.7	2.2	3.0	5.9	5.6	13.3	18.4	13.1	10.8	11.5	6.5	2.3	2.8
累積割合	1.0	1.6	2.9	4.6	6.8	9.8	15.7	21.3	34.6	53.0	66.1	76.9	88.4	94.9	97.2	100.0

大学院2年生

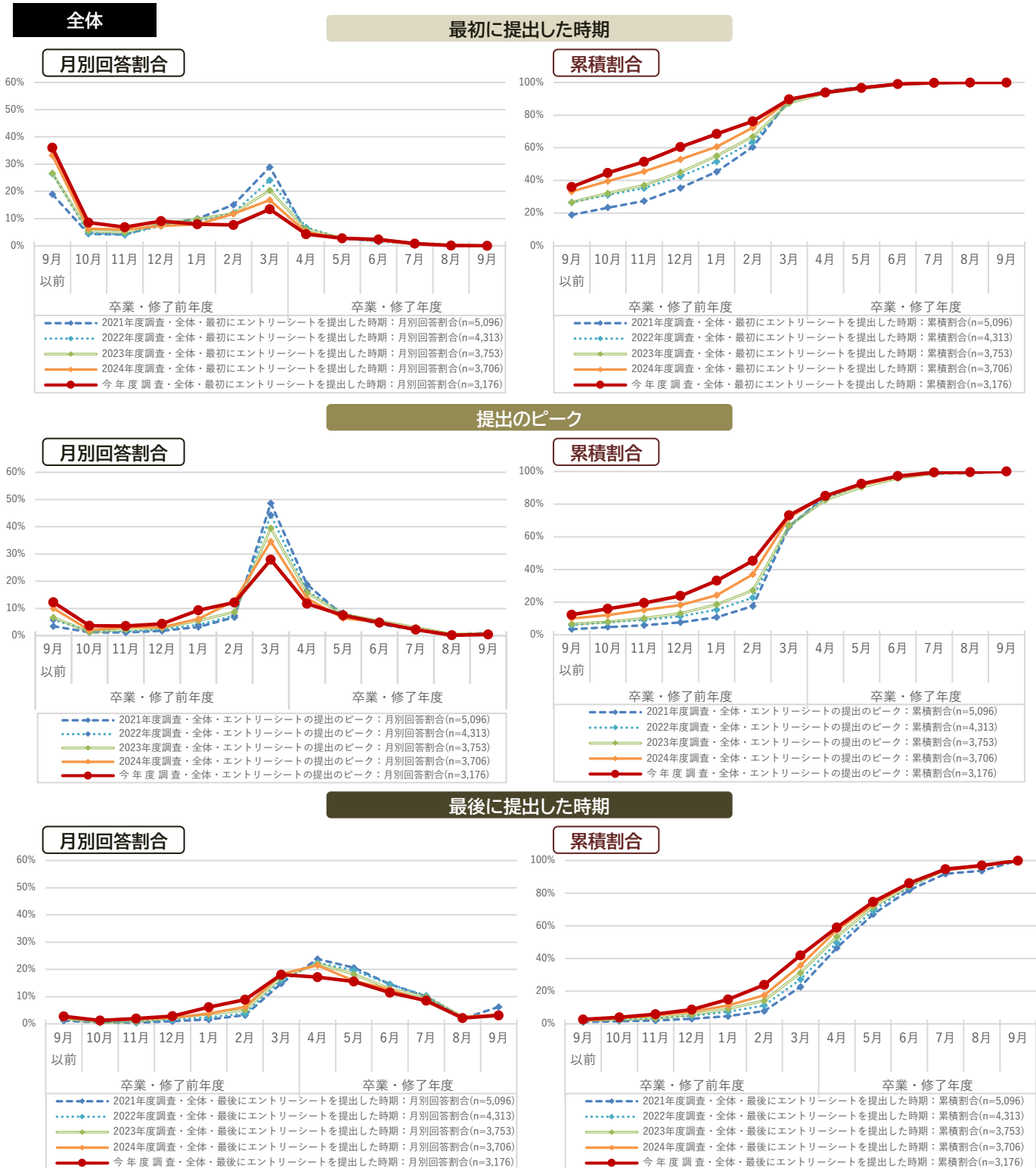
最初の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	58.4	10.4	5.5	4.7	4.8	2.2	2.8	2.4	2.8	2.7	1.7	0.7	0.8	0.0	0.0	0.0
累積割合	58.4	68.8	74.4	79.0	83.8	86.0	88.8	91.3	94.1	96.8	98.5	99.2	100.0	100.0	100.0	100.0
参加のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	9.8	8.7	13.9	10.2	7.5	5.1	6.6	8.1	10.4	10.5	3.4	2.3	2.2	0.8	0.1	0.2
累積割合	9.8	18.5	32.3	42.6	50.1	55.2	61.8	70.0	80.4	90.9	94.3	96.6	98.9	99.6	99.8	100.0
最後の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	1.6	0.7	1.8	3.5	4.6	3.6	9.4	9.1	15.4	18.0	10.1	7.4	6.4	4.7	1.0	2.6
累積割合	1.6	2.3	4.1	7.6	12.3	15.9	25.3	34.4	49.8	67.8	77.9	85.4	91.8	96.5	97.4	100.0

(2) エントリーシートの提出状況

①エントリーシートの提出時期

エントリーシートの提出時期について※1、「最初に提出した時期」は、「2024年9月以前」の回答割合が約4割と「2025年3月」を上回り最も高くなっている。「提出のピーク」は「2025年3月」の回答割合が約3割と最も高く、「最後に提出した時期」については、「2025年3月」の回答割合が約2割と最も高い。

過年度調査と比較すると、「最初」「ピーク」「最後」ともに、少しずつ時期が早まっている。



※1: エントリーシートの提出について「まだ提出していない・提出する予定もない」と回答した者は、集計の対象外とした。

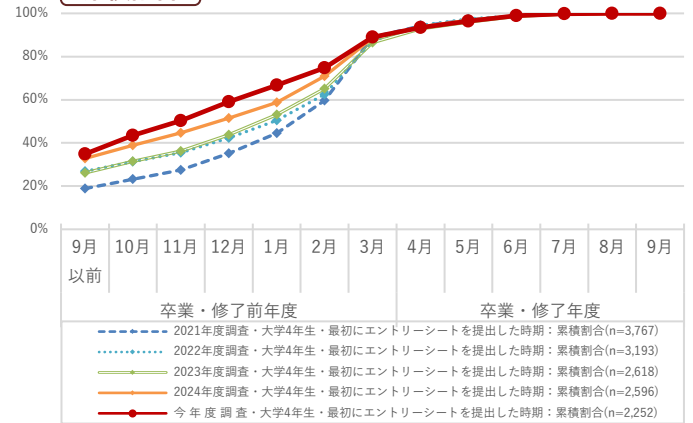
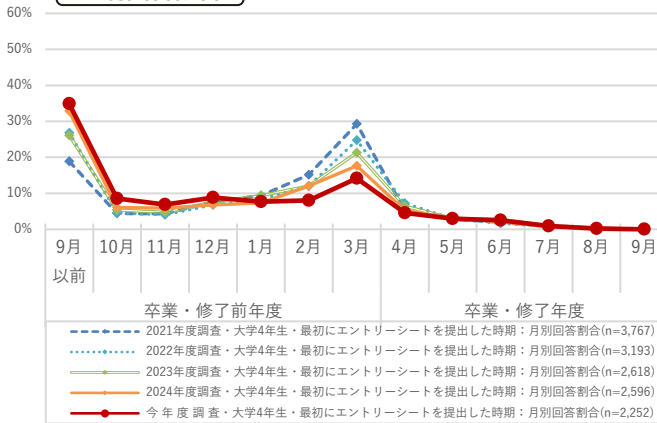
①エントリーシートの提出時期

大学4年生

最初に提出した時期

月別回答割合

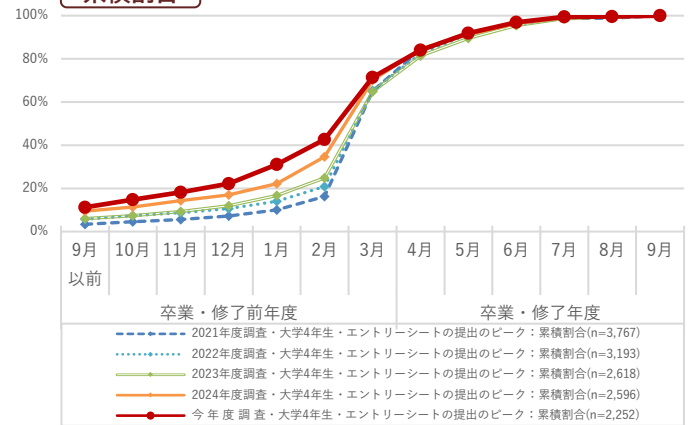
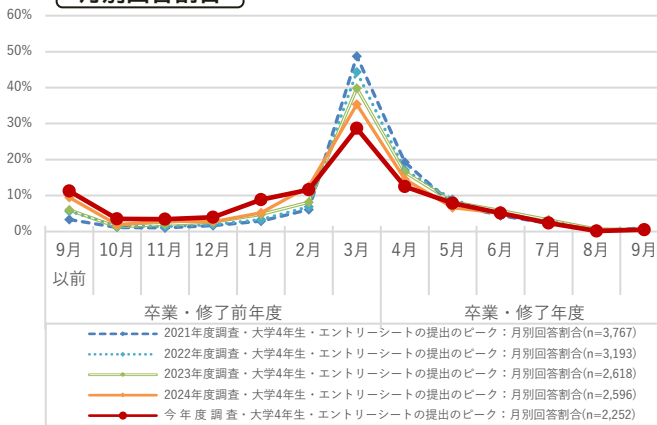
累積割合



提出のピーク

月別回答割合

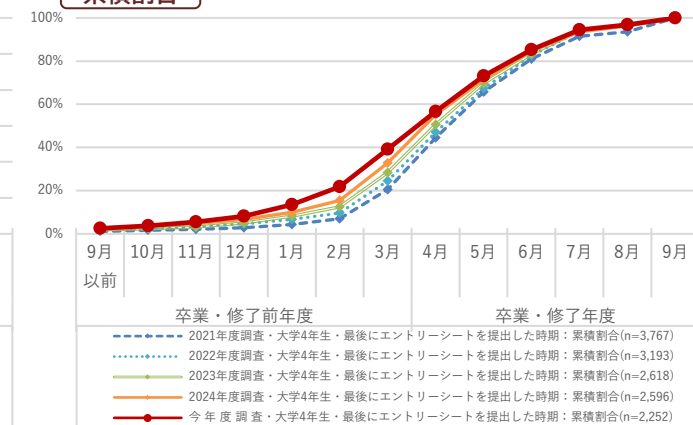
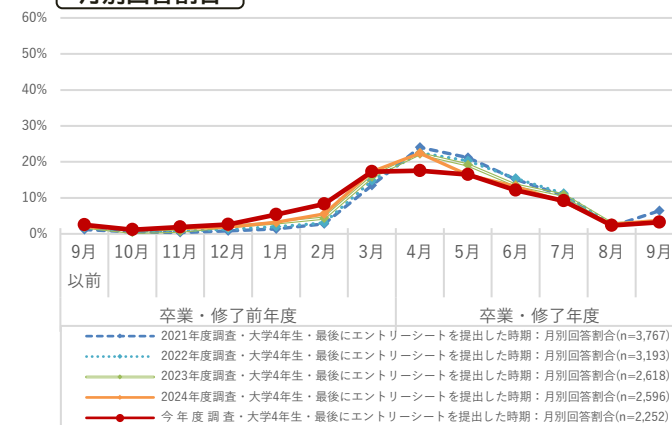
累積割合



最後に提出した時期

月別回答割合

累積割合



①エントリーシートの提出時期

【今年度調査・詳細データ】※全て%

全体

最初の提出	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	22.2	6.9	3.7	3.3	8.6	6.8	9.1	7.9	7.7	13.5	4.3	2.8	2.3	0.8	0.1	0.0
累積割合	22.2	29.1	32.7	36.0	44.6	51.5	60.6	68.5	76.2	89.7	93.9	96.7	99.0	99.9	100.0	100.0
提出のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	4.2	4.5	2.1	1.6	3.6	3.6	4.3	9.3	12.1	27.9	11.8	7.5	4.8	2.2	0.1	0.4
累積割合	4.2	8.6	10.7	12.3	15.9	19.5	23.9	33.2	45.3	73.2	85.0	92.4	97.2	99.4	99.6	100.0
最後の提出	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	0.6	0.6	0.6	0.9	1.3	2.0	2.9	6.1	8.9	18.1	17.1	15.6	11.5	8.6	2.2	3.1
累積割合	0.6	1.2	1.8	2.7	4.0	6.0	8.8	14.9	23.8	41.9	59.1	74.7	86.2	94.8	96.9	100.0

大学4年生

最初の提出	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	21.0	6.8	3.8	3.3	8.6	6.8	8.8	7.7	8.0	14.2	4.5	2.9	2.5	0.9	0.2	0.0
累積割合	21.0	27.8	31.6	34.9	43.4	50.3	59.0	66.7	74.7	88.9	93.5	96.4	98.9	99.8	100.0	100.0
提出のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	3.6	3.9	2.1	1.6	3.5	3.4	4.0	8.8	11.7	28.7	12.5	7.9	5.1	2.4	0.2	0.5
累積割合	3.6	7.6	9.6	11.2	14.8	18.2	22.2	31.1	42.7	71.4	84.0	91.8	97.0	99.4	99.5	100.0
最後の提出	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	0.5	0.5	0.6	0.9	1.1	1.9	2.6	5.3	8.3	17.3	17.6	16.4	12.1	9.2	2.4	3.2
累積割合	0.5	0.9	1.6	2.5	3.7	5.5	8.2	13.5	21.8	39.1	56.7	73.1	85.2	94.4	96.8	100.0

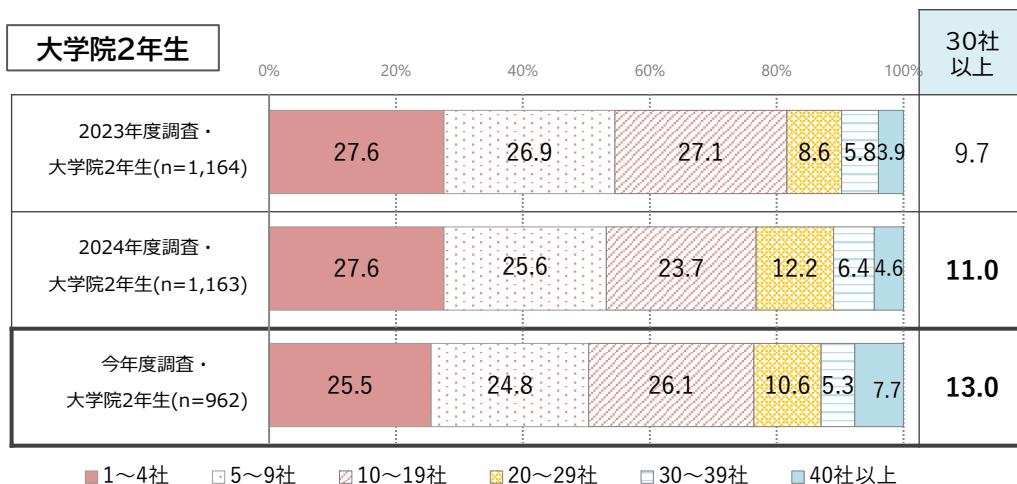
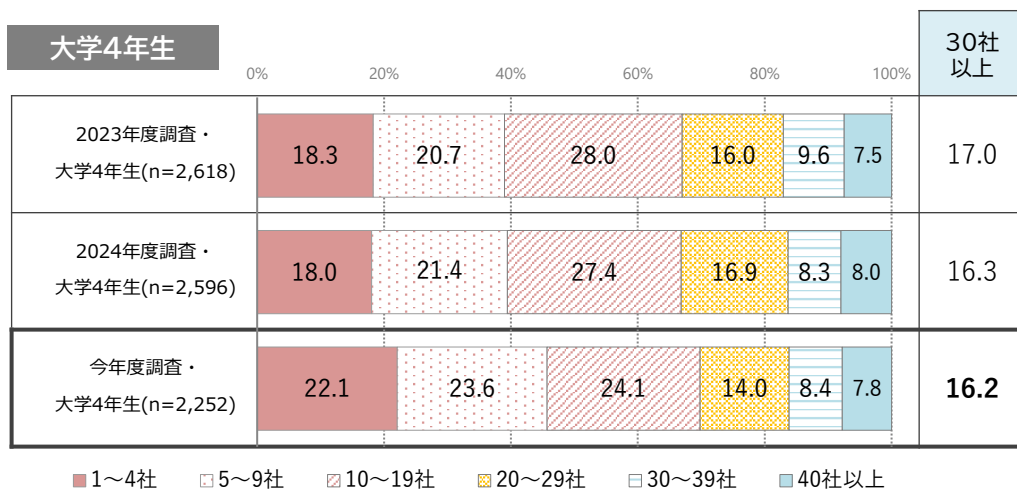
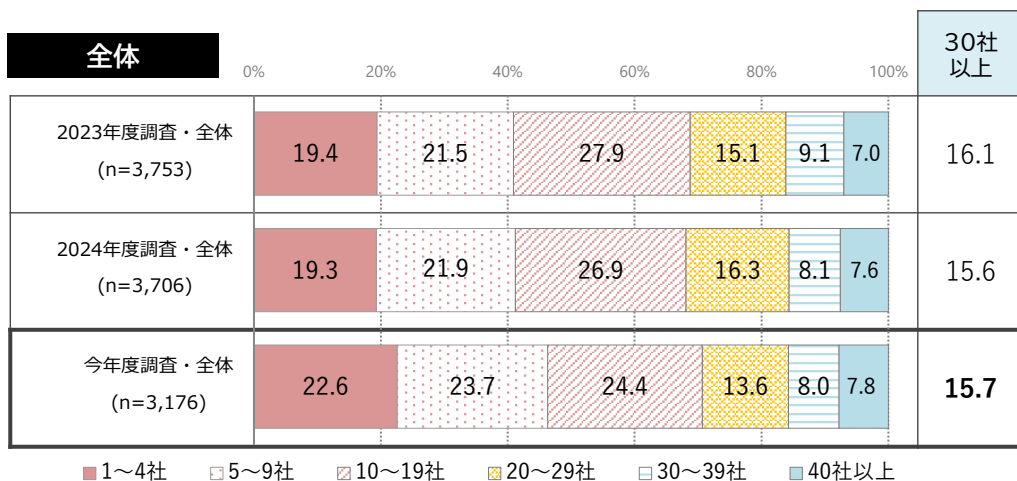
大学院2年生

最初の提出	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	30.6	7.1	2.6	3.5	8.7	6.8	11.3	9.9	5.2	8.7	2.5	1.8	1.2	0.0	0.0	0.0
累積割合	30.6	37.7	40.4	43.9	52.6	59.3	70.6	80.5	85.8	94.5	97.0	98.8	100.0	100.0	100.0	100.0
提出のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	7.7	8.1	1.8	1.8	4.2	4.5	6.7	12.4	15.4	22.7	6.6	4.7	2.3	1.1	0.0	0.1
累積割合	7.7	15.8	17.6	19.4	23.6	28.1	34.7	47.2	62.5	85.2	91.8	96.5	98.8	99.9	99.9	100.0
最後の提出	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	1.8	1.2	0.5	0.7	2.1	2.5	4.4	11.2	12.6	23.5	14.4	10.2	7.5	4.4	0.9	2.1
累積割合	1.8	3.0	3.5	4.2	6.3	8.8	13.2	24.4	37.0	60.5	74.9	85.1	92.6	97.1	97.9	100.0

②エントリーシートの提出数

何社にエントリーシートを提出したかについて※1、「1～4社」「5～9社」「10～19社」であった者の割合がいずれも約2割となっている。なお、30社以上にエントリーシートを提出した者が約2割となっている。

過年度調査と比較すると、「10～19社」「20～29社」が減少傾向である。



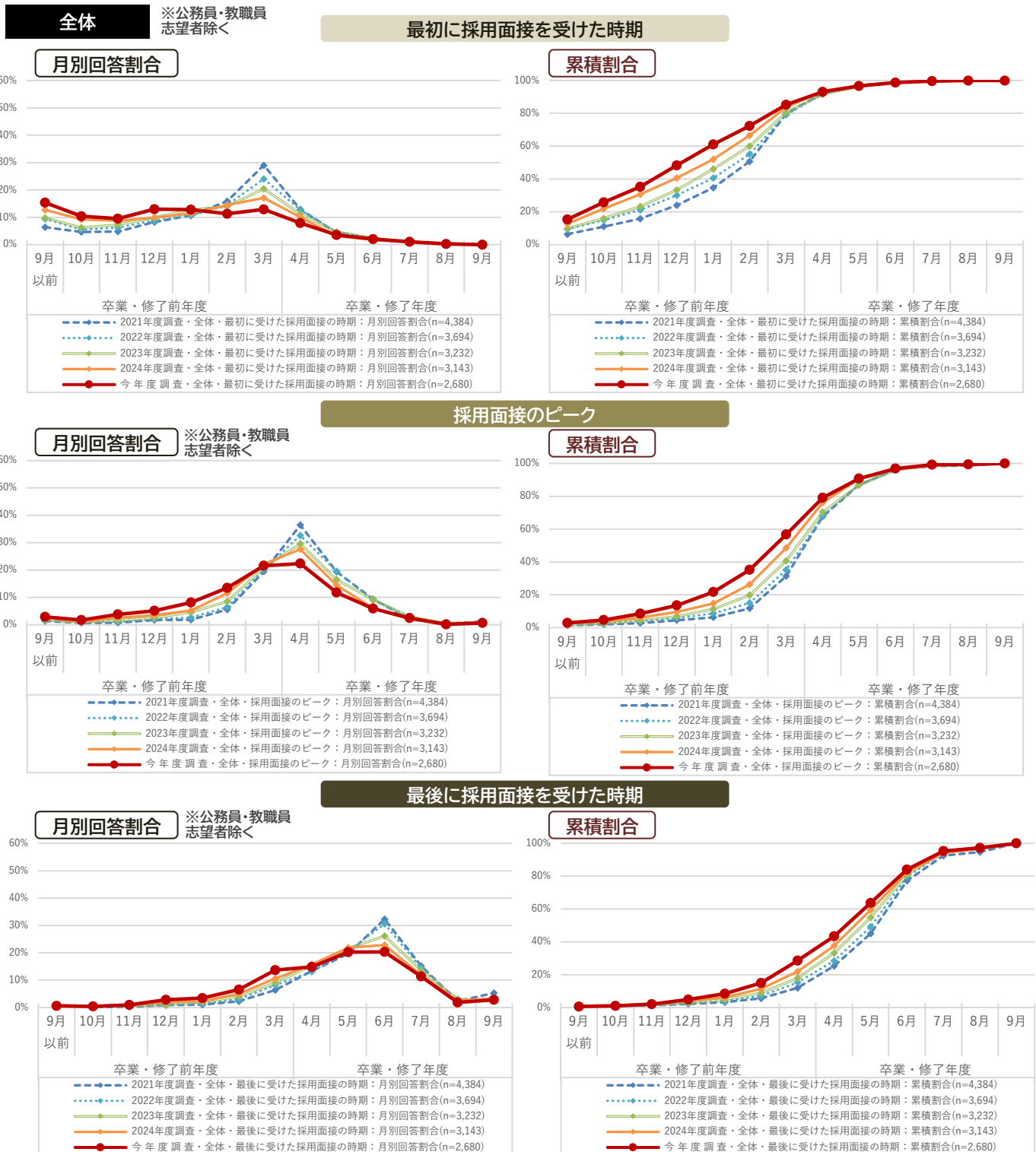
※1：エントリーシートの提出について「まだ提出していない・提出する予定もない」と回答した者は、集計の対象外とした。

(3) 採用面接の参加状況

①採用面接の参加時期

採用面接の時期について、「最初に受けた採用面接の時期」は、「2024年9月以前」の回答割合が約2割となり、以降「2025年10月～4月」まで約1割と並ぶ。※1。「採用面接のピーク」は「2025年3月」「2025年4月」が約2割と最も高く、採用・選考活動開始時期である6月より前にきている。「最後に受けた採用面接の時期」については、「2025年5月」「2025年6月」の回答割合が約2割と最も高い。

過年度調査と比較すると、「最初」「ピーク」「最後」ともに、少しずつ時期が早まっている。



※1：公務員や教職員志望者に関しては、調査実施時点で採用の面接等が行われていないと想定されたことから、ここでは集計の対象外とした(以降、採用面接に関しては基本的に同様の処理を行っている)。また、その上で、採用面接について「まだ参加していない・参加する予定もない」と回答した者は集計の対象外とした。

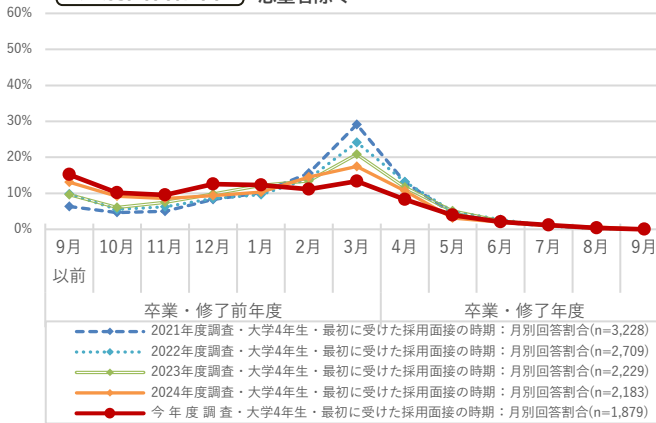
①採用面接の参加時期

大学4年生

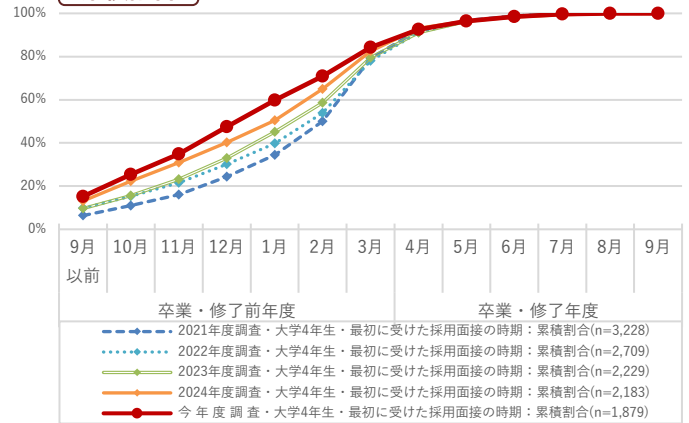
最初に採用面接を受けた時期

月別回答割合

※公務員・教職員
志望者除く



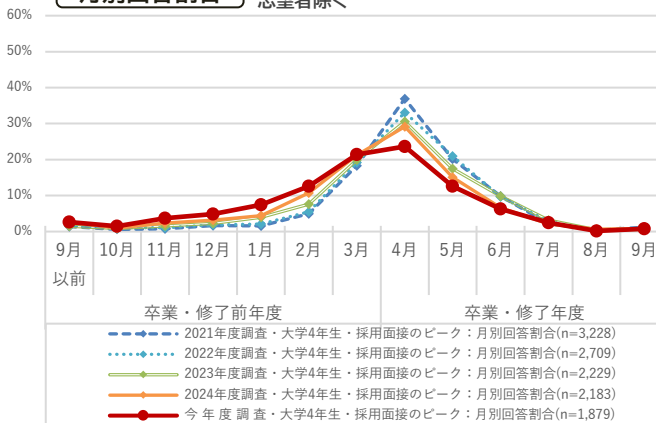
累積割合



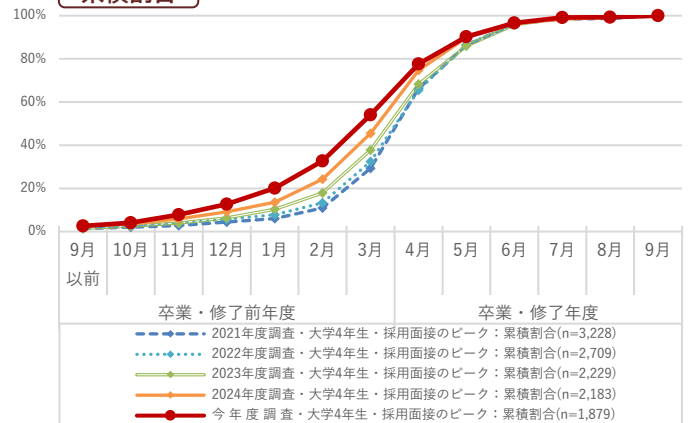
採用面接のピーク

月別回答割合

※公務員・教職員
志望者除く



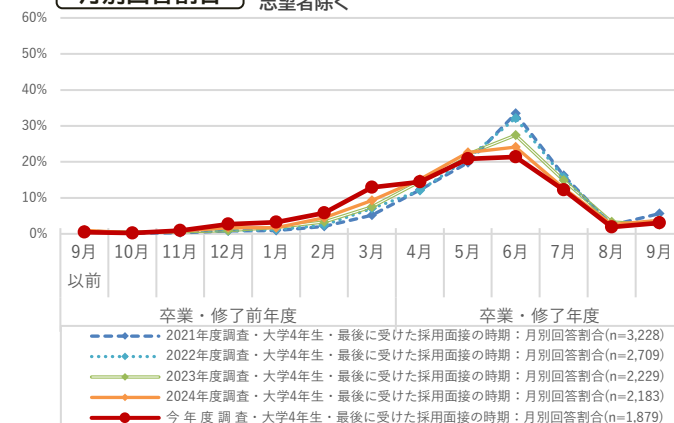
累積割合



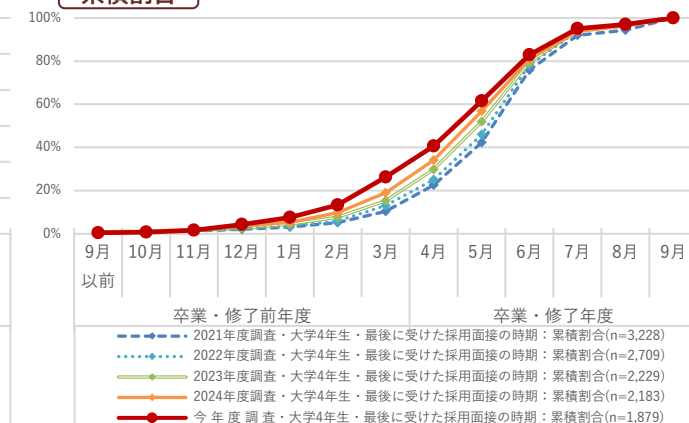
最後に採用面接を受けた時期

月別回答割合

※公務員・教職員
志望者除く



累積割合



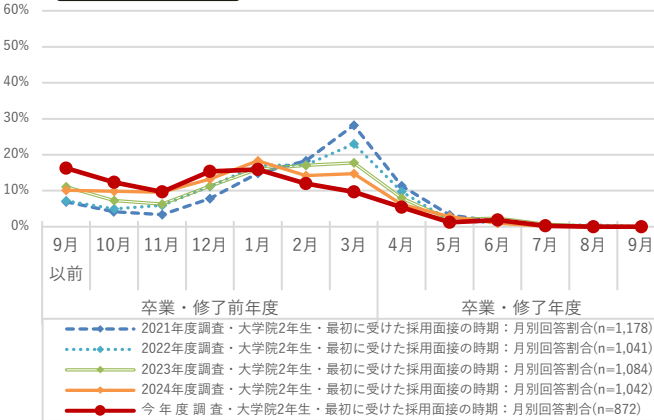
①採用面接の参加時期

大学院2年生

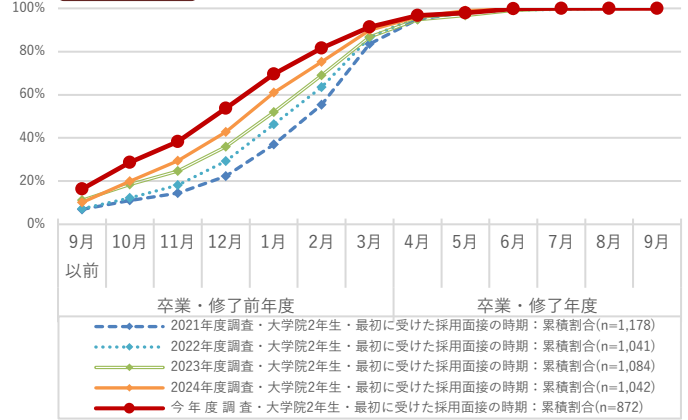
最初に採用面接を受けた時期

月別回答割合

※公務員・教職員
志望者除く



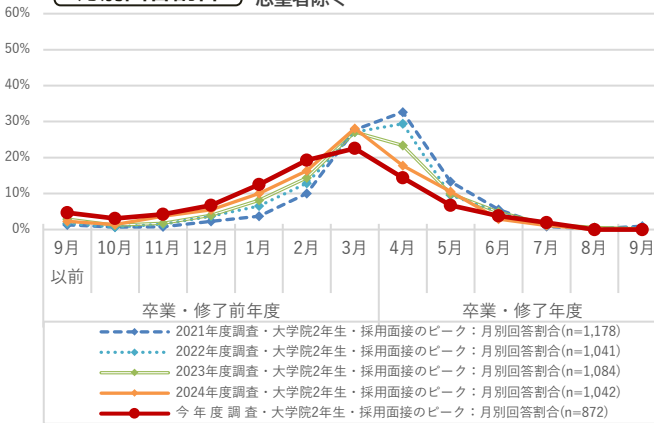
累積割合



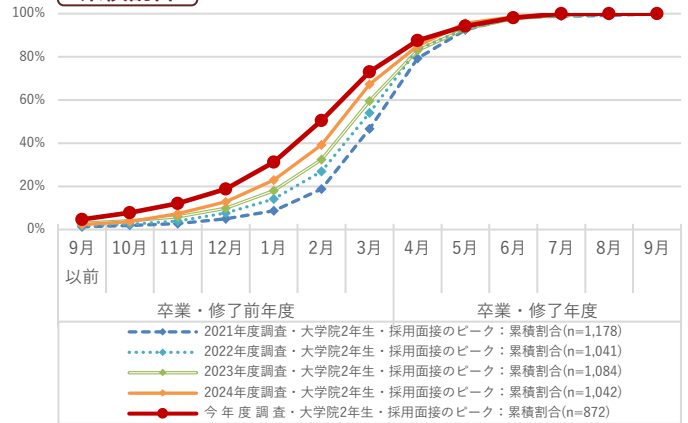
採用面接のピーク

月別回答割合

※公務員・教職員
志望者除く



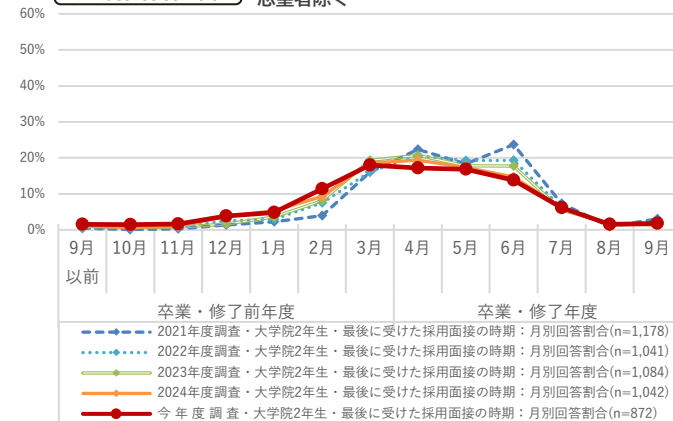
累積割合



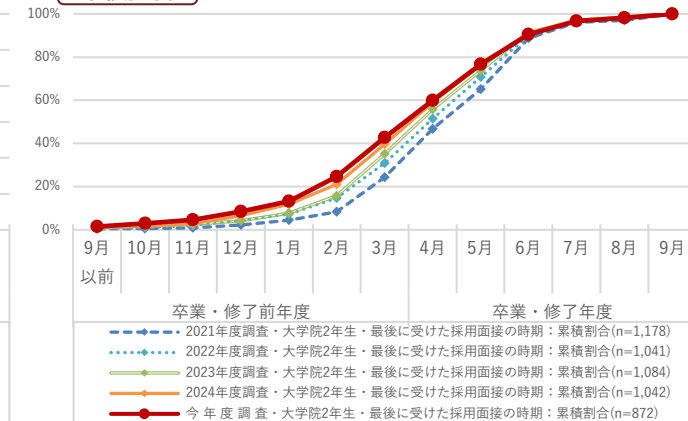
最後に採用面接を受けた時期

月別回答割合

※公務員・教職員
志望者除く



累積割合



①採用面接の参加時期

【今年度調査・詳細データ】※全て%

全体

※公務員・教職員志望者除く

最初の面接	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	5.4	2.5	3.3	4.2	10.4	9.6	13.0	12.8	11.3	12.9	7.9	3.5	2.0	1.0	0.3	0.0
累積割合	5.4	7.9	11.2	15.4	25.8	35.4	48.3	61.1	72.4	85.2	93.1	96.6	98.7	99.7	100.0	100.0
面接のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	0.7	0.8	0.6	0.9	1.7	3.8	5.1	8.1	13.5	21.5	22.3	11.8	5.9	2.4	0.2	0.6
累積割合	0.7	1.4	2.0	2.9	4.6	8.4	13.6	21.7	35.2	56.7	79.1	90.8	96.8	99.2	99.4	100.0
最後の面接	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	0.3	0.2	0.0	0.1	0.4	1.0	2.9	3.5	6.6	13.6	14.8	20.3	20.3	11.3	1.8	2.8
累積割合	0.3	0.4	0.5	0.6	1.0	2.0	4.9	8.3	14.9	28.6	43.4	63.7	84.0	95.3	97.2	100.0

大学4年生

※公務員・教職員志望者除く

最初の面接	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	5.3	2.3	3.5	4.1	10.1	9.5	12.6	12.3	11.1	13.4	8.3	3.9	2.1	1.2	0.3	0.0
累積割合	5.3	7.6	11.1	15.2	25.3	34.9	47.4	59.7	70.9	84.2	92.5	96.4	98.5	99.7	100.0	100.0
面接のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	0.6	0.7	0.5	0.8	1.5	3.7	4.9	7.4	12.6	21.4	23.6	12.6	6.3	2.5	0.2	0.7
累積割合	0.6	1.3	1.8	2.6	4.1	7.8	12.7	20.1	32.7	54.1	77.7	90.3	96.6	99.1	99.3	100.0
最後の面接	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	0.2	0.2	0.0	0.1	0.2	0.9	2.7	3.3	5.8	12.9	14.5	20.8	21.4	12.2	1.9	3.0
累積割合	0.2	0.4	0.4	0.5	0.7	1.6	4.3	7.5	13.3	26.2	40.7	61.5	82.9	95.1	97.0	100.0

大学院2年生

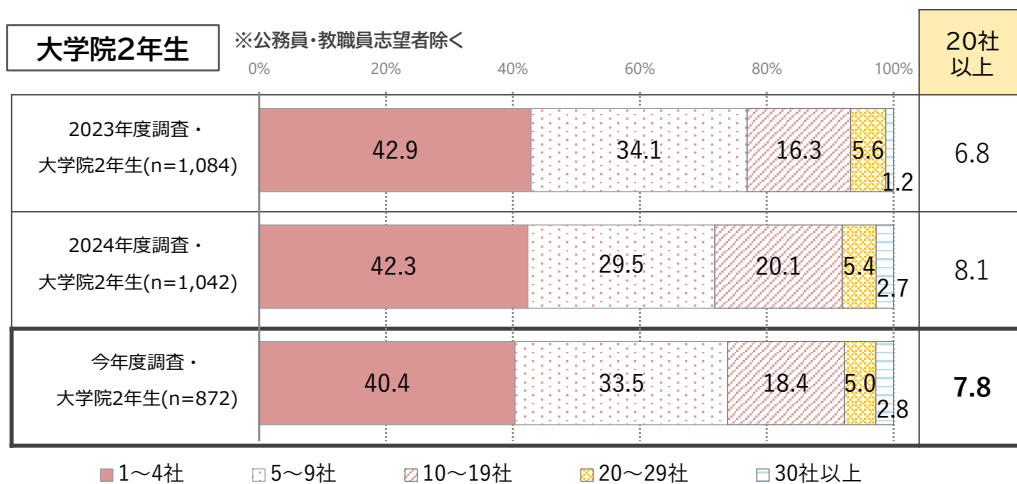
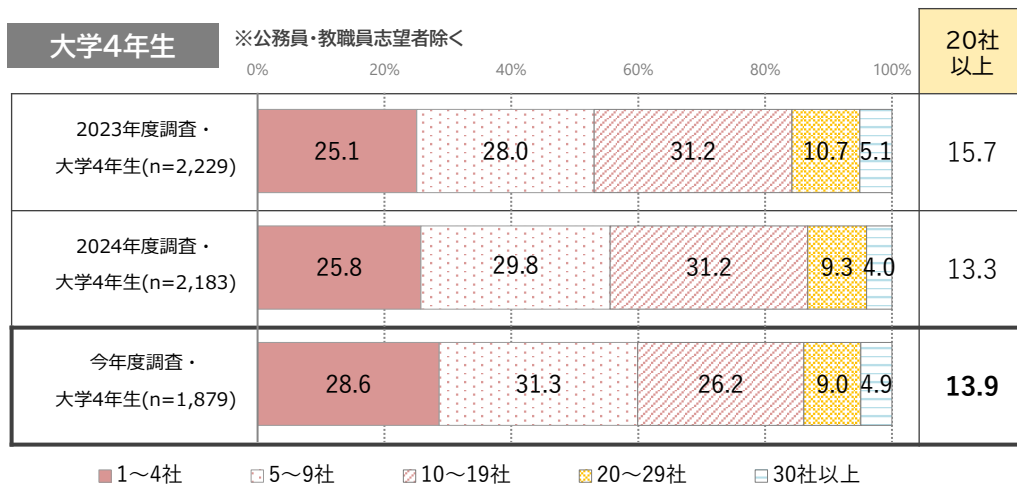
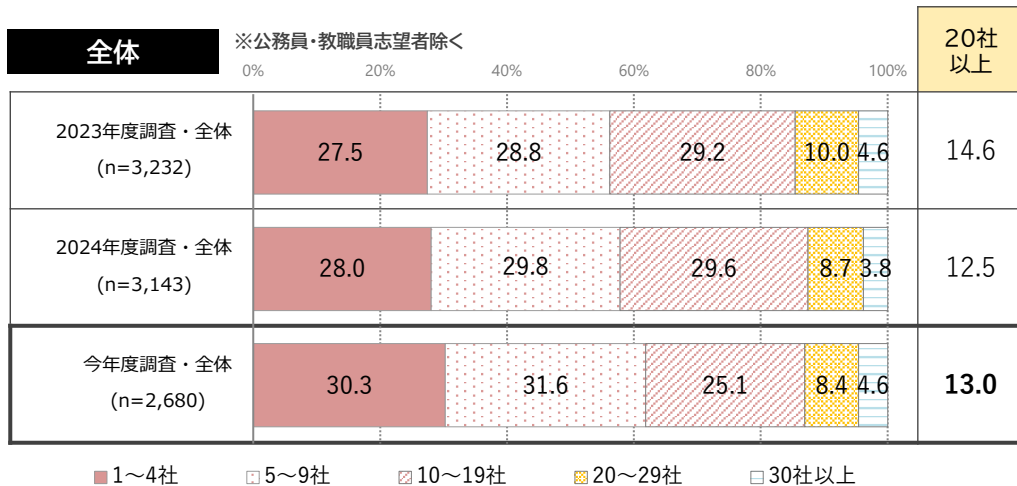
※公務員・教職員志望者除く

最初の面接	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	5.7	4.0	1.8	4.8	12.3	9.7	15.4	15.9	12.0	9.6	5.4	1.3	1.8	0.2	0.0	0.0
累積割合	5.7	9.7	11.5	16.3	28.6	38.3	53.7	69.6	81.6	91.3	96.7	97.9	99.8	100.0	100.0	100.0
面接のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	1.1	1.3	0.8	1.4	3.1	4.2	6.7	12.5	19.3	22.6	14.4	6.7	3.8	1.9	0.0	0.0
累積割合	1.1	2.5	3.3	4.7	7.8	12.1	18.8	31.3	50.5	73.1	87.5	94.3	98.1	100.0	100.0	100.0
最後の面接	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	0.7	0.2	0.3	0.4	1.5	1.6	3.9	4.8	11.4	18.0	17.2	16.8	13.8	6.1	1.6	1.8
累積割合	0.7	0.9	1.1	1.5	3.0	4.6	8.5	13.3	24.7	42.7	59.9	76.7	90.5	96.7	98.2	100.0

②採用面接を受けた企業数

採用面接を受けた企業数について、「1～4社」「5～9社」であった者の割合がいずれも約3割となっている。なお、20社以上の採用面接を受けた者は約1割となっている。

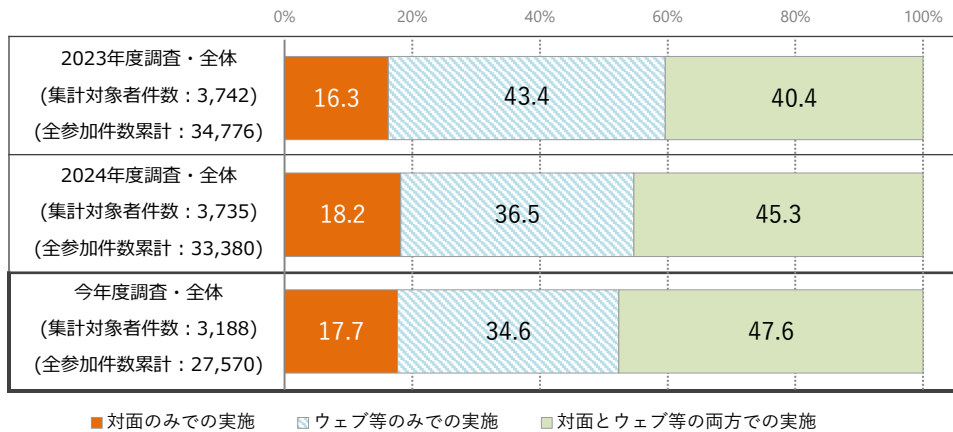
過年度調査と比較すると、「10～19社」の回答割合が減少傾向にある。



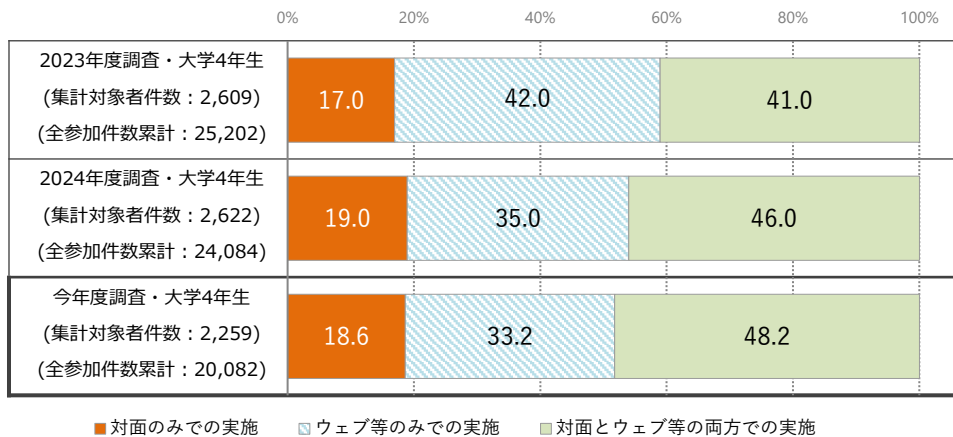
③採用面接の参加方法について

採用面接について実施された方法すべての企業数を累計※1し、実施方法別の企業数が占める割合を集計したところ、「対面とウェブ等の両方での実施」が約5割、「ウェブ等のみでの実施」が約3割となっている。
過年度調査と比較すると、「ウェブ等のみでの実施」が低くなり、「対面とウェブ等の両方での実施」が高まっている。

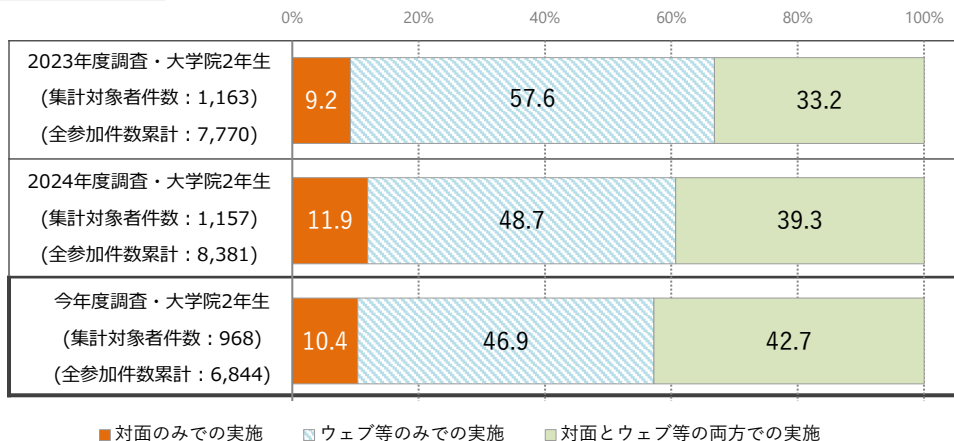
全体



大学4年生



大学院2年生



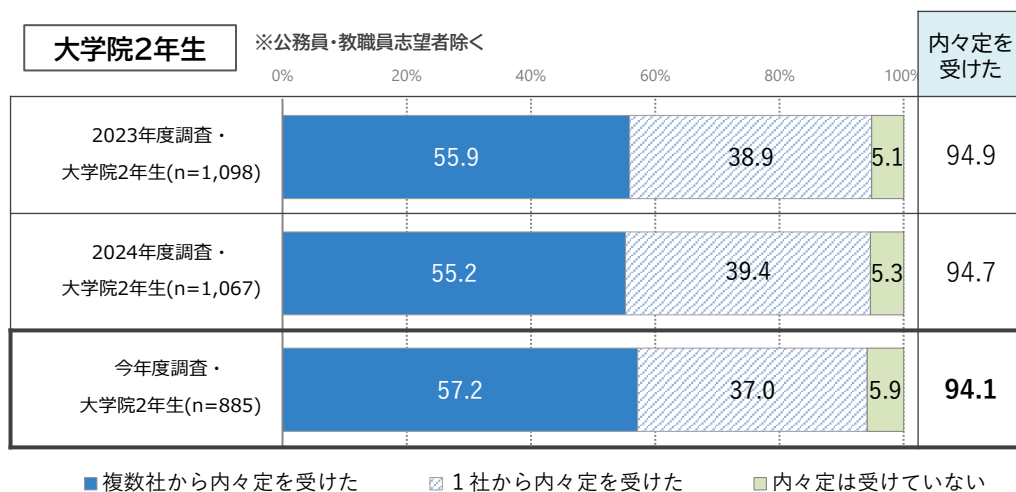
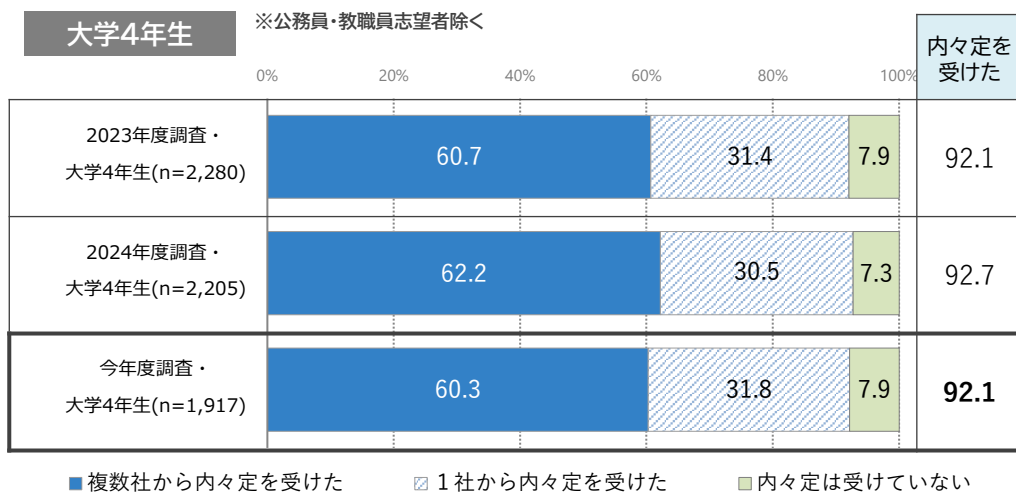
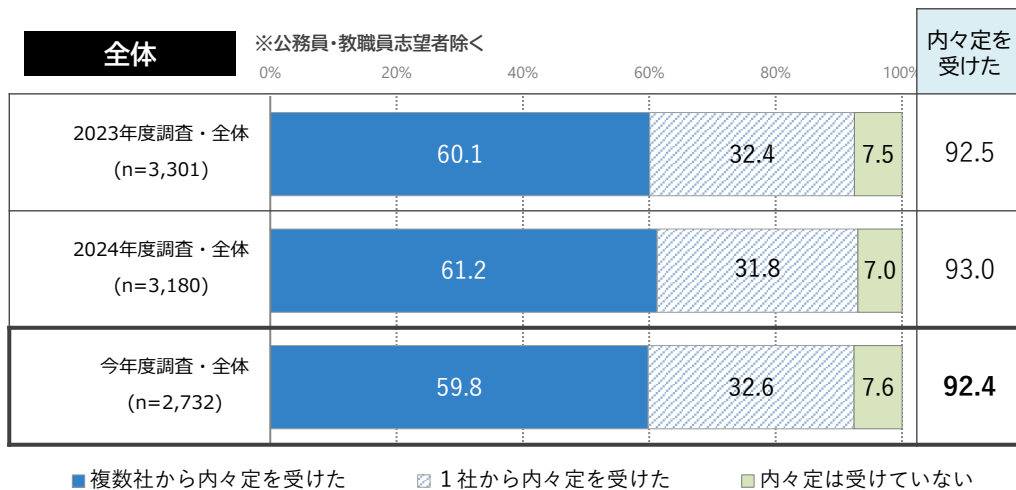
※1：調査においては、合計で何社の採用面接を受けたかを尋ねる設問と、対面のみでの実施、ウェブ等のみでの実施、対面とウェブ等の両方での方法別に尋ねる設問を設けているが、前者の「実施された合計の企業数」と後者の「方法別で尋ねた企業数」の合計は必ずしも一致せずとも回答が可能ないように設定したことから、前者ではなく後者の合計を用いて累計の値とした。

(4) 内々定の状況

①調査実施時点での内々定の状況

内々定※1の状況について※2、調査実施時点で約9割が内々定を受けている状況にある。また、約6割が「複数社から内々定を受けた」と回答している。

過年度調査と比べると、同様の傾向となっている。



※1：2023年度調査より、内々定については正式な「内定」の前の、企業と形式的に内々に合意したものと案内をした上で調査を行った。
 ※2：公務員や教職員志望者に関しては、調査実施時点において採用の面接等が行われていないと想定されることから、公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った(以降、内々定に関しては基本的に同様の処理を行っている)。

②内々定を受けた時期(最初の内々定)

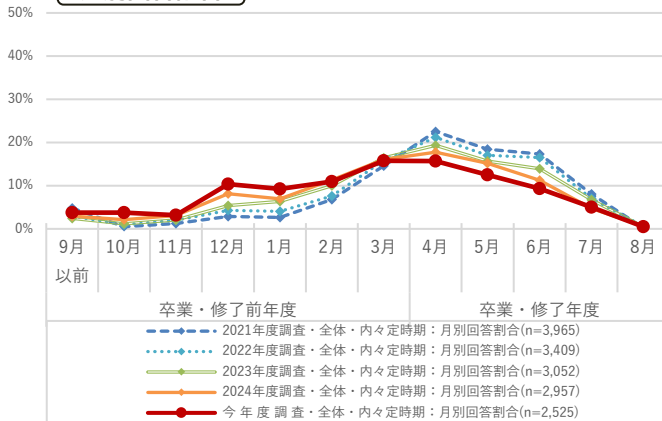
最初の内々定※1を受けた時期について※2、最も回答割合が高いのは「2025年3月」「2025年4月」がいずれも約2割と、採用・選考活動開始時期前である。なお、累積割合では、2月までに約4割、4月までに約7割、5月までに約9割の学生が、最初の内々定を受けている。

過年度調査と比較すると時期が早まっている傾向がみられ、特に卒業・修了前年度の12月から3月までの時期が早まっている。

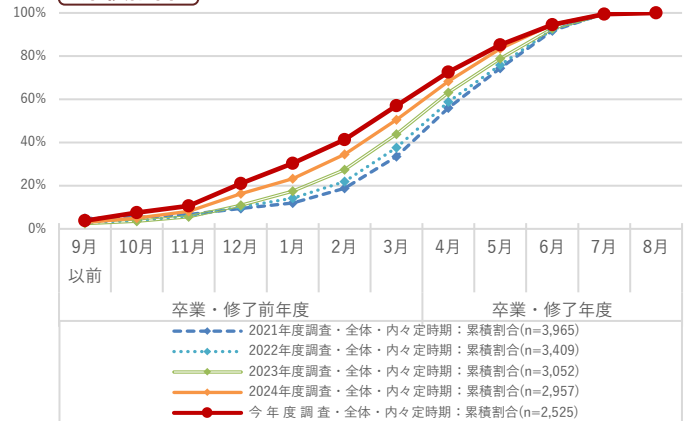
全体

※公務員・教職員志望者除く

月別回答割合



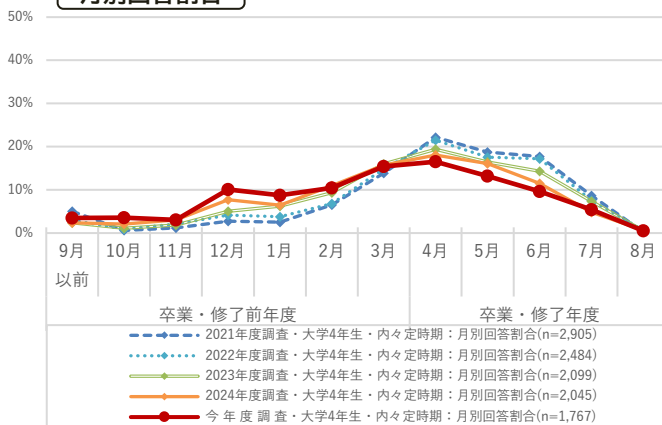
累積割合



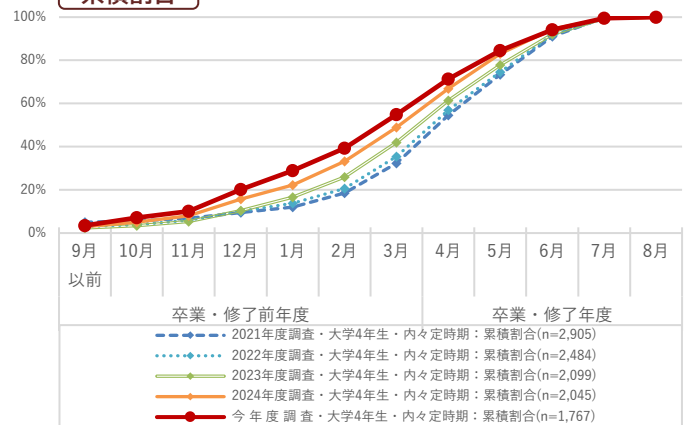
大学4年生

※公務員・教職員志望者除く

月別回答割合



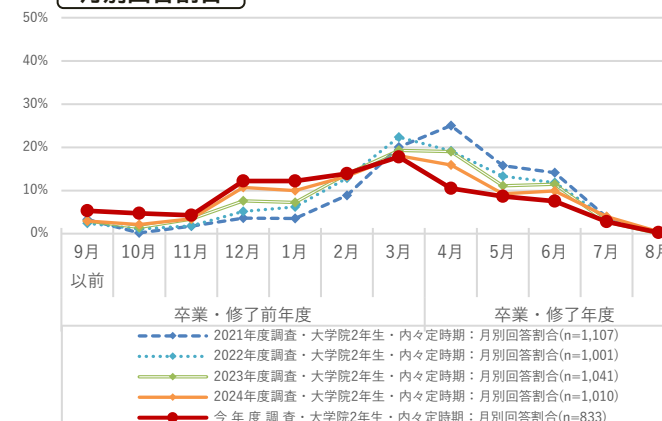
累積割合



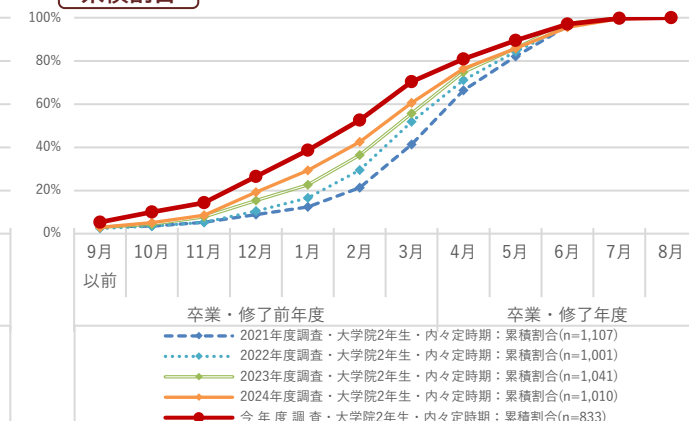
大学院2年生

※公務員・教職員志望者除く

月別回答割合



累積割合



※1：2023度調査より、内々定については正式な「内定」の前の、企業と形式的に内々に合意したものと案内をした上で調査を行った。
 ※2：1社から内々定を受けた者はその時期について、複数社から内々定を受けた者は最初に内々定を受けた時期について集計した。
 なお、ここで集計しても、公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。また、内々定を受けていないと回答した者は集計の対象外としている。

②内々定を受けた時期(最初の内々定)

【今年度調査・詳細データ】※全て%

全体

※公務員・教職員志望者除く

	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.9	0.3	0.9	1.6	3.7	3.2	10.4	9.3	10.9	15.8	15.7	12.5	9.3	5.0	0.5
累積割合	0.9	1.3	2.1	3.7	7.5	10.7	21.0	30.3	41.3	57.0	72.7	85.2	94.5	99.5	100.0

大学4年生

※公務員・教職員志望者除く

	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.8	0.3	0.8	1.6	3.6	3.0	10.1	8.8	10.5	15.4	16.5	13.2	9.6	5.4	0.5
累積割合	0.8	1.1	1.9	3.5	7.1	10.1	20.1	28.9	39.4	54.8	71.3	84.5	94.1	99.5	100.0

大学院2年生

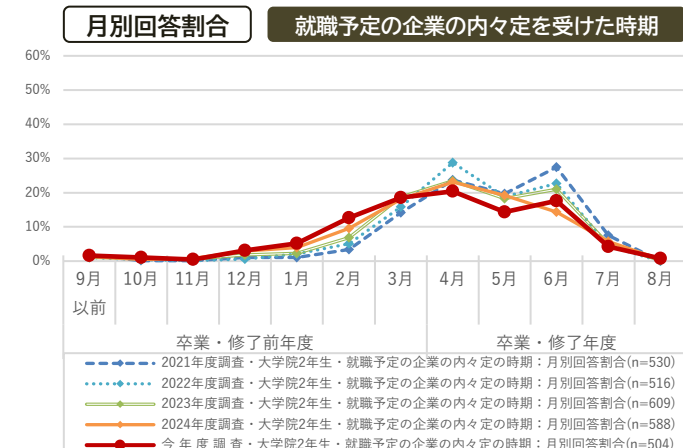
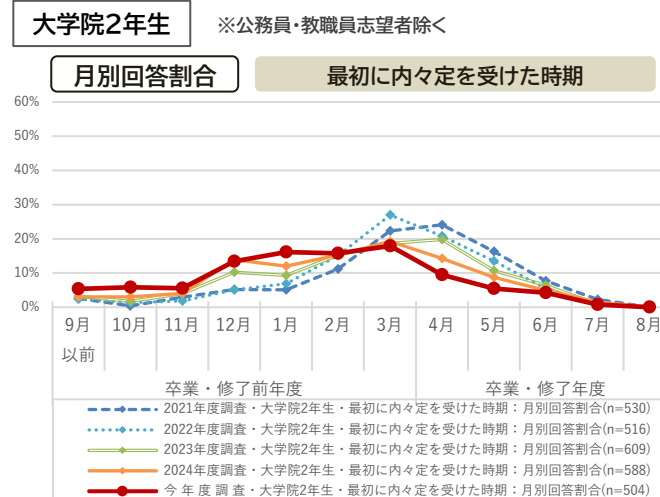
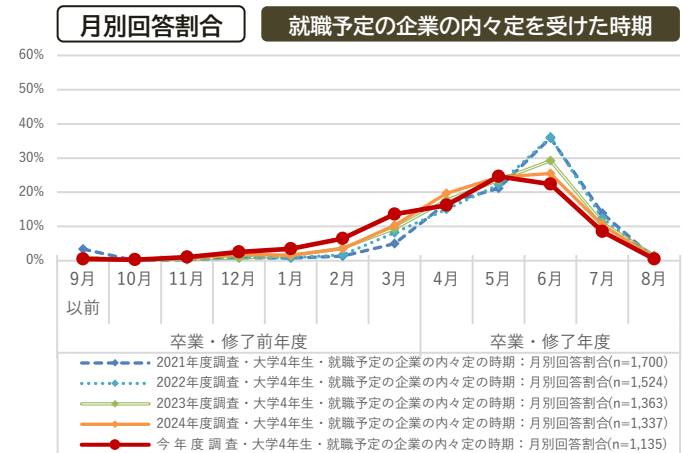
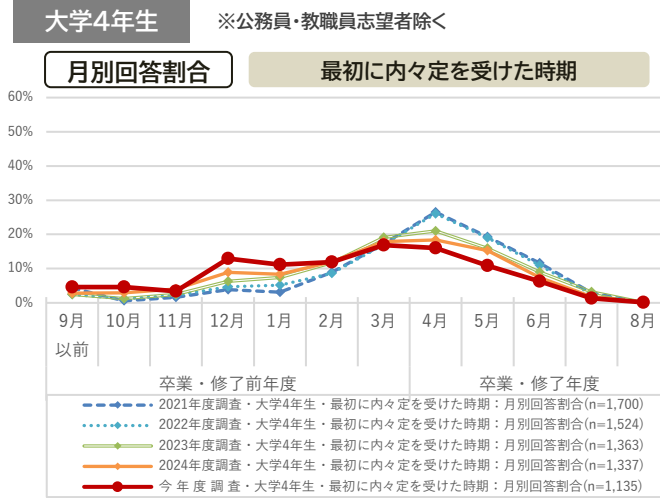
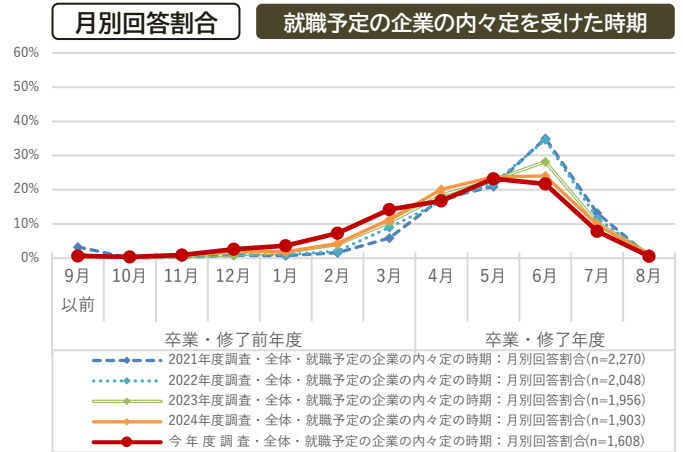
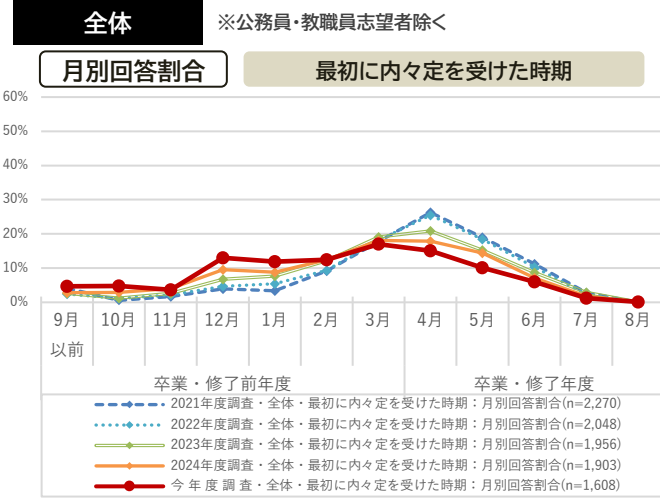
※公務員・教職員志望者除く

	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	2.1	0.3	1.4	1.6	4.7	4.3	12.2	12.2	13.9	17.8	10.5	8.7	7.5	2.8	0.3
累積割合	2.1	2.3	3.8	5.3	10.0	14.3	26.4	38.6	52.5	70.3	80.8	89.5	97.0	99.7	100.0

③内々定を受けた時期(内々定を複数社から受けた場合)

「複数社から内々定※1を受けた」と回答した者について、「最初に内々定を受けた時期」は「2025年3月」「2025年4月」との回答がどちらも約2割と高く、「就職予定の企業の内々定を受けた時期」は「2025年4月」「2025年5月」「2025年6月」の回答がいずれも約2割で最も高くなっている※2。

過年度調査と比較すると、「最初に内々定を受けた時期」「就職予定の企業の内々定を受けた時期」ともに、時期が早まっている傾向が見られた。



※1：2023年度調査より、内々定については正式な「内定」の前の、企業と形式的に内々に合意したものと案内をした上で調査を行った。
 ※2：「最初の内々定」「就職予定の企業の内々定」いずれについても、「就職予定の企業の内々定」に関して「就職予定の企業はない」と回答した者は集計の対象外とした。

③内々定を受けた時期(内々定を複数社から受けた場合)

【今年度調査・詳細データ】※全て%

全体		※公務員・教職員志望者除く													
最初の内々定	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.8	0.3	1.3	2.3	4.7	3.7	13.0	11.9	12.4	17.0	15.1	10.1	6.0	1.3	0.1
累積割合	0.8	1.1	2.4	4.7	9.5	13.1	26.1	38.0	50.4	67.4	82.5	92.6	98.6	99.9	100.0
就職予定の内々定	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.2	0.0	0.2	0.2	0.4	1.0	2.6	3.7	7.3	14.3	16.8	23.2	21.7	7.9	0.5
累積割合	0.2	0.2	0.4	0.6	1.0	2.0	4.6	8.3	15.6	29.8	46.6	69.8	91.6	99.5	100.0

大学4年生		※公務員・教職員志望者除く													
最初の内々定	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.7	0.3	1.2	2.3	4.6	3.4	12.9	11.2	11.9	16.9	16.0	10.9	6.2	1.3	0.1
累積割合	0.7	1.0	2.2	4.6	9.2	12.5	25.5	36.6	48.5	65.4	81.4	92.3	98.5	99.9	100.0
就職予定の内々定	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.1	0.0	0.2	0.2	0.3	1.0	2.6	3.5	6.4	13.6	16.2	24.6	22.4	8.5	0.5
累積割合	0.1	0.1	0.3	0.5	0.7	1.8	4.3	7.8	14.2	27.8	44.0	68.6	91.0	99.5	100.0

大学院2年生		※公務員・教職員志望者除く													
最初の内々定	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.9	0.5	2.0	2.0	5.8	5.6	13.4	16.2	15.7	17.9	9.4	5.5	4.2	0.8	0.0
累積割合	0.9	1.4	3.4	5.4	11.2	16.8	30.2	46.4	62.1	80.1	89.5	95.0	99.2	100.0	100.0
就職予定の内々定	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.5	0.3	0.0	0.8	1.1	0.5	3.1	5.2	12.6	18.6	20.4	14.4	17.6	4.2	0.8
累積割合	0.5	0.8	0.8	1.6	2.6	3.1	6.2	11.4	24.0	42.6	63.0	77.4	95.0	99.2	100.0

④内々定を受けた企業の企業規模(従業員数)

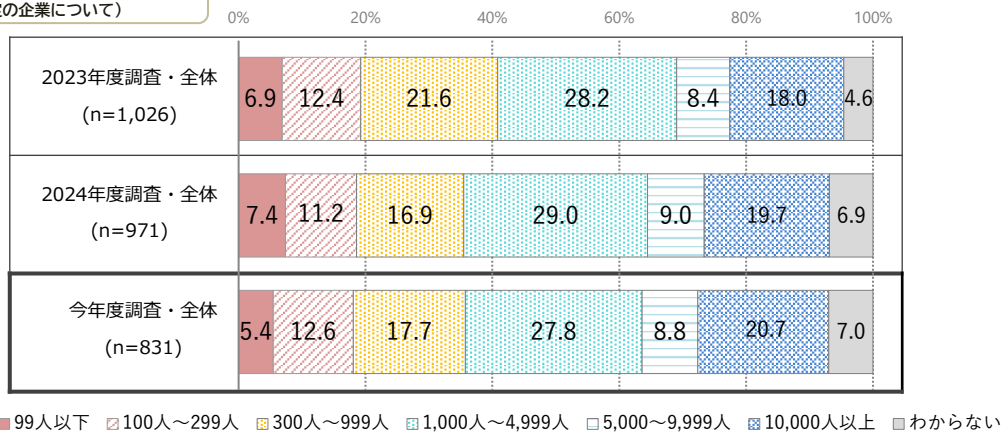
内々定※1を受けた企業の企業規模(従業員数)について※2、1社から内々定を受けた者、複数社から内々定を受けた者のそれぞれについて集計を行った。1社から内々定を受けた者については就職予定の企業について、複数社から内々定を受けた者については、最初に内々定を受けた企業と、就職予定の企業についてそれぞれ把握した。

これらのうち、複数社から内々定を受けた者について、「最初に内々定を受けた企業」に対して「就職予定の企業」の方が、規模(従業員数)の大きい企業である割合が高くなっており、特に「10,000人以上規模」でその差は大きい。これは、過年度調査と同様の結果となっている。

全体

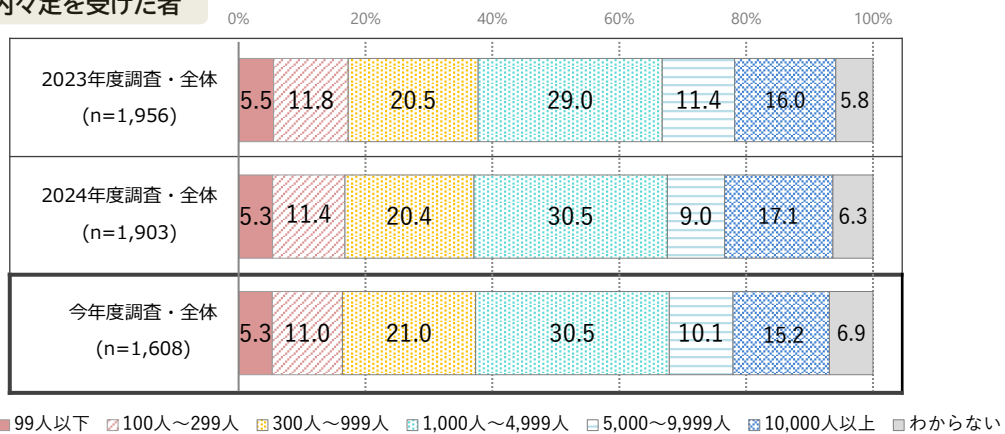
※公務員・教職員志望者除く

1社から内々定を受けた者 (就職予定の企業について)

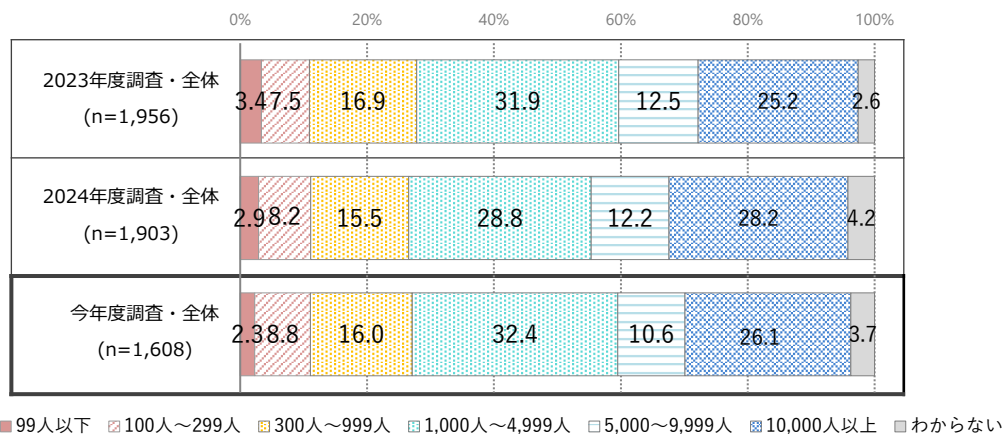


複数社から内々定を受けた者

最初に内々定を受けた企業



就職予定の企業



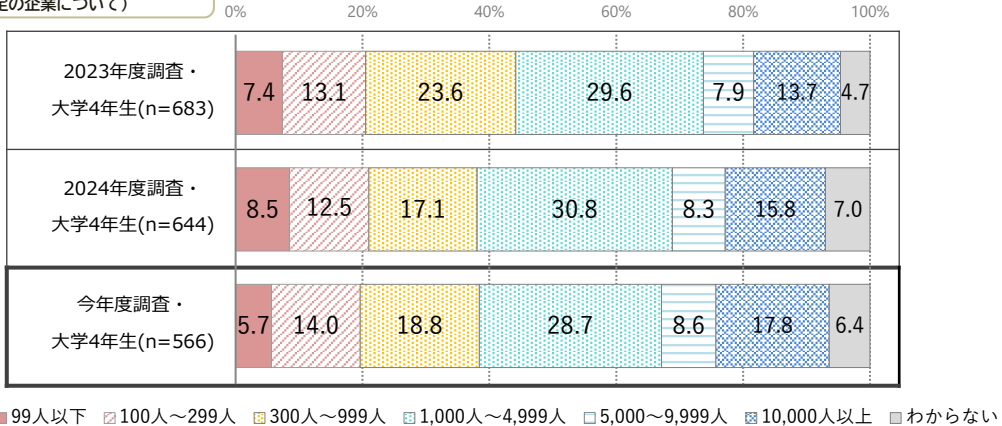
※1：2023年度調査より、内々定については正式な「内定」の前の、企業と形式的に内々に合意したものと案内をした上で調査を行った。
 ※2：公務員や教職員志望者に関しては、調査実施時点において採用の面接等が行われていないと想定されることから、公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った(以降、就職予定企業に関しては基本的に同様の処理を行っている)。

④内々定を受けた企業の企業規模(従業員数)

大学4年生

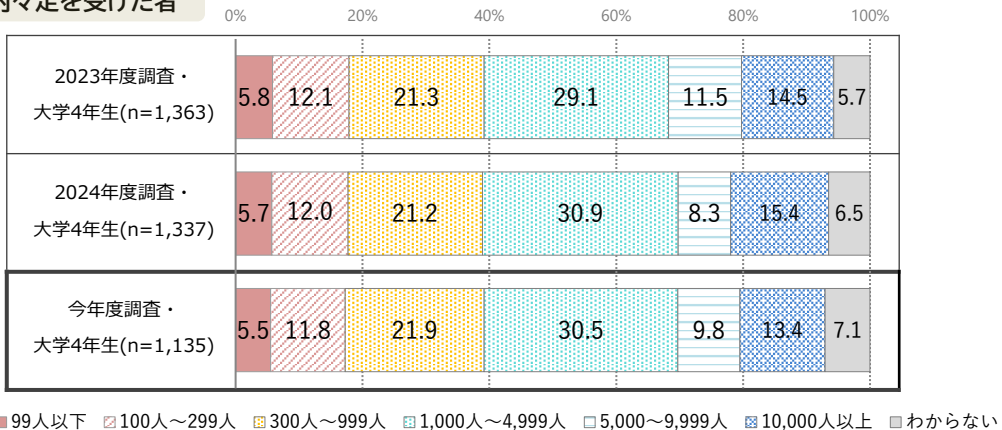
※公務員・教職員志望者除く

1社から内々定を受けた者 (就職予定の企業について)

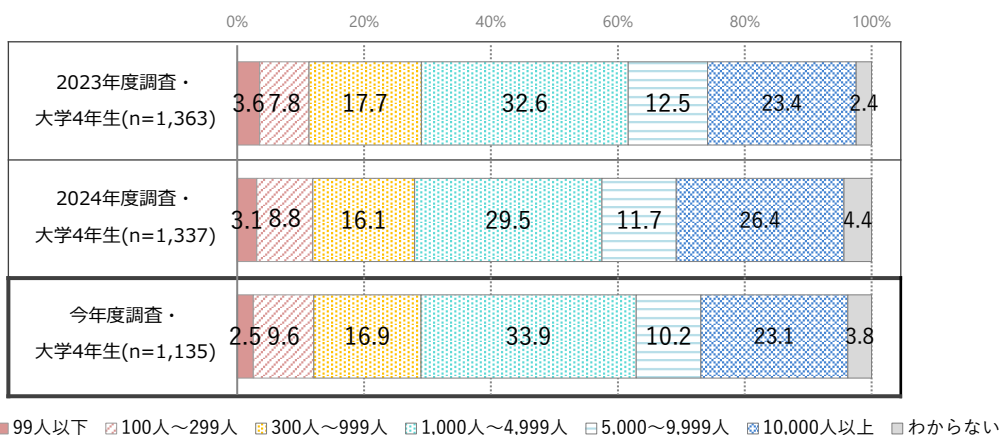


複数社から内々定を受けた者

最初に内々定を受けた企業



就職予定の企業

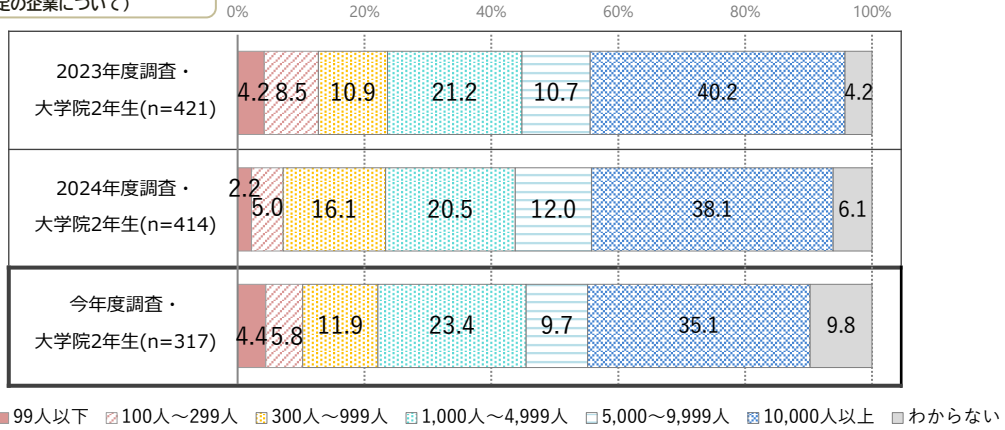


④内々定を受けた企業の企業規模(従業員数)

大学院2年生

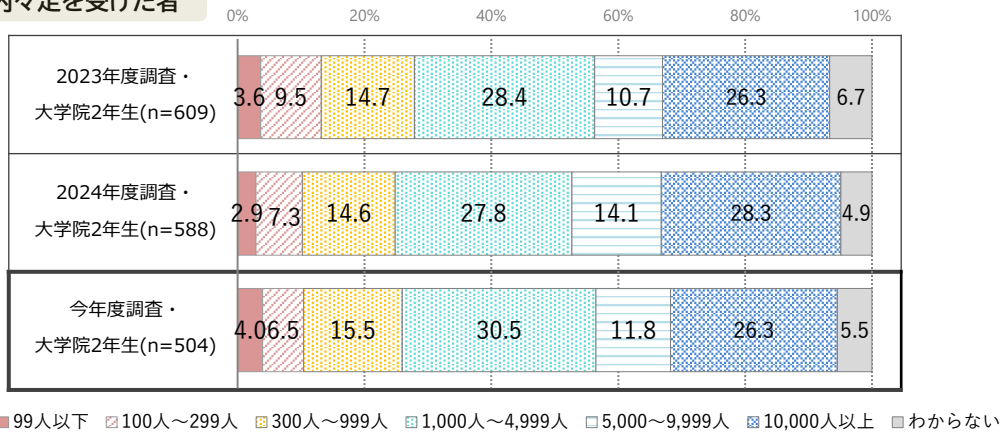
※公務員・教職員志望者除く

1社から内々定を受けた者 (就職予定の企業について)

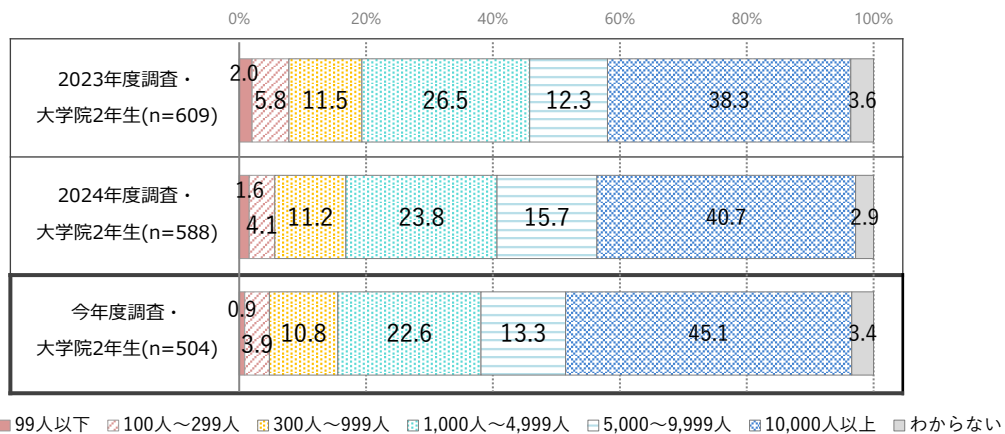


複数社から内々定を受けた者

最初に内々定を受けた企業



就職予定の企業



⑤就職予定の企業の志望度別の内々定を受けた時期

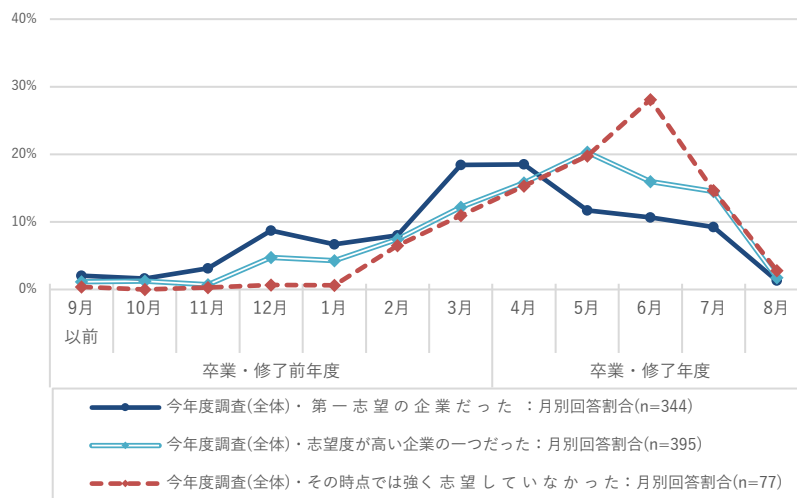
就職予定の企業からの内々定※1の時期※2について、その企業に対する志望度別に集計※3すると、複数社から内々定を受けた者ではいずれの場合も、就職予定の企業の内々定の時期は「2025年5月」「2025年6月」の回答割合が約2～3割と最も高くなっている。1社から内々定を受けた者に関しては、「その時点では強く志望していなかった」では「2025年6月」とする回答割合が最も高いが、「志望度が高い企業の一つだった」では「2025年4月」「2025年5月」「2025年6月」、「第一志望の企業だった」では「2025年3月」「2025年4月」が約2割ずつとなった。

全体

※公務員・教職員志望者除く

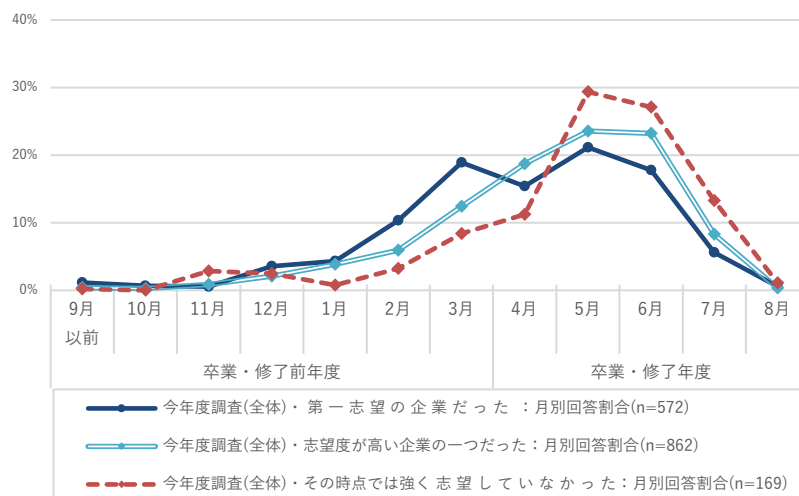
1社から内々定を受けた者

月別回答割合



複数社から内々定を受けた者

月別回答割合



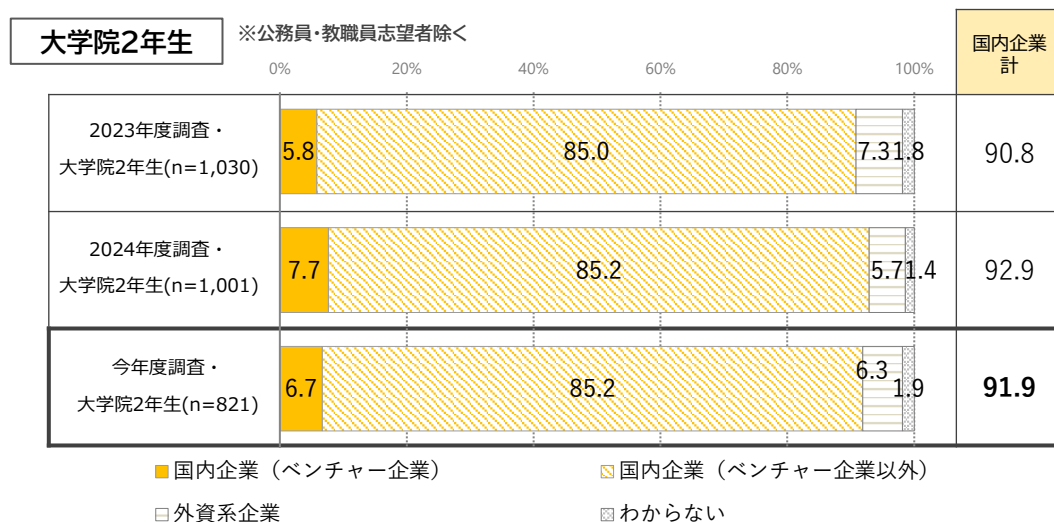
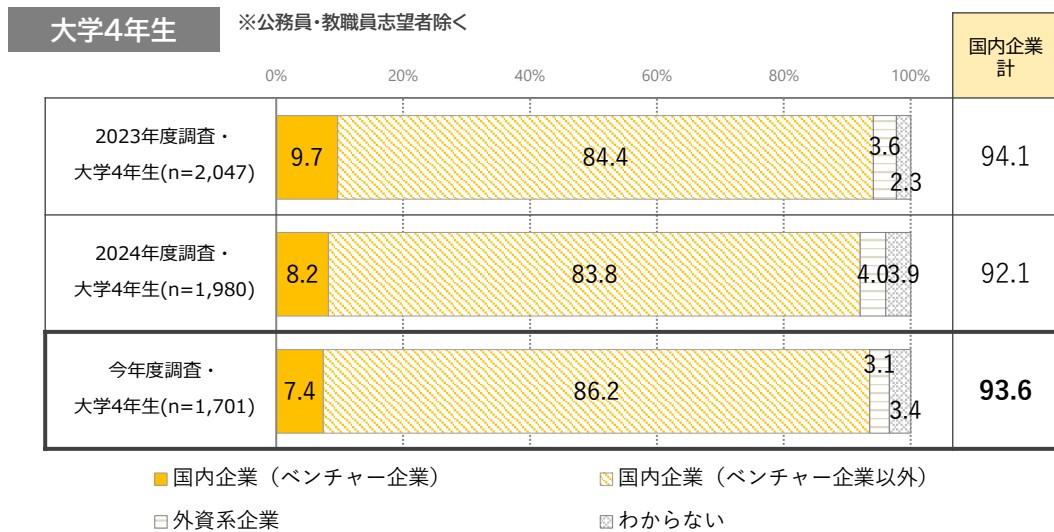
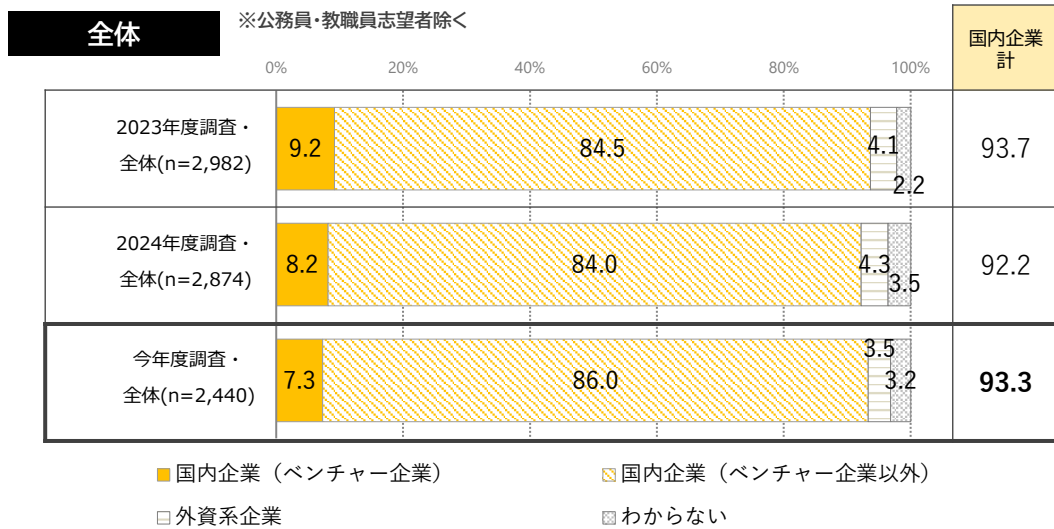
※1：2023年度調査より、内々定については正式な「内定」の前の、企業と形式的に内々に合意したものと案内をした上で調査を行った。

※2：1社から内々定を受けた者はその企業に就職予定であると回答した場合、及び、複数社から内々定を受けた者は就職予定の企業に関して、内々定を受けた時期に関する回答結果を集計した。

※3：就職予定の企業の採用選考に応募した時点で志望していた企業の全てを思い返したうえでの志望度について尋ねた回答の結果を基に分類をした。なお、志望度について「覚えていない」と回答した者は集計の対象外とした。また、分類によっては集計対象者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学4年生・大学院2年生について合わせて集計した結果のみ参照した。

⑥就職予定の企業の種類

就職予定の企業が国内企業かどうかについて、「国内企業（ベンチャー企業※1）」の回答割合は約1割で、「国内企業（ベンチャー企業以外）」と合わせると、国内企業とする回答割合は約9割となった。
過年度調査と比べると、同様の傾向となっている。

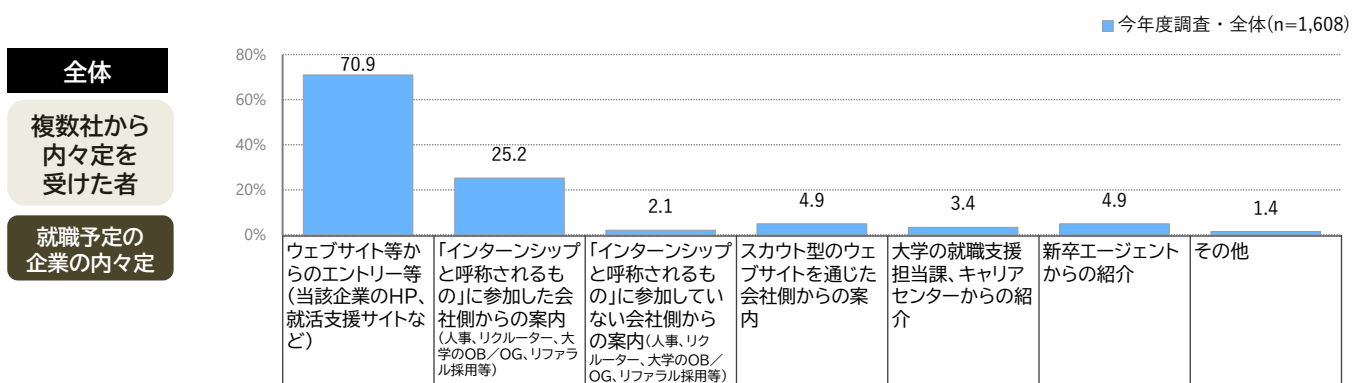
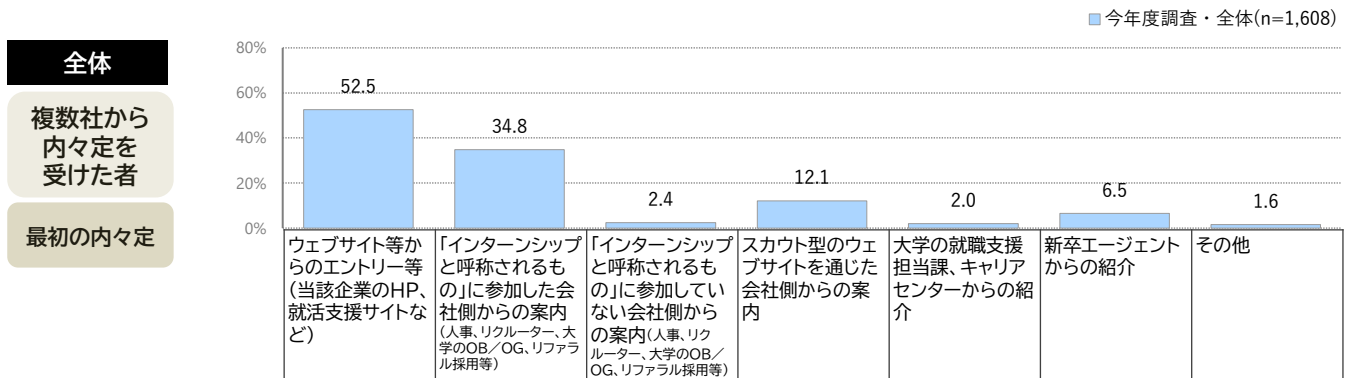
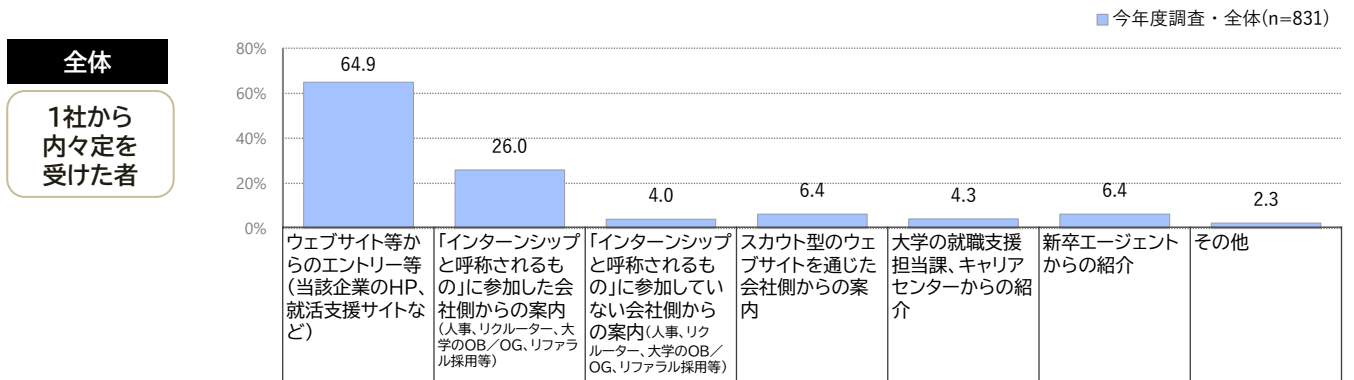


※1：ベンチャー企業については、2023年度調査より「新興企業であって、独自のアイデアや技術で新しいサービスやビジネスに挑戦している企業」と案内した上で調査を行っている。

(5) 採用試験・面接等を受けた経路

①内々定を受けた企業について採用試験・面接等を受けた経路

内々定※1を受けた企業に関してどのような経路で採用試験・面接等を受けたか※2について、1社から内々定を受けた者では、「ウェブサイト等からのエントリー等(当該企業のHP、就活支援サイトなど)」の割合が約6割、「インターンシップと称されるもの」に参加した会社側からの案内(人事、リクレーター、大学のOB/OG、リファラル採用等)が約3割となっている。また、複数社から内々定を受けた者では、「最初の内々定」について「インターンシップと称されるもの」に参加した会社側からの案内(人事、リクレーター、大学のOB/OG、リファラル採用等)が約3割、「スカウト型のウェブサイトを通じた会社側からの案内」の割合が約1割とやや高くなっている。



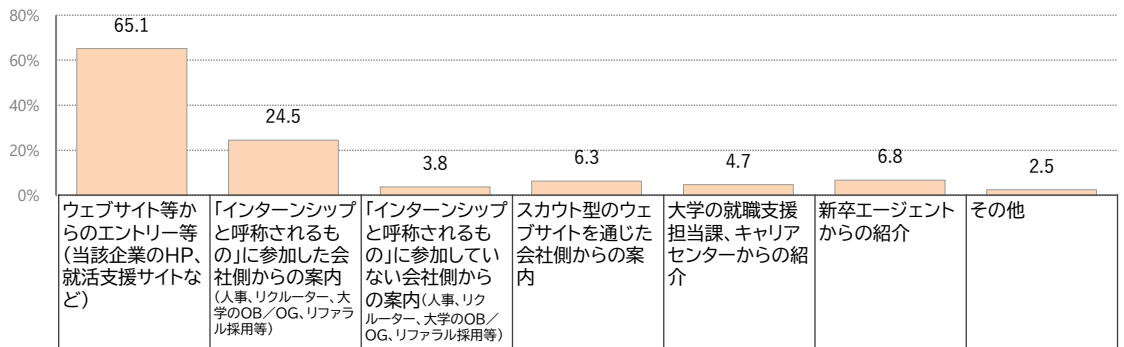
※1：2023年度調査より、内々定については正式な「内定」の前の、企業と形式的に内々に合意したものと案内をした上で調査を行った。
 ※2：1社から内々定を受けた者は就職予定の企業について、複数社から内々定を受けた者は最初に内々定を受けた企業と就職予定の企業のそれぞれについて調査し、集計をした。

①内々定を受けた企業について採用試験・面接等を受けた経路

■ 今年度調査・大学4年生(n=566)

大学4年生

1社から
内々定を
受けた者

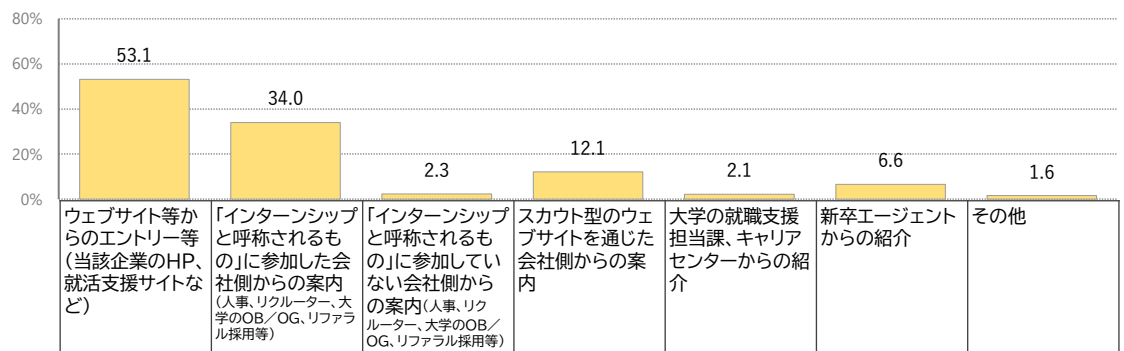


大学4年生

複数社から
内々定を
受けた者

最初の内々定

■ 今年度調査・大学4年生(n=1,135)

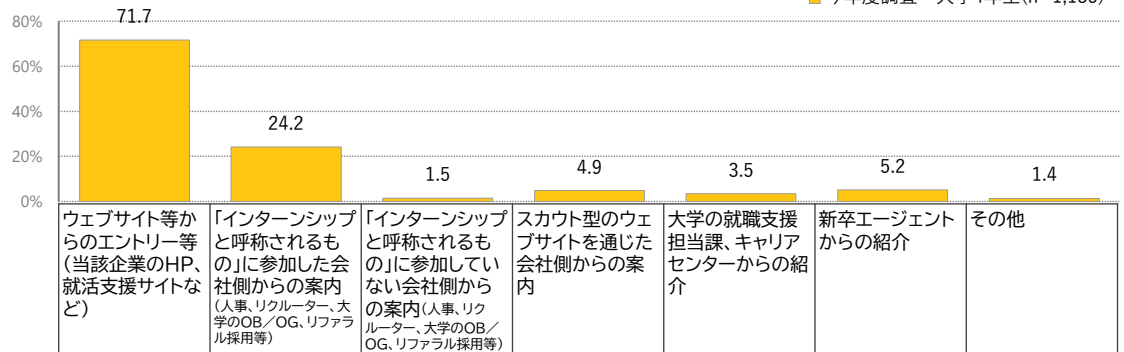


大学4年生

複数社から
内々定を
受けた者

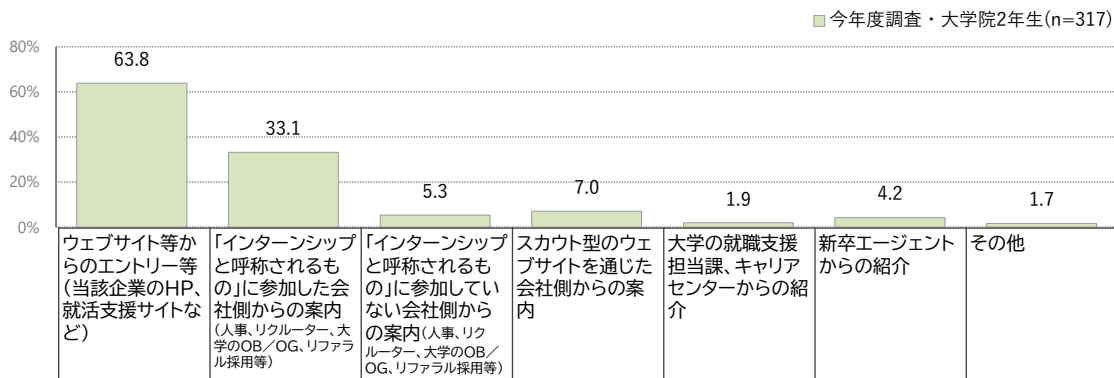
就職予定の
企業の内々定

■ 今年度調査・大学4年生(n=1,135)

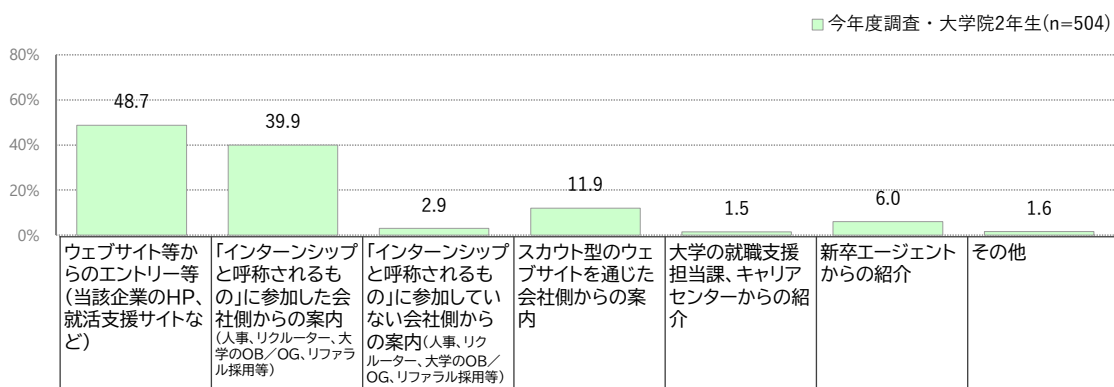


①内々定を受けた企業について採用試験・面接等を受けた経路

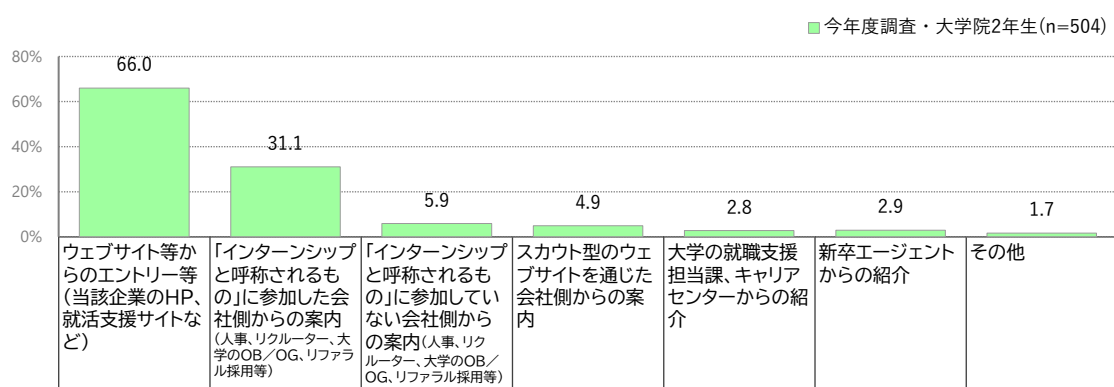
大学院2年生
1社から内々定を受けた者



大学院2年生
複数社から内々定を受けた者
最初の内々定



大学院2年生
複数社から内々定を受けた者
就職予定の企業の内々定

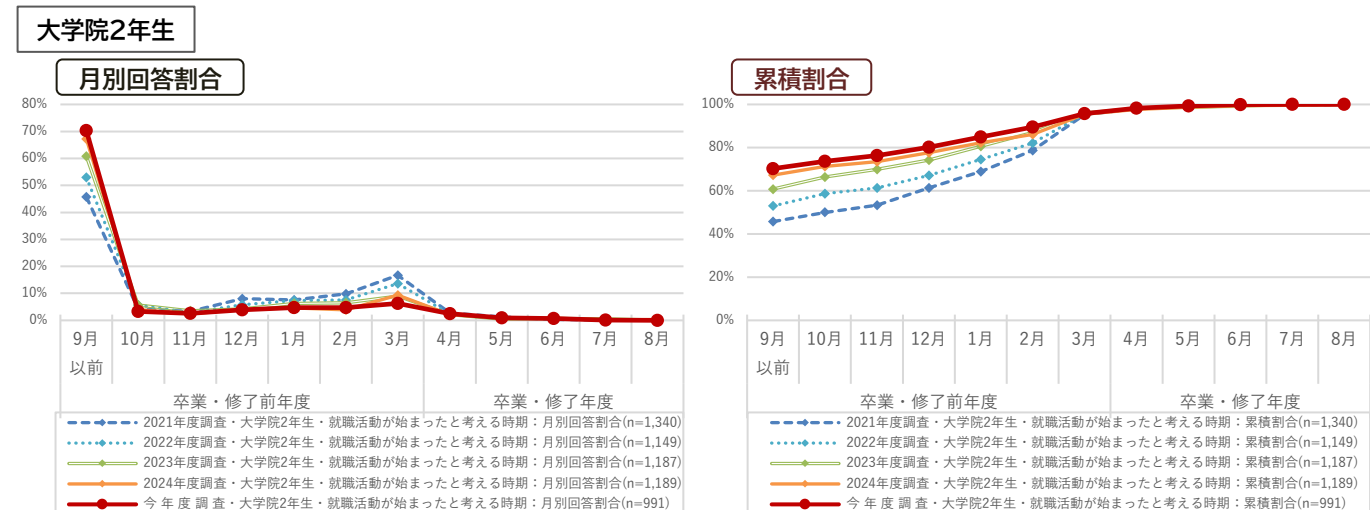
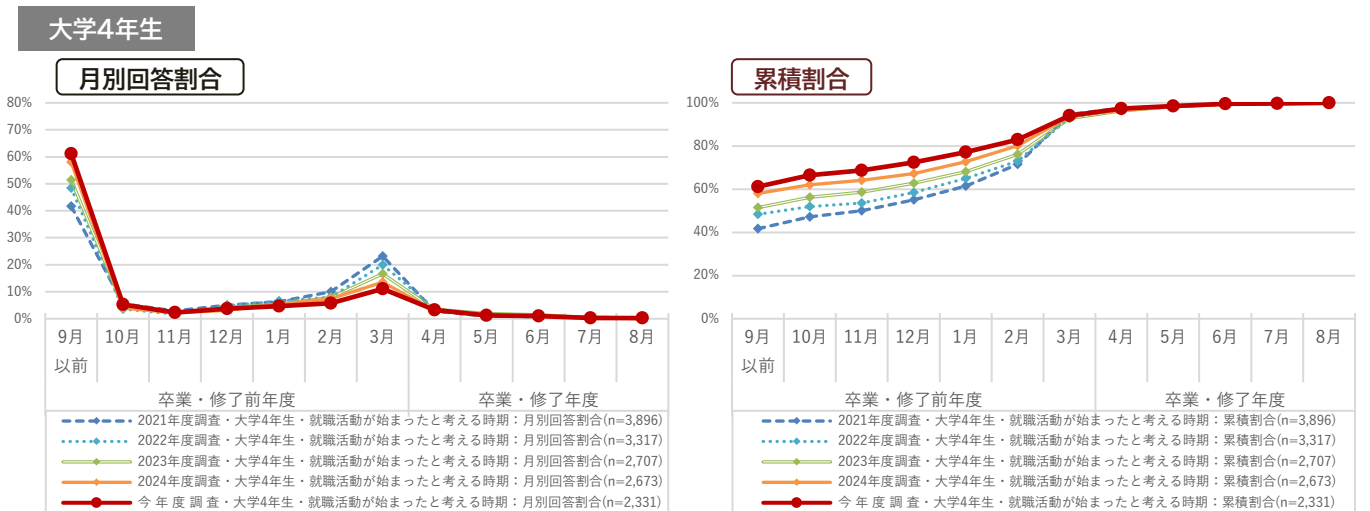
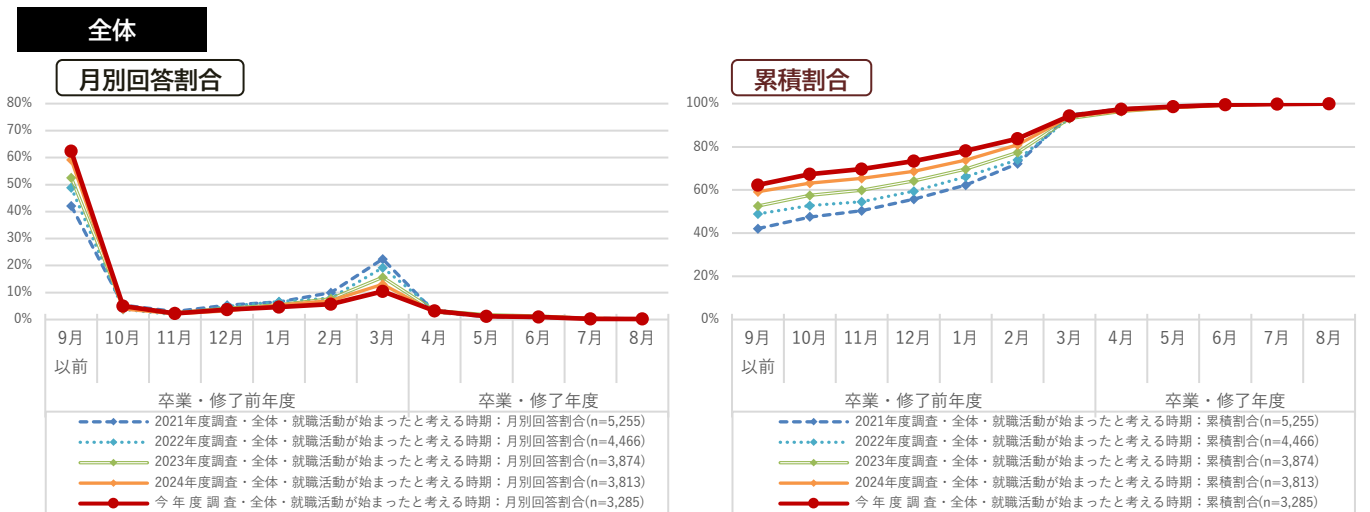


(6) 就職活動の始まりと終わりの認識

①就職活動が始まったと考える時期

回答者自身の認識としての「就職活動が始まったと考える時期」について、「2024年9月以前」が約6割と最も高く、次いで「2025年3月」の回答割合が約1割と続く。

今年度調査では卒業・修了前年度3月の回答割合が比較的高い傾向は続いているが、卒業・修了前年度2月以前の回答割合は年々高くなっている。



①就職活動が始まったと考える時期

【今年度調査・詳細データ】※全て%

全体

	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	42.6	10.0	7.2	2.6	5.0	2.3	3.7	4.7	5.7	10.5	3.2	1.2	0.9	0.3	0.2
累積割合	42.6	52.6	59.8	62.3	67.4	69.7	73.4	78.1	83.8	94.2	97.4	98.6	99.5	99.8	100.0

大学4年生

	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	40.5	10.3	7.8	2.5	5.3	2.3	3.7	4.7	5.8	11.1	3.3	1.2	1.0	0.3	0.2
累積割合	40.5	50.8	58.6	61.2	66.4	68.7	72.4	77.1	82.9	94.0	97.3	98.5	99.5	99.8	100.0

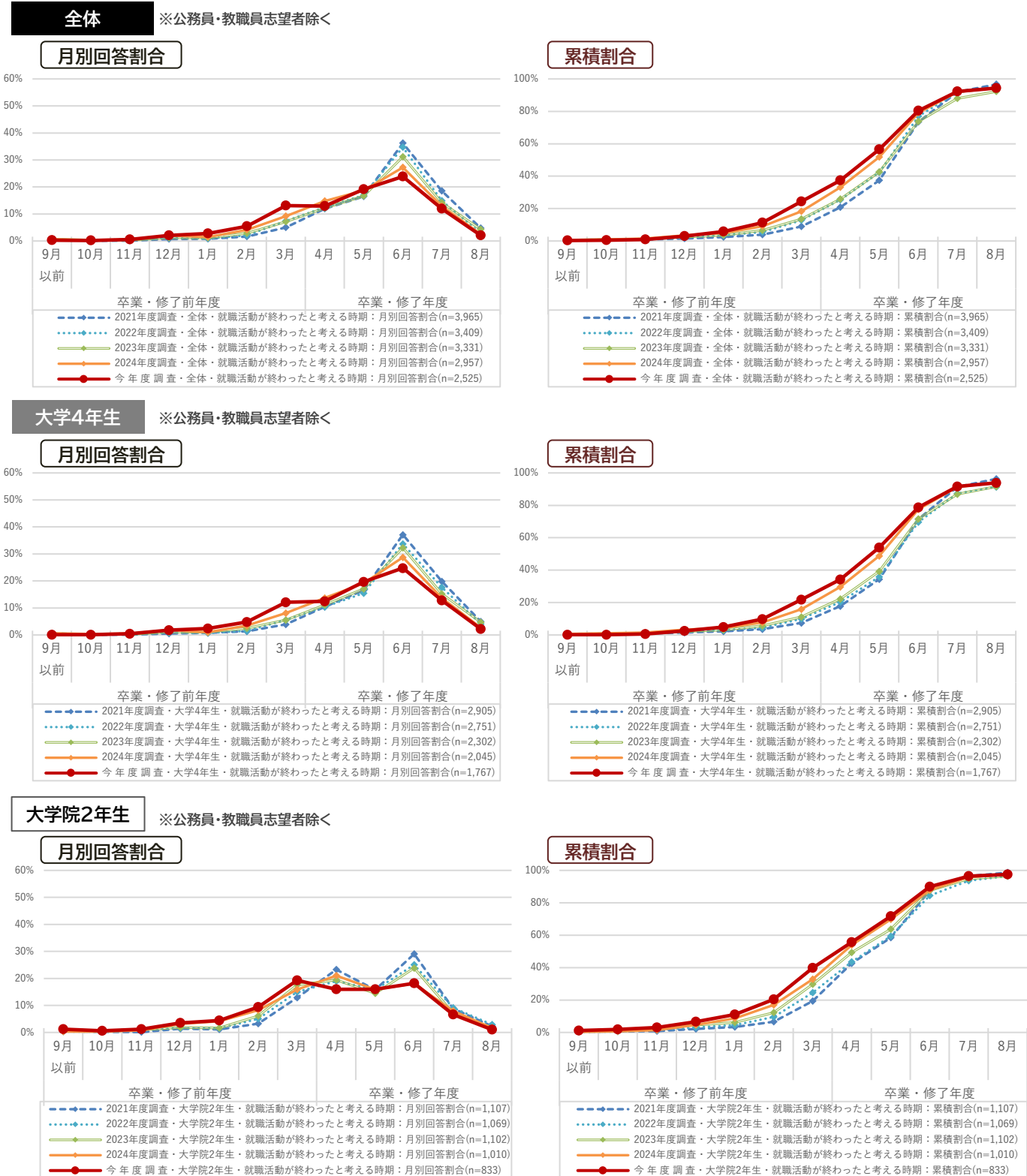
大学院2年生

	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	56.6	7.9	3.1	2.7	3.4	2.6	3.9	4.7	4.7	6.2	2.5	1.0	0.7	0.1	0.0
累積割合	56.6	64.5	67.6	70.3	73.6	76.3	80.2	84.9	89.6	95.8	98.3	99.3	99.9	100.0	100.0

②就職活動が終わったと考える時期

内々定を1社以上受けたと回答した者※1にとっての「就職活動が終わったと考える時期」について、「2025年6月」の回答割合が約2割となっている。なお、累積割合※2では、2025年5月以前に就職活動が終わったと回答しているのは約6割となっている。

過年度調査と比べると、卒業・修了年度5月までに終わったと回答している人は増加している。



※1：公務員や教職員志望者に関しては、調査実施時点において採用の面接等が行われていないと想定されることから、公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。

※2：「内々定をもらったが、就職予定の企業の内々定をもらっていない」とした人を、「まだ終わっていない」とした。そのため、「8月」の時点でも累積割合のグラフは100%にならない。

②就職活動が終わったと考える時期

【今年度調査・詳細データ】※全て%

全体

※公務員・教職員志望者除く

	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.1	0.0	0.1	0.1	0.2	0.5	2.1	2.8	5.5	13.1	12.9	19.2	23.9	12.0	2.1
累積割合	0.1	0.2	0.2	0.3	0.5	1.0	3.1	5.8	11.3	24.4	37.3	56.5	80.3	92.3	94.4

大学4年生

※公務員・教職員志望者除く

	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.4	1.8	2.4	4.8	12.1	12.4	19.7	24.8	12.9	2.3
累積割合	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.7	2.5	4.9	9.7	21.8	34.3	54.0	78.8	91.6	93.9

大学院2年生

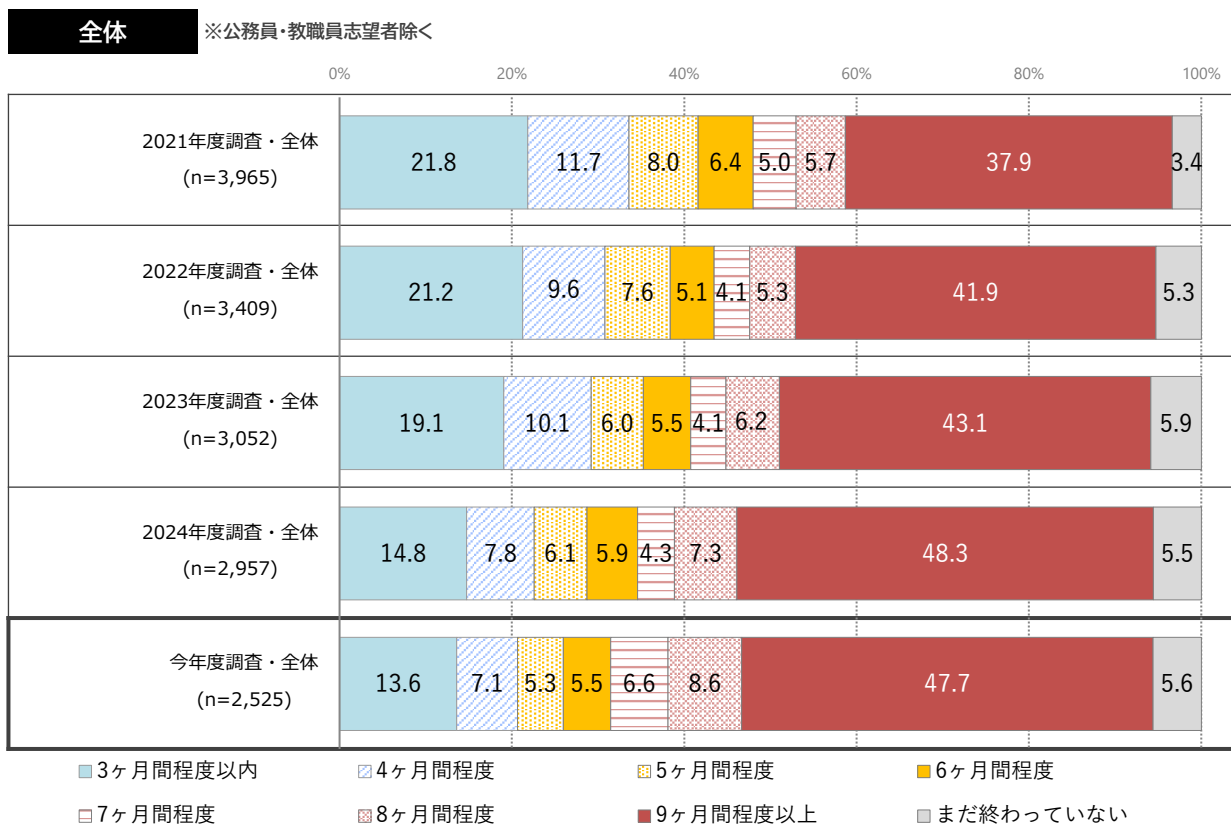
※公務員・教職員志望者除く

	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.8	0.3	0.0	0.1	0.6	1.2	3.6	4.4	9.4	19.3	16.0	16.0	18.2	6.6	1.0
累積割合	0.8	1.1	1.1	1.2	1.8	3.0	6.6	11.0	20.4	39.7	55.7	71.7	89.9	96.5	97.5

③就職活動の始まりから終わりまでの期間

内々定を1社以上受けたと回答した者にとっての「就職活動が始まったと考える時期」から「就職活動が終わったと考える時期」の間の期間について集計すると※1、「9ヶ月間程度以上」の割合が約5割と最も高く、次いで「3ヶ月間程度以内※2」が約1割。

昨年度調査と比較すると、概ね同様の傾向だが、「3ヶ月間程度以内」～「6ヶ月間程度」の割合は減少しており、やや長期化の傾向がみられる。



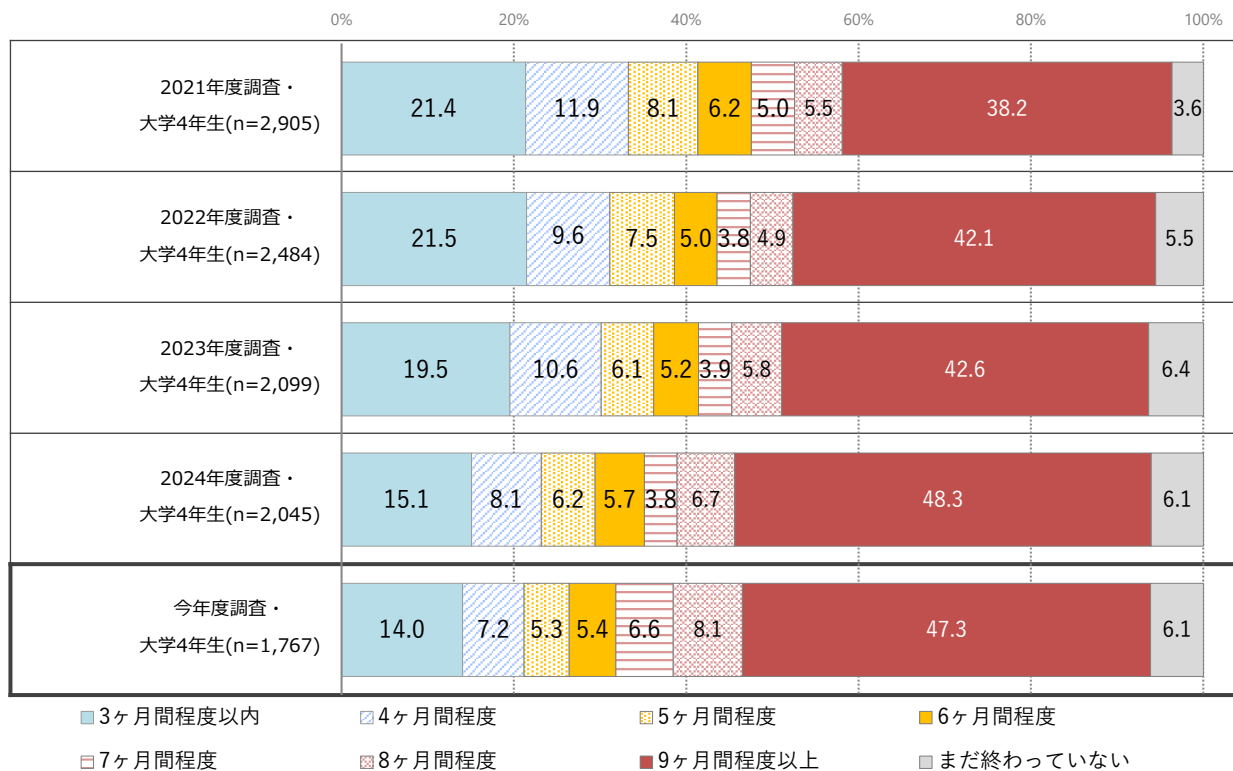
※1：公務員や教職員志望者に関しては、調査実施時点において採用の面接等が行われていないと想定されることから、公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。

※2：ここでの集計において、「3ヶ月間程度」とは、例えば、「就職活動が始まったと考える時期」が3月、「就職活動が終わったと考える時期」が6月というように、両者の差が3ヶ月であることを意味する。したがって、「1ヶ月間程度」の分類には、最短で2日間、最長で約60日間の場合が含まれる。一方で、「同月内」の場合であっても実質的には最長で30日間である可能性もある。なお、最初と最後の月から計算しており、途中の期間に就職活動を行っていない可能性があるなど、必ずしも就職活動を行っていた実際の期間の長さを意味するものではない点に留意が必要である。

③就職活動の始まりから終わりまでの期間

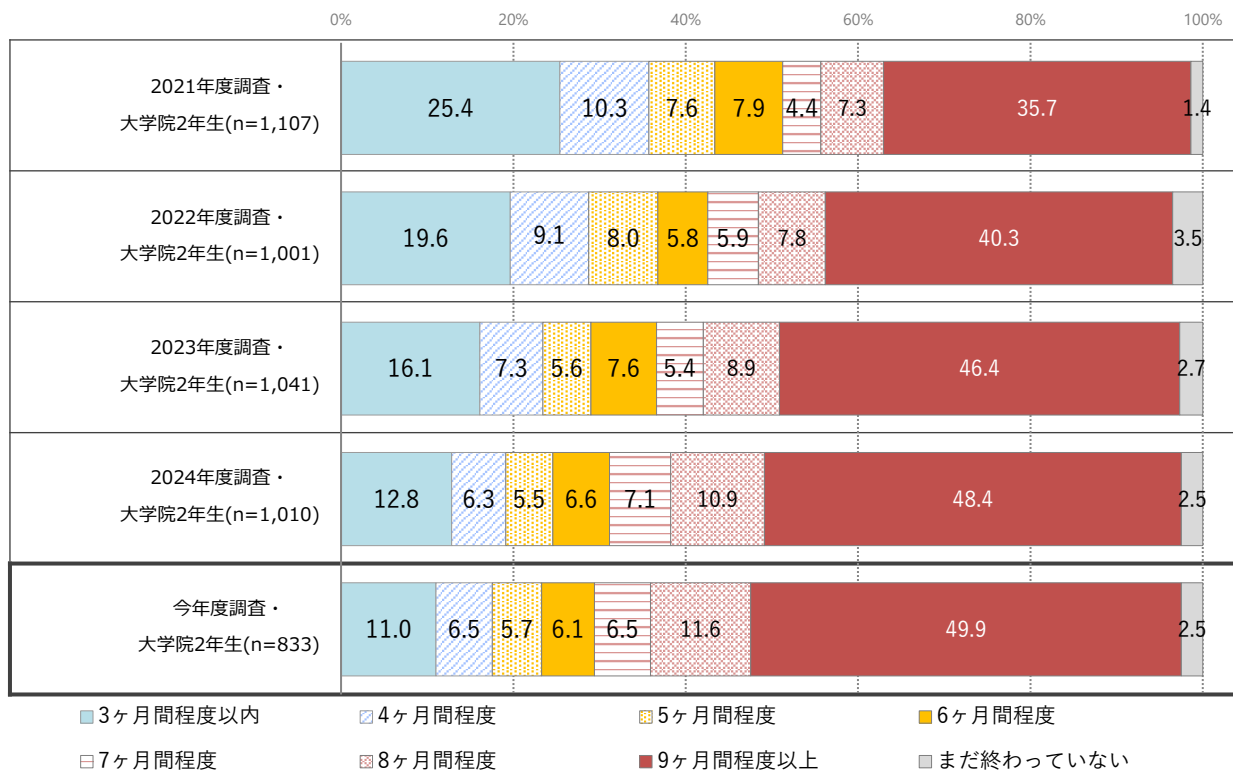
大学4年生

※公務員・教職員志望者除く



大学院2年生

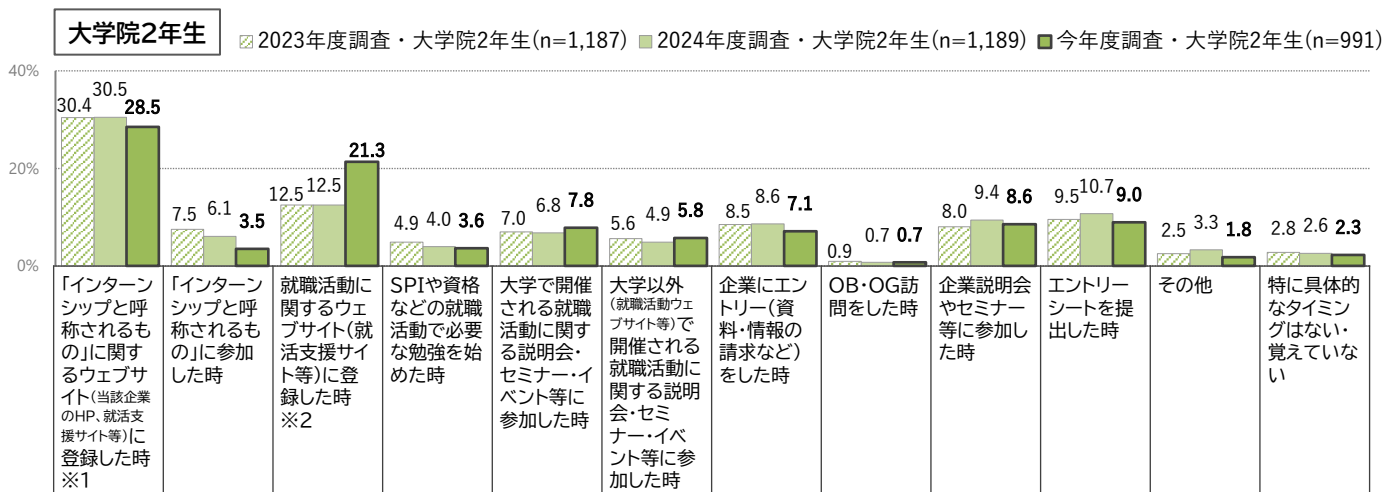
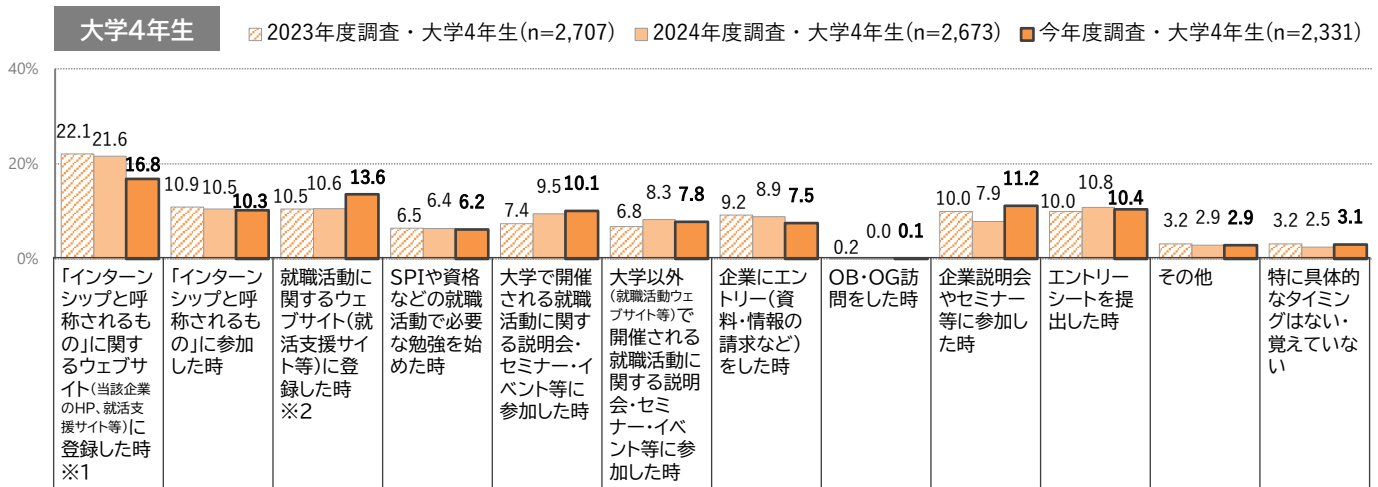
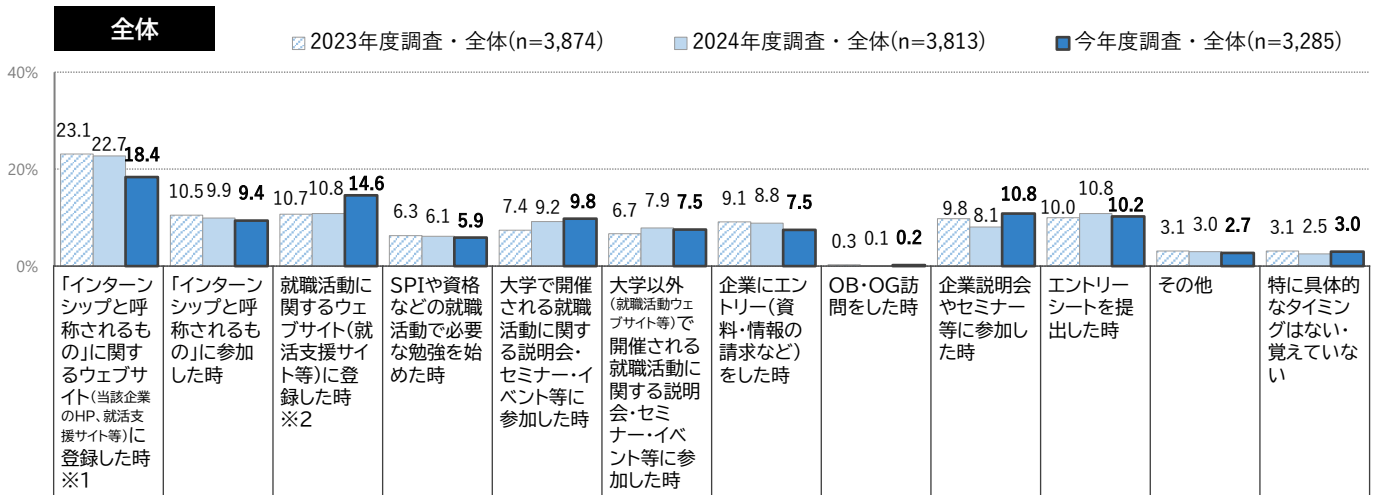
※公務員・教職員志望者除く



④就職活動が「始まった」と考えるタイミング

就職活動が「始まった」と考えるタイミングについて、「「インターンシップと称されるもの※1」に関するウェブサイトに登録した時」が約2割と最も高く、次いで「就職活動に関するウェブサイトに登録した時※2」「企業説明会やセミナーに参加した時」「エントリーシートを提出した時」が1割を超える。

過年度調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



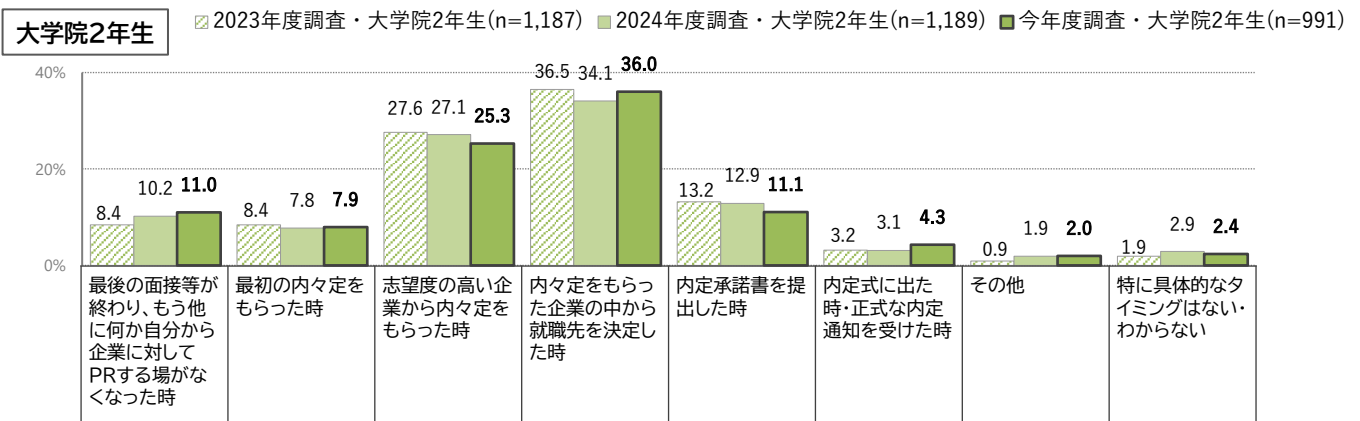
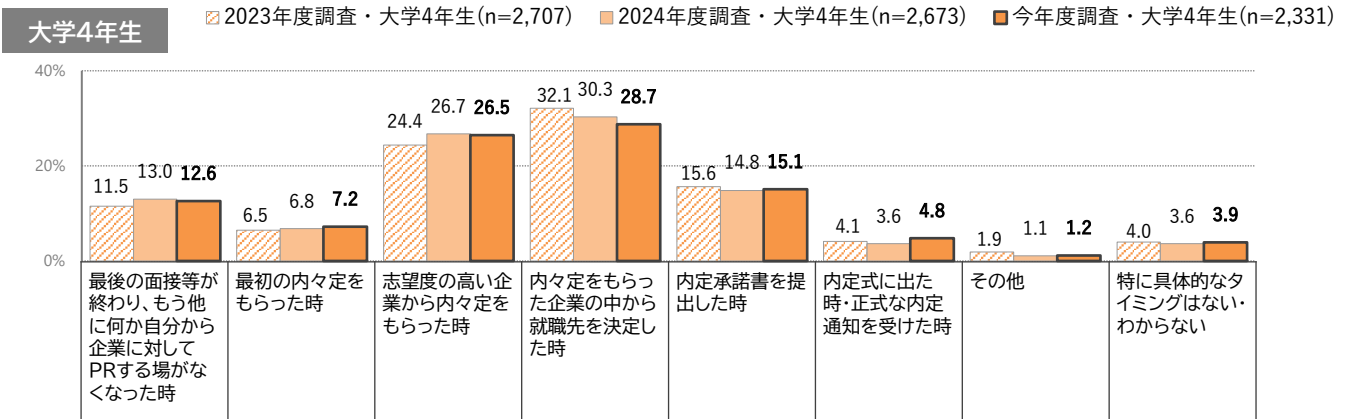
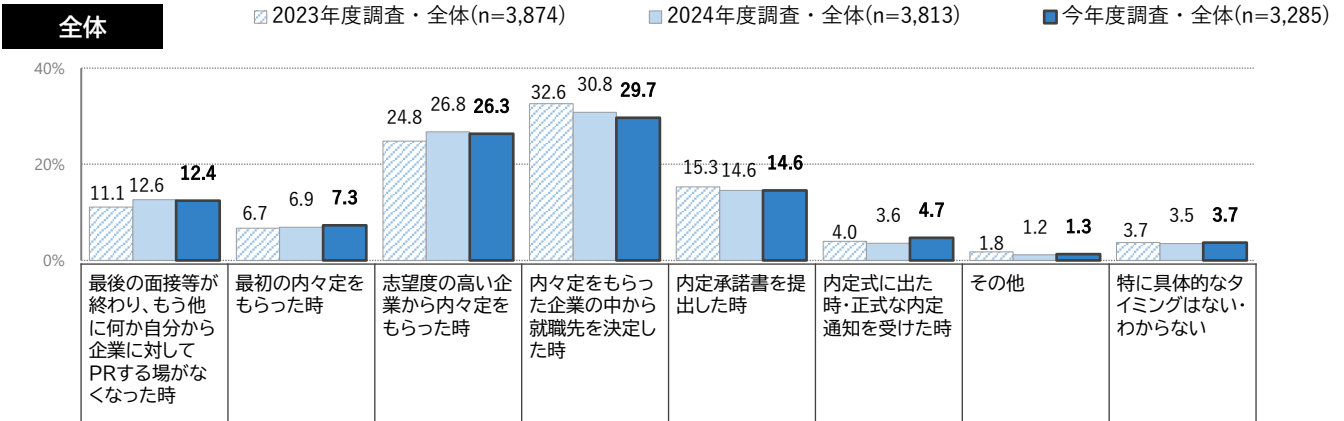
※1：2024年度調査以前は「「インターンシップと称されるもの」に関するウェブサイト(当該企業のHP、リクルート・マイナビ等)に登録した時」で聴取。

※2：2024年度調査以前は「就職活動に関するウェブサイト(リクナビ・マイナビ等)に登録した時」で聴取。

⑤就職活動が「終わった」と考えるタイミング

就職活動が「終わった」と考えるタイミング※1について、「内々定をもらった企業の中から就職先を決定した時」が約3割と最も高く、次いで「志望度の高い企業から内々定をもらった時」が約3割、「内定承諾書を提出した時」「最後の面接等が終わり、もう他に何か自分から企業に対してPRする場がなくなった時」が約1割となっている。

過年度調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



※1：内々定をもらった人を対象としている。

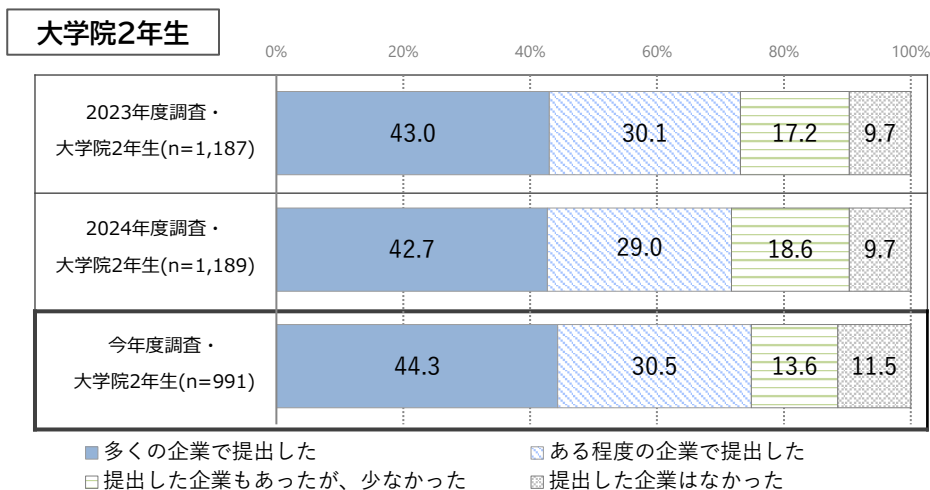
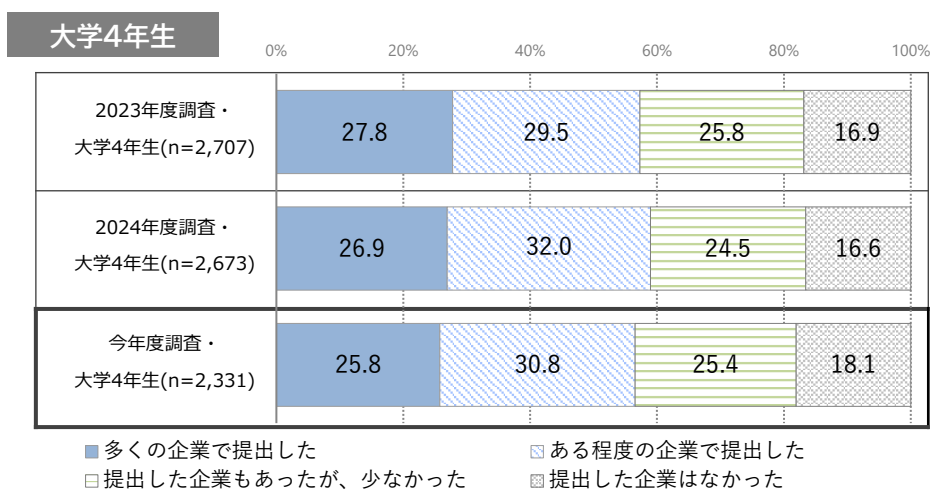
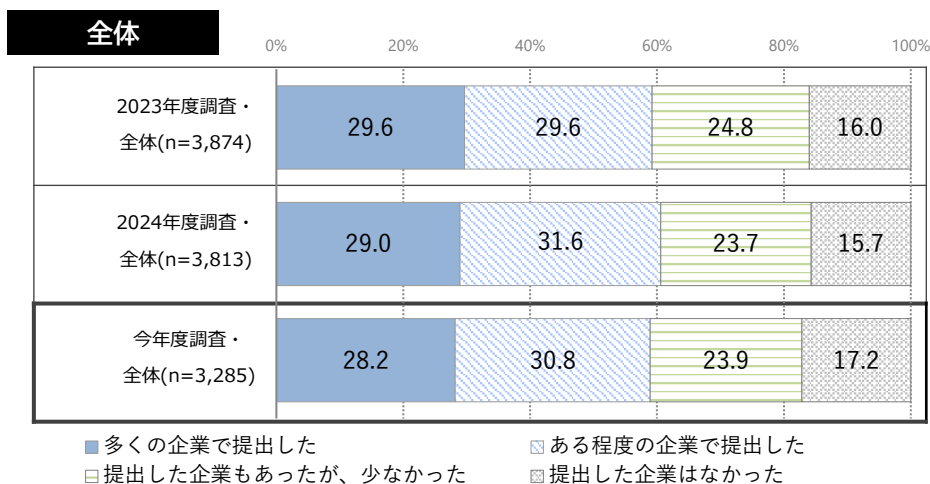
第五章 就職活動における諸問題について

第五章 就職活動における諸問題について

(1) 履修履歴(成績証明書など)の提出の状況

①提出の状況

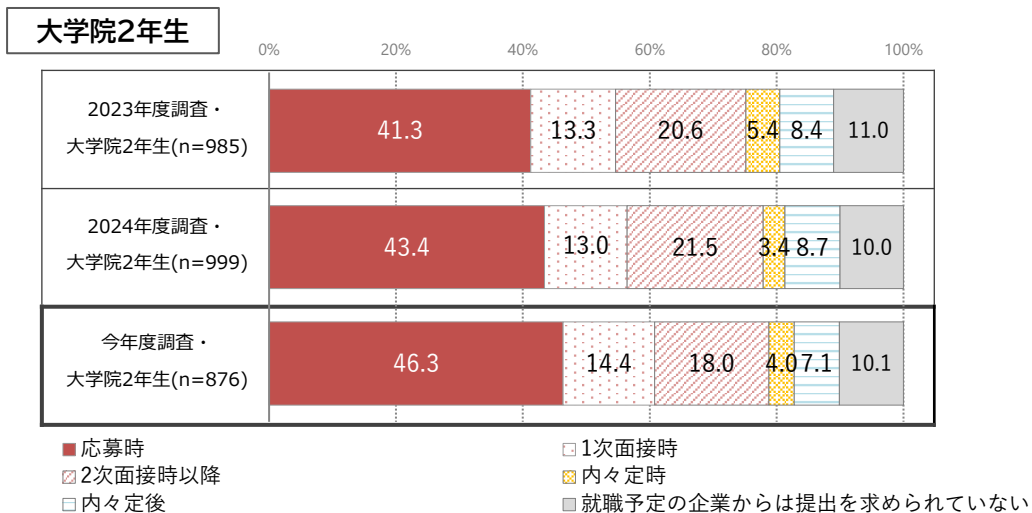
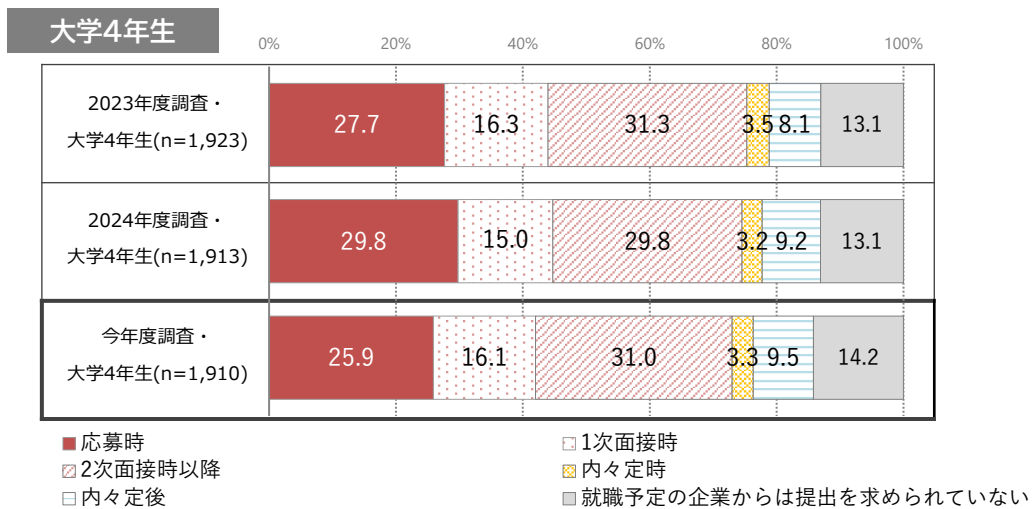
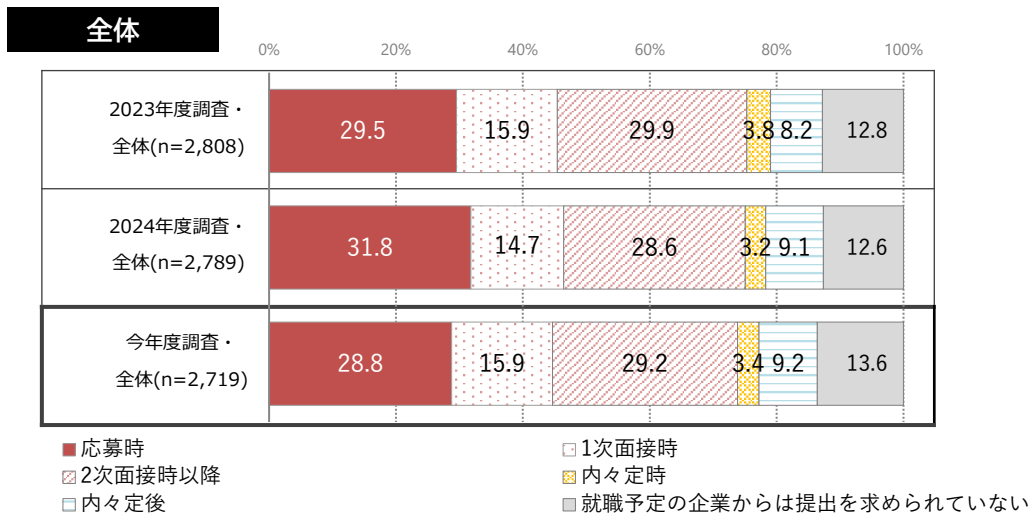
就職活動の面接や試験を受けるにあたり、履修履歴(成績証明書など)を提出することがどの程度あったかについて、「多くの企業で提出した」の回答割合は約3割となっている。
過年度調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



②就職予定の企業への履修履歴提出のタイミング

就職予定の企業から履修履歴(成績証明書など)の提出がいつ頃求められたかについて※1、「応募時」「2次面接時以降」の回答割合が約3割と高くなっている。

過年度調査と比べると、ほぼ同様の結果となっている。



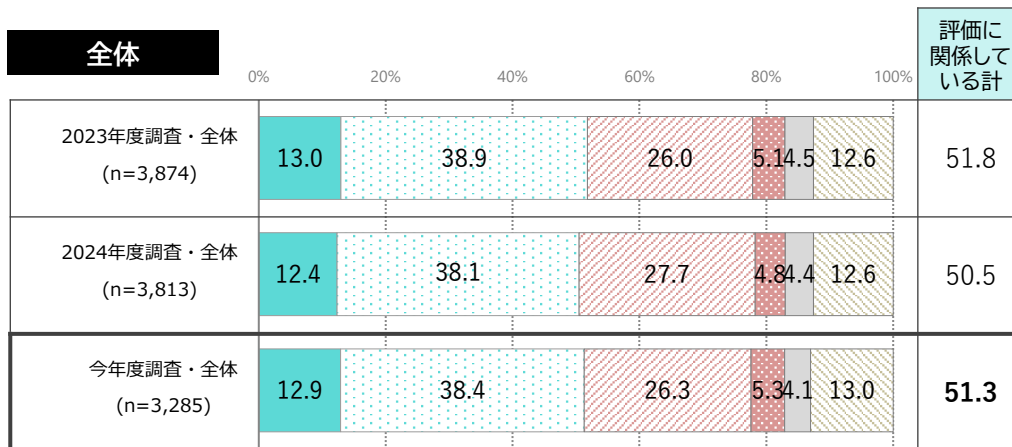
※1：就職予定の企業から履修履歴(成績証明書など)の提出がいつ頃求められたかについて、「就職予定の企業の内々定を受けたのはいつ頃ですか」という設問に対して、「まだ受けていない」と回答した者、または「就職活動に採用試験・面接等を受けるにあたり、履修履歴(成績証明書など)を提出することがどの程度ありましたか」という設問に対して、「提出した企業はなかった」と回答した者は除いて集計した。

(2) 採用面接の際の学業や成績等への評価

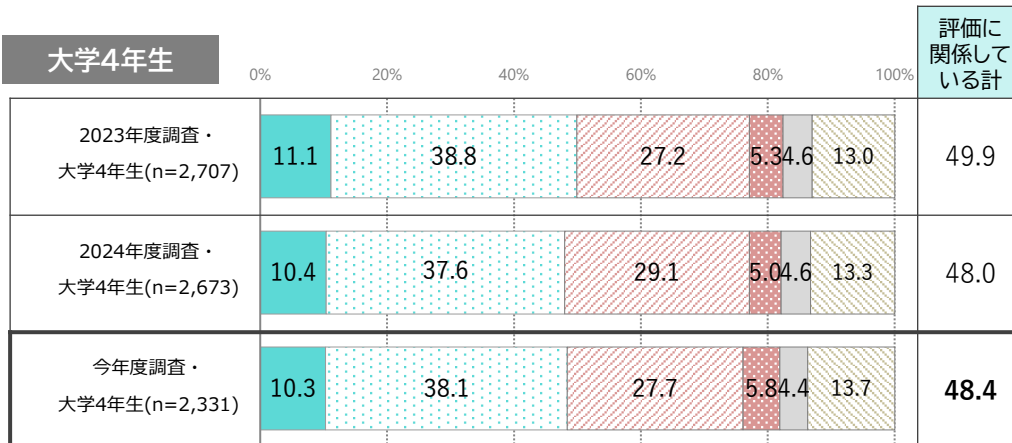
①採用面接の際の学業の取り組みや成績等への質問有無と評価との関係

採用面接において、研究・ゼミや専門分野などの学業への取組や成績等の質問などを受け、その内容が採用選考の評価に関係していると感じたかについて、「評価に深く関係していると感じた」と「評価にある程度関係していると感じた」を合わせた割合は約5割となっている。

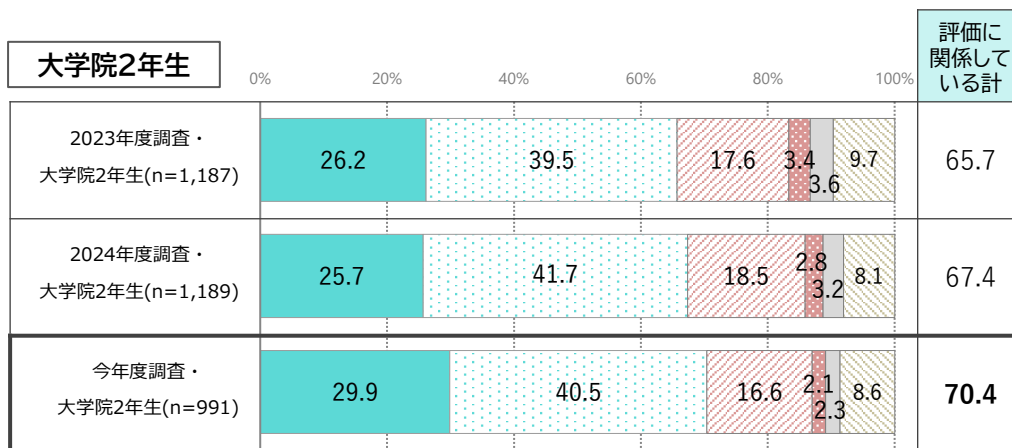
過年度調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



- 評価に深く関係していると感じた
- 評価にある程度関係していると感じた
- ▨ 評価にあまり関係していないと感じた
- 評価に全く関係していないと感じた
- 学業への取組や成績等について質問されなかった
- ▨ 評価は企業によってばらばらなので一概には言えない



- 評価に深く関係していると感じた
- 評価にある程度関係していると感じた
- ▨ 評価にあまり関係していないと感じた
- 評価に全く関係していないと感じた
- 学業への取組や成績等について質問されなかった
- ▨ 評価は企業によってばらばらなので一概には言えない

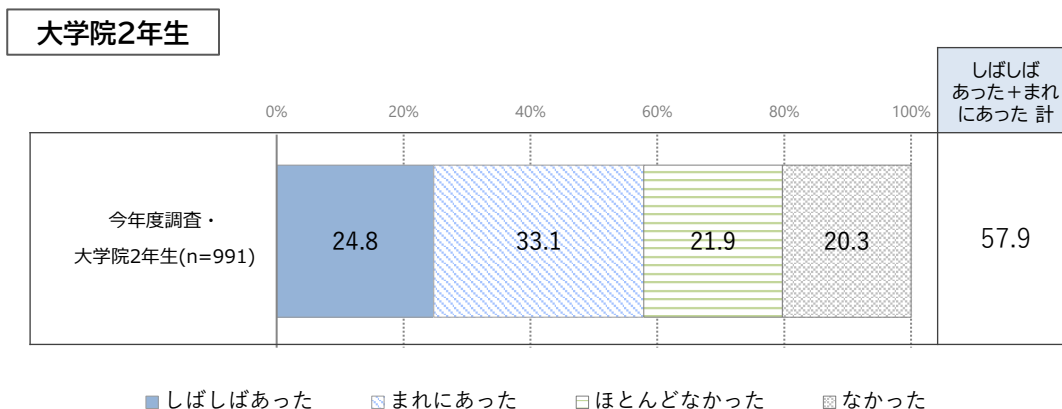
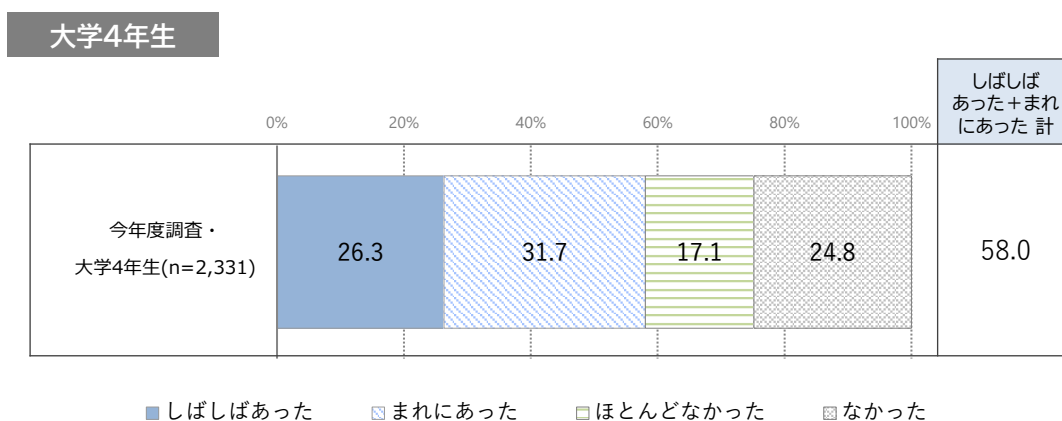
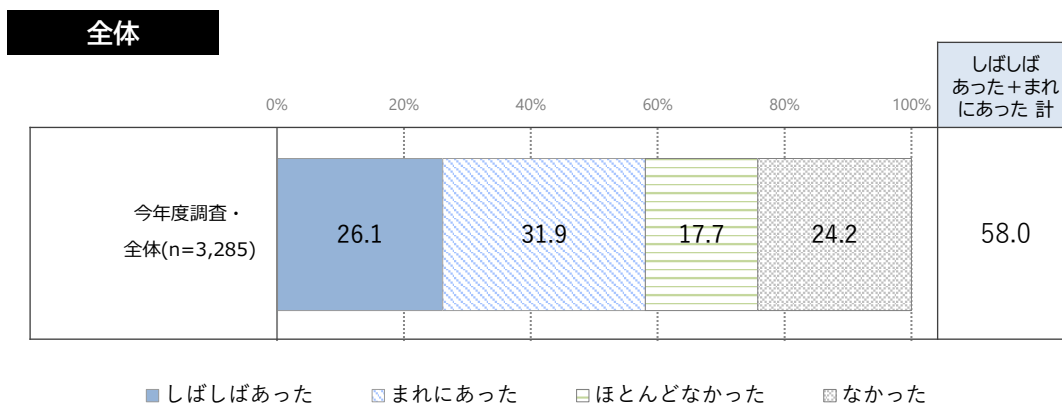


- 評価に深く関係していると感じた
- 評価にある程度関係していると感じた
- ▨ 評価にあまり関係していないと感じた
- 評価に全く関係していないと感じた
- 学業への取組や成績等について質問されなかった
- ▨ 評価は企業によってばらばらなので一概には言えない

(3) 就職活動の日程・時間帯等について

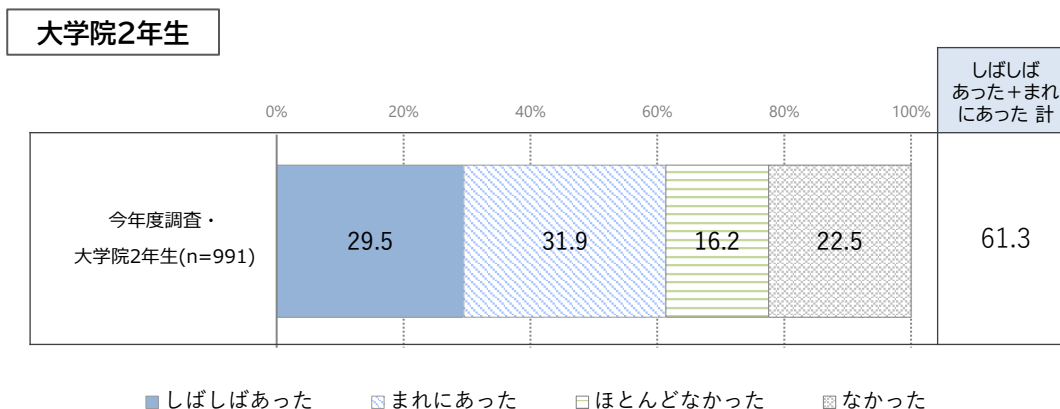
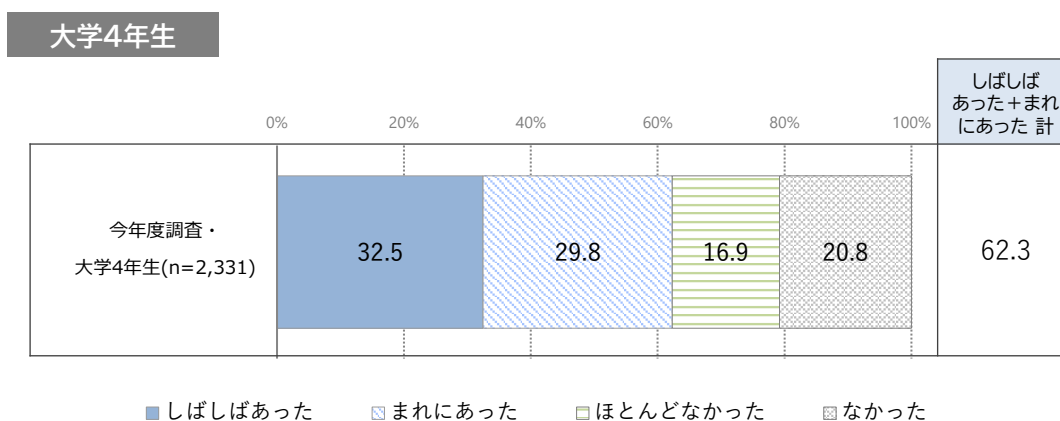
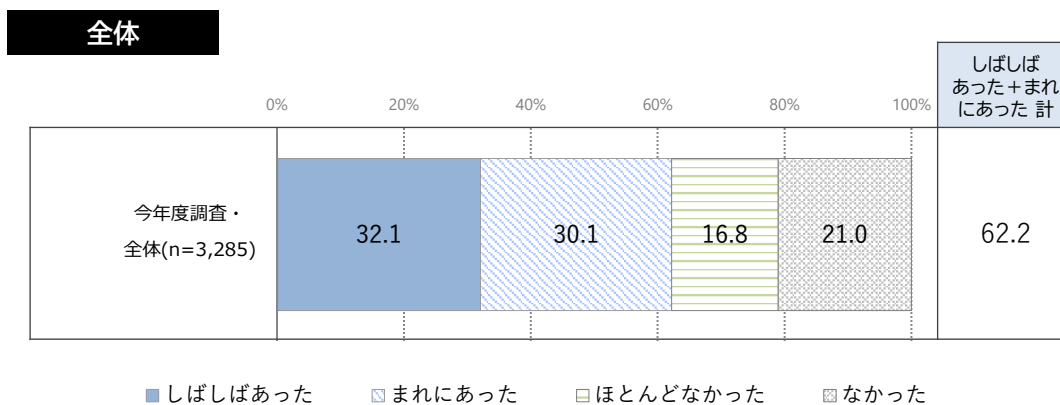
①説明会や面接等に参加するために授業・ゼミ等を欠席することがあったか

就職活動に関して、説明会や面接等に参加するために授業・ゼミ等を欠席することがあったかについて、「しばしばあった+まれにあった」の回答割合は約6割となっている。



②学期期間中の土日に説明会や面接等に参加したことがあったか

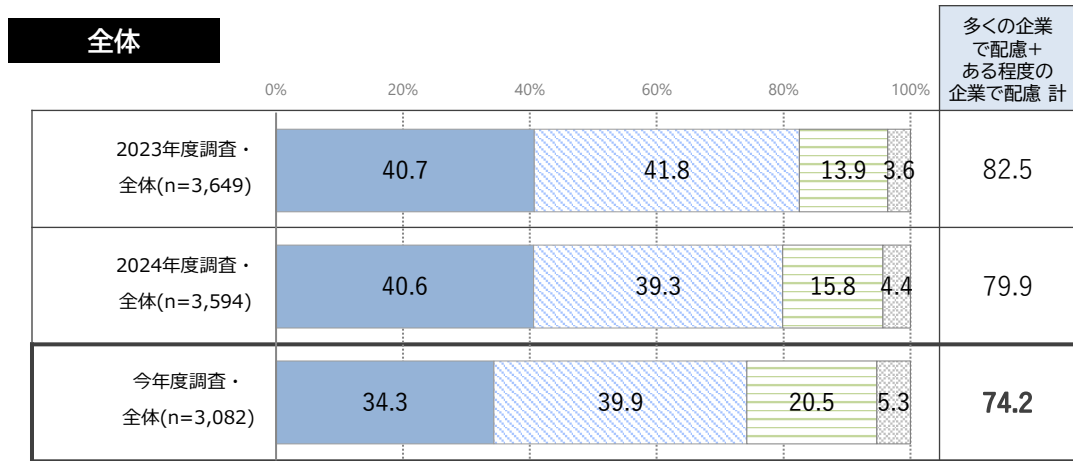
就職活動に関して、学期期間中の土日に説明会や面接等に参加したことはあったかについて、「しばしばあった+まれにあった」の回答割合は約6割となっている。



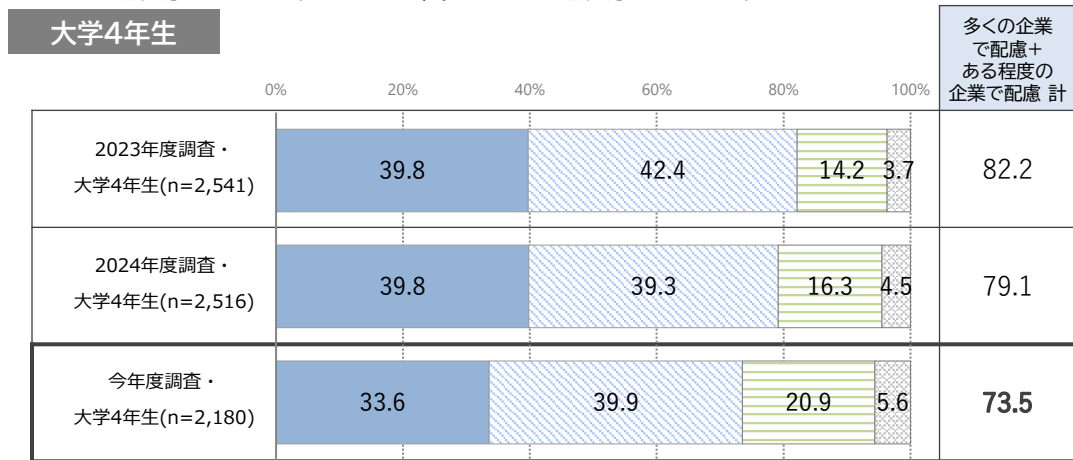
③説明会や面接等の日程・時間帯等についての配慮

就職活動を行った企業において説明会や個別の面接日時・時間帯等について配慮があったかについて、「よくわからない」と回答した者を除くと※1、「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合は約7割となっている。

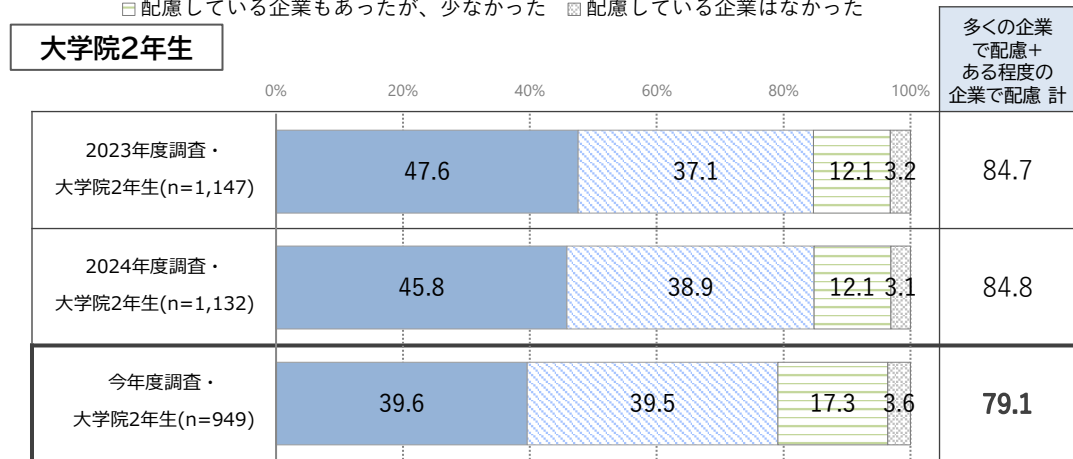
過年度調査と比較すると、「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合はやや減少している。



■ 多くの企業で配慮していた ■ ある程度の企業で配慮していた
 □ 配慮している企業もあったが、少なかった ■ 配慮している企業はなかった



■ 多くの企業で配慮していた ■ ある程度の企業で配慮していた
 □ 配慮している企業もあったが、少なかった ■ 配慮している企業はなかった



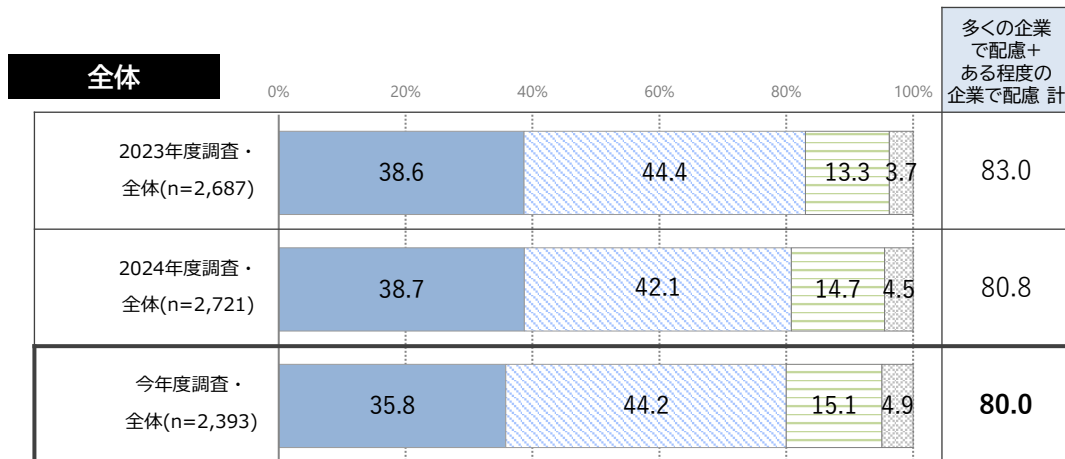
■ 多くの企業で配慮していた ■ ある程度の企業で配慮していた
 □ 配慮している企業もあったが、少なかった ■ 配慮している企業はなかった

※1：就職活動を行った企業について、「説明会や個別の面接日時・時間帯について、就職活動が授業・試験等の妨げにならないよう、連絡が余裕をもって行われたり、土日や平日夕方などの対応があったり、日程の候補が複数提示されたり、学生の要望を聞いたりするなどの配慮がありましたか。」という設問に対して、「よくわからない」と回答した者は除いて集計した。

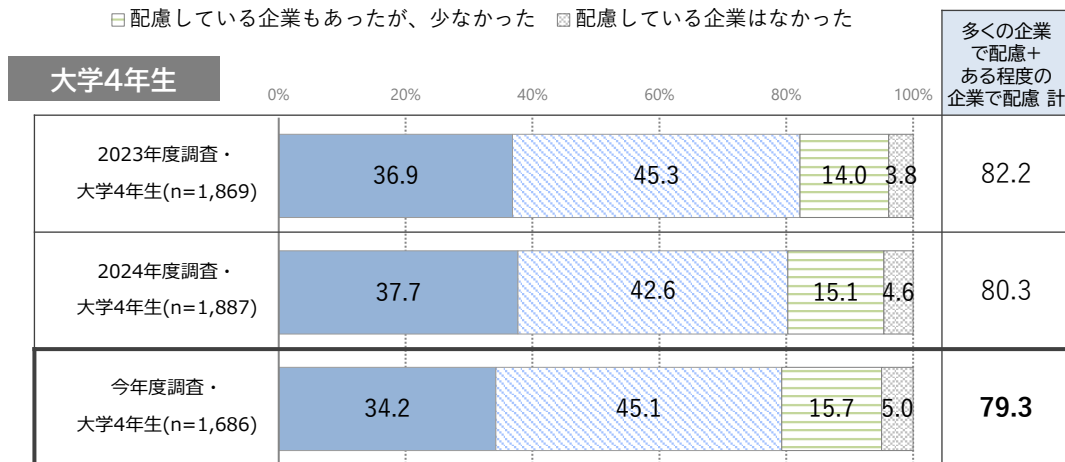
(4) 遠隔地への就職活動への配慮

①遠隔地への就職活動に際する企業側からの配慮の状況

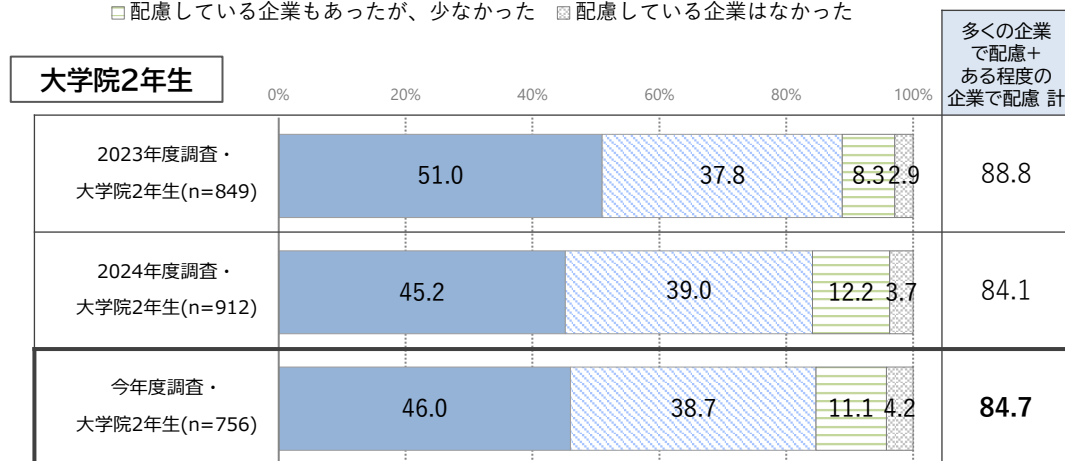
地方から都市部への就職活動や、Uターン・Iターン・Jターン就職など、学生の負担の大きい遠隔地への就職活動に際して、企業側からの配慮があったかについて、「よくわからない」と回答した者を除くと※1、「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合は約8割となっている。
過年度調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



- 多くの企業で配慮していた
- ▨ ある程度の企業で配慮していた
- ▨ 配慮している企業もあったが、少なかった
- ▨ 配慮している企業はなかった



- 多くの企業で配慮していた
- ▨ ある程度の企業で配慮していた
- ▨ 配慮している企業もあったが、少なかった
- ▨ 配慮している企業はなかった



- 多くの企業で配慮していた
- ▨ ある程度の企業で配慮していた
- ▨ 配慮している企業もあったが、少なかった
- ▨ 配慮している企業はなかった

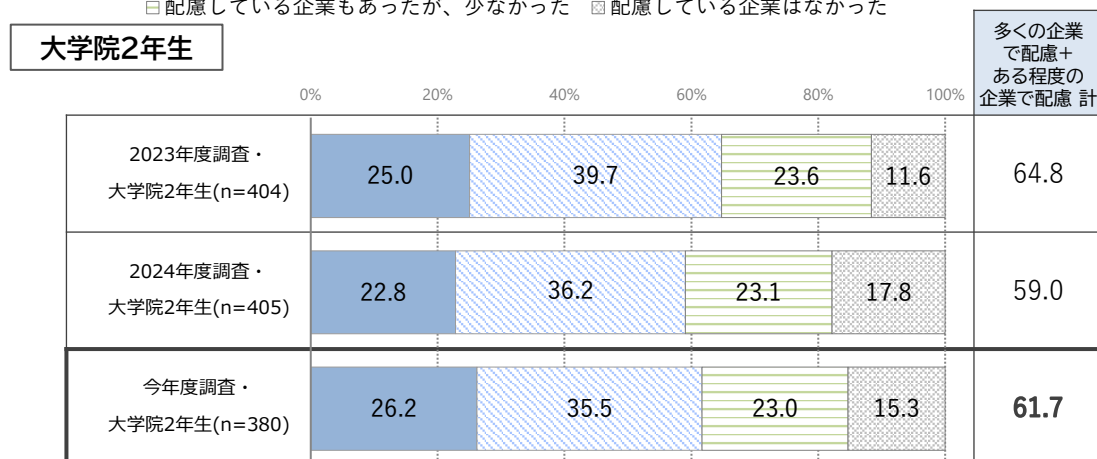
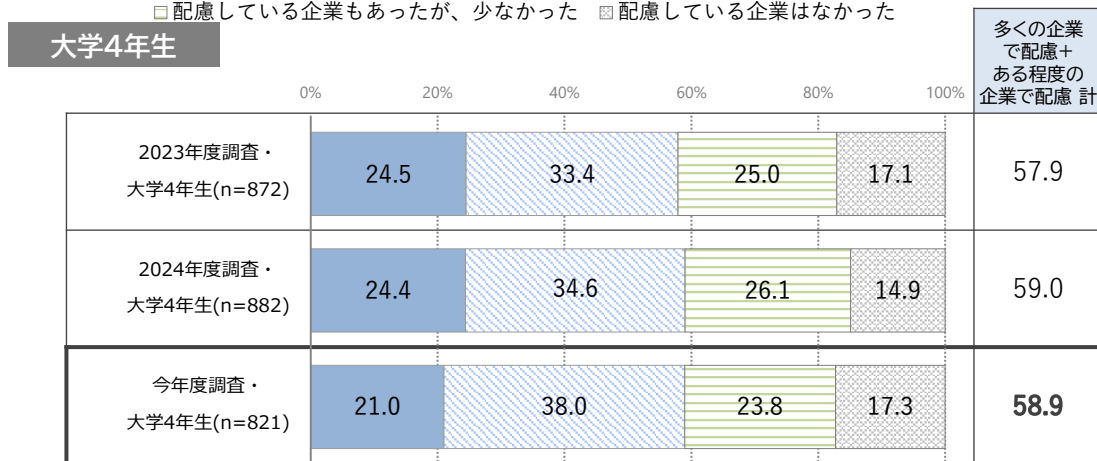
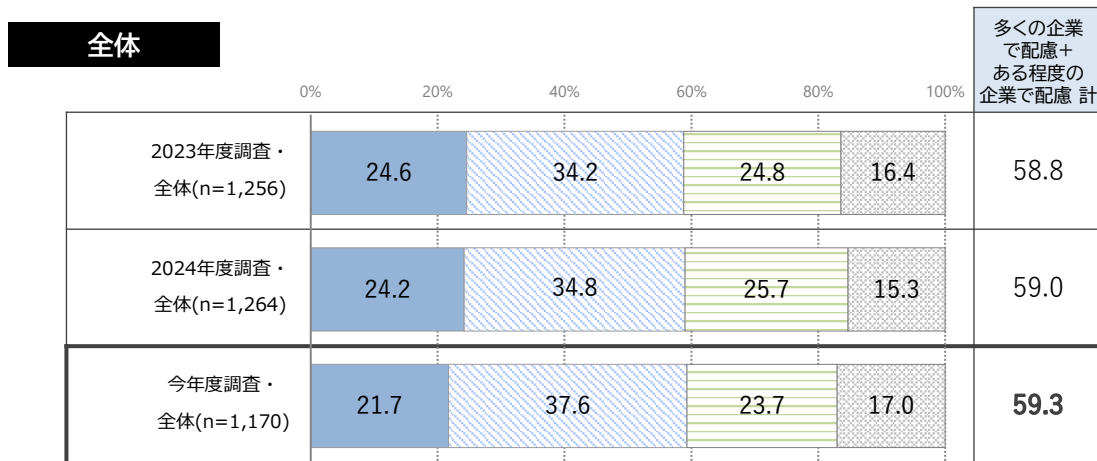
※1：「地方から都市部への就職活動や、Uターン・Iターン・Jターン就職など、学生の負担の大きい遠隔地への就職活動に際して、企業側からの配慮がありましたか」という設問に対して、「よくわからない」と回答した者は除いて集計した。

(5) 留学経験者への配慮

①企業側から留学経験者に対する配慮の状況

就職を希望した企業において、留学経験者が不利にならないよう留学経験者向けのスケジュールや情報を別途示すなど配慮があったかについて、「わからない」と回答したものを除くと※1、「多くの企業で配慮していた」または「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合は約6割となっている。

過年度調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。

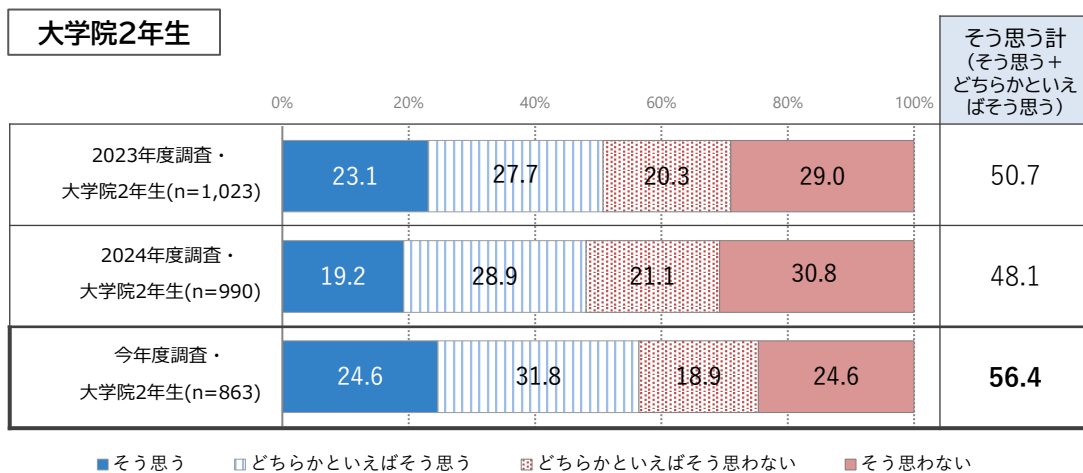
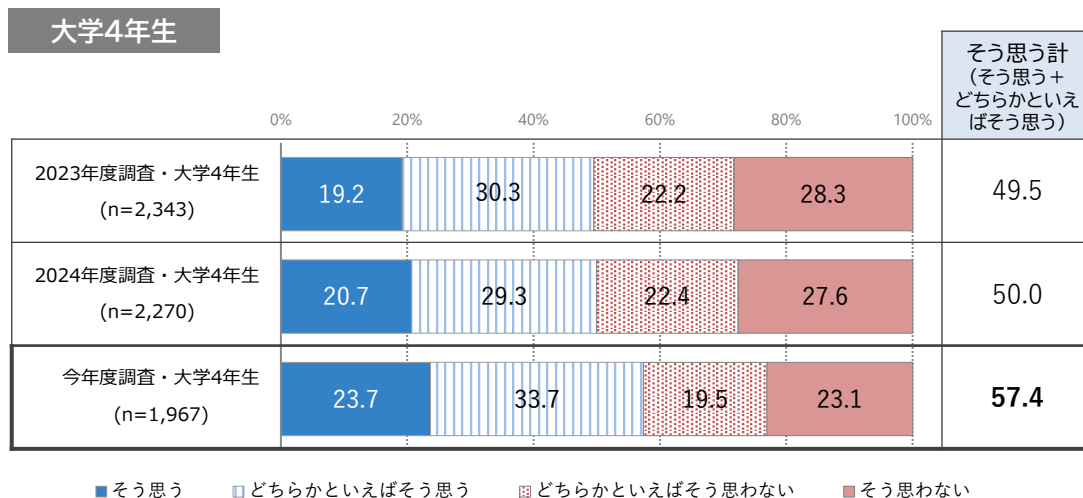
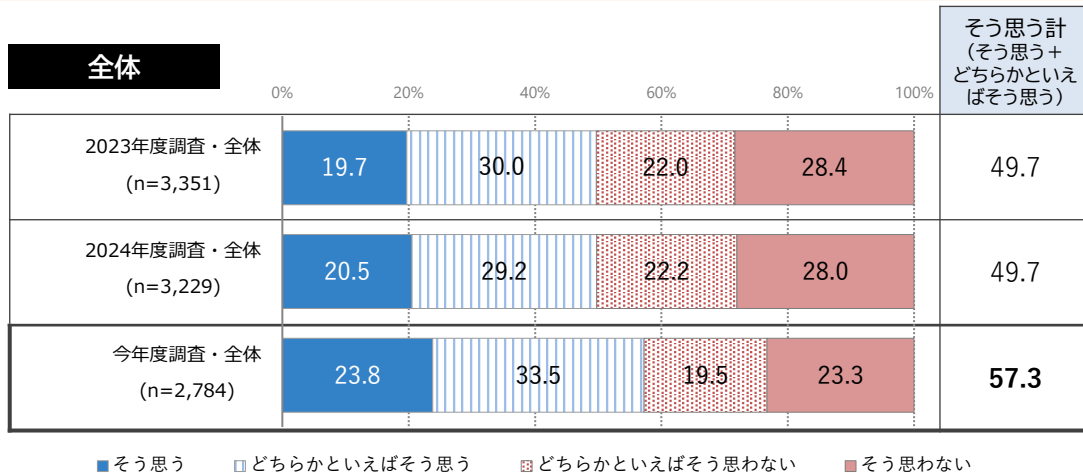


※1：「あなたが就職活動をした企業は、企業側から留学経験者向けのスケジュール・情報を別途示すなど、留学により不利にならないように配慮していましたか」という設問に対して、「よくわからない」と回答した者は除いて集計した。

(6) 秋・冬採用や通年採用などに関する機会提供や情報発信

①秋・冬採用や通年採用などに関する企業の機会提供や情報発信の状況

秋・冬採用や通年採用などといった機会の提供や情報発信が企業からされていたか※1について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合は約6割となっている※2。
 過年度調査と比較すると、「そう思う」の回答割合は増加傾向にある。

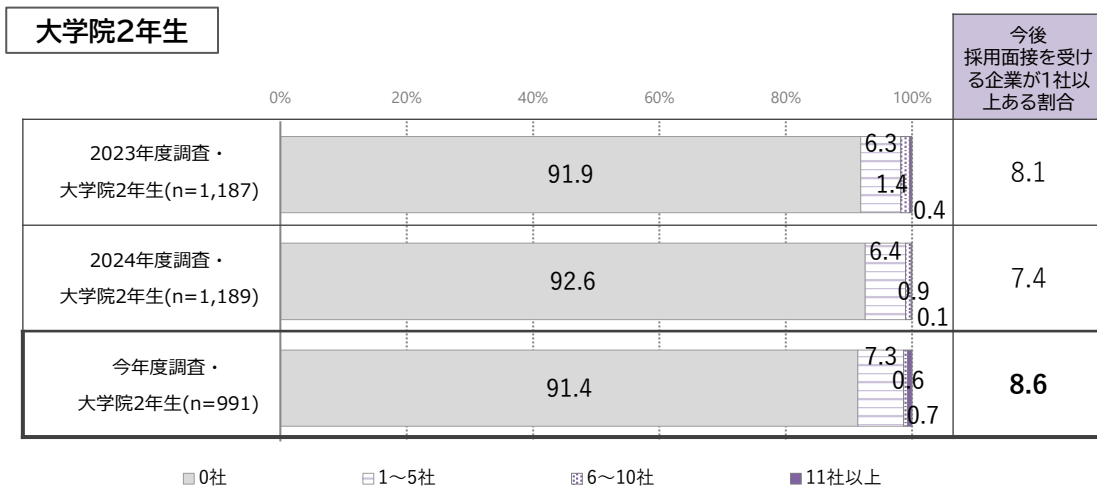
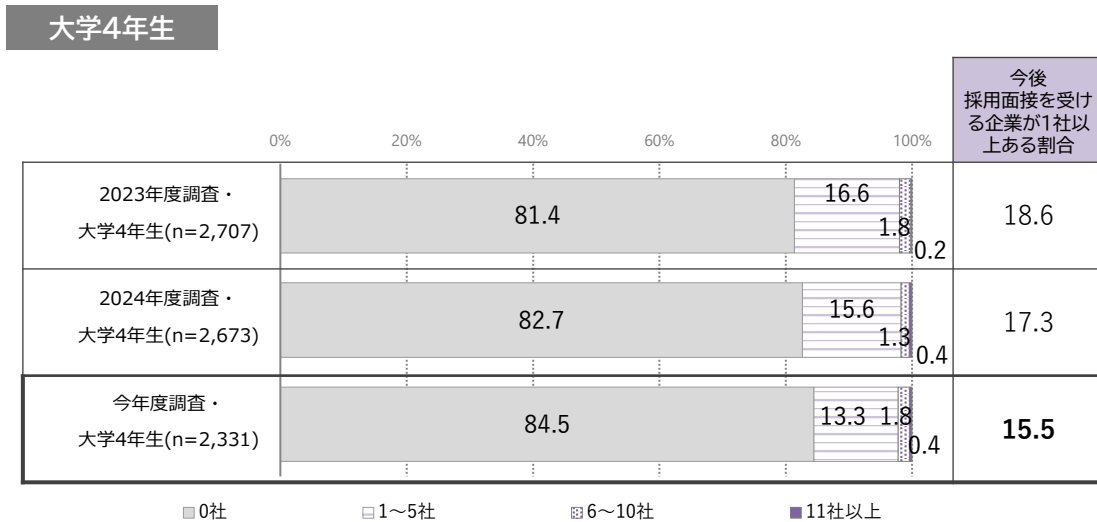
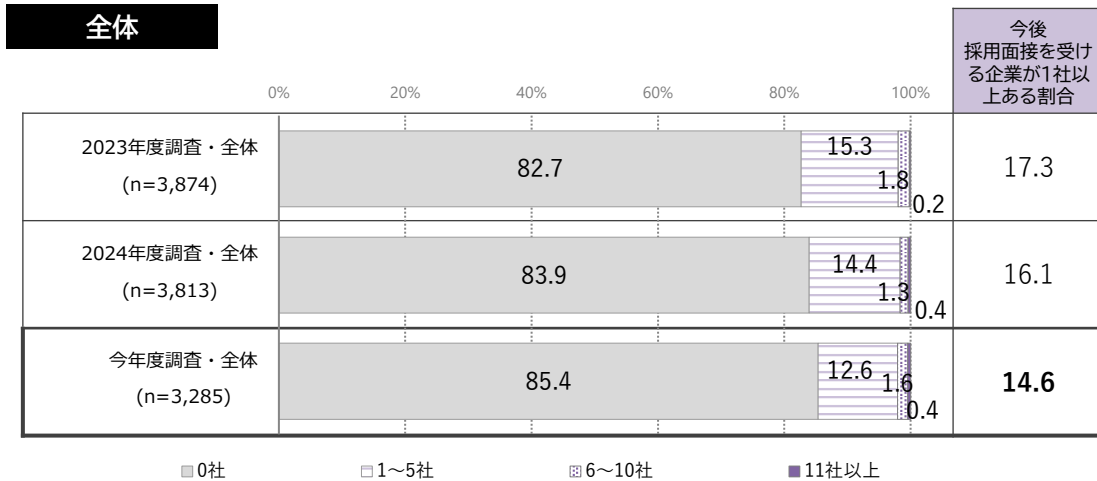


※1：就職活動を行った企業について、「秋採用や通年採用などといった機会の提供や情報発信が企業からされていたか」という設問に対して、「わからない」と回答した者は除いて集計した。

※2：2024年度までは「秋採用」として聴取していたが、今年度調査より「秋・冬採用」として聴取。

②今後の採用面接の予定

今後採用面接を受ける予定の企業数について、1社以上である者が14.6%となっている。
過年度調査と比較すると、今後採用面接を受ける企業が1社以上ある割合はやや減少傾向にある。

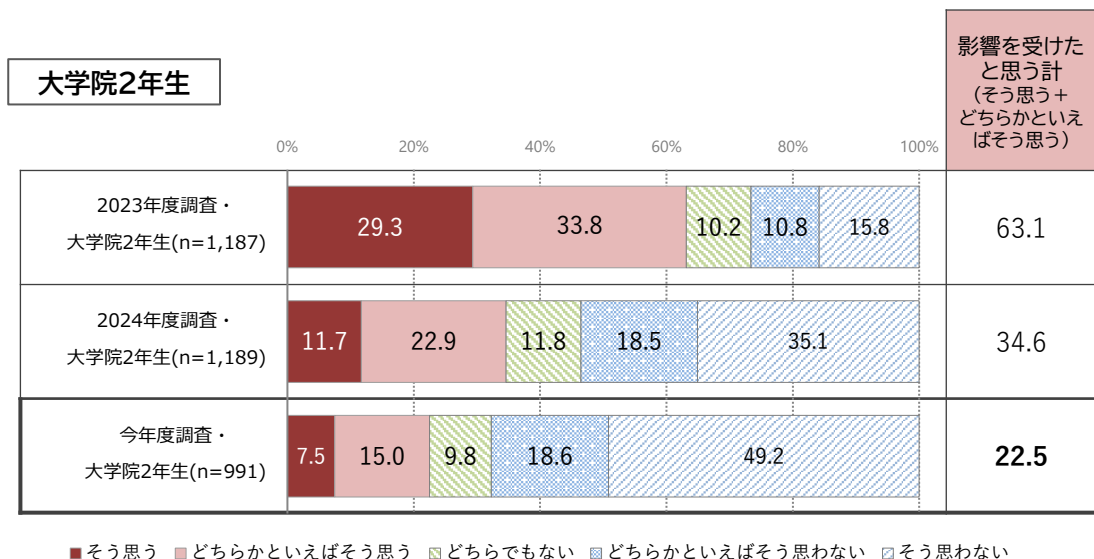
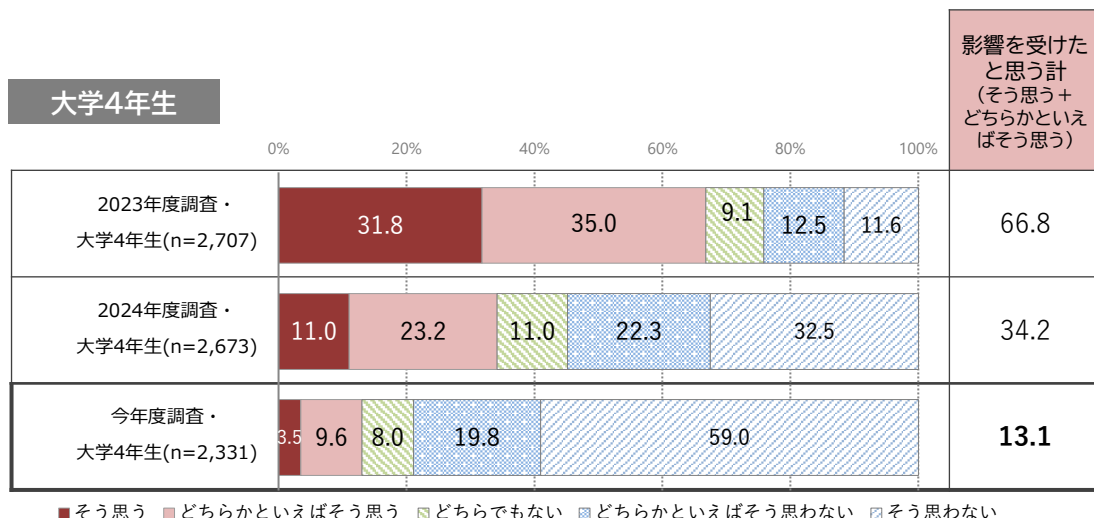
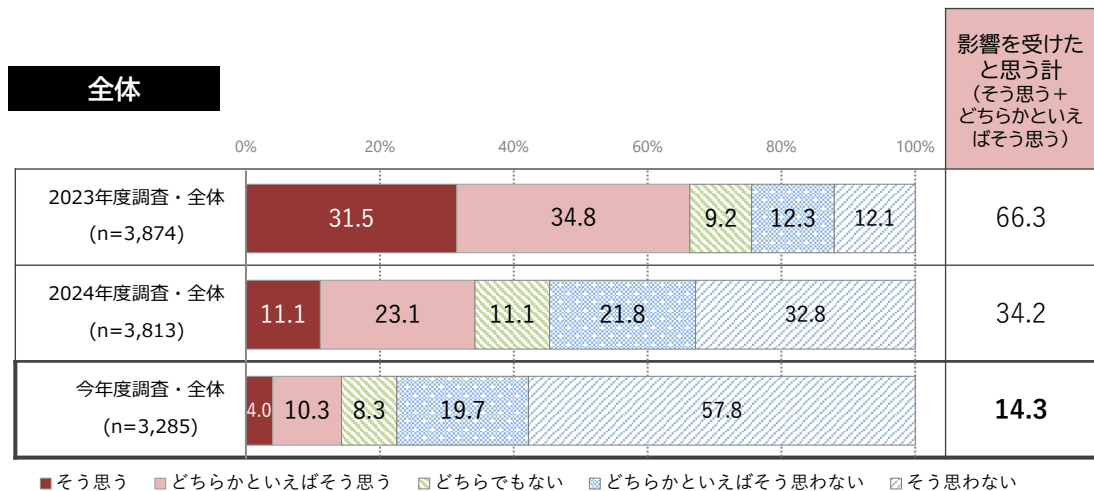


(7) 新型コロナウイルス感染症の影響

①就職活動全般について新型コロナウイルス感染症によって影響を受けたと思うか

就職活動全般について、新型コロナウイルス感染症によって影響を受けたと思うかについて、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合は約1割となっている。

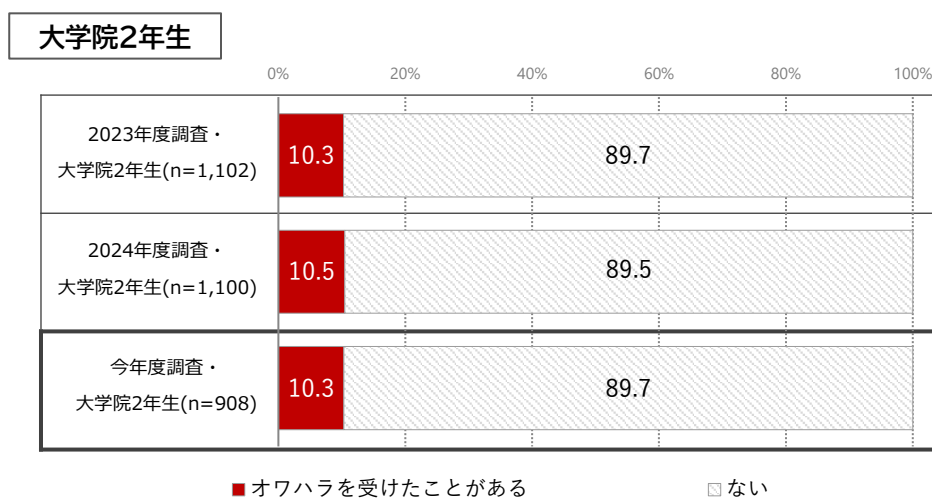
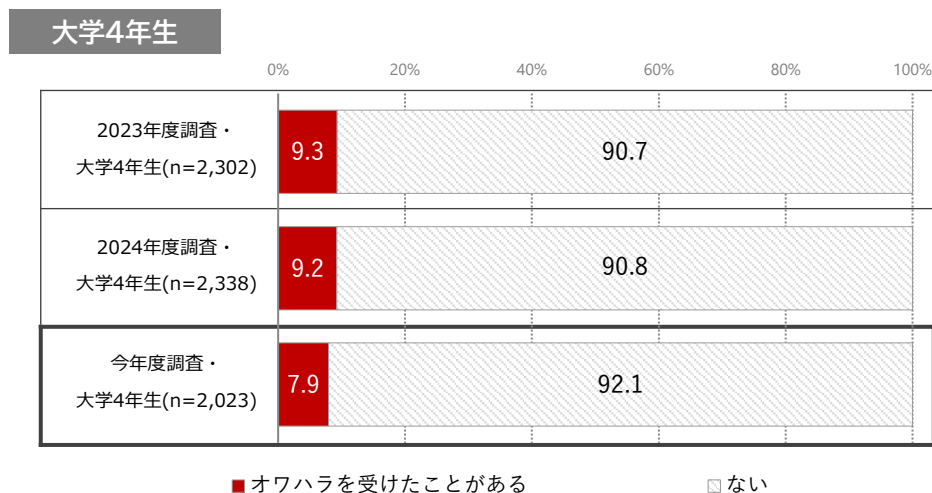
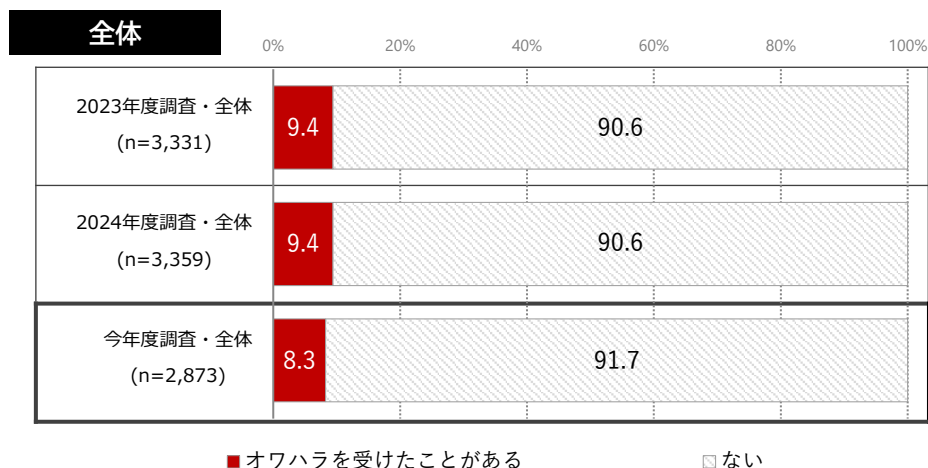
過年度調査と比較すると、「そう思う」の回答割合は大幅に減少傾向にある。



(8) 「オワハラ」の状況

①「オワハラ」の有無

企業等から、「オワハラ※1※2」を受けたことがあるかについて※3、約1割の者が「ある」と回答している。過年度調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



※1：オワハラについては、2023年度調査より「企業等から、あなたの意思に反して他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント行為」と案内した上で調査を行っている。

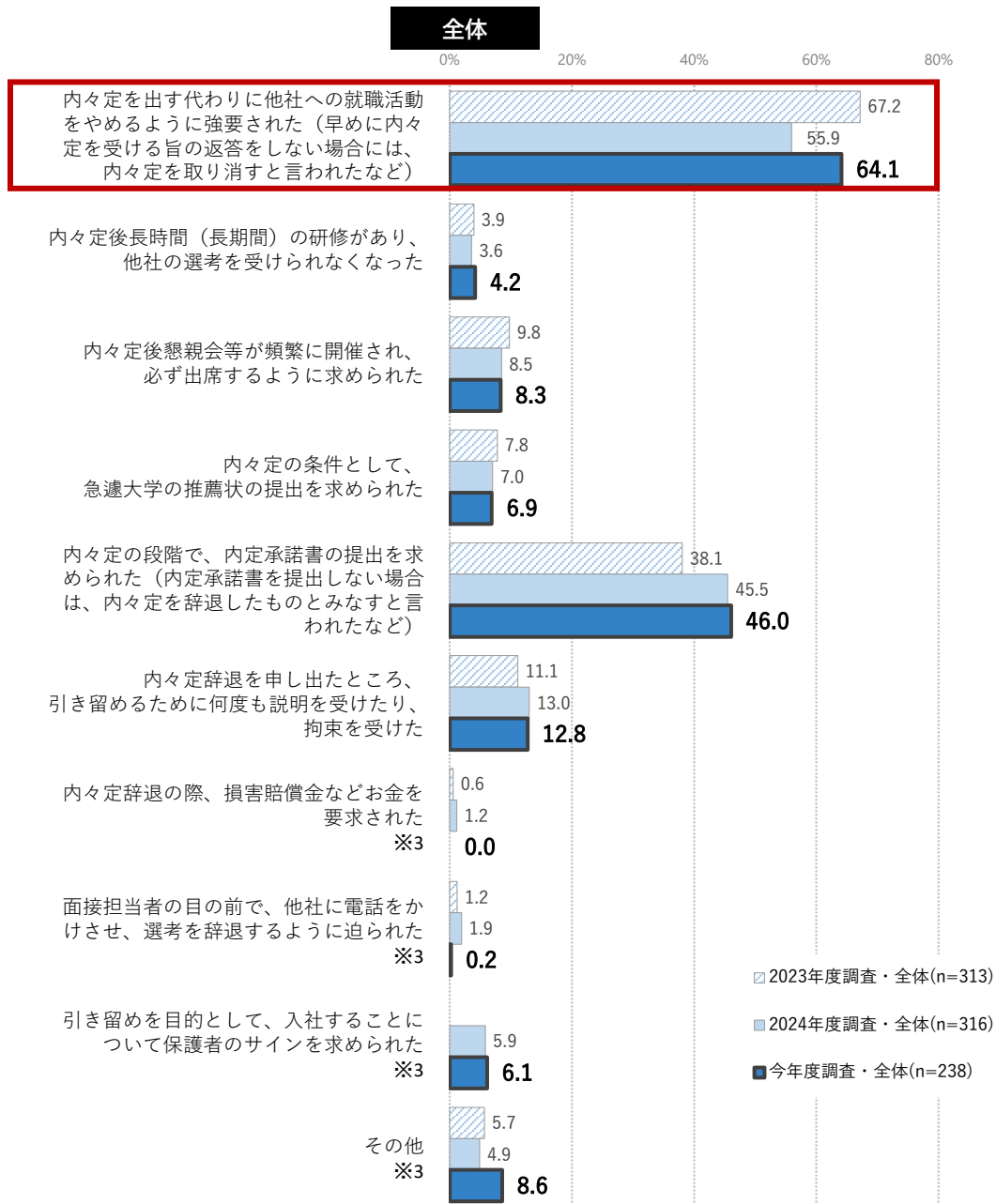
※2：2023年度調査より設問において「(例) 正式な内定前に他社への就職活動の終了を迫ったり、誓約書等を要求したりすること」「(例) 内(々) 定期間中に行われた業務性が強い研修について、内(々) 定辞退後に研修費用の返還を求めたり、事前にその誓約書を要求したりすること」といった例を提示したうえで、調査を行っている。

※3：内々定を1社以上から受けた者を集計の対象とした。

②「オワハラ」の内容

企業等から、「オワハラ※1」を受けたことがあると回答した者に関し、どのような行為を受けたかについては、「内々定を出す代わりに他社への就職活動をやめるように強要された（早めに内々定を受ける旨の返答をしない場合には、内々定を取り消すと言われたなど）」の回答割合が約6割と最も高い※2。

過年度調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。

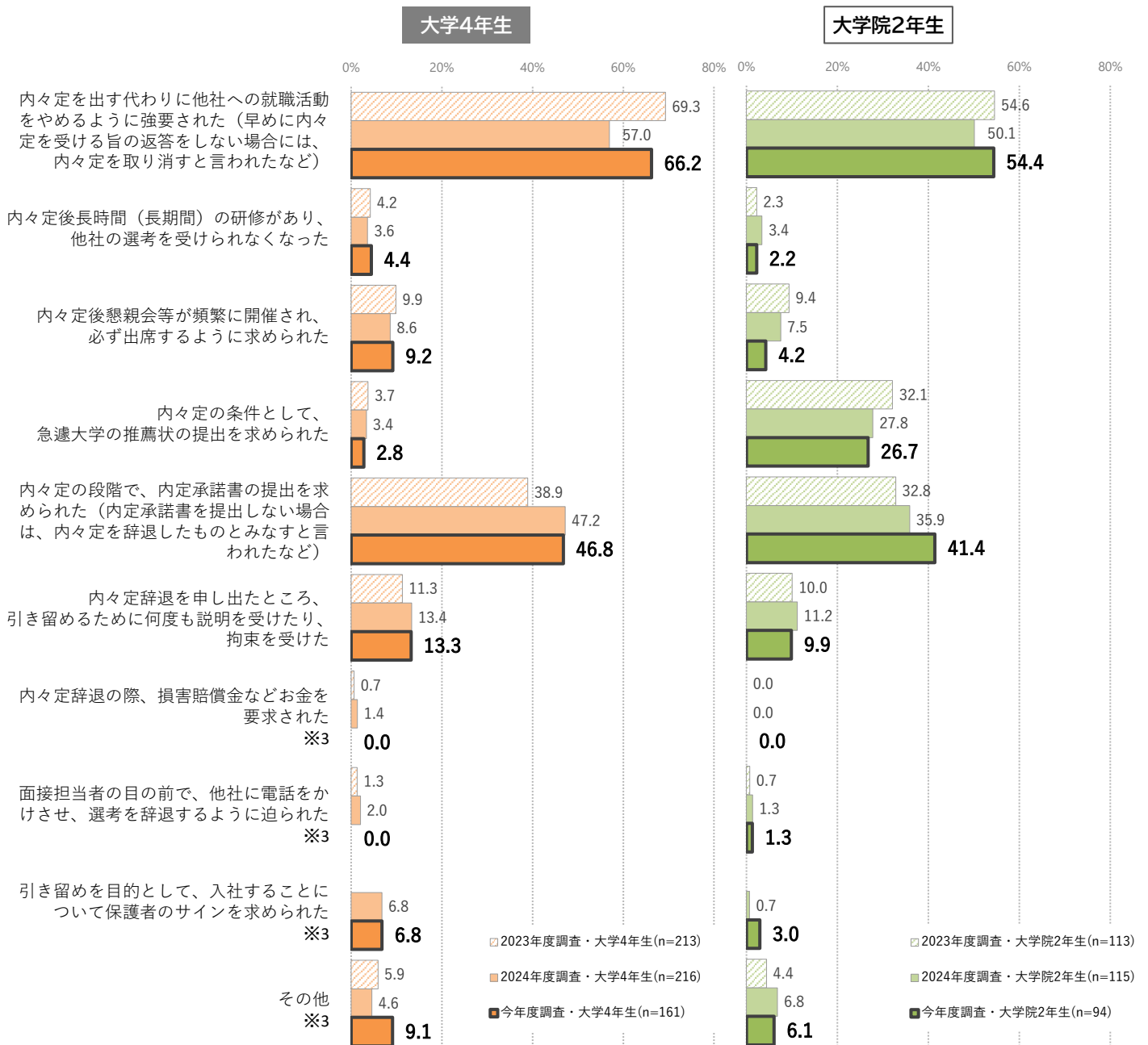


※1：オワハラについては、2023年度調査より「企業等から、あなたの意思に反して他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント行為」と案内した上で調査を行っている。

※2：内々定を1社以上から受けた者を集計の対象とした。

※3：「内々定辞退の際、損害賠償金などお金を要求された」「面接担当者の目の前で、他社に電話をかけさせ、選考を辞退するように迫られた」は2023年度調査より、「引き留めを目的として、入社することについて保護者のサインを求められた」は今年度より、新たに設けた項目である。そのため、「その他」の数値についても注意が必要。

②「オワハラ」の内容



※1：オワハラについては、2023年度調査より「企業等から、あなたの意思に反して他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント行為」と案内した上で調査を行っている。

※2：内々定を1社以上から受けた者を集計の対象とした。

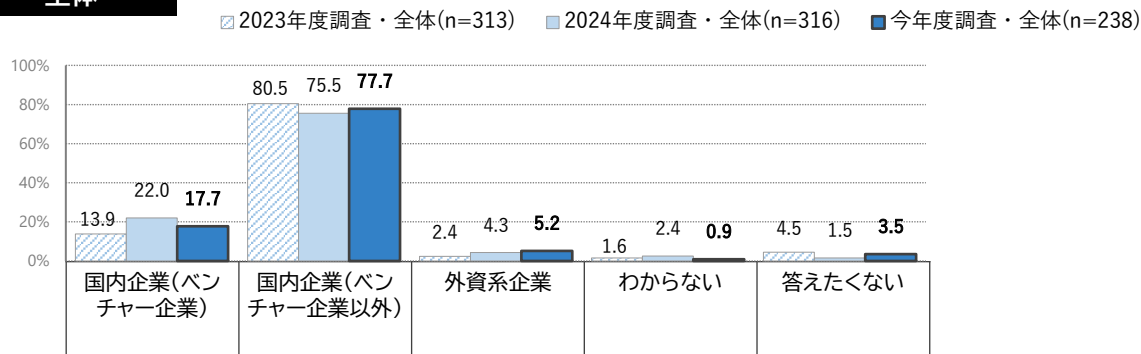
※3：「内々定辞退の際、損害賠償金などお金を要求された」「面接担当者の目の前で、他社に電話をかけさせ、選考を辞退するように迫られた」は2023年度調査より、「引き留めを目的として、入社することについて保護者のサインを求められた」は今年度より、新たに設けた項目である。そのため、「その他」の数値についても注意が必要。

③オワハラを受けた企業の種類

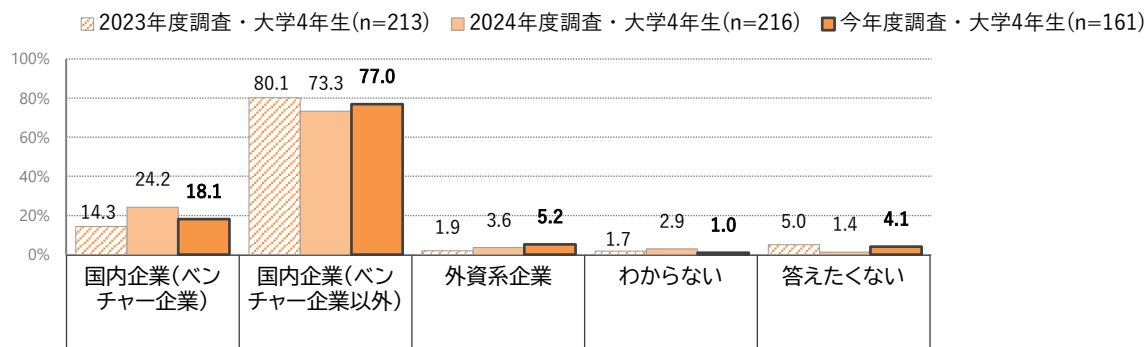
「オワハラ※1」を受けたことがある企業の種類について、「国内企業（ベンチャー企業以外※2）」が約8割。「国内企業（ベンチャー企業）」が約2割※3。

過年度調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっている。

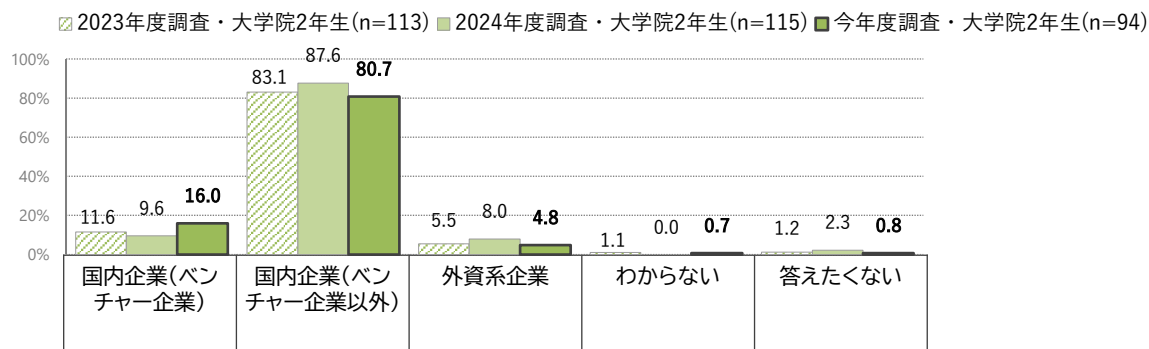
全体



大学4年生



大学院2年生



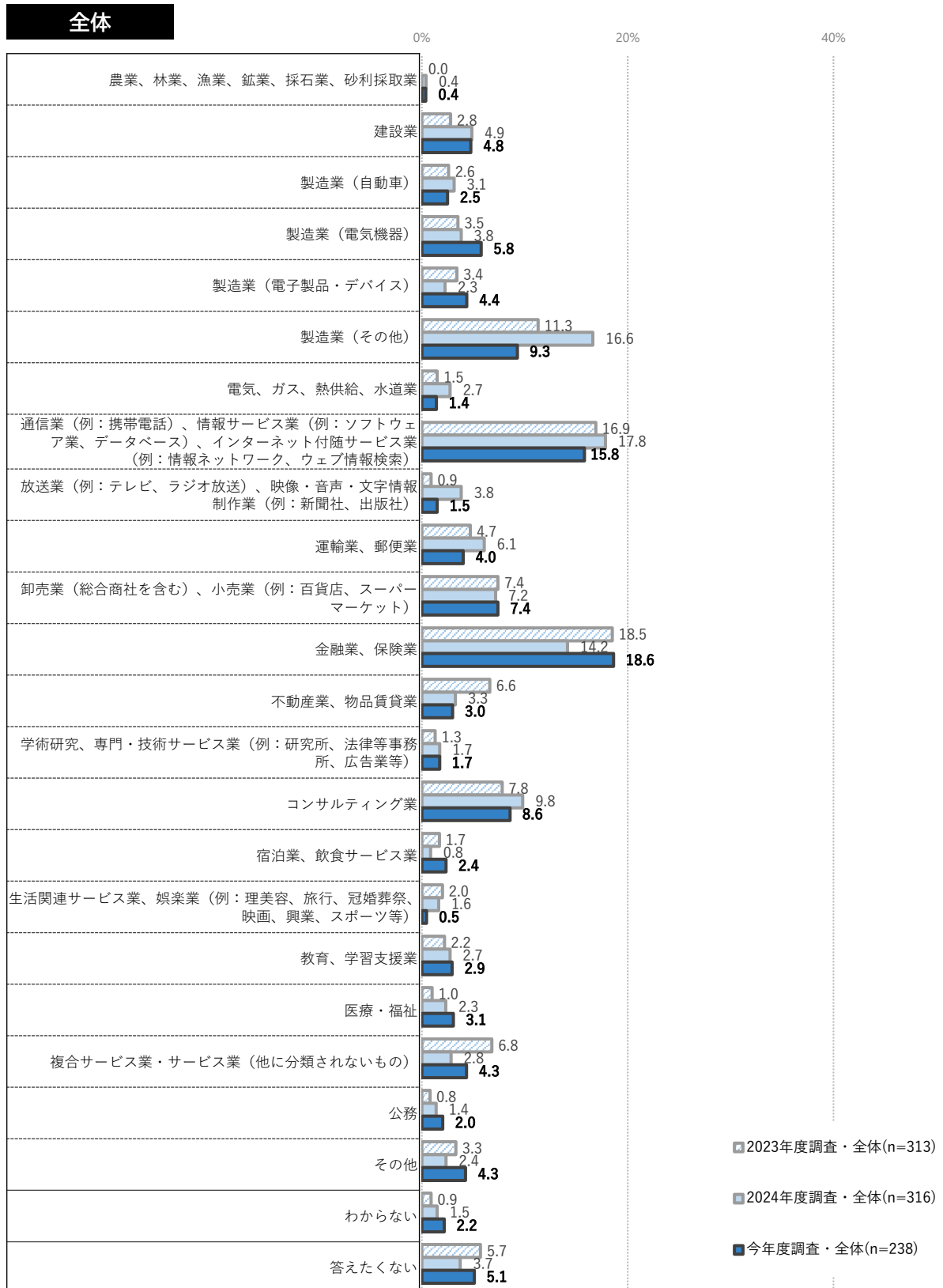
※1：オワハラについては、2023年度調査より「企業等から、あなたの意思に反して他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント行為」と案内した上で調査を行っている。

※2：ベンチャー企業については、「独自のアイデアや技術で新しいサービスやビジネスに挑戦している企業のこと」と、回答者に案内した上で調査を行った。

※3：内々定を1社以上から受けた者を集計の対象とした。

④オワハラを受けた企業の業界

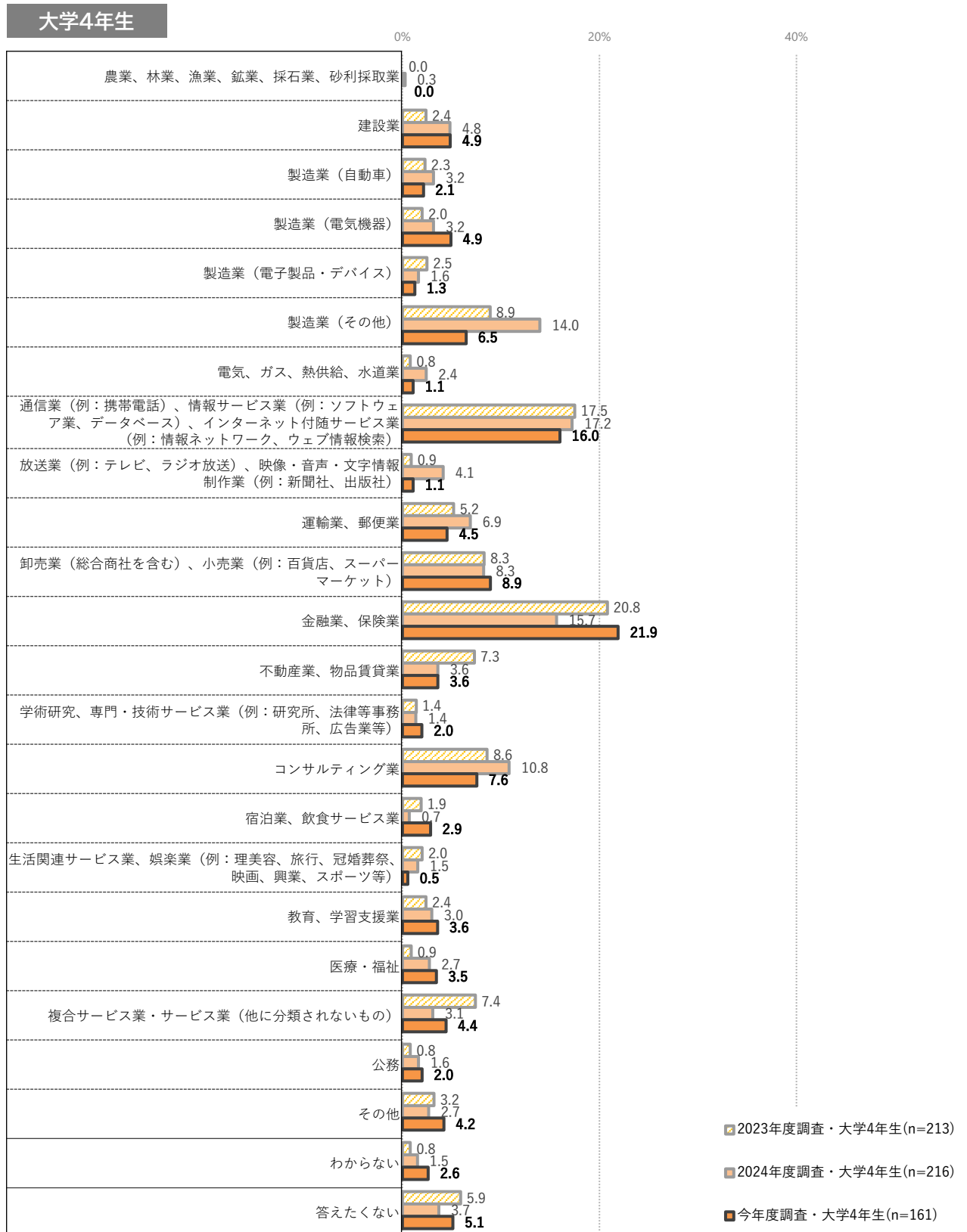
「オワハラ※1」を受けたことがある企業の業界について、「金融業・保険業」「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」が約2割、「製造業(その他)」「コンサルティング業」「卸売業、小売業」「製造業(電気機器)」が約1割となっている※2。



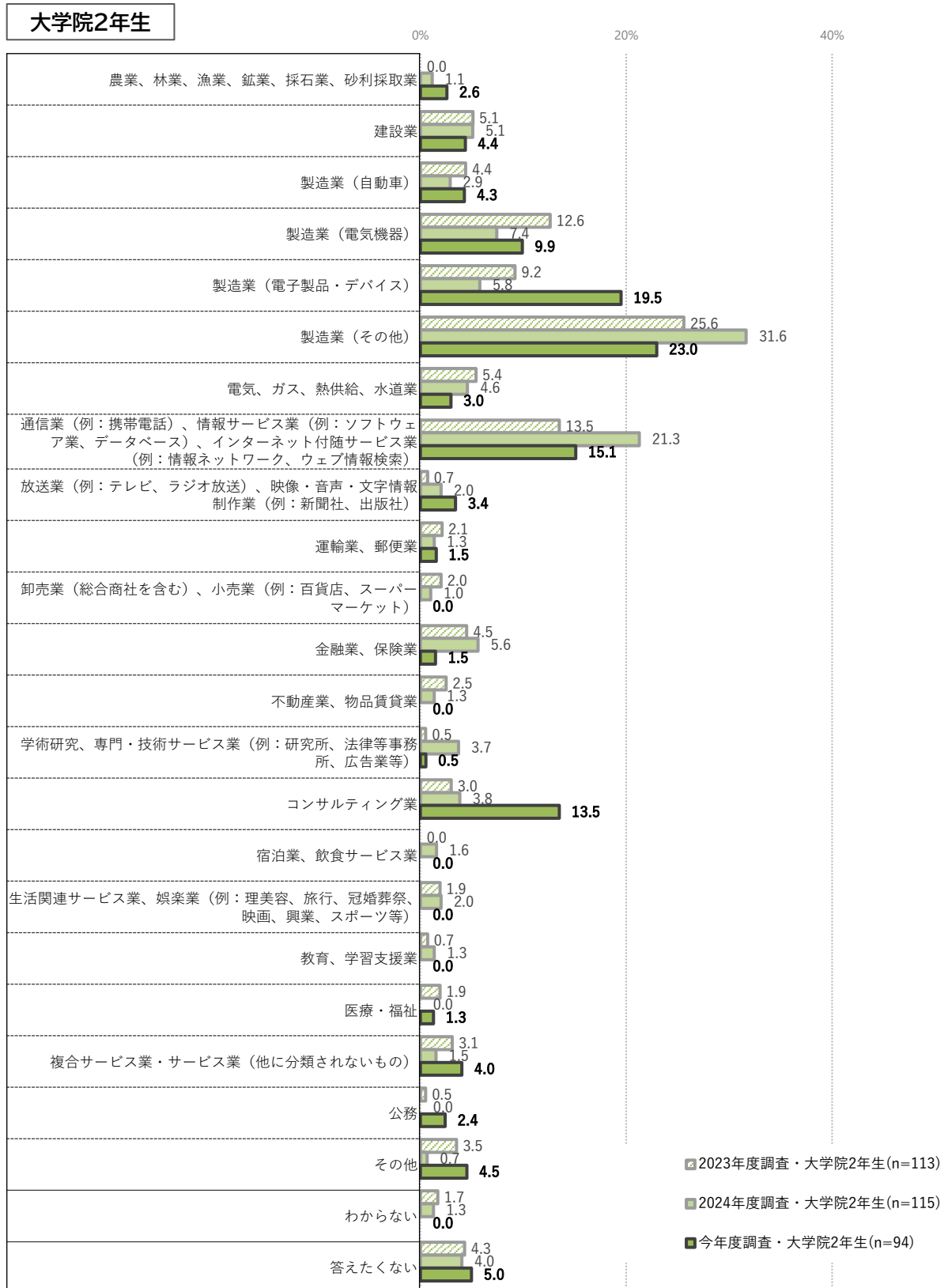
※1：オワハラについては、2023年度調査より「企業等から、あなたの意思に反して他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント行為」と案内した上で調査を行っている。

※2：内々定を1社以上から受けた者を集計の対象とした。

④オワハラを受けた企業の業界



④オワハラを受けた企業の業界

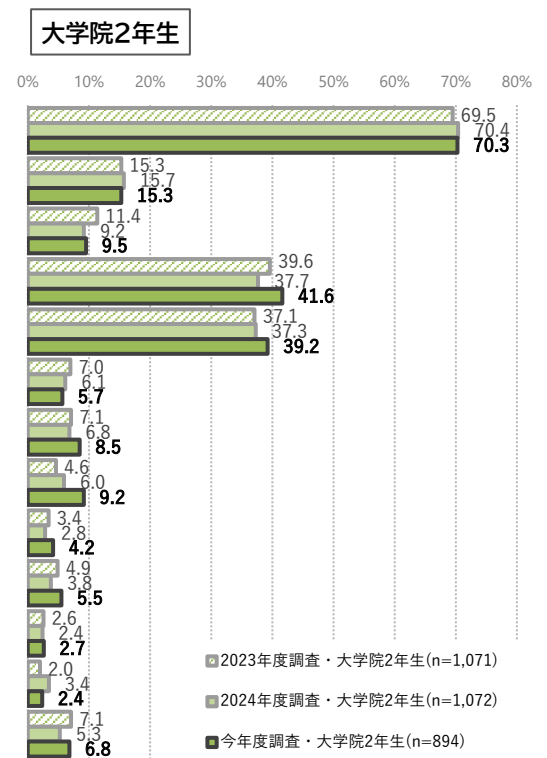
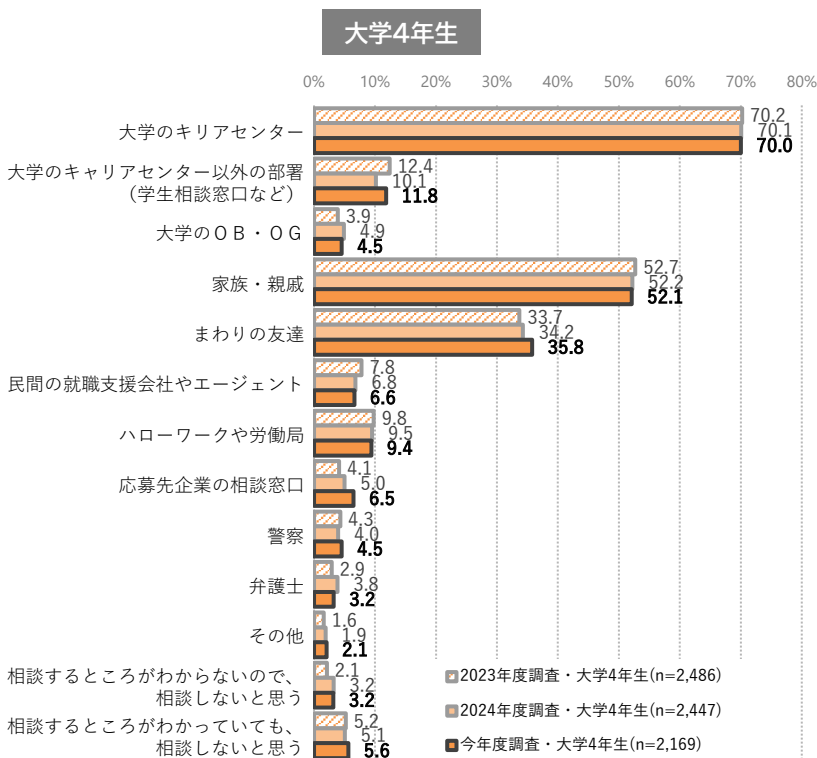
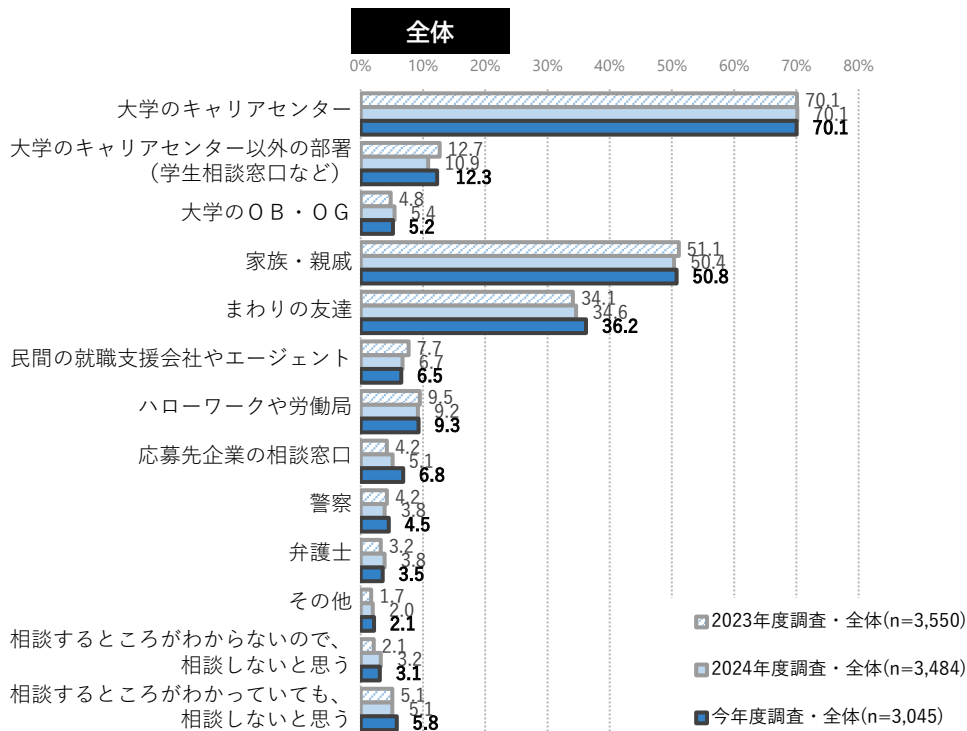


⑤「オワハラ」を受けたとしたらどこに相談すると思うか(オワハラを受けていない人が対象)

「オワハラ※1」を受けていない人に対して、もし受けたとしたらどこに相談するかについて、「大学のキャリアセンター」の回答割合が約7割と最も高く、次に「家族・親戚」が約5割、「まわりの友達」が約4割となっている。

一方、「相談しないと思う(相談するところがわからない、相談するところがわかっていても相談しないの計)」は、約1割となっている。

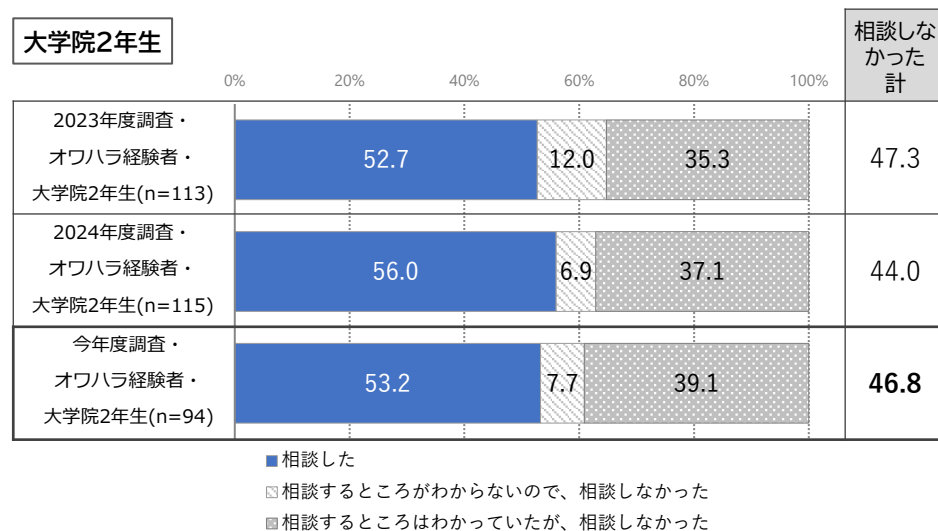
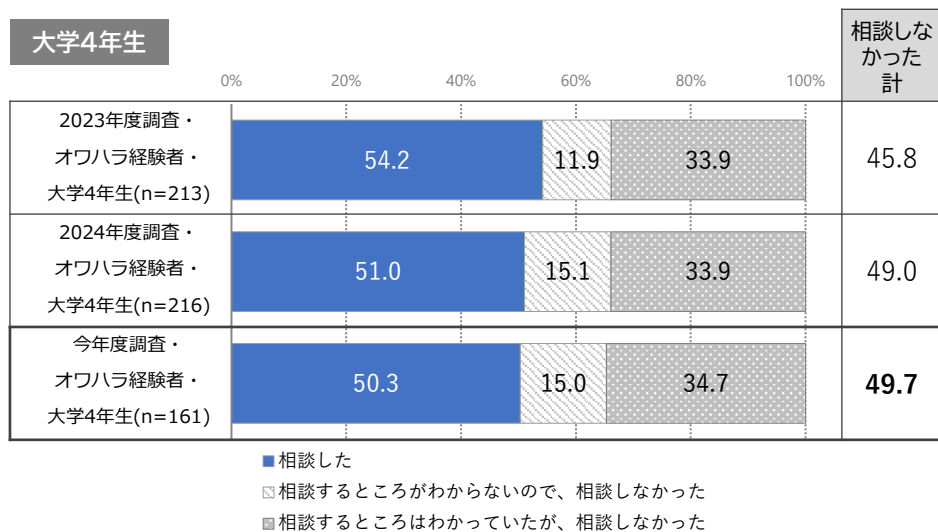
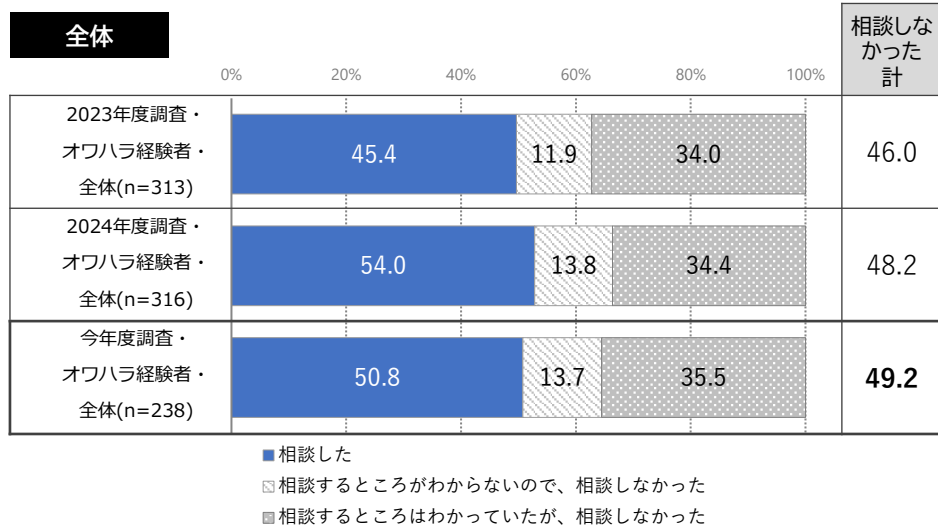
過年度調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっている。



※1：オワハラについては、「企業等から、あなたの意思に反して他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント行為」と案内した上で調査を行った。

⑥「オワハラ」について相談したかどうか(オワハラを受けた人が対象)

「オワハラ※1」を受けた際の対応について、「相談した」は今年度調査では50.8%※2。
過年度調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



※1：オワハラについては、「企業等から、あなたの意思に反して他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント行為」と案内した上で調査を行った。

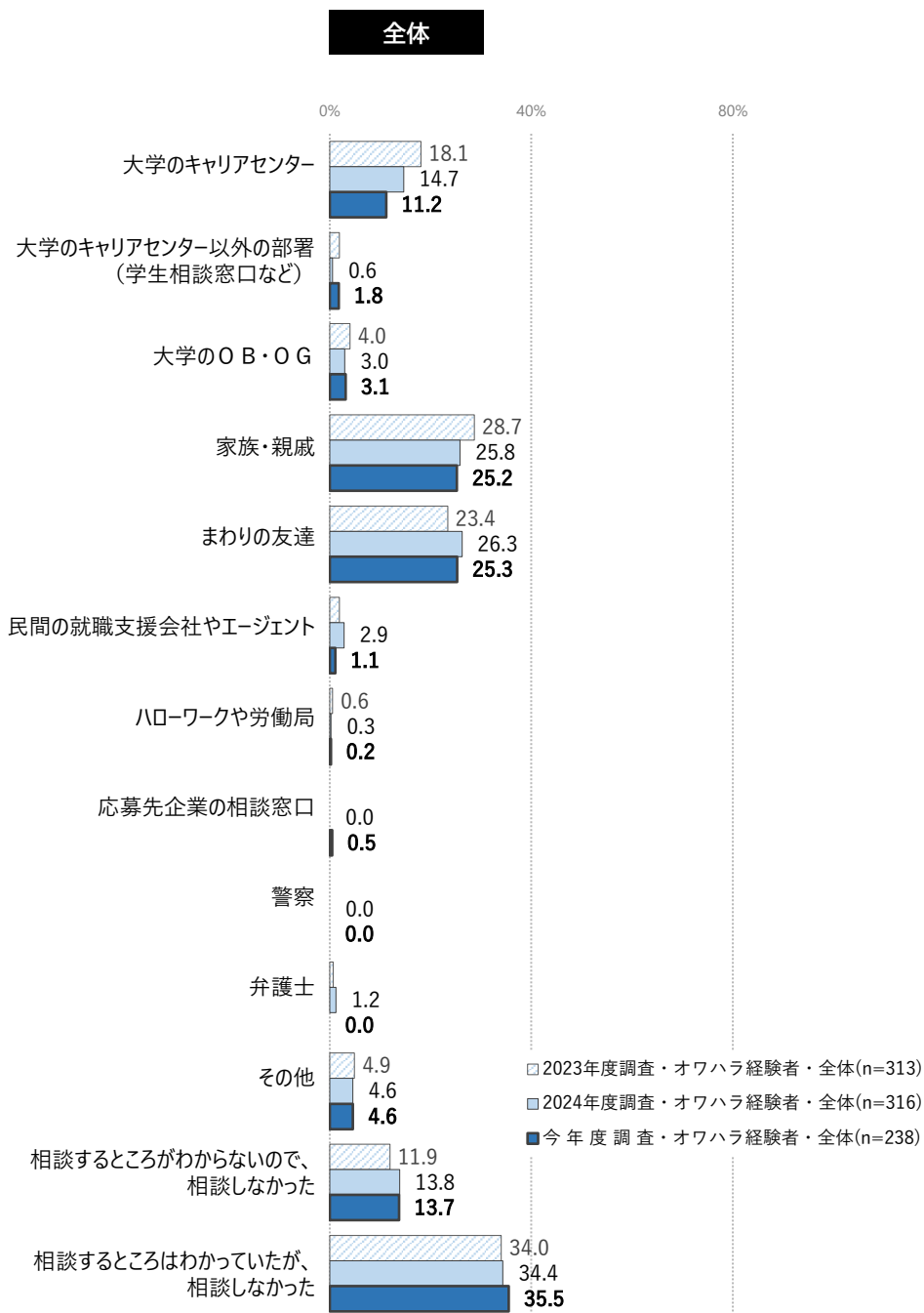
※2：内々定を1社以上から受けた者を集計の対象とした。

⑥「オワハラ」について相談したかどうか(オワハラを受けた人が対象)

「オワハラ※1」を受けた際の対応については、「まわりの友達に相談した」「家族・親戚に相談した」の回答割合が約3割となっている※2。

一方、「相談するところがわからなかったので、相談しなかった」が約1割、「相談するところはわかっていたが、相談しなかった」が約4割となっている。

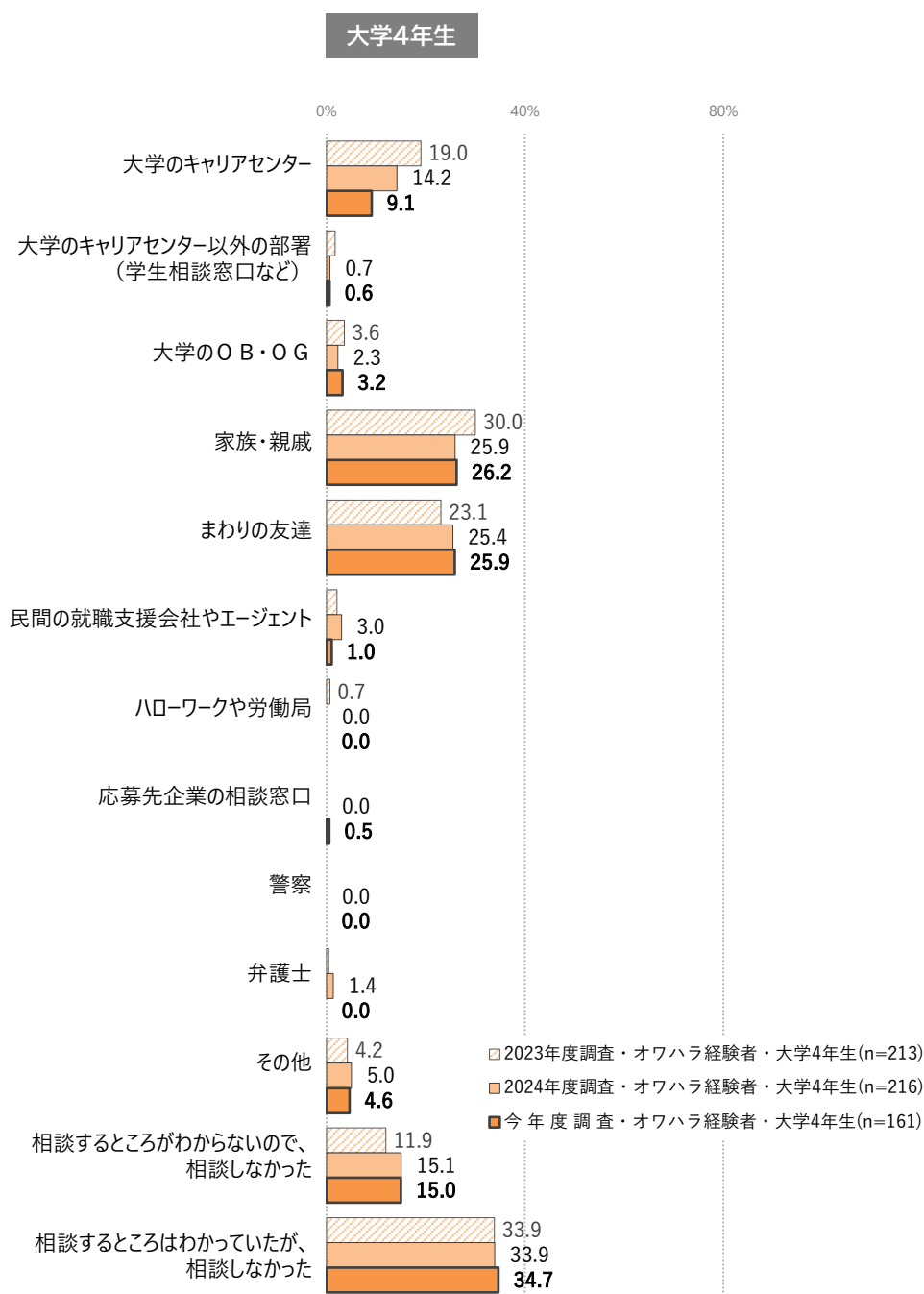
過年度調査と比較すると、「大学のキャリアセンター」が減少傾向にある。



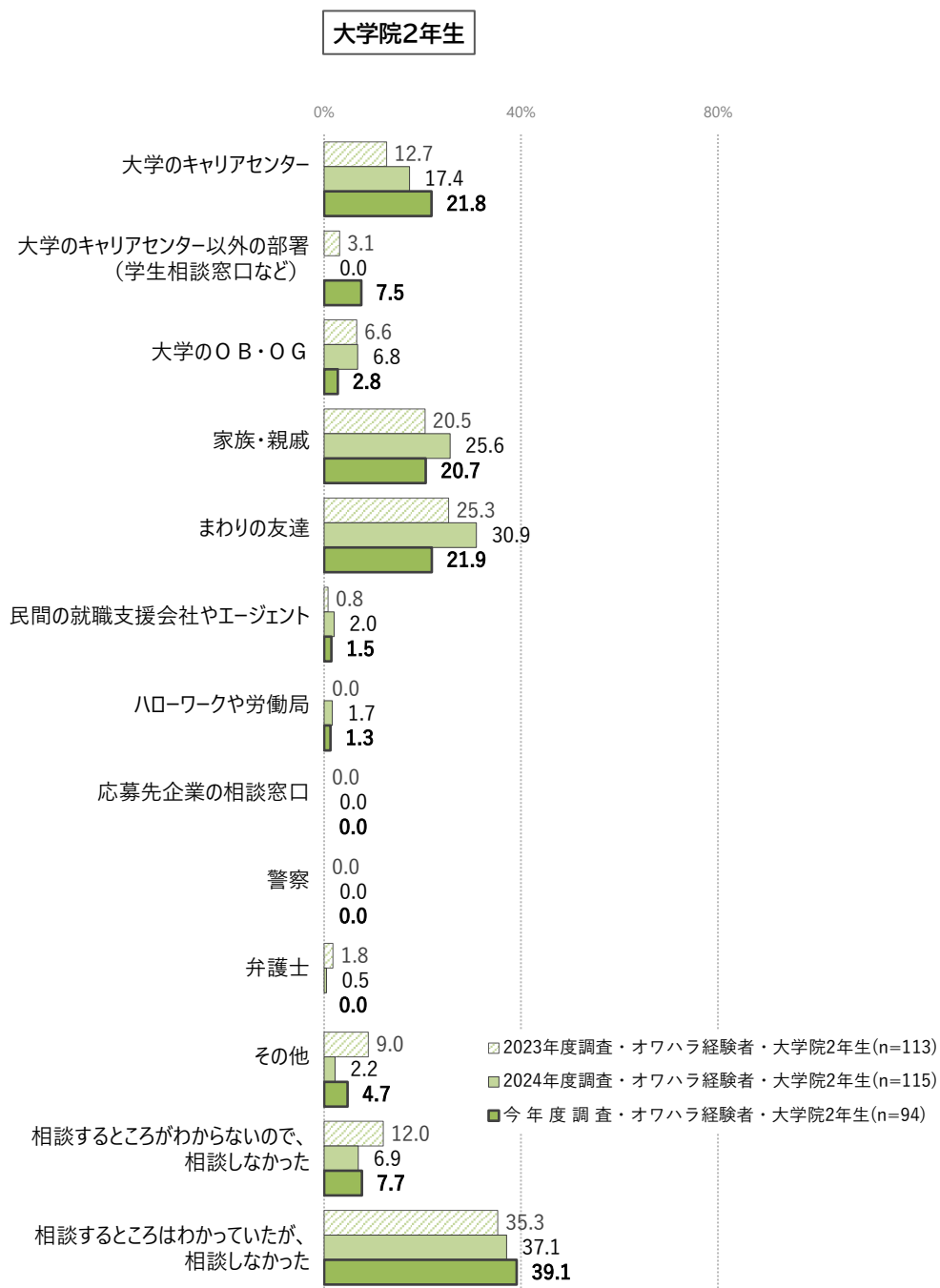
※1：オワハラについては、「企業等から、あなたの意思に反して他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント行為」と案内した上で調査を行った。

※2：内々定を1社以上から受けた者を集計の対象とした。

⑥「オワハラ」について相談したかどうか(オワハラを受けた人が対象)



⑥「オワハラ」について相談したかどうか(オワハラを受けた人が対象)



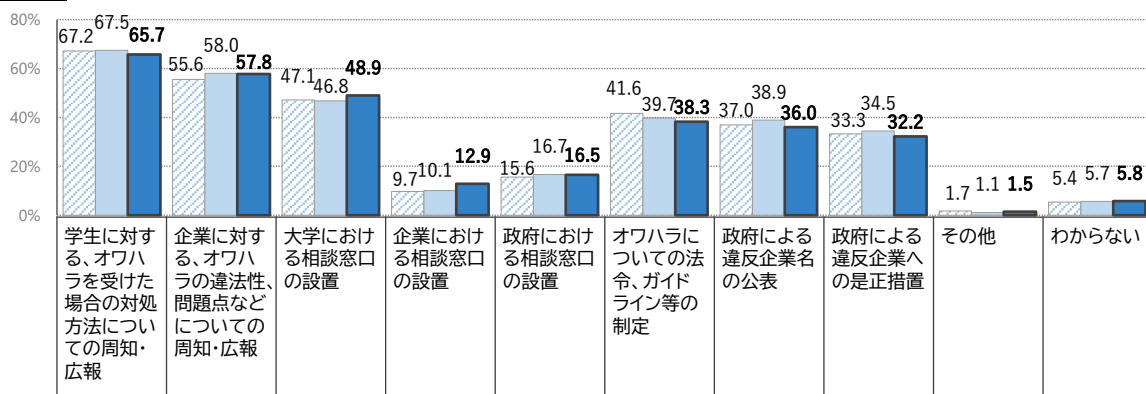
⑦「オワハラ」をなくすために求めたいこと

「オワハラ※1」をなくすために求めたいことについて、「学生に対する、オワハラを受けた場合の対処方法についての周知・広報」が約7割と最も高く、「企業に対する、オワハラの違法性、問題点などについての周知・広報」が約6割となっている。

過年度調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。

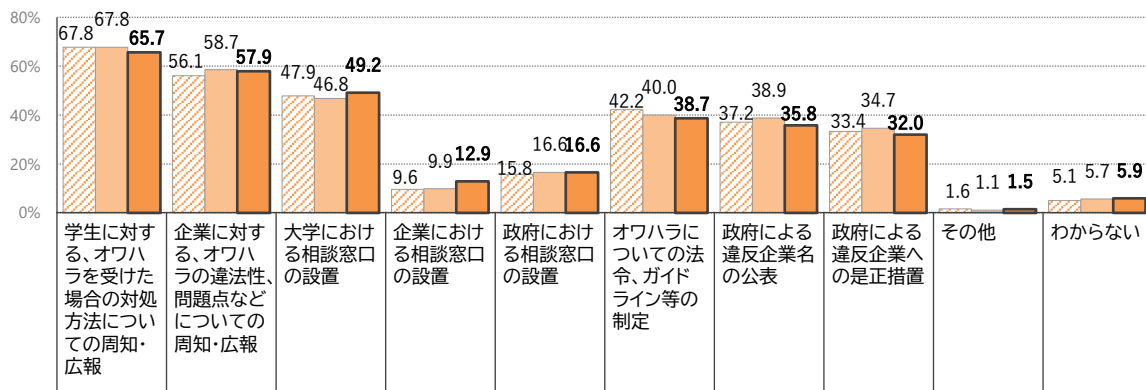
全体

2023年度調査・全体(n=3,874) 2024年度調査・全体(n=3,813) 今年度調査・全体(n=3,285)



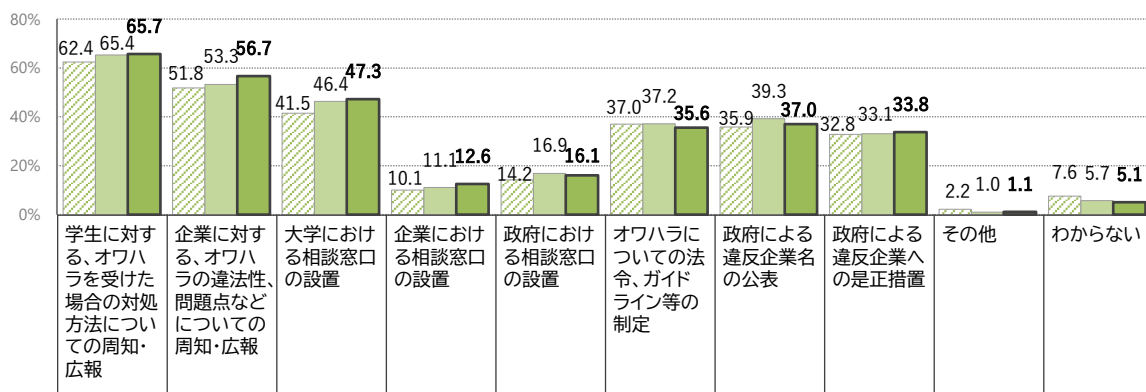
大学4年生

2023年度調査・大学4年生(n=2,707) 2024年度調査・大学4年生(n=2,673) 今年度調査・大学4年生(n=2,331)



大学院2年生

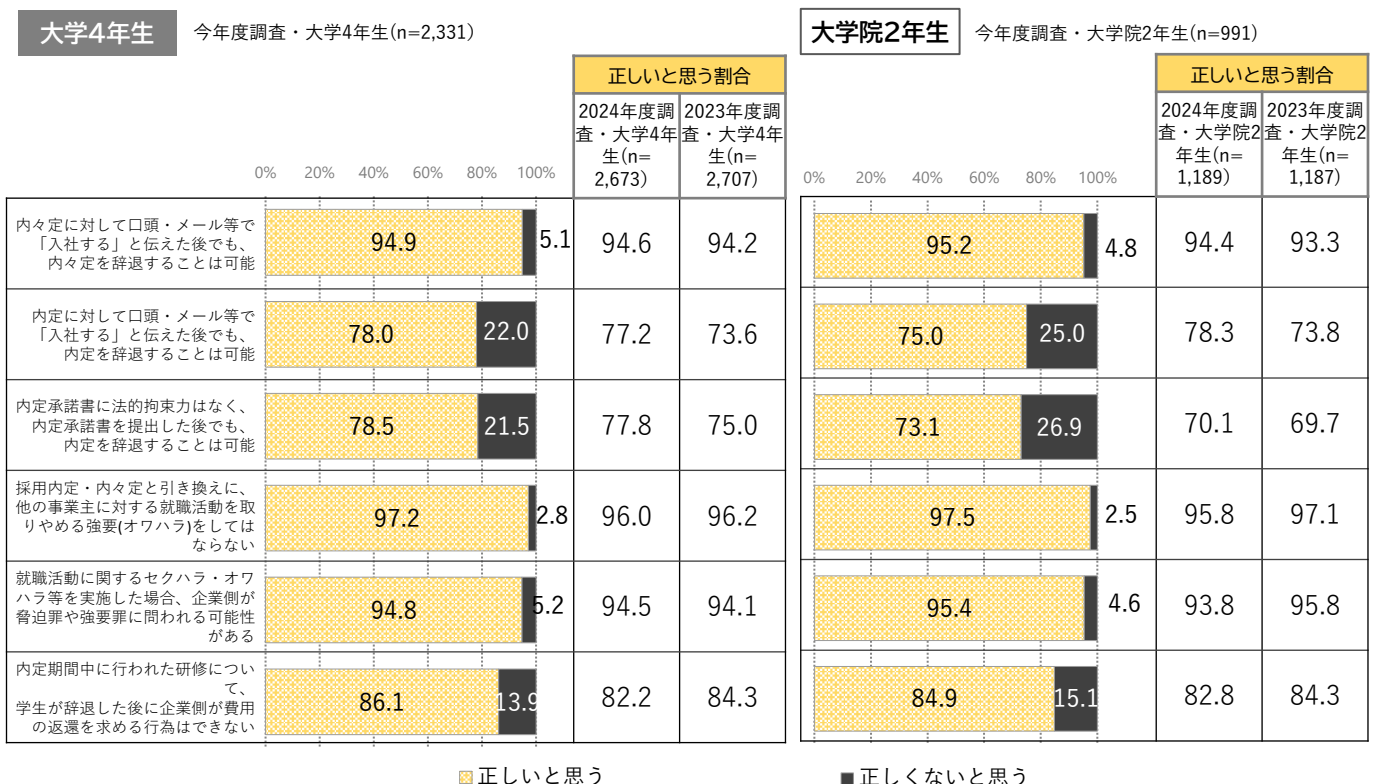
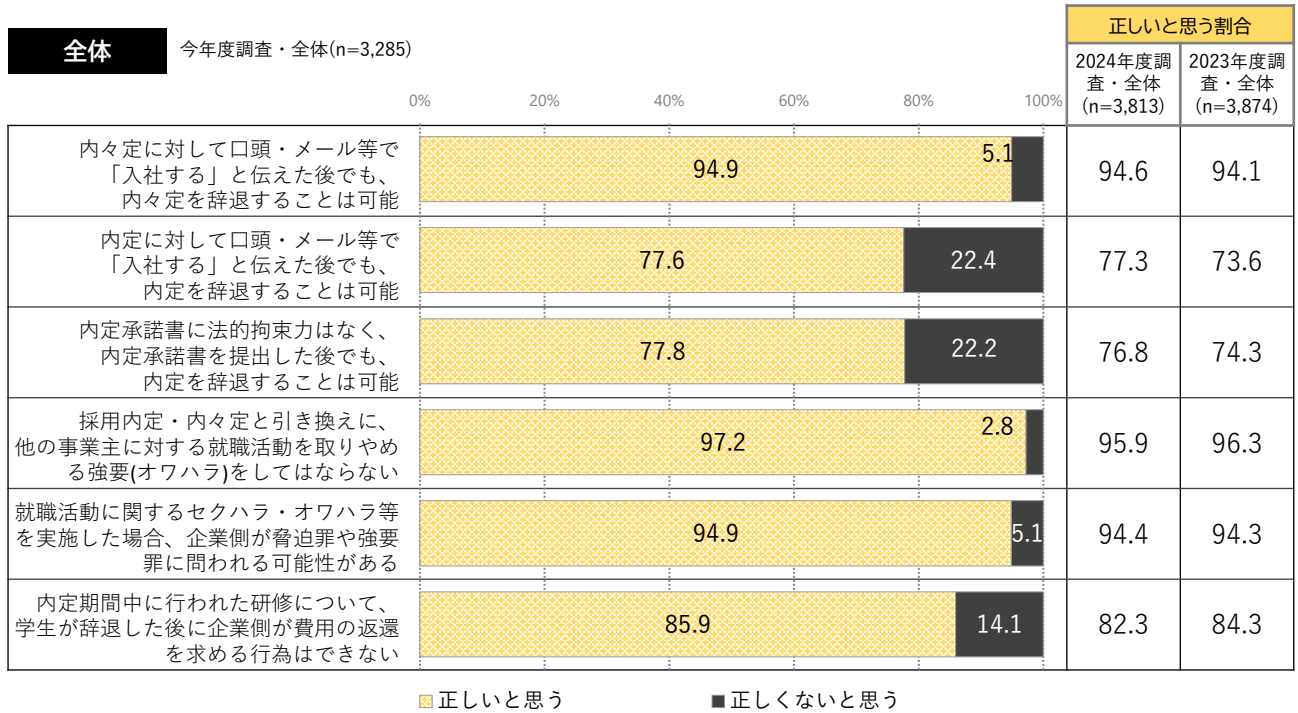
2023年度調査・大学院2年生(n=1,187) 2024年度調査・大学院2年生(n=1,189) 今年度調査・大学院2年生(n=991)



※1：オワハラについては、「企業等から、あなたの意思に反して他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント行為」と案内した上で調査を行った。

⑧就職活動に関連する法律(労働法令等)についての理解

就職活動に関連する法律(労働法令等)について、正しいと思うものを尋ねたところ、「内定に対して口頭・メール等で「入社する」と伝えた後でも、内定を辞退することは可能」、「内定承諾書に法的拘束力はなく、内定承諾書を提出した後でも、内定を辞退することは可能」は、「正しいと思う」が約8割となっており、「正しいと思う」割合は過年度調査と比較してどちらも高まっている。

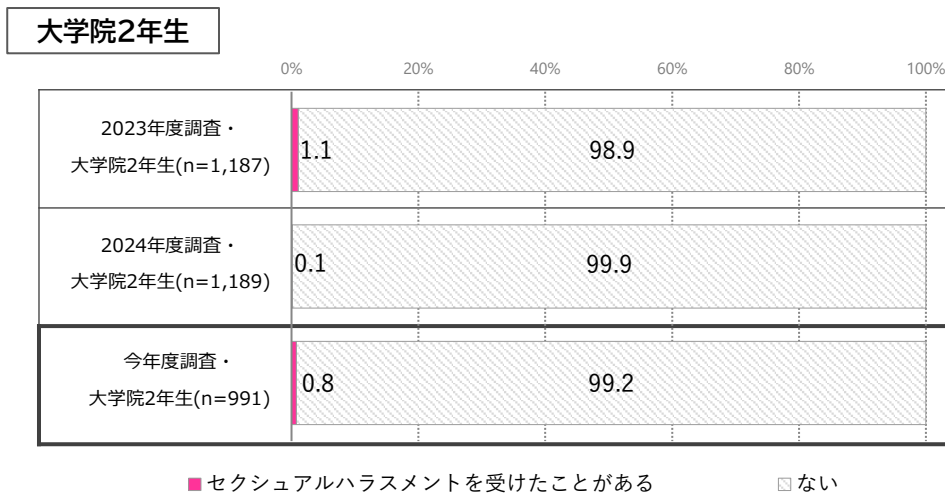
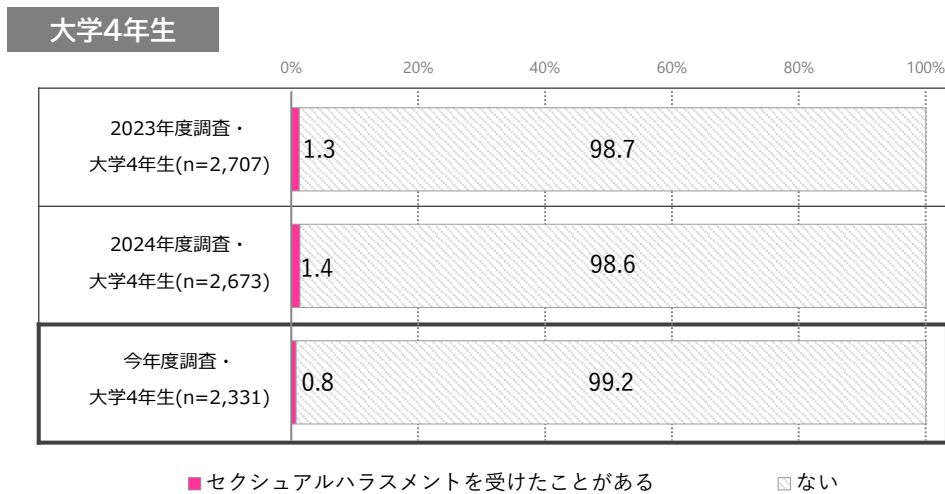
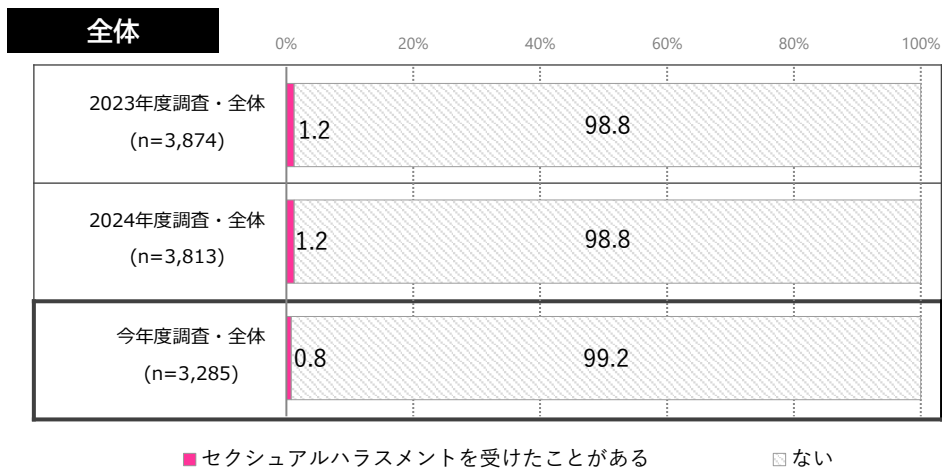


(9) 「セクシュアルハラスメント」の状況

①「セクシュアルハラスメント」行為の有無

就職活動の過程において、セクシュアルハラスメント行為を受けたことがあるかについて、「ある」の回答割合は0.8%であった。

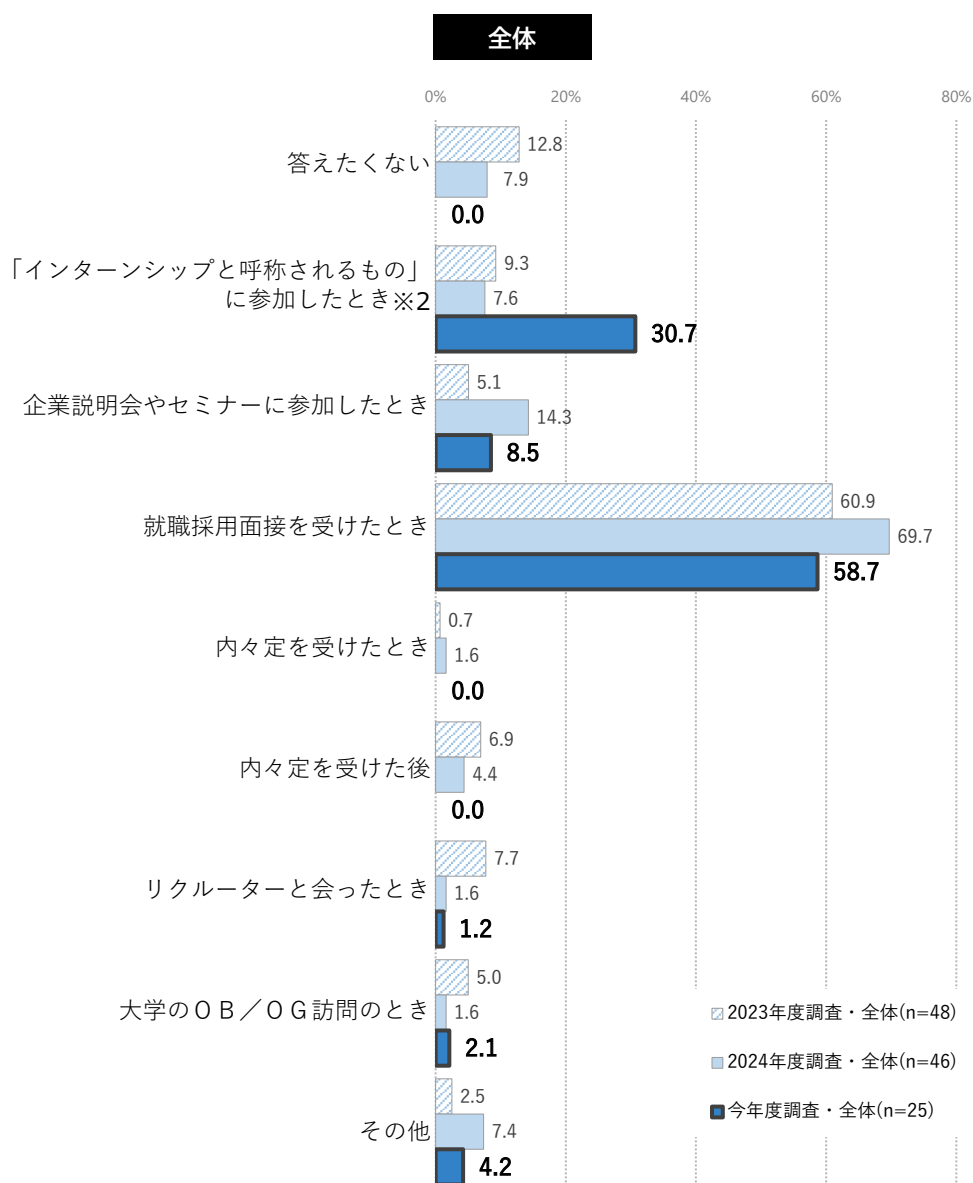
過年度調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



②「セクシュアルハラスメント」行為を受けたタイミング

セクシュアルハラスメント行為を受けたことがあると回答した者に関し※1、行為を受けたタイミングとしては、「就職採用面接を受けたとき」との回答が約6割と最も高く、次いで「インターンシップと呼称されるもの」に参加したときが約3割となっている。

過年度調査と比べると、「インターンシップと呼称されるもの」に参加したときの回答割合が高くなっている。

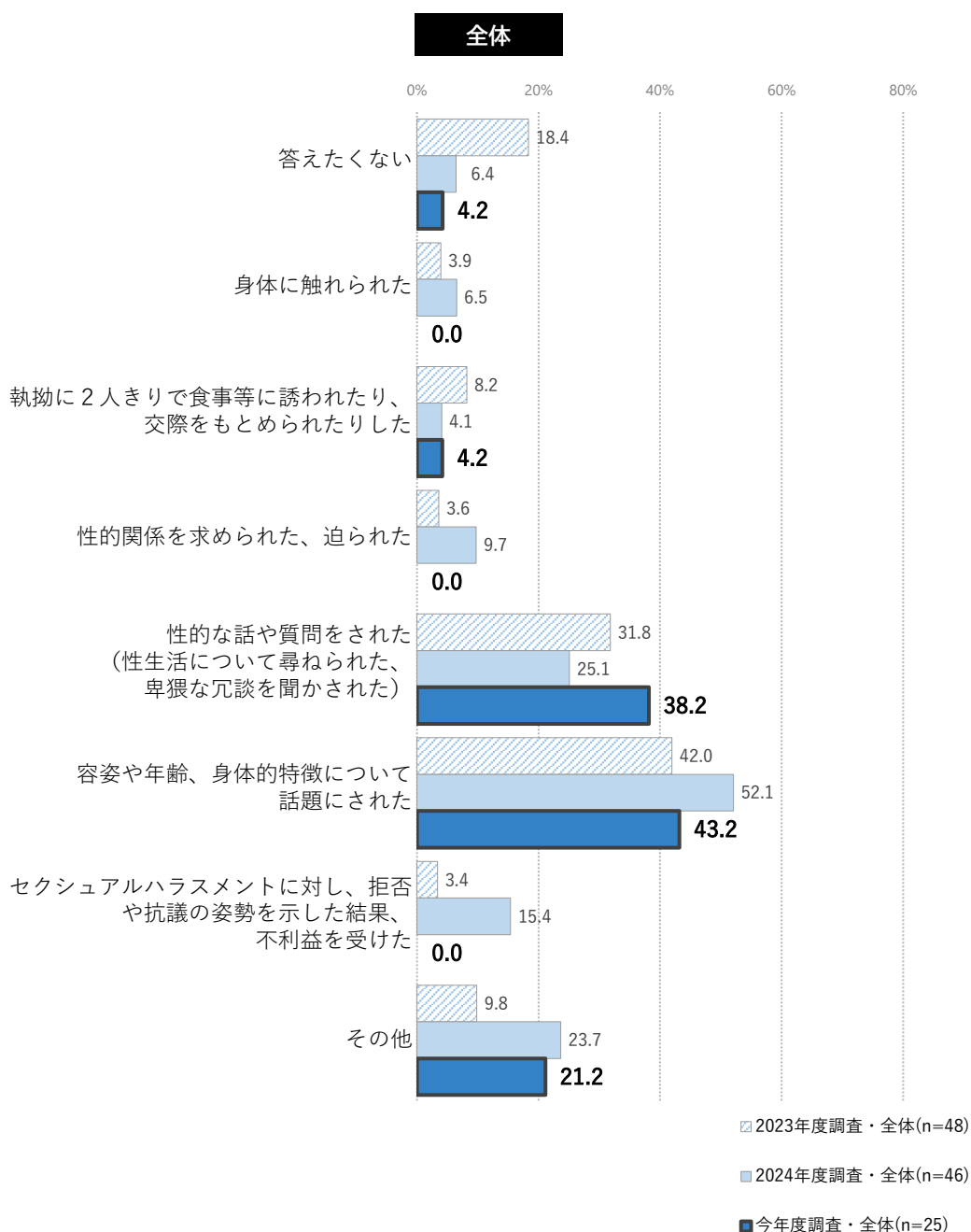


※1：本設問はセクシュアルハラスメント行為を受けたことがあると回答した者を調査・集計の対象としたが、選択肢として「答えたくない」の項目を設けた上で、差し支えない範囲で回答いただくように案内をした。なお、集計対象者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学4年生・大学院2年生について合わせて集計した結果のみ参照した。

※2：2023年度調査より、定義変更に伴い、インターンシップについて「インターンシップと呼称されるもの」と提示している。

③「セクシュアルハラスメント」行為の内容

どのようなセクシュアルハラスメント行為を受けたかについて、「容姿や年齢、身体的特徴について話題にされた」、「性的な話や質問をされた(性生活について尋ねられた、卑猥な冗談を聞かされた)」が約4割となっている。

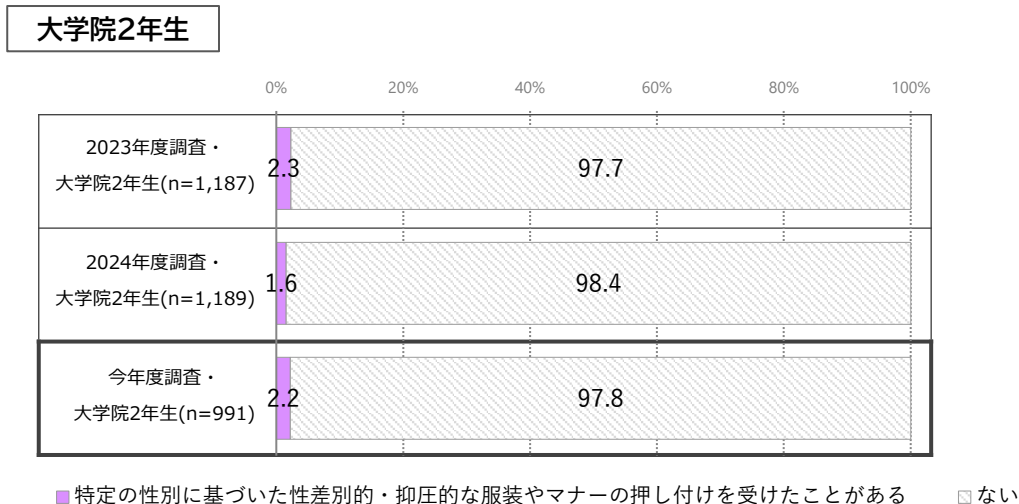
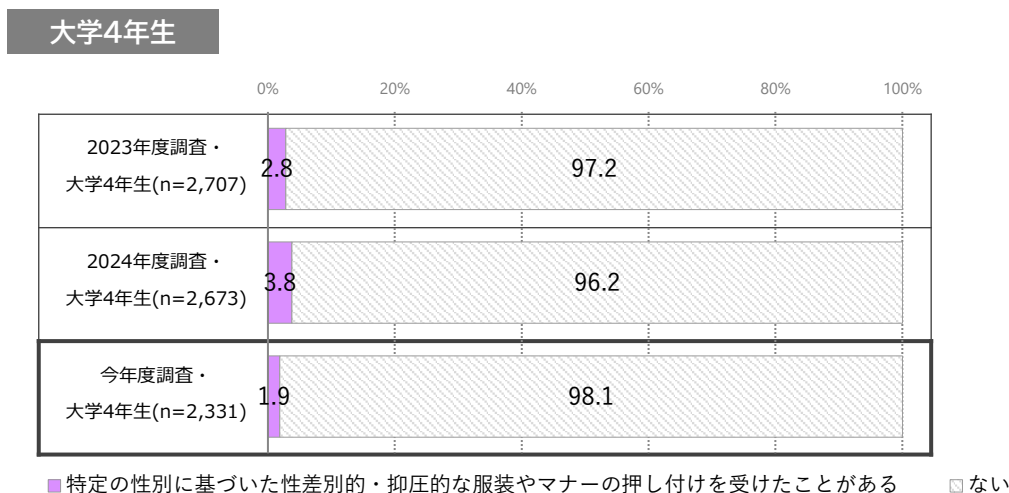
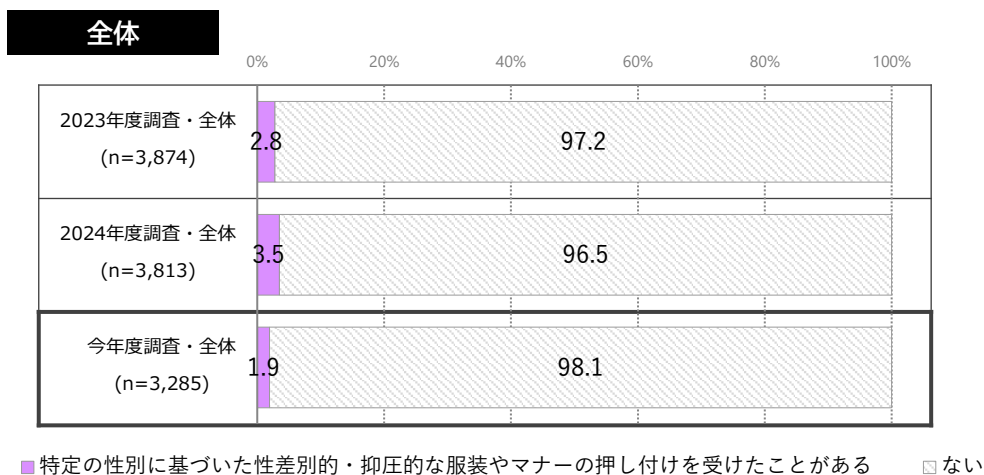


(10) 「特定の性別に基づいた性差別的・抑圧的な服装やマナーの押し付け」の状況

①「特定の性別に基づいた性差別的・抑圧的な服装やマナーの押し付け」有無

就職活動の過程において、特定の性別に基づいた性差別的・抑圧的な服装やマナーの押し付け※1を受けたことがあるかについて、「ある」の回答割合は1.9%であった。

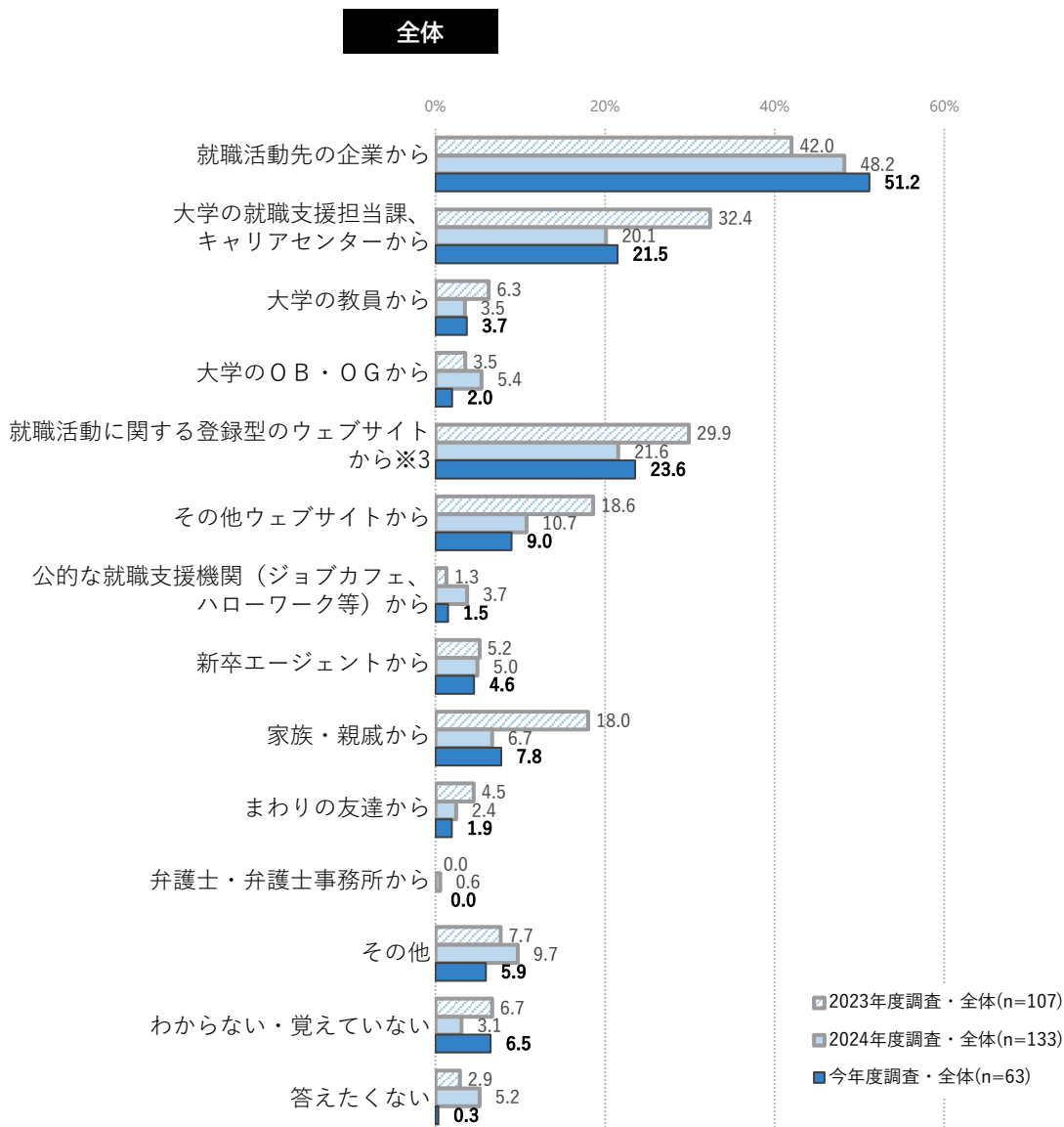
過年度調査と比較すると、やや減少している。



※1：「意思に反して特定の性別に基づいた性差別的・抑圧的な服装やマナーの押し付けの例：就職活動時の服装について、「男らしく」「女らしく」すべきという指南を受けること等」といった例を提示したうえで、調査を行った。

②「特定の性別に基づいた性差別的・抑圧的なマナーの押し付け」を受けた対象

意思に反して特定の性別に基づいた性差別的・抑圧的な服装やマナーの押し付け※1を受けたことがあると回答した者に関し※2、どこから受けたかについては、「就職活動先の企業から」が約5割と最も高く、次に「就職活動に関する登録型のウェブサイトから※3」「大学の就職支援担当課、キャリアセンターから」が約2割となっている。過年度調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



※1：「意思に反して特定の性別に基づいた性差別的・抑圧的な服装やマナーの押し付けの例：就職活動時の服装について、「男らしく」「女らしく」すべきという指南を受けること等」といった例を提示したうえで、調査を行った。

※2：本設問は特定の性別に基づいた性差別的・抑圧的なマナーの押し付けを受けたことがあると回答した者を調査・集計の対象としたが、選択肢として「答えたくない」の項目を設けた上で、差し支えない範囲で回答いただくように案内をした。なお、集計対象者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学4年生・大学院2年生について合わせて集計した結果のみ参照した。

※3：2024年度調査以前は「就職活動に関する登録型のウェブサイト(リクナビ・マイナビ等)から」で聴取。

第六章 ジョブ型採用について

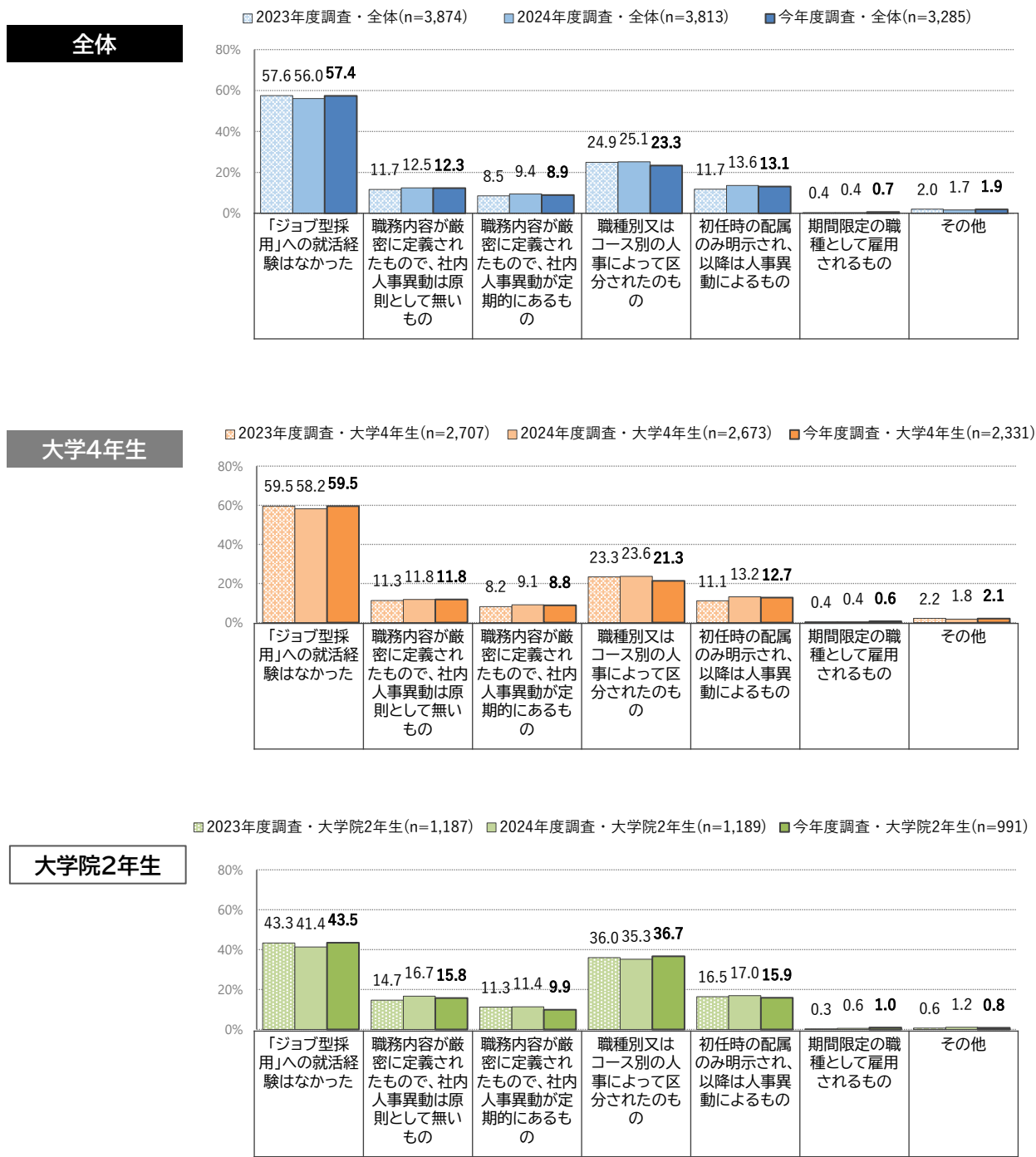
第六章 ジョブ型採用について

(1) ジョブ型採用での就職活動経験について

①ジョブ型採用での就職活動経験について

ジョブ型採用※1についての就職活動経験について※2、「「ジョブ型採用」への就活経験はなかった」の回答割合が約6割と最も高く、ジョブ型採用での就職活動経験がある者の中では、「職種別又はコース別の人事によって区分されたもの」が約2割と高い。

過年度調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



※1：「特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）」については、設問に入る前に「特定の職務等に限定した採用。入社後の職務内容を確定させた採用方式のこととする。または、入社後に従事する仕事が決まっており、その仕事を遂行できる人材を採用するため、応募者の専門能力を重視する。」と説明した。

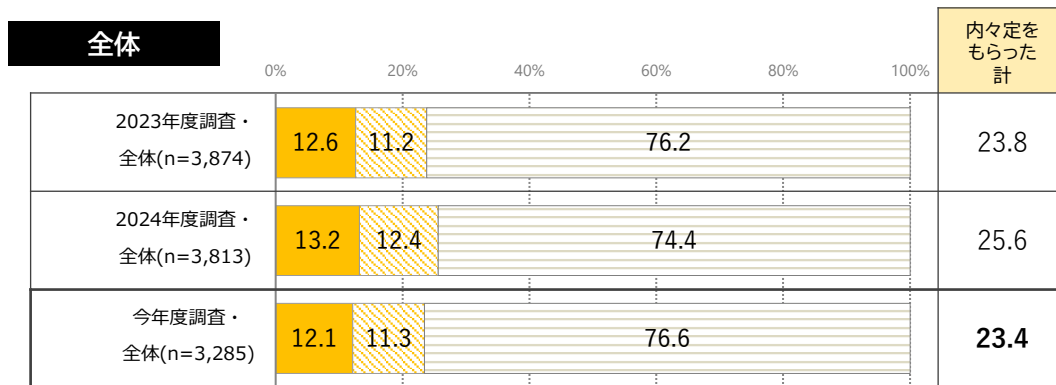
※2：就活経験について、2023年度調査から「企業に応募した経験やエントリーした経験など」と具体例を示したうえで、調査を行った。

(2) ジョブ型採用での内々定の状況

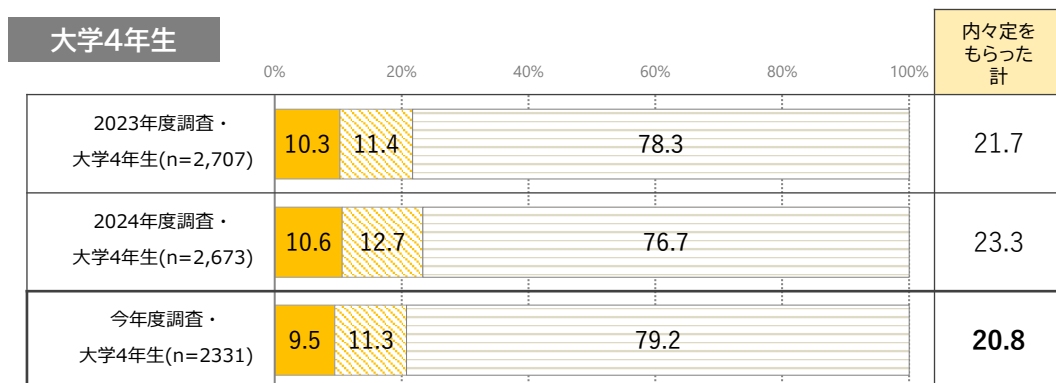
①ジョブ型採用での内々定の状況(就職活動実施者対象)

就職活動実施者におけるジョブ型採用※1での内々定の状況について、「ジョブ型採用で内々定をもらい、自身の専門性(学部・院での学業や資格等)と合致する」が約1割、「ジョブ型採用で内々定をもらったが、自身の専門性(学部・院での学業や資格等)と合致していない」が約1割となり、「ジョブ型採用で内々定をもらった」とする回答割合は約2割となった。

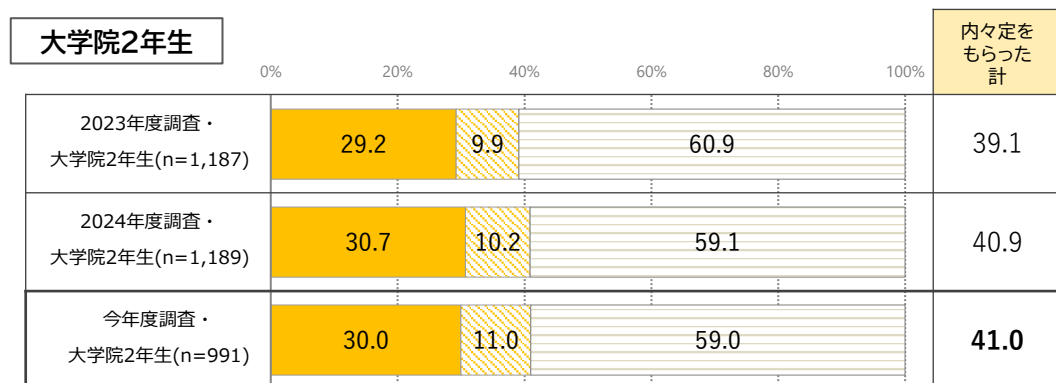
過年度調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



- ジョブ型採用で内々定をもらい、自身の専門性(学部・院での学業や資格等)と合致する
- ▨ ジョブ型採用で内々定をもらったが、自身の専門性(学部・院での学業や資格等)と合致していない
- ジョブ型採用で内々定をもらっていない



- ジョブ型採用で内々定をもらい、自身の専門性(学部・院での学業や資格等)と合致する
- ▨ ジョブ型採用で内々定をもらったが、自身の専門性(学部・院での学業や資格等)と合致していない
- ジョブ型採用で内々定をもらっていない

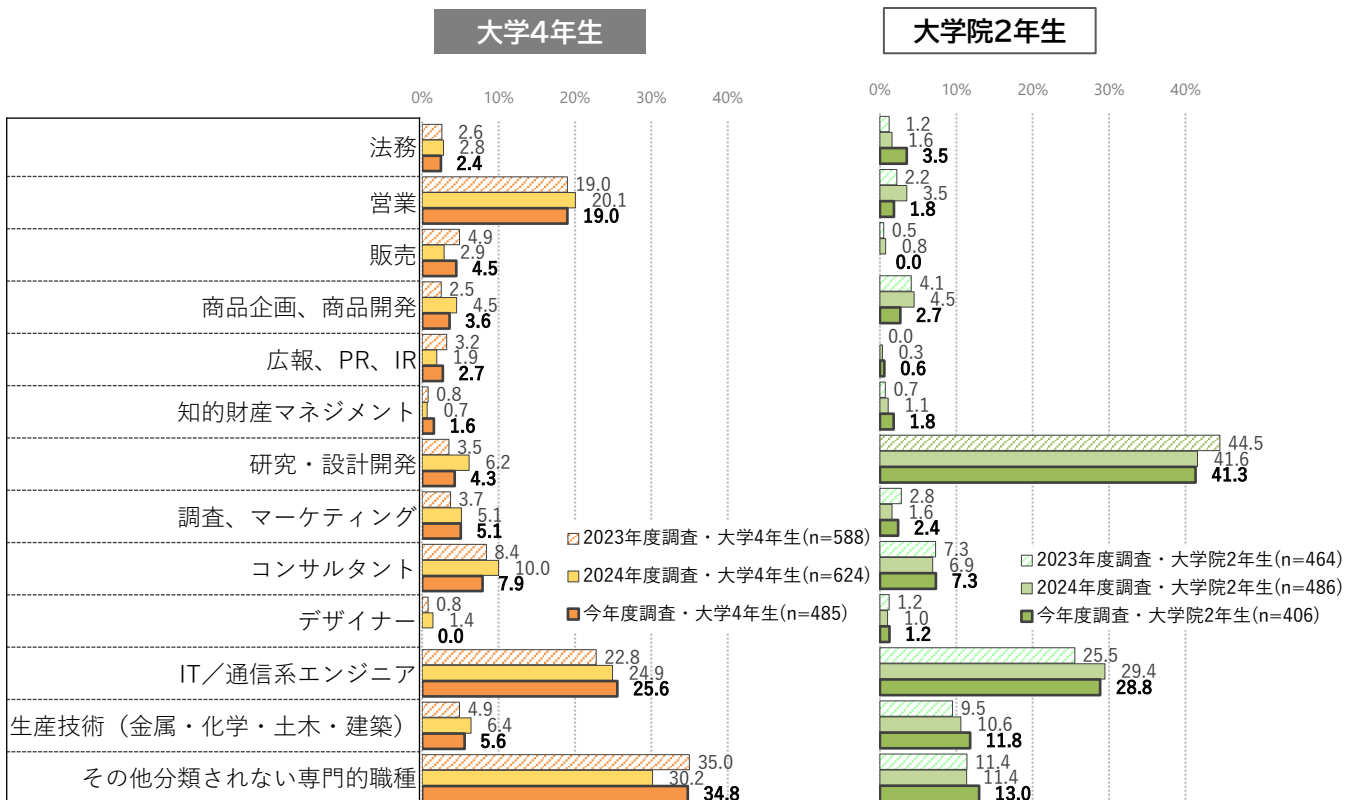
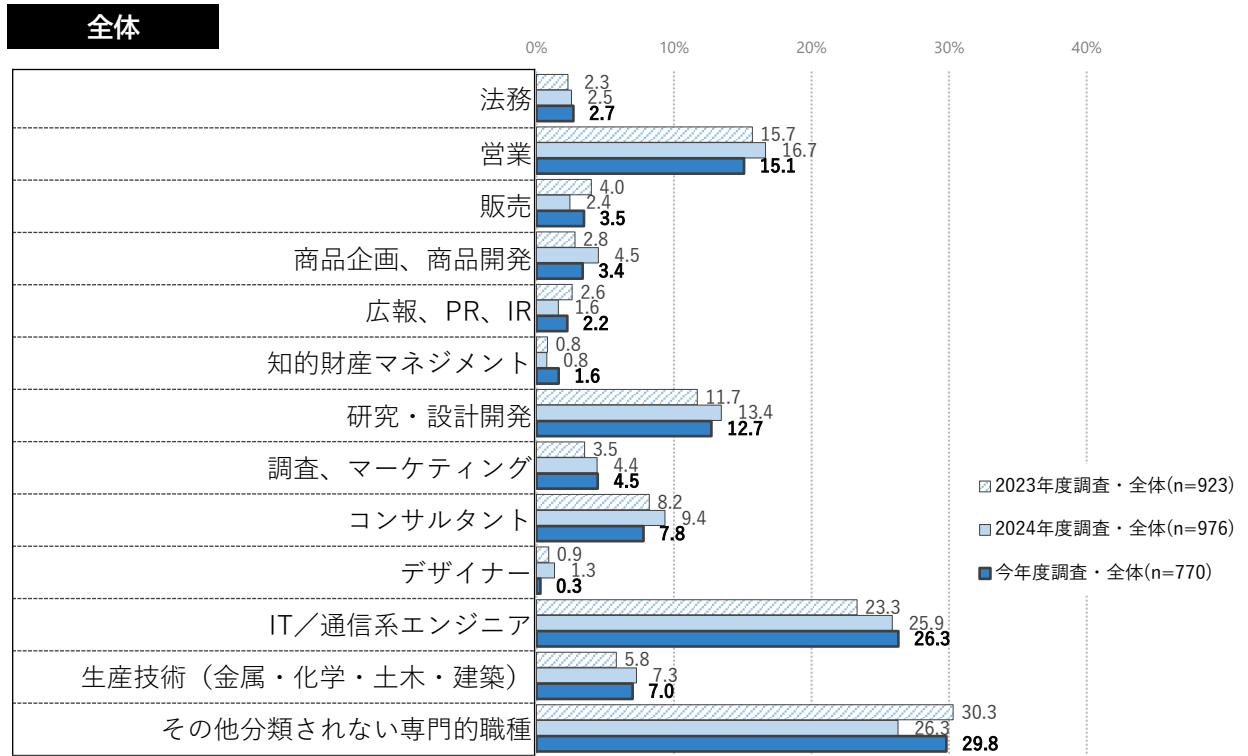


- ジョブ型採用で内々定をもらい、自身の専門性(学部・院での学業や資格等)と合致する
- ▨ ジョブ型採用で内々定をもらったが、自身の専門性(学部・院での学業や資格等)と合致していない
- ジョブ型採用で内々定をもらっていない

※1: 「特定の職務等を限定した採用(ジョブ型採用)」については、設問に入る前に「特定の職務等に限定した採用。入社後の職務内容を確定させた採用方式のこととする。または、入社後に従事する仕事が決まっており、その仕事を遂行できる人材を採用するため、応募者の専門能力を重視する。」と説明した。

②ジョブ型採用で内々定を受けた職種

ジョブ型採用※1で内々定を受けた職種について、「その他分類されない専門的職種」を除いては「IT／通信系エンジニア」が約3割、「営業」が約2割、「研究・設計開発」「コンサルタント」「生産技術（金属・化学・土木・建築）」が約1割。過年度調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



※1：「特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）」については、設問に入る前に「特定の職務等に限定した採用。入社後の職務内容を確定させた採用方式のこととする。または、入社後に従事する仕事が決まっており、その仕事を遂行できる人材を採用するため、応募者の専門能力を重視する。」と説明した。

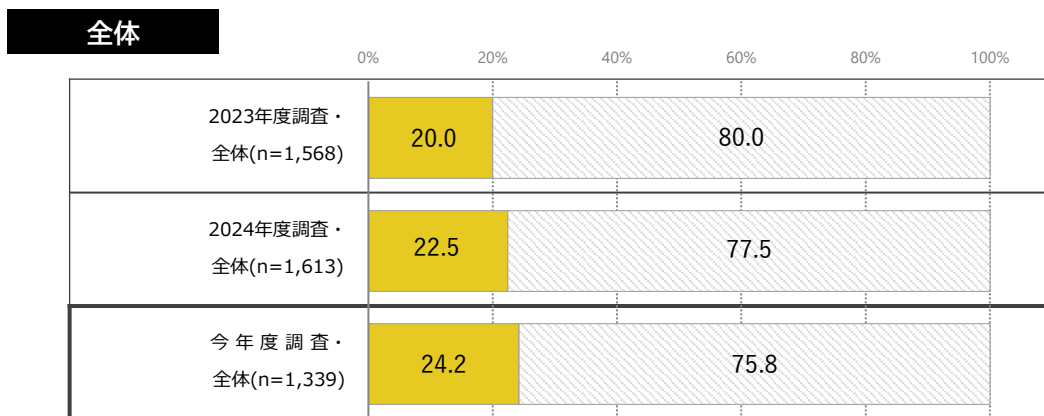
(3) ジョブ型採用とそうでない採用の応募・待遇について

①ジョブ型採用とそうでない採用の応募状況

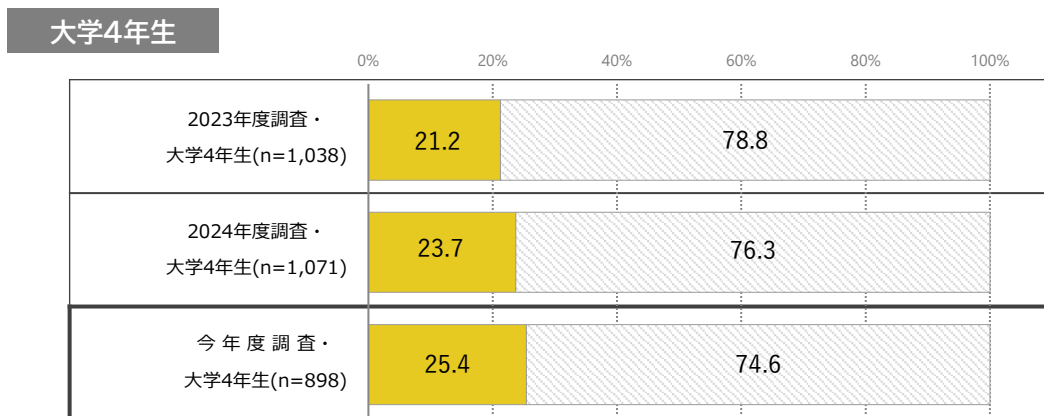
ジョブ型採用※1での就職活動経験がある者に関して、一つの企業において「ジョブ型採用」とそうでない採用の両方へ応募したこと、もしくは応募を検討したことがあったかについて集計した。

「一つの企業で両方応募した・もしくは応募を検討した」の回答割合は2割となった。

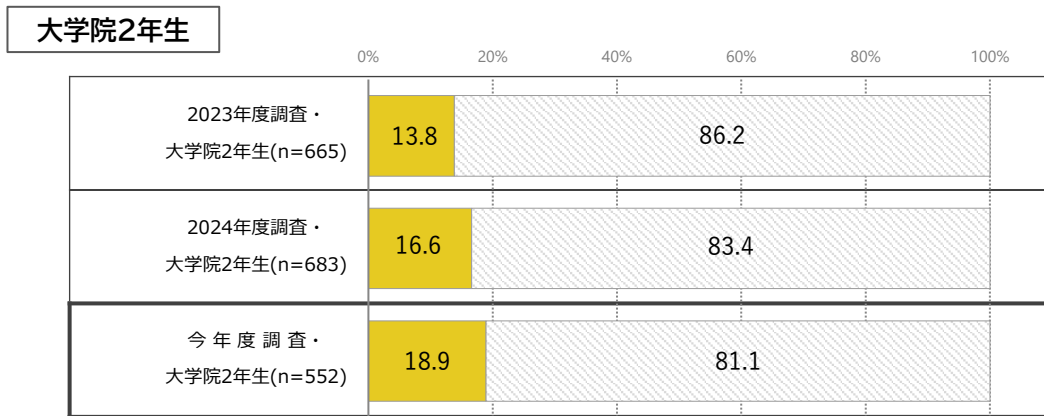
過年度調査と比べると、「一つの企業で両方応募した・もしくは応募を検討した」の回答割合は増加傾向にある。



- 一つの企業で両方応募した・もしくは応募を検討した
- 一つの企業で両方の応募はしていない・もしくは応募を検討していない



- 一つの企業で両方応募した・もしくは応募を検討した
- 一つの企業で両方の応募はしていない・もしくは応募を検討していない



- 一つの企業で両方応募した・もしくは応募を検討した
- 一つの企業で両方の応募はしていない・もしくは応募を検討していない

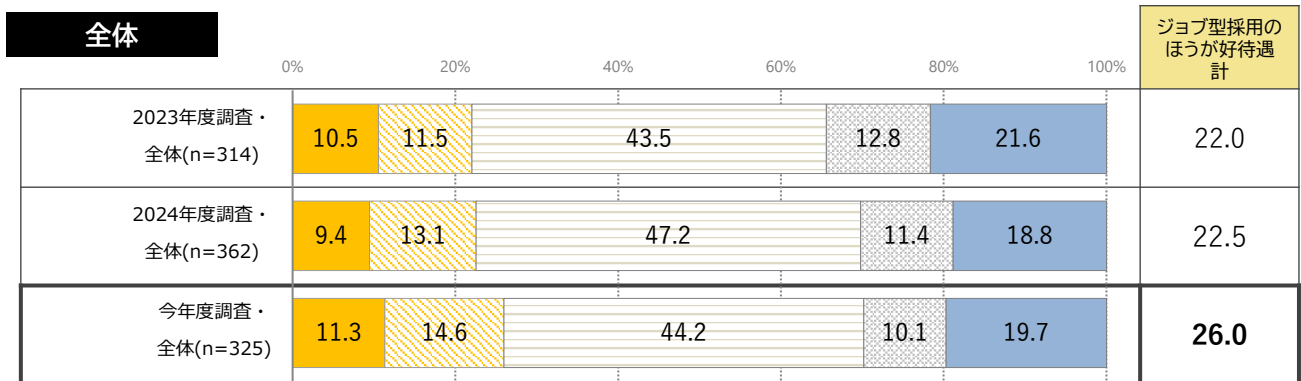
※1：「特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）」については、設問に入る前に「特定の職務等に限定した採用。入社後の職務内容を確定させた採用方式のこととする。または、入社後に従事する仕事が決まっており、その仕事を遂行できる人材を採用するため、応募者の専門能力を重視する。」と説明した。

②ジョブ型採用とそうでない採用で待遇(初任給や年俵・諸手当等)の違いがあったか

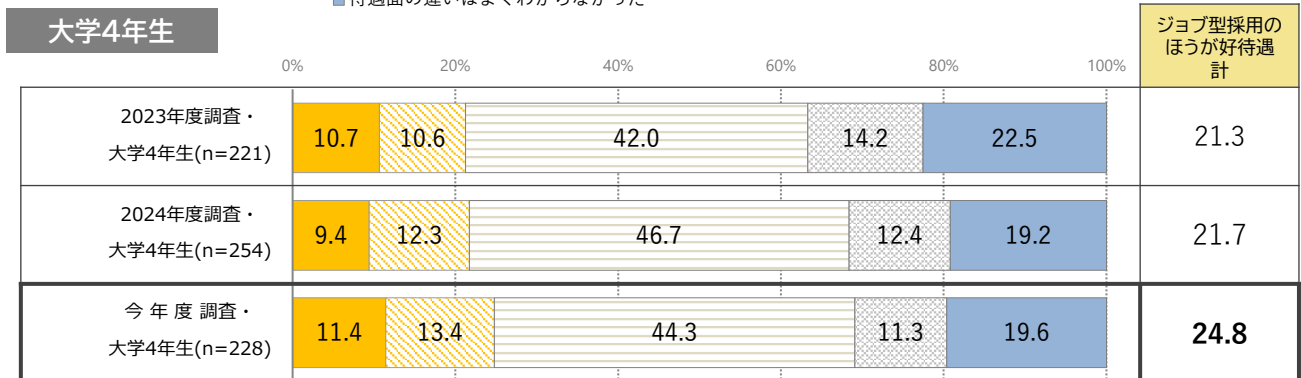
ジョブ型採用※1とそうでない採用の両方へ応募・もしくは応募を検討した者に関して、ジョブ型採用とそうでない採用で待遇(初任給や年俵・諸手当等)の違いがあったかについて集計した。

「どちらも待遇面は、ほぼ同等で変わらない」が約4割と最も高い。「ジョブ型採用のほうが好待遇」とする回答割合は約3割となった。

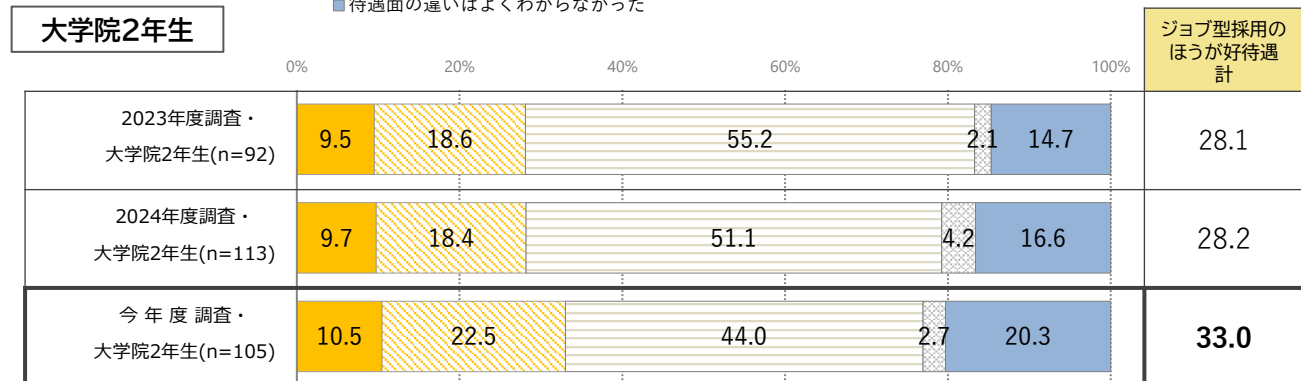
過年度調査と比較すると、「ジョブ型採用のほうが好待遇」とする回答割合は増加傾向にある。



- ジョブ型採用の方が「限定されていない採用」よりも、採用時点では、かなり好待遇
- ▨ ジョブ型採用の方が「限定されていない採用」よりも、採用時点では、多少好待遇
- どちらも待遇面は、ほぼ同等で変わらない
- ▤ ジョブ型採用の方が、「限定されていない採用」よりも、待遇面では劣っている
- 待遇面の違いはよくわからなかった



- ジョブ型採用の方が「限定されていない採用」よりも、採用時点では、かなり好待遇
- ▨ ジョブ型採用の方が「限定されていない採用」よりも、採用時点では、多少好待遇
- どちらも待遇面は、ほぼ同等で変わらない
- ▤ ジョブ型採用の方が、「限定されていない採用」よりも、待遇面では劣っている
- 待遇面の違いはよくわからなかった



- ジョブ型採用の方が「限定されていない採用」よりも、採用時点では、かなり好待遇
- ▨ ジョブ型採用の方が「限定されていない採用」よりも、採用時点では、多少好待遇
- どちらも待遇面は、ほぼ同等で変わらない
- ▤ ジョブ型採用の方が、「限定されていない採用」よりも、待遇面では劣っている
- 待遇面の違いはよくわからなかった

※1: 「特定の職務等を限定した採用(ジョブ型採用)」については、設問に入る前に「特定の職務等に限定した採用。入社後の職務内容を確定させた採用方式のこととする。または、入社後に従事する仕事が決まっており、その仕事を遂行できる人材を採用するため、応募者の専門能力を重視する。」と説明した。

第七章 採用プロセスの複線化についての状況

第七章 採用プロセスの複線化についての状況

(1) 採用プロセスの複線化に関する認知状況と認知経路

①採用プロセスの複線化の認知度

2025年度卒以降、専門活用型インターンシップ(2週間以上)で卒業・修了年度に入る直前の春休み以降に実施されるものを通じて高い専門的知識や能力を有すると判断された学生については、そのことに着目し、3月から行われる広報活動の周知期間を短縮して、6月より以前のタイミングから採用選考プロセスに移行できることについて、「よく知っていた」は5%、「知っていた」の計で19%。「知らなかった」が63%と最も高くなっている。

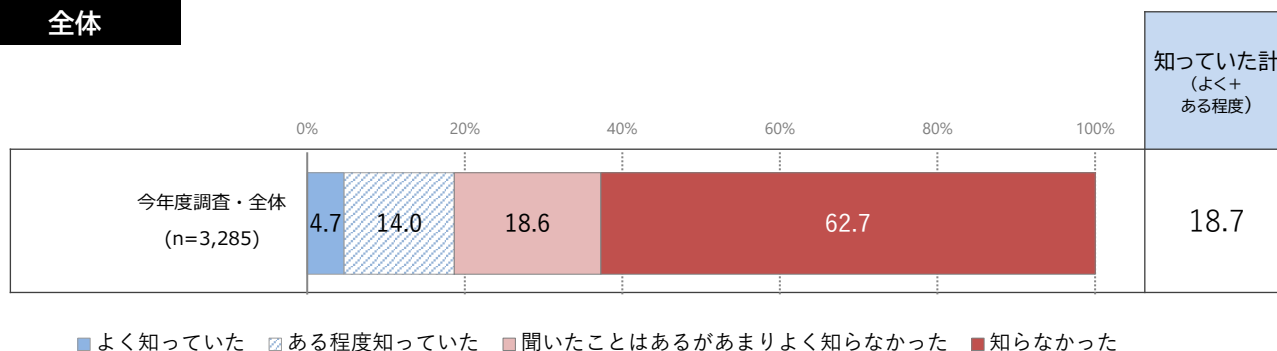
「採用プロセスの複線化」について下記の通り注釈で説明したうえで聴取

※2025年度卒以降の学生については、専門活用型インターンシップ(2週間以上)で卒業・修了年度に入る直前の春休み以降に実施されるものを通じて高い専門的知識や能力を有すると判断された学生については、そのことに着目し、3月から行われる広報活動の周知期間を短縮して、6月より以前のタイミングから採用選考プロセスに移行できます。

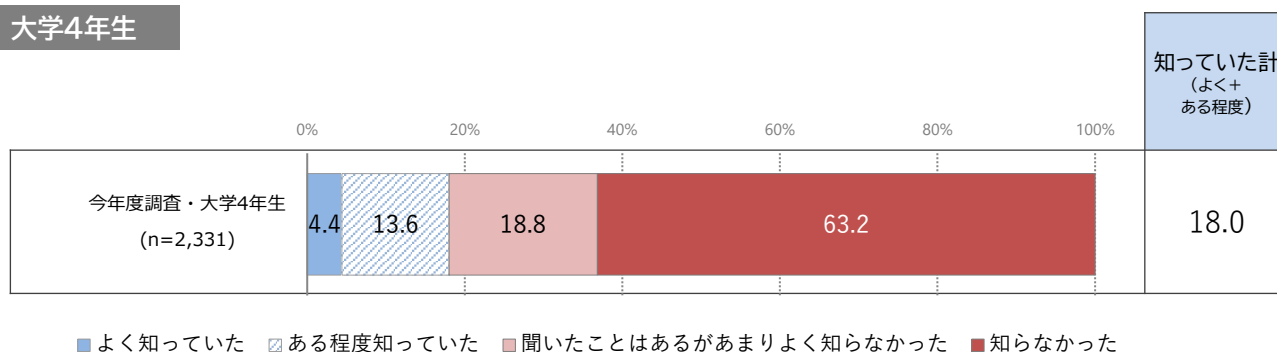
※複線化に対応した専門活用型インターンシップの主な要件:

- ・実施期間2週間以上で半分を超える日数の就業体験
- ・卒業・修了年次直前の春休み以降に実施
- ・職場の社員が学生を指導し、インターンシップ終了後に学生にフィードバックを実施
- ・インターンシップ実施企業はインターンシップの情報とともに、学生に求める学修成果水準、採用計画に係る情報を開示

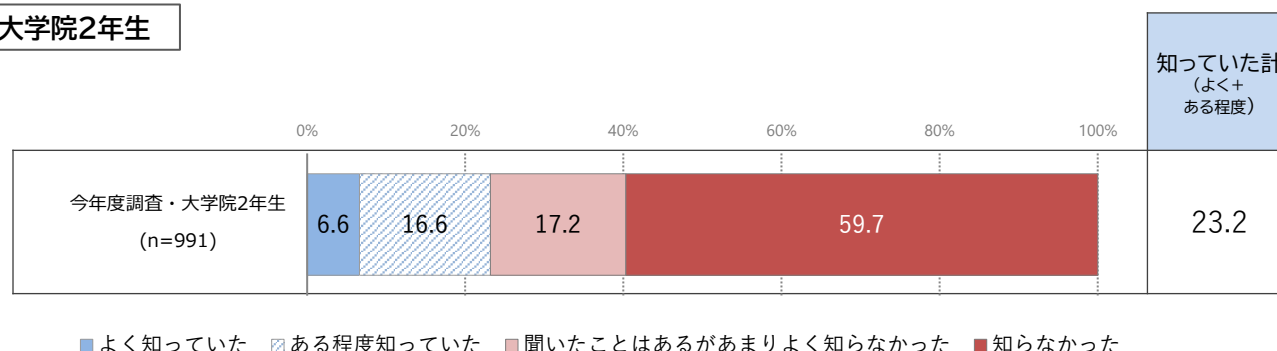
全体



大学4年生

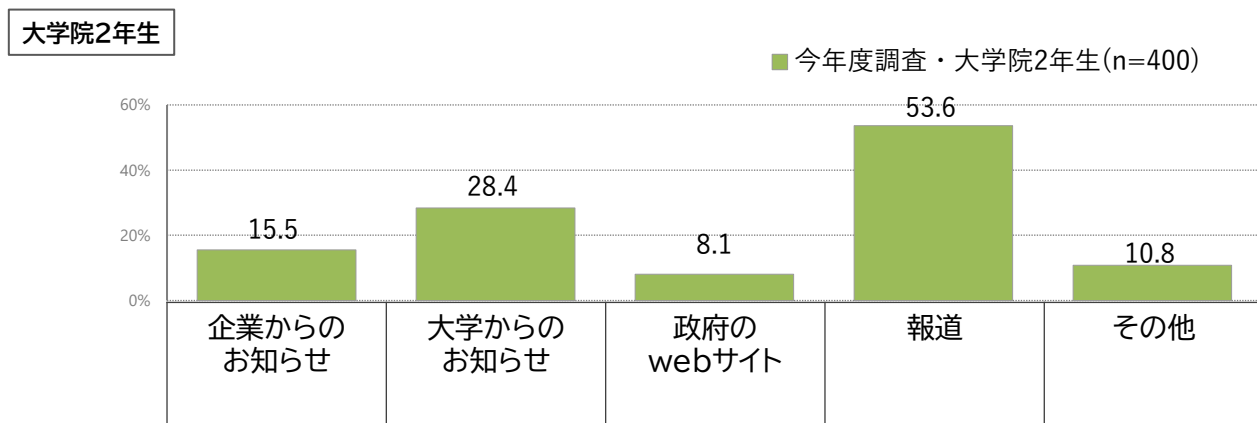
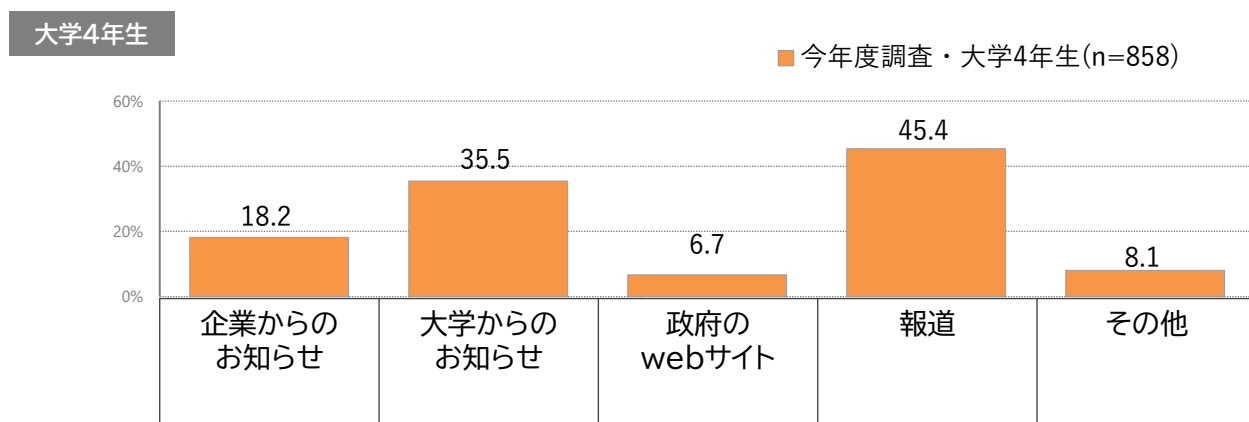
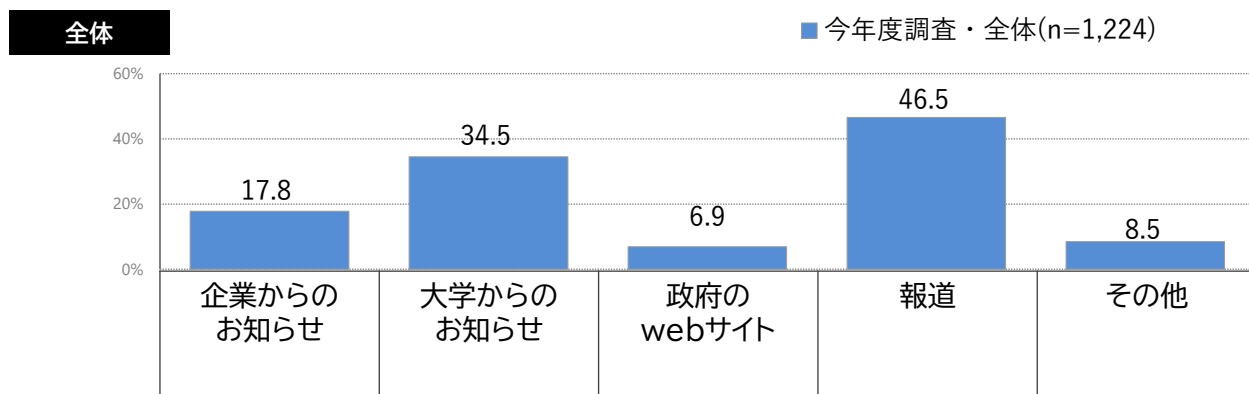


大学院2年生



②採用プロセスの複線化の認知経路

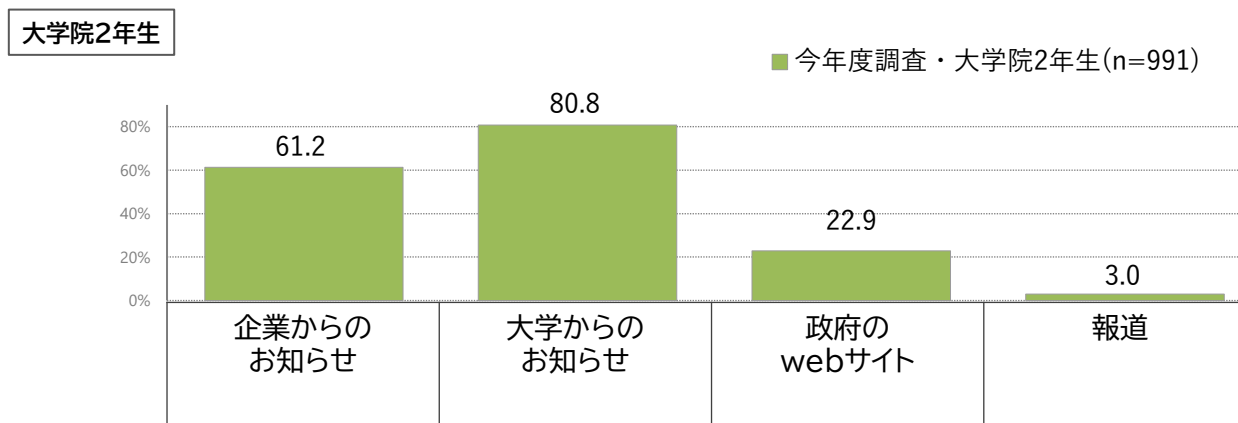
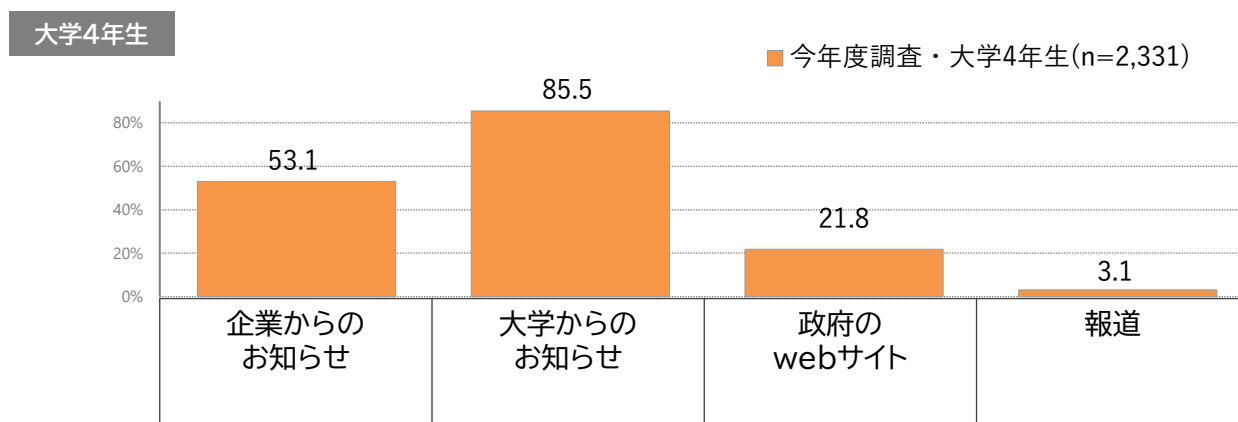
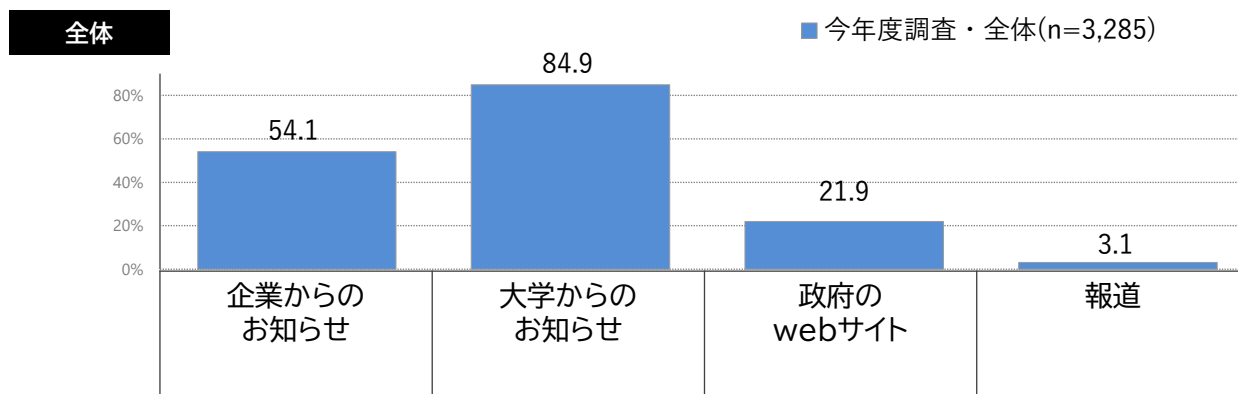
採用プロセスの複線化を認知した経路について、「報道」との回答が約5割で最も高く、次いで、「大学からのお知らせ」3割、「企業からのお知らせ」2割、「政府のwebサイト」1割となっている。



※1：「2025年度卒から、政府の要請において、採用プロセスが複線化されたことについて、知っていましたか」において、「よく知っていた」または「ある程度知っていた」または「聞いたことはあるがあまりよく知らなかった」と回答した人のみ対象。

③採用プロセスの複線化について、どのように知らせるのが良いと考えるか

採用プロセスの複線化をどのように知らせるのが良いと考えるかについて、「大学からのお知らせ」との回答が約8割で最も高く、次いで、「企業からのお知らせ」5割となっている。「政府のwebサイト」は2割。



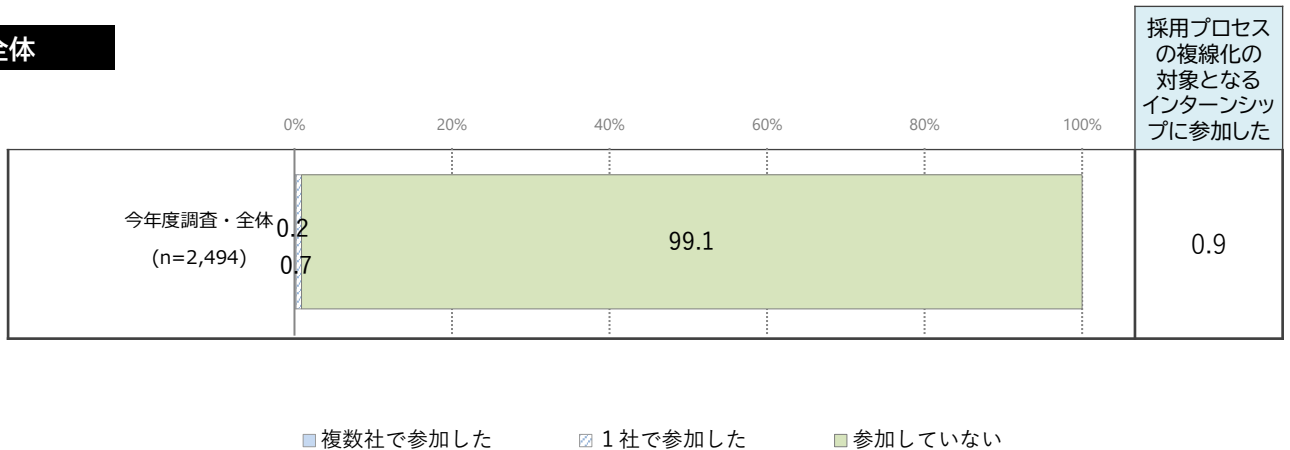
(2) 採用プロセスの複線化となるインターンシップの経験

①採用プロセスの複線化となるインターンシップの経験

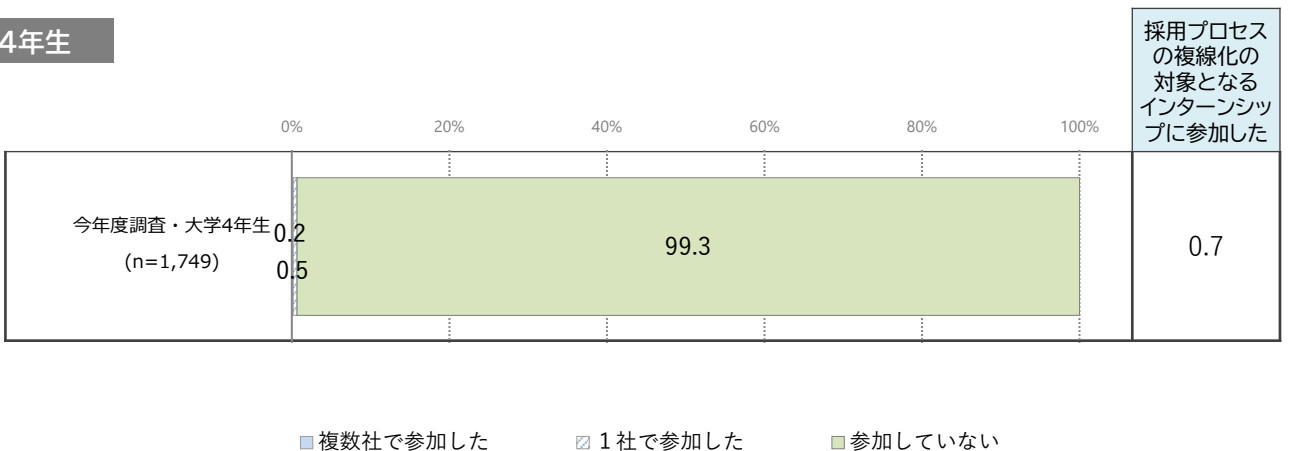
※「採用プロセスの複線化の対象となるインターンシップに参加した」と回答した者のうち、「採用プロセスの複線化」の定義に合致するインターンシップに参加した者のみを、真に「採用プロセスの複線化の対象となるインターンシップに参加した」者として扱い、集計を行った。

採用プロセスの複線化となるインターンシップの経験について、「採用プロセスの複線化の対象となるインターンシップに参加した」の計は0.9%。

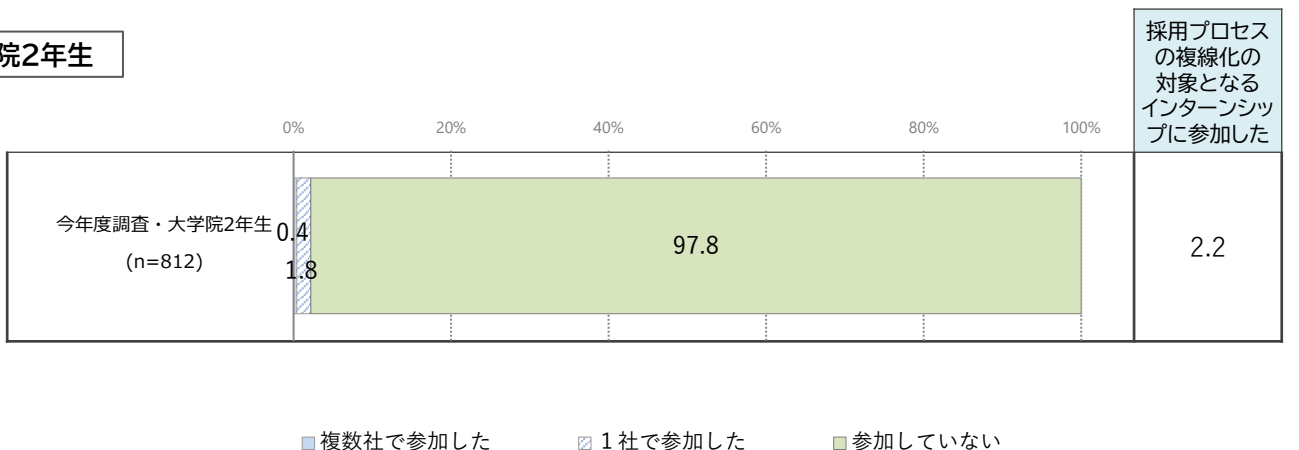
全体



大学4年生



大学院2年生



※：「採用プロセスの複線化の対象となるインターンシップに参加した」と回答した者のうち、「採用プロセスの複線化の対象となるインターンシップ」への参加期間が「その他（2週間程度未満）」もしくは参加時期が「1月以前」「その他」の者を「参加していない」とデータクリーニングをして集計した結果である。

②採用プロセスの複線化となるインターンシップの実施時期と実施期間

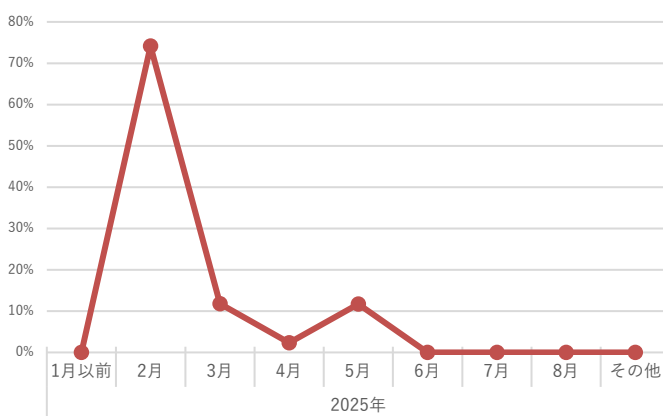
※「採用プロセスの複線化の対象となるインターンシップに参加した」と回答した者のうち、「採用プロセスの複線化」の定義に合致するインターンシップに参加した者のみを、真に「採用プロセスの複線化の対象となるインターンシップに参加した」者として扱い、集計を行った。

採用プロセスの複線化となるインターンシップの実施時期について、「2025年2月」の回答割合が最も高くなっている。採用プロセスの複線化となるインターンシップの実施期間について、「2週間程度」の回答割合が約8割と最も高くなっている。

参加した時期(最も早期に参加したもの)

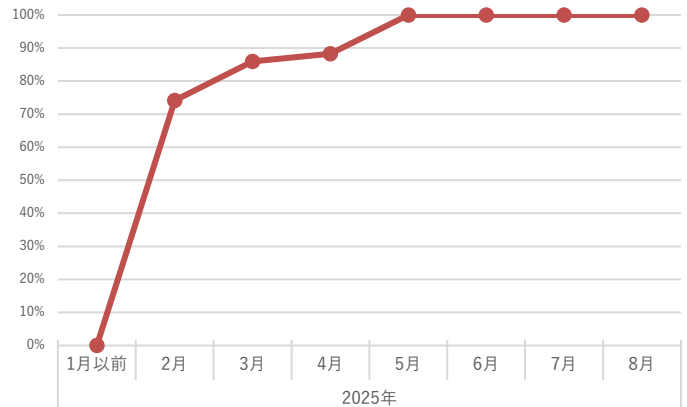
全体

月別回答割合



— 今年度調査・全体・参加した時期：月別回答割合(n=22)

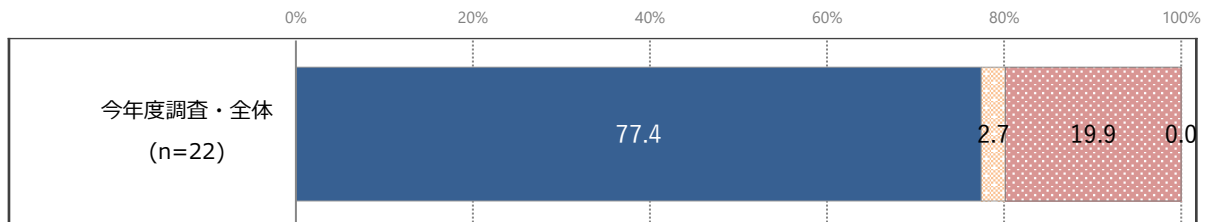
累積割合



— 今年度調査・全体・参加した時期：累積割合(n=22)

実施期間(最も早期に参加した)

全体



■ 2週間程度 ■ 3週間程度 ■ 4週間程度以上 ■ その他

※：「採用プロセスの複線化の対象となるインターンシップに参加した」と回答した者のうち、「採用プロセスの複線化の対象となるインターンシップ」への参加期間が「その他（2週間程度未満）」もしくは参加時期が「1月以前」「その他」の者を「参加していない」とデータクリーニングをして集計した結果である。

※：集計対象者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学4年生・大学院2年生について合わせて集計した結果のみ参照した。

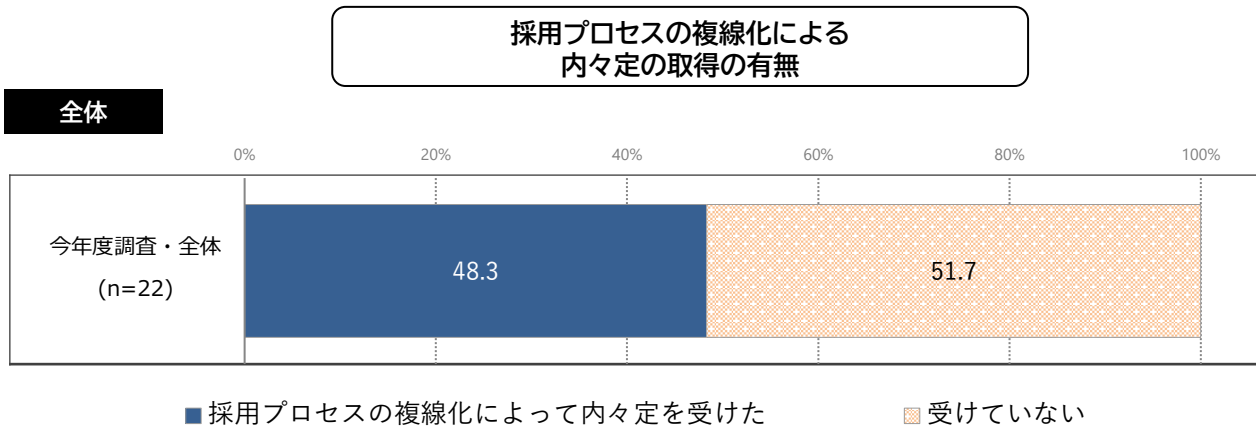
※：「その他」は累計に含まれていないため、100%にならない。

(3) 採用プロセスの複線化による内々定取得の有無

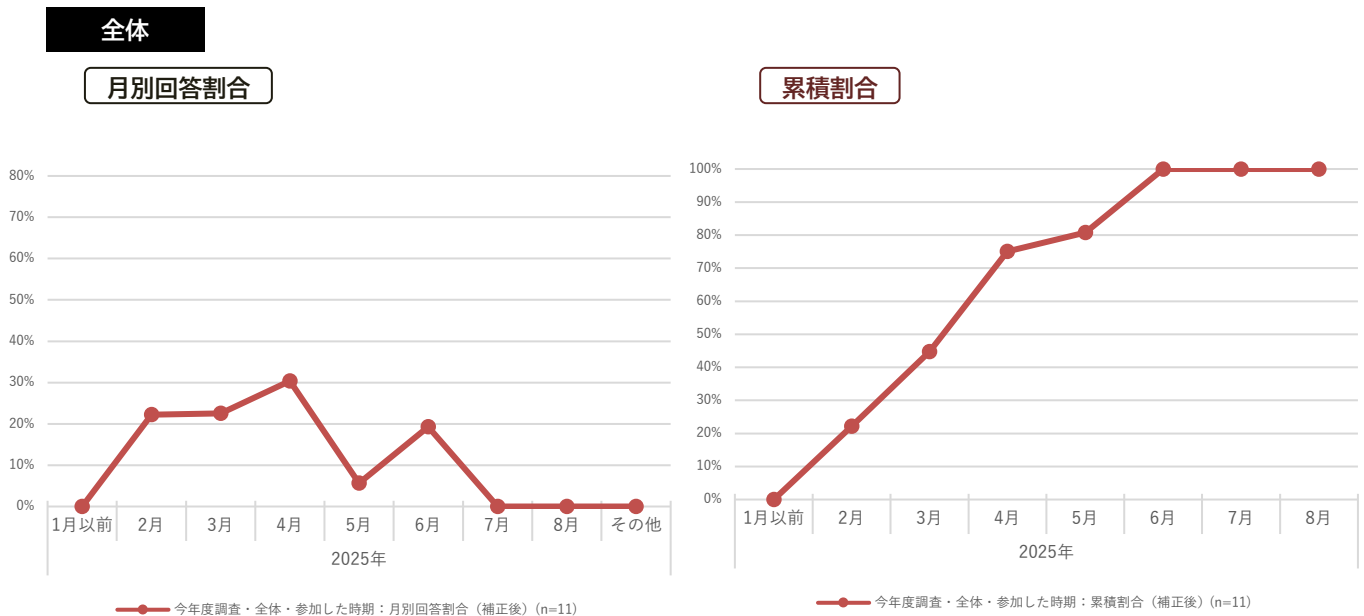
①採用プロセスの複線化による内々定取得の有無と時期

※「採用プロセスの複線化の対象となるインターンシップに参加した」と回答した者のうち、「採用プロセスの複線化」の定義に合致するインターンシップに参加した者のみを、真に「採用プロセスの複線化の対象となるインターンシップに参加した」として扱い、集計を行った。

採用プロセスの複線化による内々定取得の有無について、「採用プロセスの複線化によって内々定を受けた」の回答割合は半数。採用プロセスの複線化による内々定を受けた時期について、「2025年4月」の回答割合が最も高くなっている。



採用プロセスの複線化によって 内々定を受けた時期(最も早期に受けたもの)



※：「採用プロセスの複線化の対象となるインターンシップに参加した」と回答した者のうち、「採用プロセスの複線化の対象となるインターンシップ」への参加期間が「その他（2週間程度未満）」もしくは参加時期が「1月以前」「その他」の者を「参加していない」とデータクリーニングをして集計した結果である。

※：集計対象者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学4年生・大学院2年生について合わせて集計した結果のみ参照した。

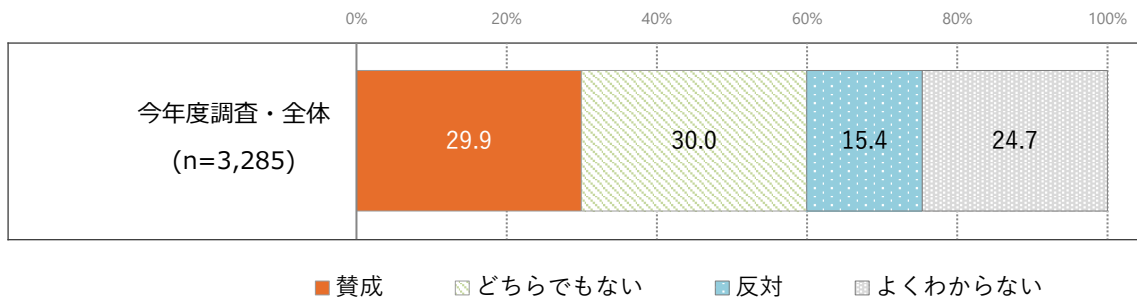
※補正前の数値について、「その他」は累計に含まれていないため、100%にならない。

(4) 採用プロセスの複線化についての考え

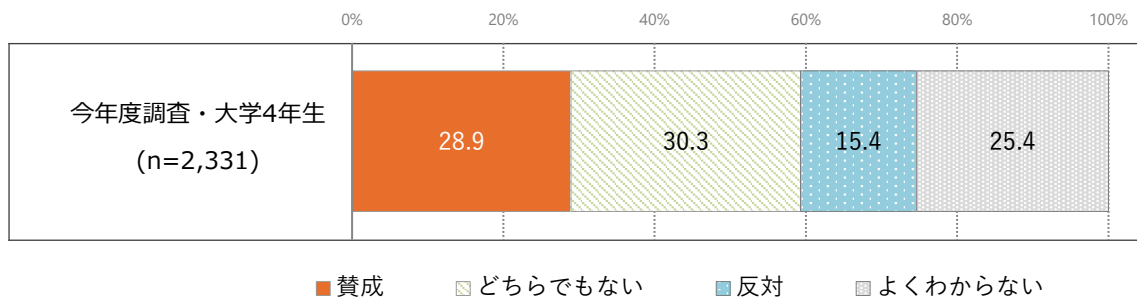
①採用プロセスの複線化についての考え

採用プロセスの複線化に対する考えについて賛成か反対かを聞いたところ、「どちらでもない」「賛成」との回答が約3割で同程度。「よくわからない」「反対」がそれぞれ約2割。

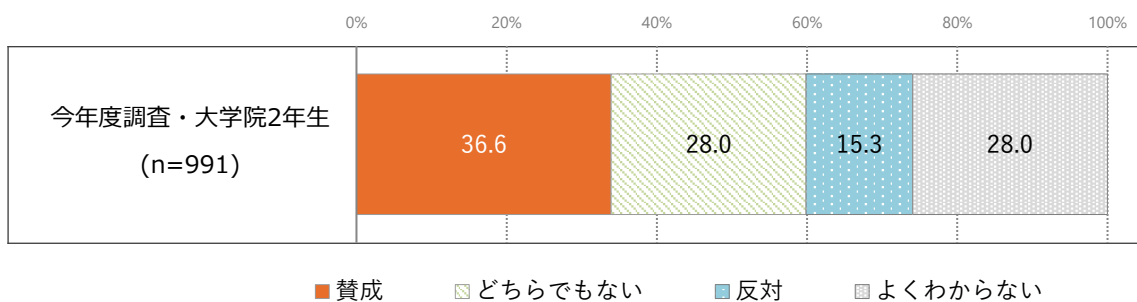
全体



大学4年生



大学院2年生



第八章 就活ルール解禁前の活動

第八章 就活ルール解禁前の活動

(1) 就活ルール解禁前の活動について

①採用を目的とした企業説明会やセミナー等の参加時期

採用を目的とした企業説明会やセミナー※1について、集計を行った。

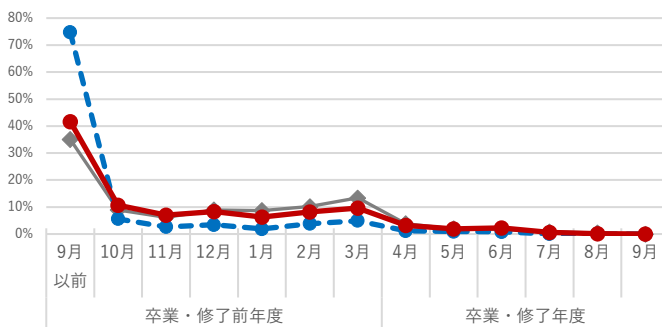
最初に参加した時期について、採用を目的とした企業説明会やセミナーの時期は、卒業・修了前年度の2月以前の累積割合で、約8割となっている。採用を目的とした企業説明会やセミナーの参加のピークについては、卒業・修了前年度の3月が約2割と最も高くなっている。

2024年度調査と比較すると、最初に参加した時期、参加のピークともに、今年度は卒業・修了前年度の2月以前の割合が高まっている。

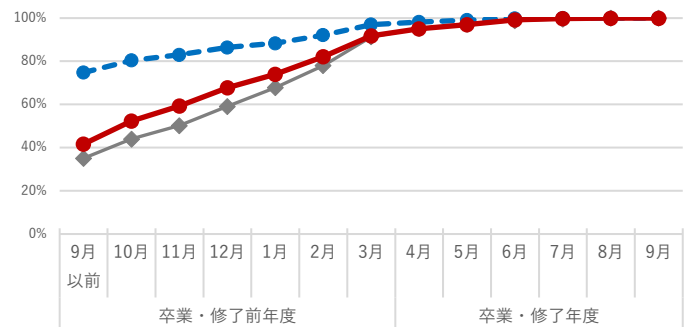
全体

最初に参加した時期

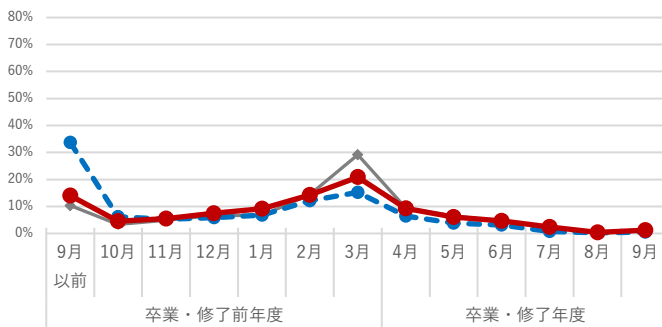
月別回答割合



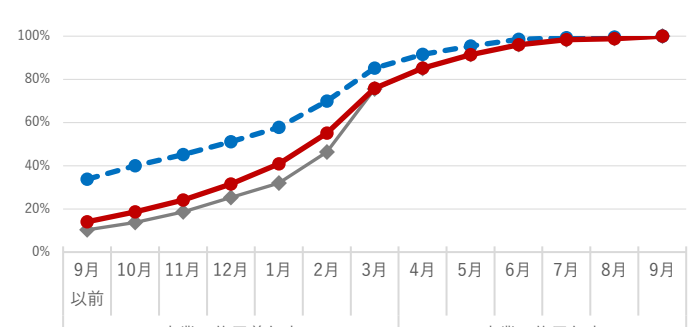
累積割合



月別回答割合



累積割合



※1：採用を目的とした企業説明会・セミナー等については、採用スケジュールなど採用に関する情報が発信されていた説明会・セミナー等や、その後の選考プロセスにおいて参加が必須であった説明会・セミナー等に限りに、いわゆる相談会等の採用を目的としない説明会を除いた活動の実態把握となる旨を伝えている。採用を目的としない説明会等の例：就職活動の準備に関する説明会、キャリアセミナー・マナー講座、自己啓発セミナー等は省いて考えていただくように回答者に案内した上で調査を行った。

①採用を目的とした企業説明会やセミナー等の参加時期

【詳細データ(全体)】※全て%

2024年度

【採用を目的とした企業説明会・セミナーの参加時期】

最初の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	13.5	7.1	8.3	6.2	8.9	6.2	8.9	8.7	10.2	13.4	3.8	1.9	1.7	0.8	0.4	0.0
累積割合	13.5	20.6	28.9	35.1	44.0	50.2	59.2	67.8	78.0	91.4	95.2	97.2	98.8	99.6	100.0	100.0
参加のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	1.4	1.6	4.3	3.0	3.4	4.9	6.7	6.7	14.4	29.2	9.5	6.5	4.7	2.2	0.5	1.0
累積割合	1.4	3.0	7.3	10.3	13.7	18.6	25.3	32.0	46.4	75.5	85.0	91.5	96.2	98.4	99.0	100.0

今年度

【参加した企業説明会・セミナーの参加時期】

最初の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	47.3	13.4	9.4	4.7	5.6	2.6	3.4	1.9	3.8	4.9	1.1	0.9	0.8	0.1	0.0	0.0
累積割合	47.3	60.7	70.1	74.8	80.4	83.0	86.4	88.3	92.1	97.0	98.2	99.1	99.9	100.0	100.0	100.0
参加のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	5.2	5.4	16.0	7.2	6.2	5.3	5.8	6.8	12.2	15.2	6.4	3.9	3.1	0.7	0.2	0.5
累積割合	5.2	10.6	26.5	33.7	39.9	45.2	51.0	57.8	70.0	85.2	91.6	95.5	98.6	99.3	99.5	100.0

【採用を目的とした企業説明会・セミナーの参加時期】

最初の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	17.8	7.3	9.4	7.1	10.7	7.0	8.3	6.3	8.2	9.6	3.3	1.9	2.2	0.6	0.2	0.0
累積割合	17.8	25.1	34.5	41.7	52.3	59.4	67.7	74.1	82.2	91.8	95.1	97.0	99.2	99.8	100.0	100.0
参加のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	1.9	1.7	5.7	4.8	4.6	5.5	7.5	9.2	14.2	20.9	9.3	6.1	4.6	2.4	0.4	1.2
累積割合	1.9	3.6	9.3	14.0	18.6	24.1	31.6	40.8	55.0	75.9	85.2	91.3	96.0	98.4	98.8	100.0

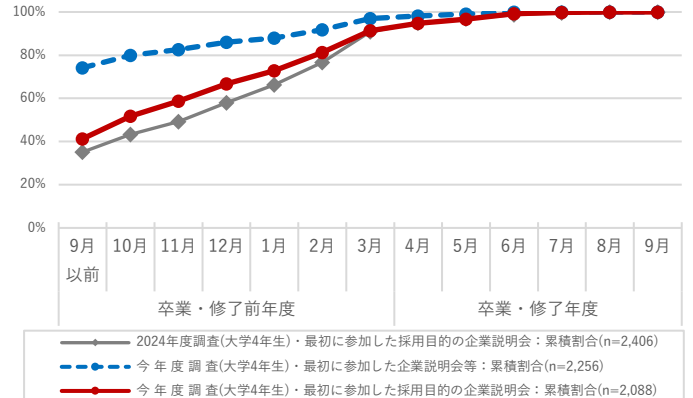
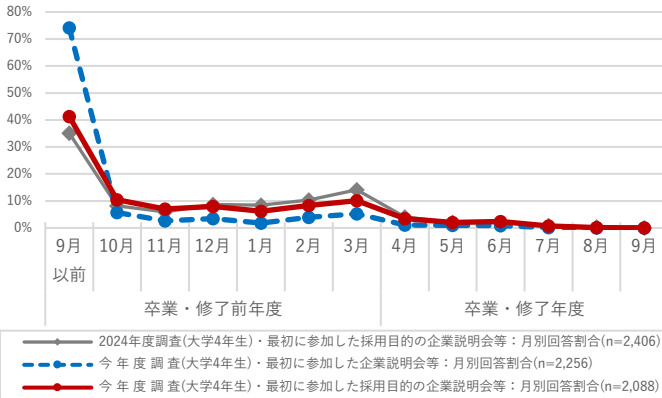
①採用を目的とした企業説明会やセミナー等の参加時期

大学4年生

最初に参加した時期

月別回答割合

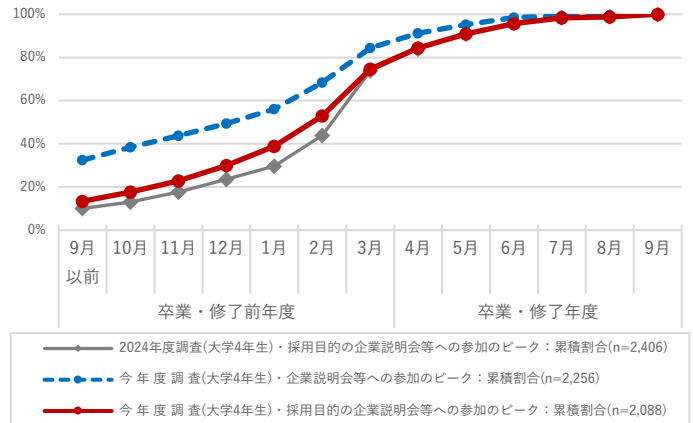
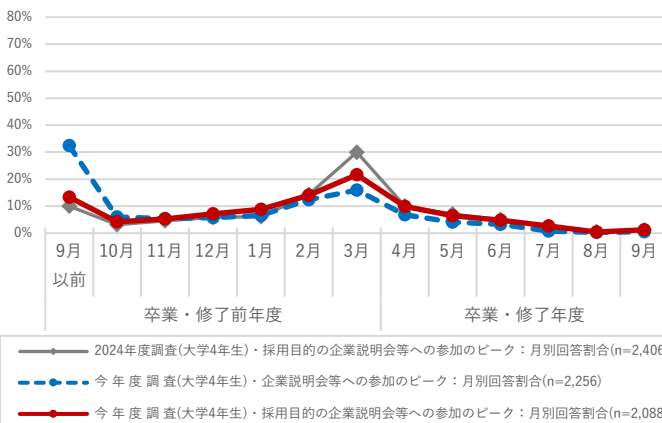
累積割合



参加のピーク

月別回答割合

累積割合



①採用を目的とした企業説明会やセミナー等の参加時期

【詳細データ(大学4年生)】※全て%

2024年度

【採用を目的とした企業説明会・セミナーの参加時期】

最初の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	13.4	7.2	8.5	6.1	8.2	6.0	8.6	8.4	10.4	14.1	4.0	2.0	1.9	0.9	0.4	0.0
累積割合	13.4	20.6	29.1	35.1	43.3	49.3	57.9	66.3	76.7	90.8	94.9	96.9	98.8	99.6	100.0	100.0
参加のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	1.3	1.5	4.4	2.9	3.1	4.5	5.9	6.1	14.2	30.0	10.1	7.0	5.1	2.4	0.5	1.1
累積割合	1.3	2.8	7.2	10.1	13.1	17.7	23.6	29.6	43.9	73.9	83.9	90.9	96.0	98.4	98.9	100.0

今年度

【参加した企業説明会・セミナーの参加時期】

最初の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	45.7	13.8	10.0	4.7	5.7	2.7	3.5	1.8	3.9	5.2	1.1	1.0	0.8	0.1	0.0	0.0
累積割合	45.7	59.5	69.5	74.2	79.9	82.5	86.0	87.9	91.8	97.0	98.1	99.1	99.9	100.0	100.0	100.0
参加のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	4.5	4.9	16.3	6.8	6.0	5.4	5.7	6.6	12.4	15.9	6.8	4.1	3.2	0.7	0.3	0.5
累積割合	4.5	9.4	25.6	32.4	38.4	43.7	49.4	56.0	68.4	84.3	91.2	95.3	98.5	99.3	99.5	100.0

【採用を目的とした企業説明会・セミナーの参加時期】

最初の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	17.4	7.3	9.7	6.8	10.4	7.0	8.0	6.1	8.4	10.1	3.4	2.0	2.4	0.7	0.2	0.0
累積割合	17.4	24.8	34.5	41.3	51.7	58.7	66.7	72.9	81.2	91.3	94.7	96.7	99.1	99.8	100.0	100.0
参加のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	1.6	1.5	5.5	4.8	4.2	5.2	7.2	8.8	14.0	21.6	9.9	6.5	4.8	2.6	0.4	1.3
累積割合	1.6	3.2	8.6	13.4	17.6	22.8	30.0	38.9	52.9	74.5	84.4	90.9	95.7	98.3	98.7	100.0

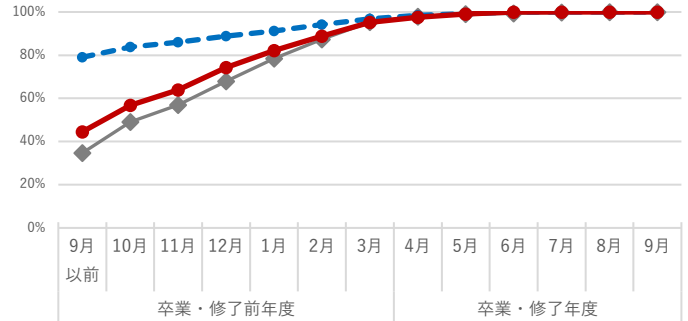
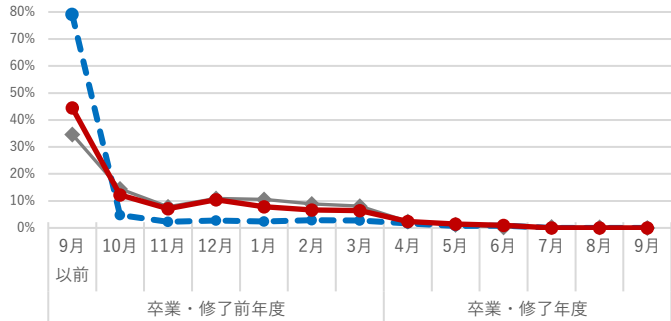
①採用を目的とした企業説明会やセミナー等の参加時期

大学院2年生

最初に参加した時期

月別回答割合

累積割合



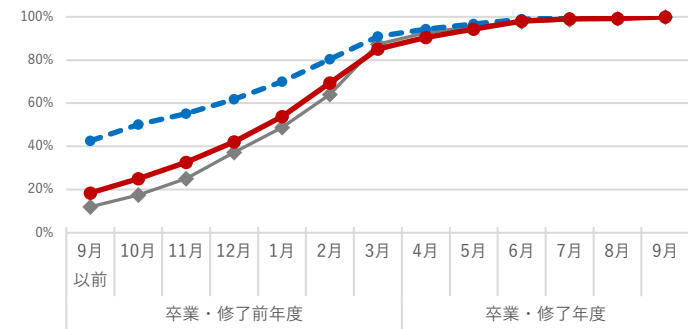
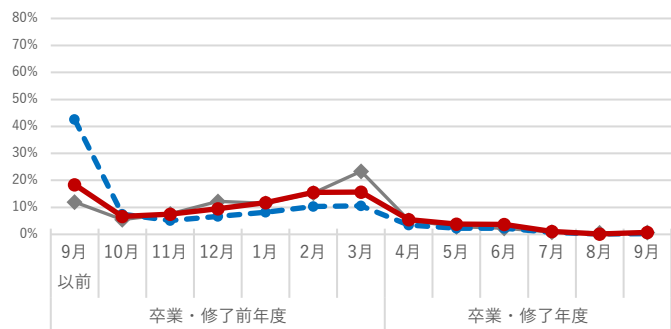
2024年度調査(大学院2年生)・最初に参加した採用目的の企業説明会等：月別回答割合(n=1,031)
 今年度調査(大学院2年生)・最初に参加した企業説明会等：月別回答割合(n=949)
 今年度調査(大学院2年生)・最初に参加した採用目的の企業説明会等：月別回答割合(n=877)

2024年度調査(大学院2年生)・最初に参加した採用目的の企業説明会等：累積割合(n=1,031)
 今年度調査(大学院2年生)・最初に参加した企業説明会等：累積割合(n=949)
 今年度調査(大学院2年生)・最初に参加した採用目的の企業説明会等：累積割合(n=877)

参加のピーク

月別回答割合

累積割合



2024年度調査(大学院2年生)・採用目的の企業説明会等への参加のピーク：月別回答割合(n=1,031)
 今年度調査(大学院2年生)・企業説明会等への参加のピーク：月別回答割合(n=949)
 今年度調査(大学院2年生)・採用目的の企業説明会等への参加のピーク：月別回答割合(n=877)

2024年度調査(大学院2年生)・採用目的の企業説明会等への参加のピーク：累積割合(n=1,031)
 今年度調査(大学院2年生)・企業説明会等への参加のピーク：累積割合(n=949)
 今年度調査(大学院2年生)・採用目的の企業説明会等への参加のピーク：累積割合(n=877)

①採用を目的とした企業説明会やセミナー等の参加時期

【詳細データ(大学院2年生)】※全て%

2024年度

【採用を目的とした企業説明会・セミナーの参加時期】

最初の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	14.0	6.4	6.9	7.3	14.5	7.8	10.9	10.5	8.9	8.1	2.4	1.3	0.3	0.4	0.3	0.0
累積割合	14.0	20.5	27.4	34.7	49.2	57.0	67.9	78.4	87.3	95.4	97.8	99.1	99.3	99.7	100.0	100.0
参加のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	1.9	2.7	3.7	3.7	5.5	7.6	12.2	11.5	15.3	23.4	5.2	2.9	2.3	0.9	0.6	0.8
累積割合	1.9	4.6	8.3	12.0	17.5	25.0	37.3	48.8	64.0	87.4	92.6	95.5	97.8	98.6	99.2	100.0

今年度

【参加した企業説明会・セミナーの参加時期】

最初の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	58.4	10.4	5.5	4.7	4.8	2.2	2.8	2.4	2.8	2.7	1.7	0.7	0.8	0.0	0.0	0.0
累積割合	58.4	68.8	74.4	79.0	83.8	86.0	88.8	91.3	94.1	96.8	98.5	99.2	100.0	100.0	100.0	100.0
参加のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	9.8	8.7	13.9	10.2	7.5	5.1	6.6	8.1	10.4	10.5	3.4	2.3	2.2	0.8	0.1	0.2
累積割合	9.8	18.5	32.3	42.6	50.1	55.2	61.8	70.0	80.4	90.9	94.3	96.6	98.9	99.6	99.8	100.0

【採用を目的とした企業説明会・セミナーの参加時期】

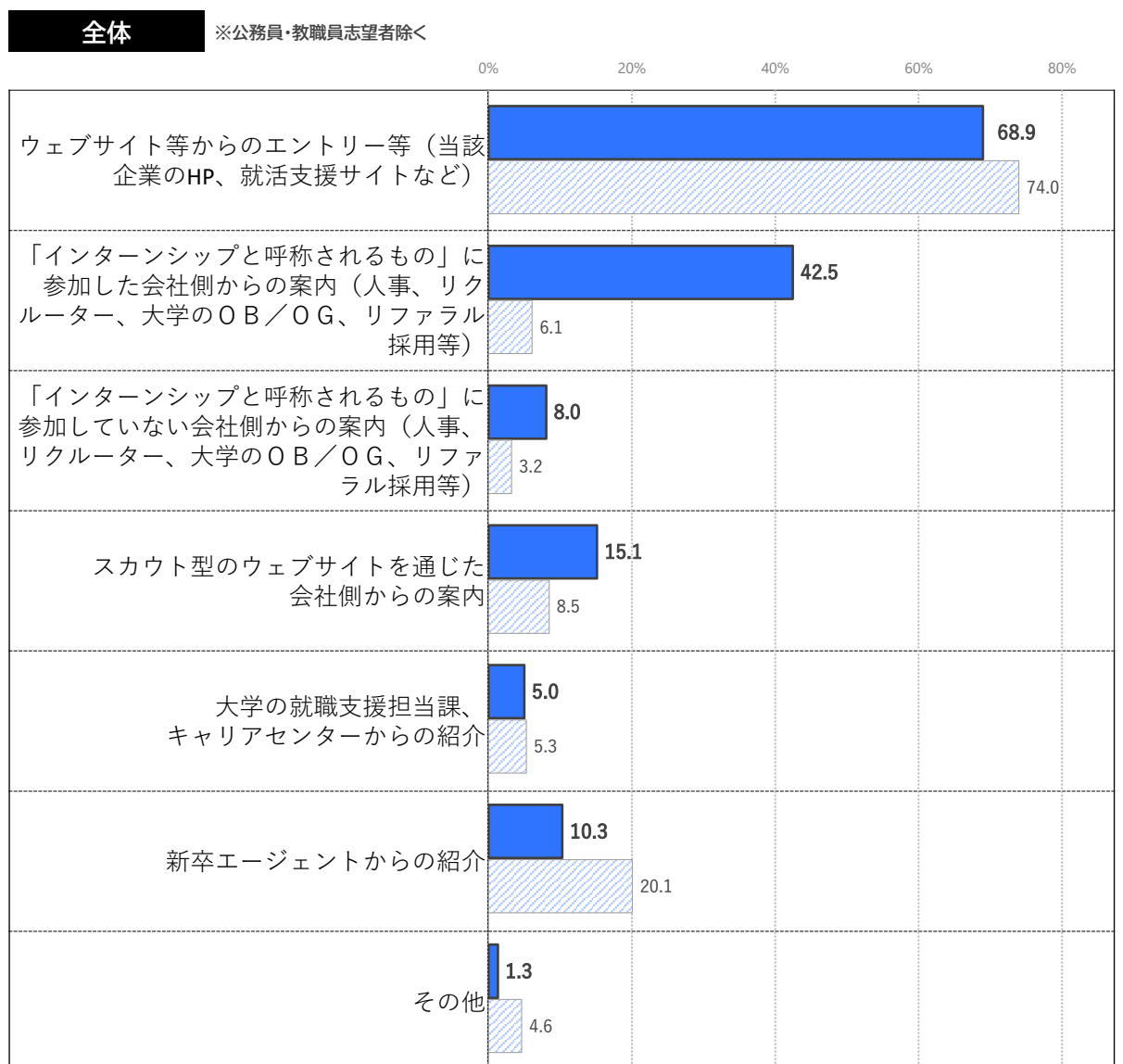
最初の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	20.6	6.9	7.7	9.3	12.2	7.1	10.5	7.8	6.7	6.4	2.4	1.5	0.9	0.0	0.0	0.0
累積割合	20.6	27.5	35.2	44.5	56.8	63.9	74.3	82.1	88.8	95.2	97.6	99.1	100.0	100.0	100.0	100.0
参加のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	3.7	2.5	7.4	4.9	6.7	7.4	9.5	11.8	15.5	15.6	5.5	3.8	3.7	1.1	0.1	0.8
累積割合	3.7	6.2	13.6	18.4	25.1	32.6	42.0	53.9	69.4	85.1	90.5	94.3	98.0	99.1	99.2	100.0

②最初に受けた「面接」の企業の経路

最初に受けた「面接」について、卒業・修了年度の6月以降(就活ルール内)と、卒業・修了年度の5月以前(就活ルールより前)で分類し、それぞれについて集計を行った。

どのような経路で面接を受けたかについて、卒業・修了年度の5月以前、6月以降ともに、「ウェブサイト等からのエントリー等(当該企業のHP、就活支援サイトなど)」が約7割と最も高い。

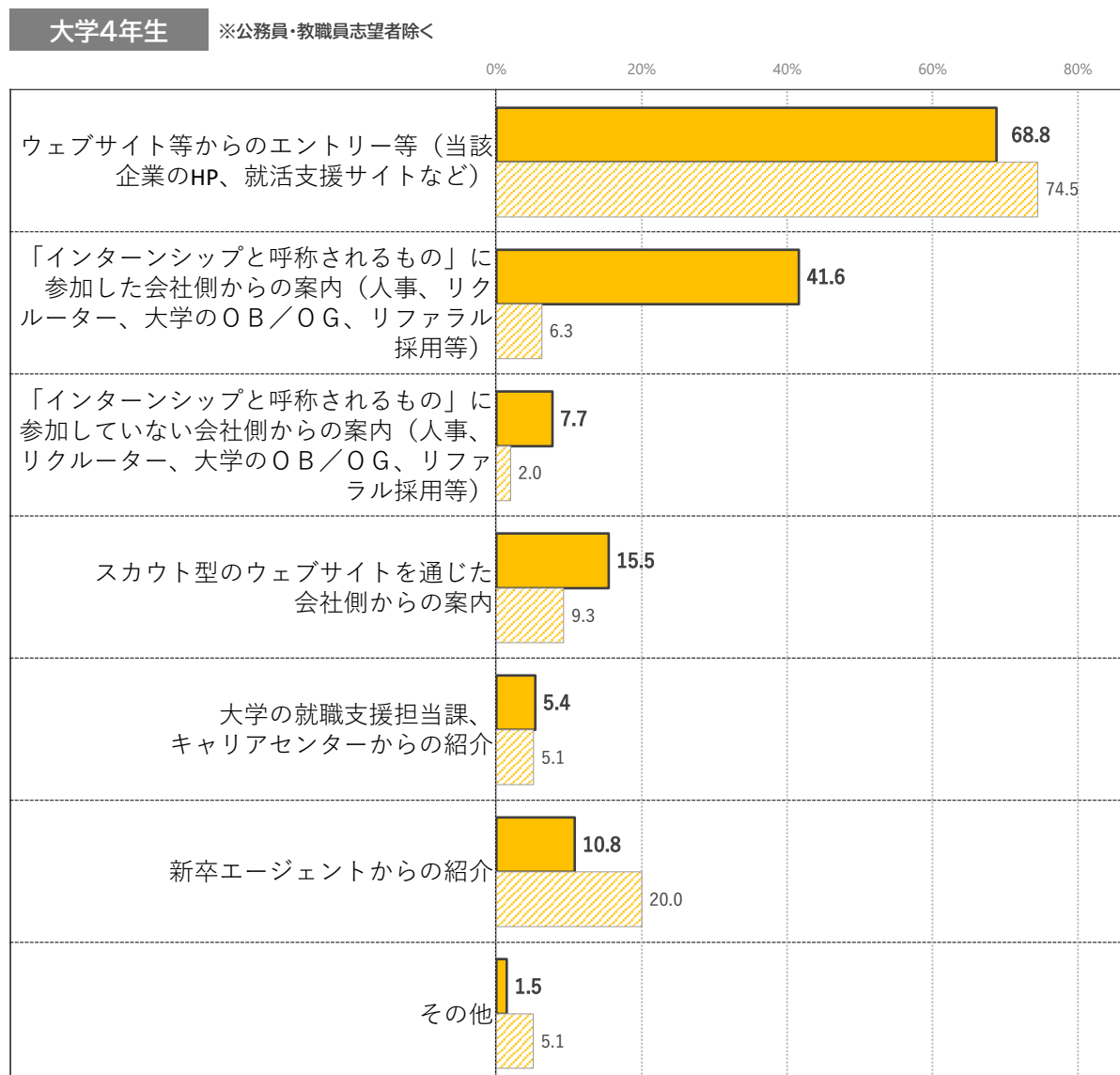
卒業・修了年度の6月以降に対して、卒業・修了年度の5月以前の方が特に高い経路は、「「インターンシップと呼称されるもの」に参加した会社側からの案内(人事、リクルーター、大学のOB/OG、リファラル採用等)」となった。



■ 卒業・修了年度の5月以前・全体(n=2,590)

▨ 卒業・修了年度の6月以降・全体(n=90)

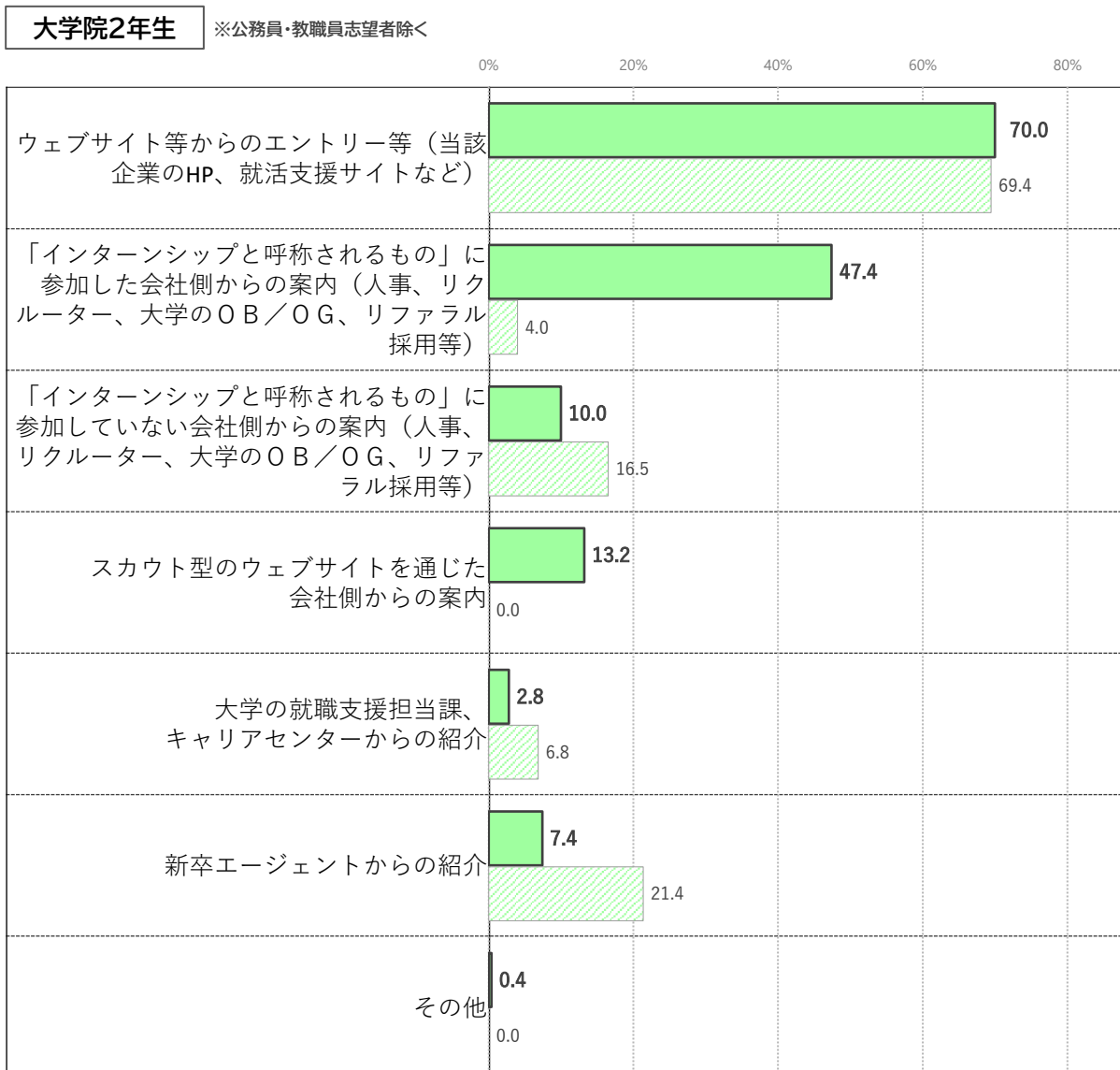
②最初に受けた「面接」の企業の経路



■ 卒業・修了年度の5月以前・大学4年生 (n=1,812)

▨ 卒業・修了年度の6月以降・大学4年生 (n=67)

②最初に受けた「面接」の企業の経路



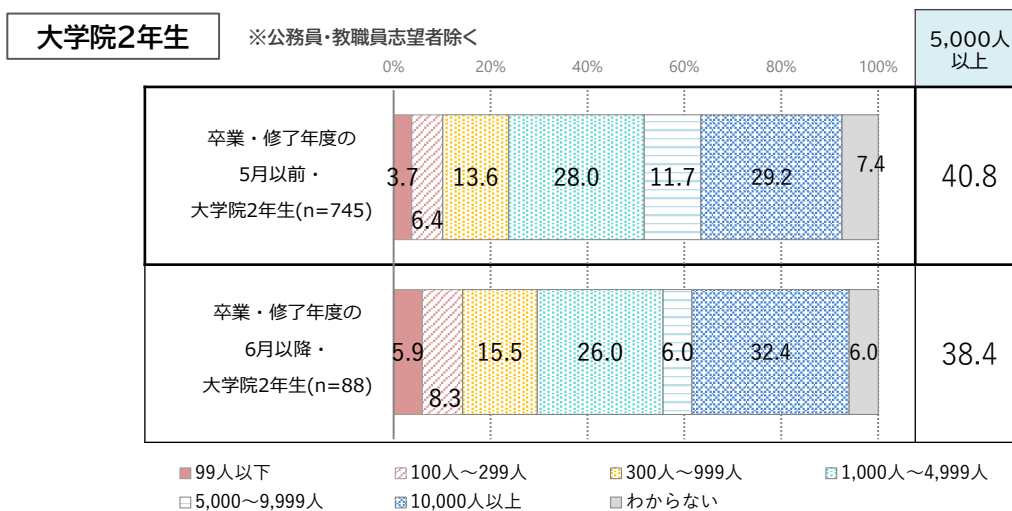
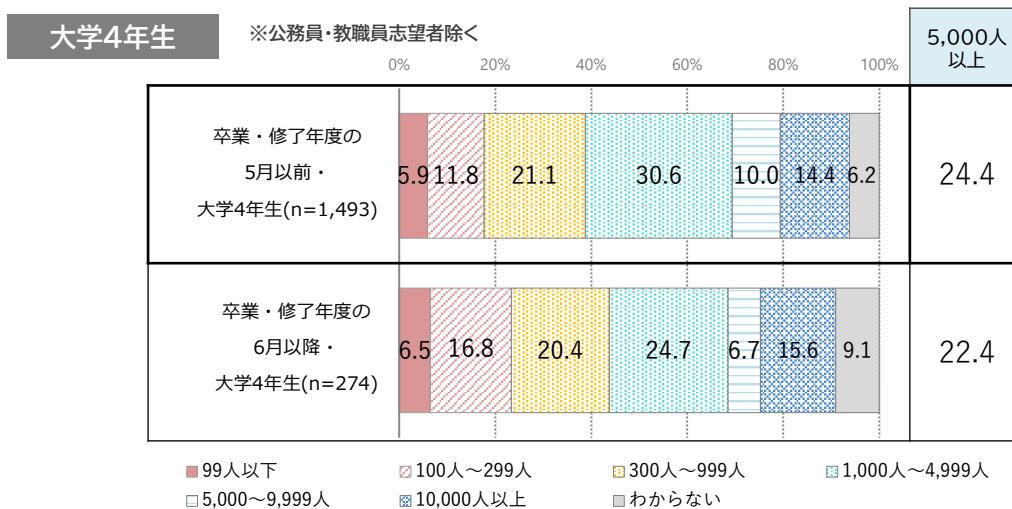
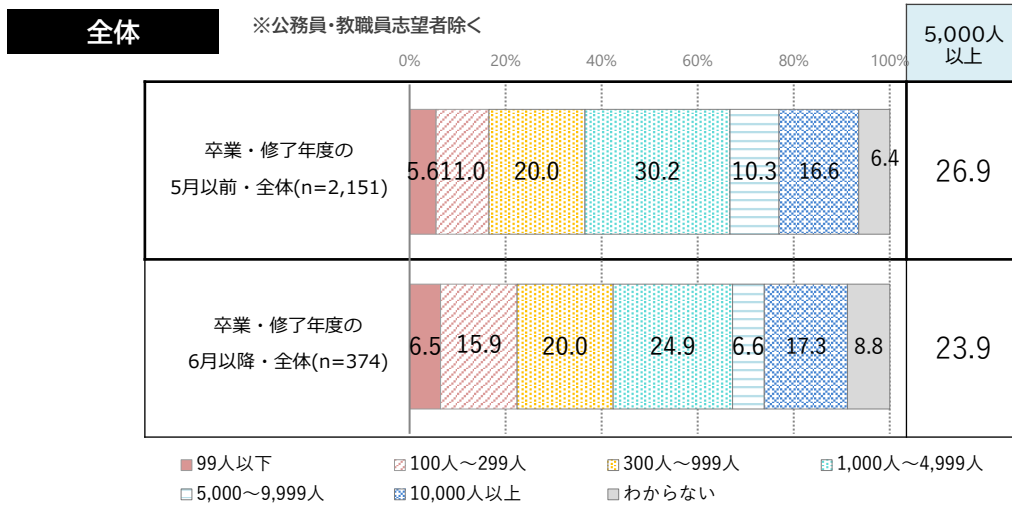
■ 卒業・修了年度の5月以前・大学院2年生 (n=854)

■ 卒業・修了年度の6月以降・大学院2年生 (n=18)

③最初に内々定を受けた企業の規模

最初に内々定※1を受けた企業の企業規模について、卒業・修了年度の5月以前に受けた者と、卒業・修了年度の6月以降に受けた者に分けて集計を行った。

「卒業・修了年度の5月以前」では「1,000人～4,999人」が30.2%と、「卒業・修了年度の6月以降」24.9%と比べてやや高い。



※1：内々定については、正式な「内定」の前の、企業と形式的に内々に合意したものと案内をした上で調査を行っている。

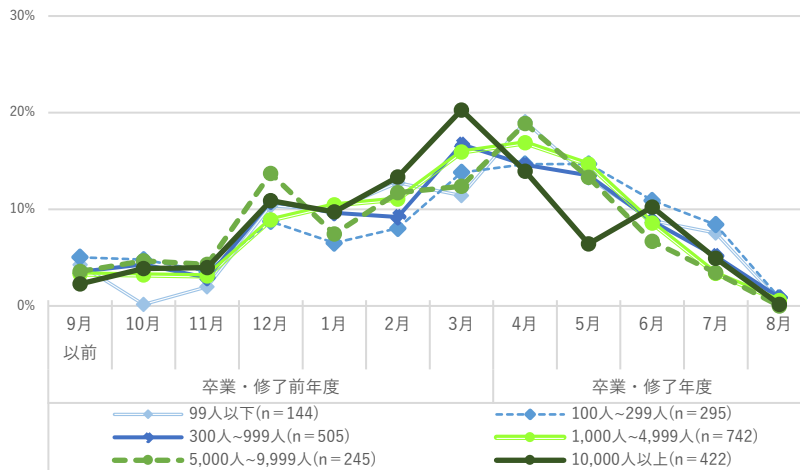
④最初に内々定を受けた企業の規模別の内々定時期

最初に内々定を受けた企業の規模別に、最初の内々定時期を見ると※1、いずれの区分でも最も高いのは「3月」「4月」「5月」である。「10,000人以上」では、「3月」の割合が2割を超えて高い。
累積割合で見ると、「10,000人以上」では6割以上が3月までに最初の内々定を受けている。

全体

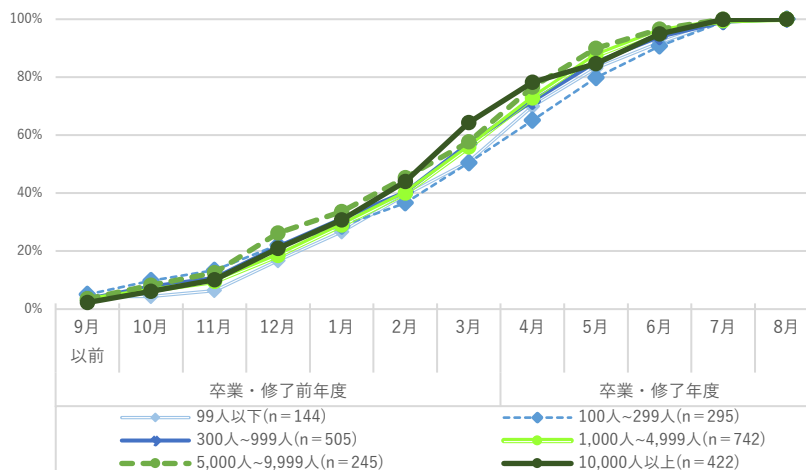
月別回答割合

※公務員・教職員志望者除く



累積割合

※公務員・教職員志望者除く



※1：企業の規模別の集計対象者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学4年生・大学院2年生について合わせて集計した結果のみ参照した。

④最初に内々定を受けた企業の規模別の内々定時期

【今年度調査・詳細データ】※全て%

全体

※公務員・教職員志望者除く

【99人以下】

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	1.4	0.0	2.8	0.0	0.1	2.0	10.4	9.9	12.7	11.4	19.1	13.2	8.8	7.5	0.5
累積割合	1.4	1.4	4.3	4.3	4.4	6.4	16.8	26.7	39.4	50.8	69.9	83.2	92.0	99.5	100.0

【100人～299人】

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	1.3	0.4	1.3	2.1	4.8	3.6	8.8	6.5	8.0	13.8	14.7	14.7	10.9	8.4	0.8
累積割合	1.3	1.7	3.0	5.0	9.8	13.4	22.1	28.6	36.7	50.5	65.2	79.8	90.7	99.2	100.0

【300人～999人】

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.4	0.5	0.4	2.2	4.3	2.9	10.8	9.6	9.2	16.7	14.6	13.5	8.8	5.2	0.9
累積割合	0.4	0.9	1.3	3.5	7.8	10.7	21.6	31.2	40.4	57.1	71.7	85.2	94.0	99.1	100.0

【1,000人～4,999人】

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.3	0.1	0.8	2.1	3.2	3.1	8.9	10.5	11.1	15.9	16.9	14.7	8.6	3.4	0.6
累積割合	0.3	0.4	1.2	3.3	6.5	9.6	18.5	29.0	40.0	55.9	72.8	87.5	96.1	99.4	100.0

【5,000人～9,999人】

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.0	1.3	1.4	0.9	4.6	4.3	13.7	7.4	11.7	12.4	18.9	13.3	6.7	3.4	0.0
累積割合	0.0	1.3	2.6	3.6	8.2	12.5	26.2	33.6	45.3	57.7	76.6	89.9	96.6	100.0	100.0

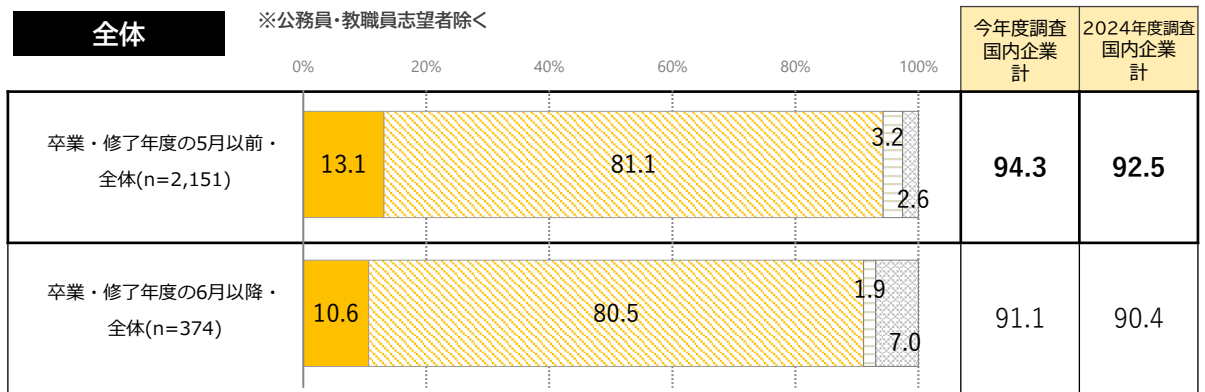
【10,000人以上】

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	1.3	0.0	0.6	0.4	3.9	3.9	10.9	9.7	13.3	20.3	13.9	6.4	10.2	4.9	0.2
累積割合	1.3	1.3	1.9	2.3	6.1	10.1	21.0	30.7	44.0	64.3	78.3	84.7	94.9	99.8	100.0

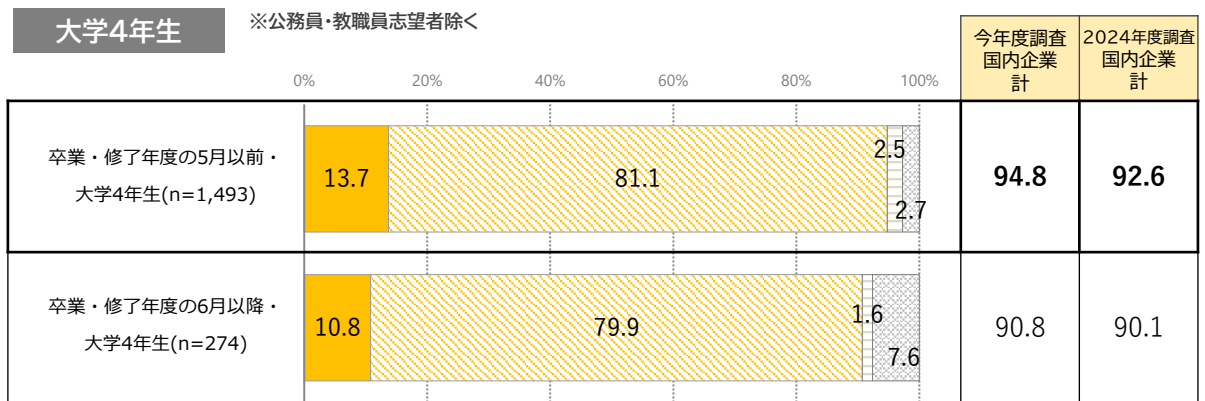
⑤最初に内々定を受けた企業の種類

最初に内々定を受けた企業が国内企業かどうかについて、卒業・修了年度の5月以前に受けた者と、卒業・修了年度の6月以降に受けた者に分けて集計を行った。

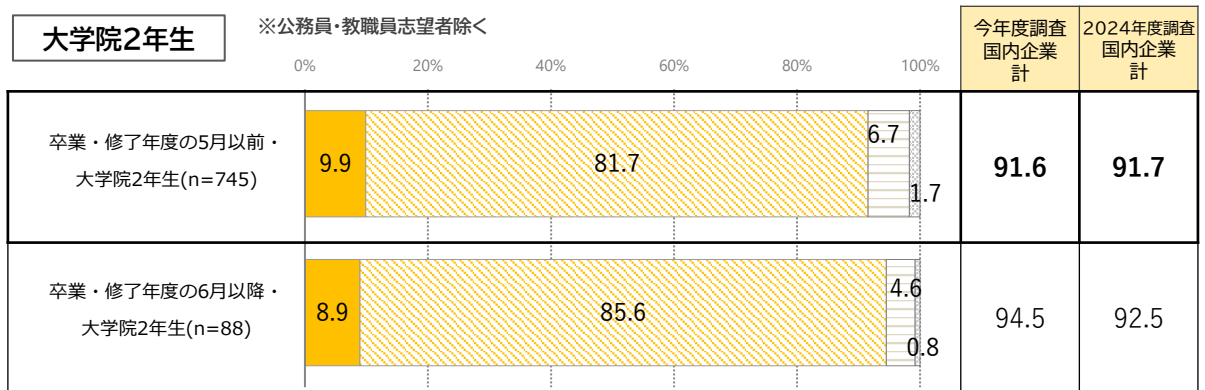
両者の回答結果はほぼ同様に、「国内企業(ベンチャー企業以外)※1」が約8割と最も高く、「国内企業(ベンチャー企業)」と合わせて「国内企業」と回答した者は全体で約9割となった。また、「外資系企業」については、卒業・修了年度の5月以前に受けた者が3.2%に対し、卒業・修了年度の6月以降に受けた者は1.9%となっている。



■ 国内企業 (ベンチャー企業) ■ 国内企業 (ベンチャー企業以外)
□ 外資系企業 □ わからない



■ 国内企業 (ベンチャー企業) ■ 国内企業 (ベンチャー企業以外)
□ 外資系企業 □ わからない



■ 国内企業 (ベンチャー企業) ■ 国内企業 (ベンチャー企業以外)
□ 外資系企業 □ わからない

※1：ベンチャー企業については、2023年度調査より「新興企業であって、独自のアイデアや技術で新しいサービスやビジネスに挑戦している企業」と案内した上で調査を行っている。

⑥最初に内々定を受けた企業の種類別の内々定時期

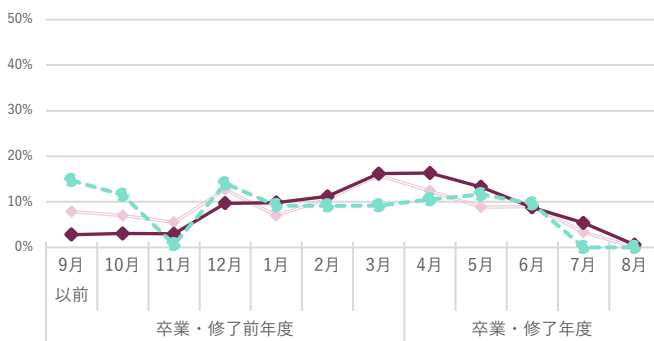
内々定を受けた時期を企業の種類別に見ると※1、最初の内々定について「国内企業(ベンチャー企業※2以外)」では「卒業・修了前年度3月」「卒業・修了年度4月」が高く、「外資系企業」では「卒業・修了前年度9月以前」が最も高い。就職予定企業では、「国内企業」では「卒業・修了年度5月」「6月」が最も高い。一方、「外資系企業」では3月以前の累積割合が約5割となり、「国内企業」と比べて早い傾向がみられた。

全体

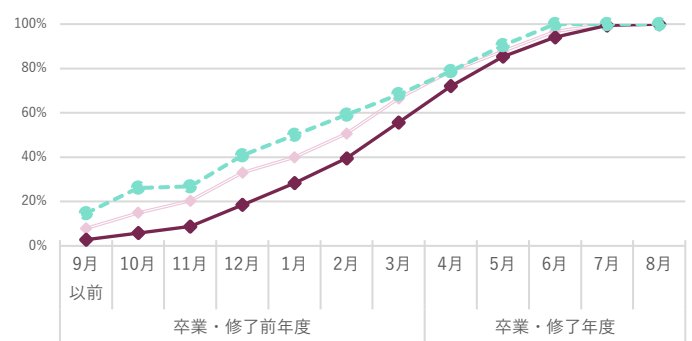
最初に内々定を受けた時期

※公務員・教職員志望者除く

月別回答割合



累積割合



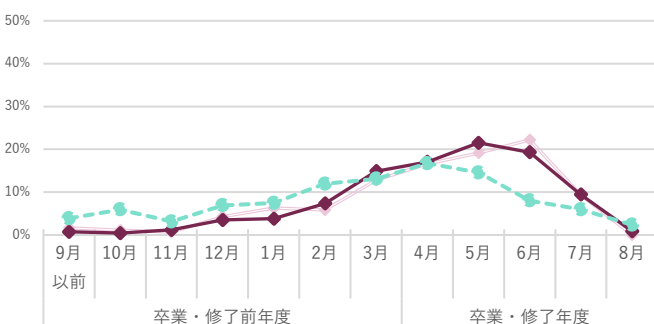
— 国内企業(ベンチャー企業)・全体・内々定時期：月別回答割合(n=322)
 — 国内企業(ベンチャー企業以外)・全体・内々定時期：月別回答割合(n=2,047)
 - - 外資系企業・全体・内々定時期：月別回答割合(n=75)

— 国内企業(ベンチャー企業)・全体・内々定時期：累積割合(n=322)
 — 国内企業(ベンチャー企業以外)・全体・内々定時期：累積割合(n=2,047)
 - - 外資系企業・全体・内々定時期：累積割合(n=75)

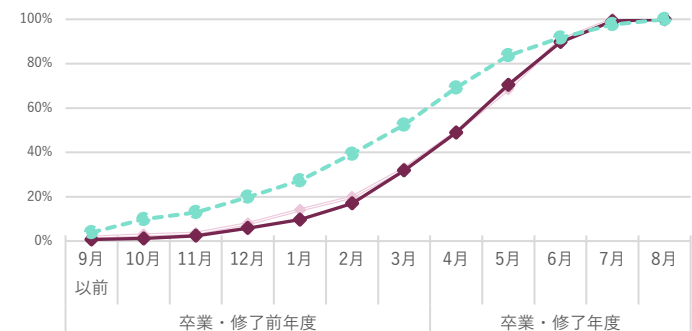
就職予定企業の内々定を受けた時期

※公務員・教職員志望者除く

月別回答割合



累積割合



— 国内企業(ベンチャー企業)・全体・内々定時期：月別回答割合(n=178)
 — 国内企業(ベンチャー企業以外)・全体・内々定時期：月別回答割合(n=2,098)
 - - 外資系企業・全体・内々定時期：月別回答割合(n=86)

— 国内企業(ベンチャー企業)・全体・内々定時期：累積割合(n=178)
 — 国内企業(ベンチャー企業以外)・全体・内々定時期：累積割合(n=2,098)
 - - 外資系企業・全体・内々定時期：累積割合(n=86)

※1：企業の種類別の集計対象者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学4年生・大学院2年生について合わせて集計した結果のみ参照した。

※2：ベンチャー企業については、2023年度調査より「新興企業であって、独自のアイデアや技術で新しいサービスやビジネスに挑戦している企業」と案内した上で調査を行っている。

⑥最初に内々定を受けた企業の種類別の内々定時期

【今年度調査・詳細データ】※全て%

全体

※公務員・教職員志望者除く

【最初に内々定を受けた時期】

【国内企業(ベンチャー企業)】

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	1.5	0.8	2.9	2.7	7.0	5.5	12.7	7.0	10.6	15.8	12.4	8.8	9.0	3.4	0.0
累積割合	1.5	2.3	5.2	7.9	14.9	20.3	33.0	40.0	50.6	66.4	78.9	87.7	96.6	100.0	100.0

【国内企業(ベンチャー企業以外)】

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.8	0.1	0.5	1.3	3.0	3.0	9.7	9.8	11.2	16.2	16.3	13.3	8.8	5.4	0.6
累積割合	0.8	1.0	1.5	2.8	5.8	8.8	18.5	28.3	39.5	55.7	72.0	85.3	94.1	99.4	100.0

【外資系企業】

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	2.3	2.7	3.1	6.5	11.5	0.6	14.0	9.2	9.1	9.2	10.5	11.6	9.6	0.0	0.0
累積割合	2.3	5.1	8.2	14.7	26.2	26.8	40.8	50.0	59.1	68.3	78.8	90.4	100.0	100.0	100.0

【就職予定企業の内々定を受けた時期】

【国内企業(ベンチャー企業)】

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.2	0.7	0.0	0.8	1.1	0.7	4.3	6.3	5.8	12.8	16.6	19.1	22.2	9.4	0.0
累積割合	0.2	0.9	0.9	1.7	2.8	3.5	7.8	14.0	19.9	32.7	49.3	68.4	90.6	100.0	100.0

【国内企業(ベンチャー企業以外)】

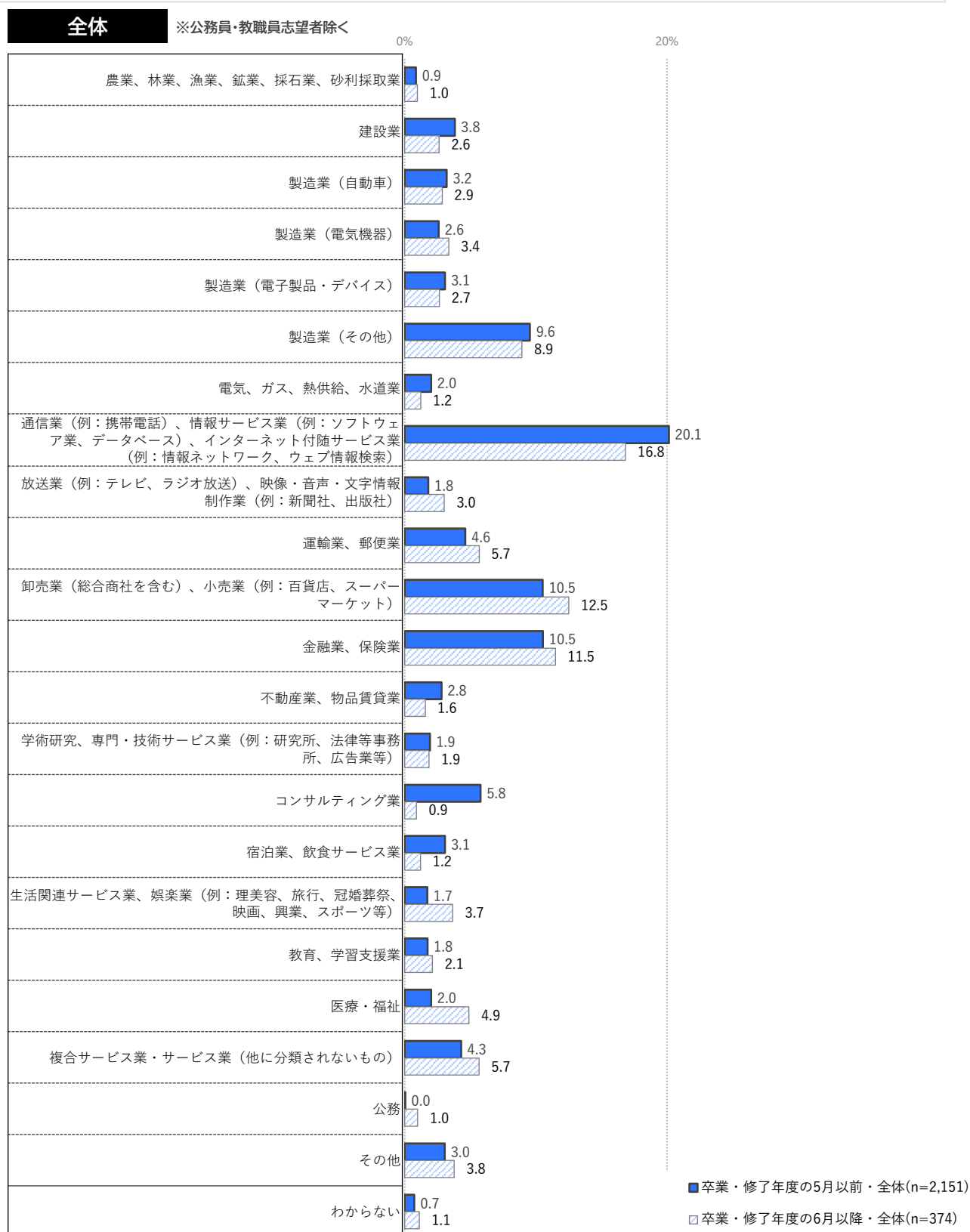
	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.3	0.0	0.2	0.2	0.5	1.2	3.5	3.8	7.3	14.9	17.1	21.5	19.3	9.4	0.9
累積割合	0.3	0.3	0.5	0.7	1.2	2.4	5.8	9.6	17.0	31.8	48.9	70.4	89.7	99.1	100.0

【外資系企業】

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	2.0	0.0	0.8	1.1	5.9	3.1	6.9	7.5	12.0	13.1	16.7	14.6	8.0	6.0	2.4
累積割合	2.0	2.0	2.8	3.9	9.8	12.9	19.8	27.3	39.3	52.4	69.1	83.7	91.7	97.6	100.0

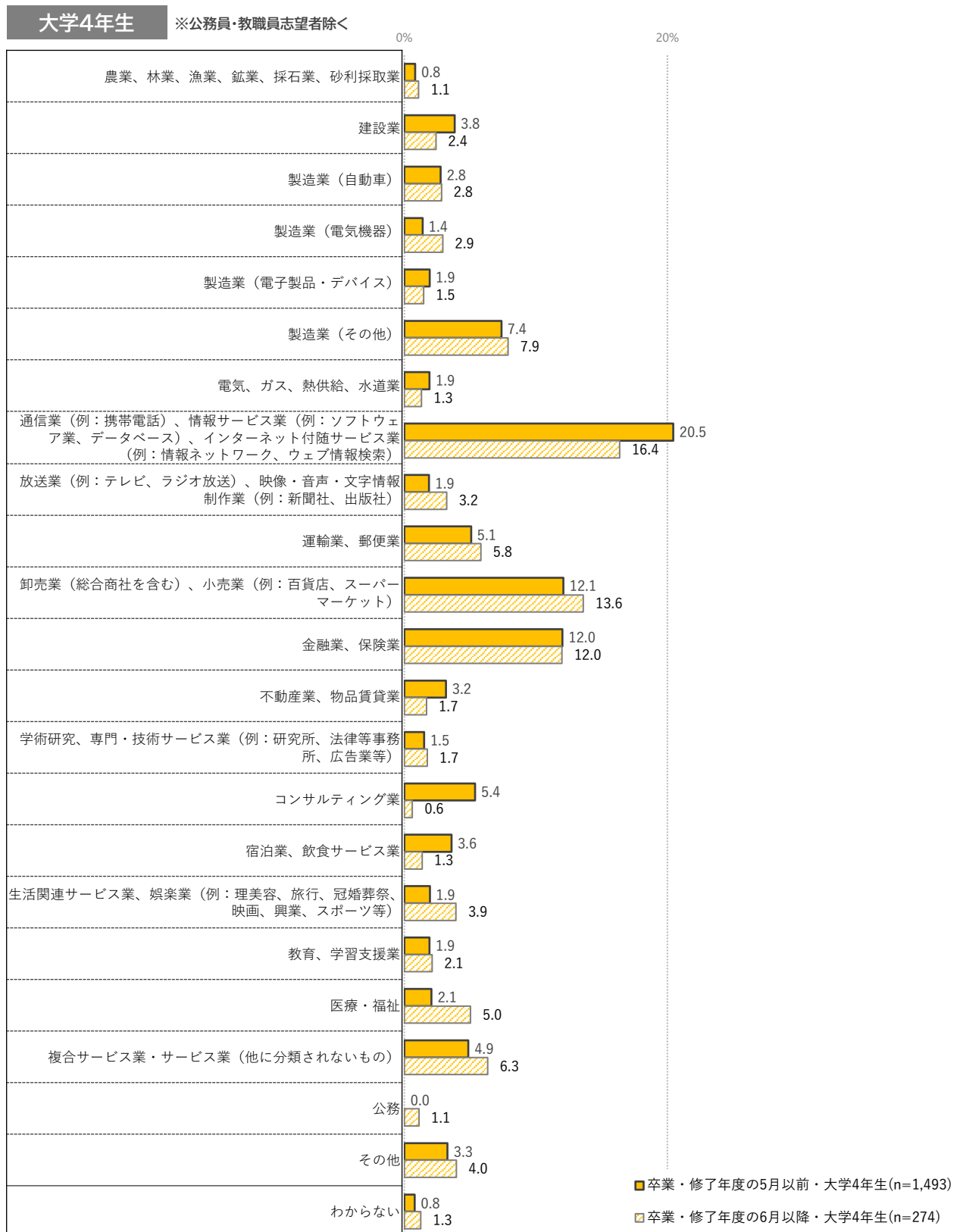
⑦最初に内々定を受けた企業の業界

「最初に内々定※1を受けた」業種について、卒業・修了年度の5月以前、6月以降ともに、「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」が最も高く、約2割。卒業・修了年度の5月以前では、次に「金融業・保険業」、「卸売業、小売業」、「製造業(その他)」、「コンサルティング業」が約1割と続く。

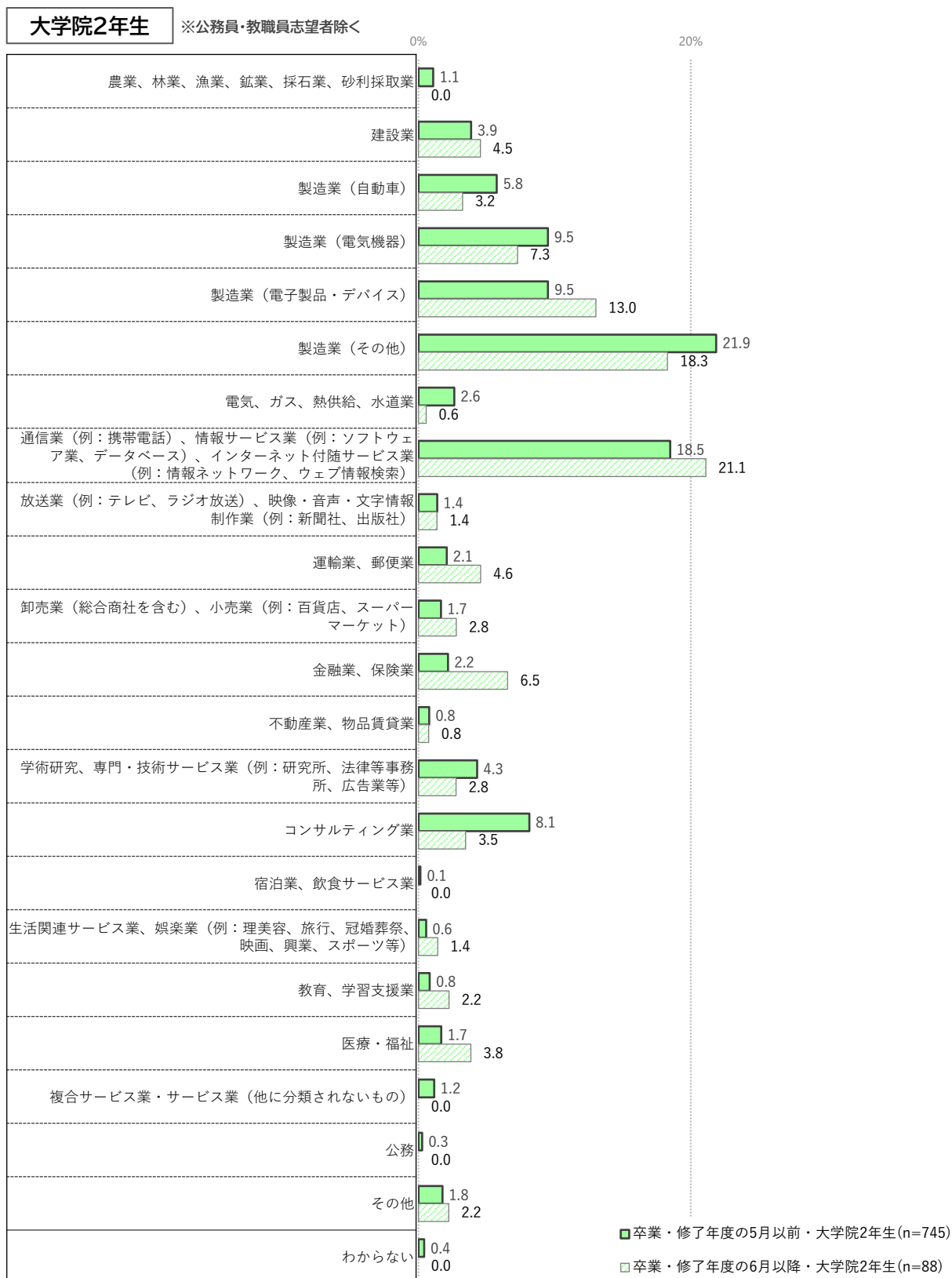


※1：内々定については正式な「内定」の前の、企業と形式的に内々に合意したものと案内をした上で調査を行った。

⑦最初に内々定を受けた企業の業界



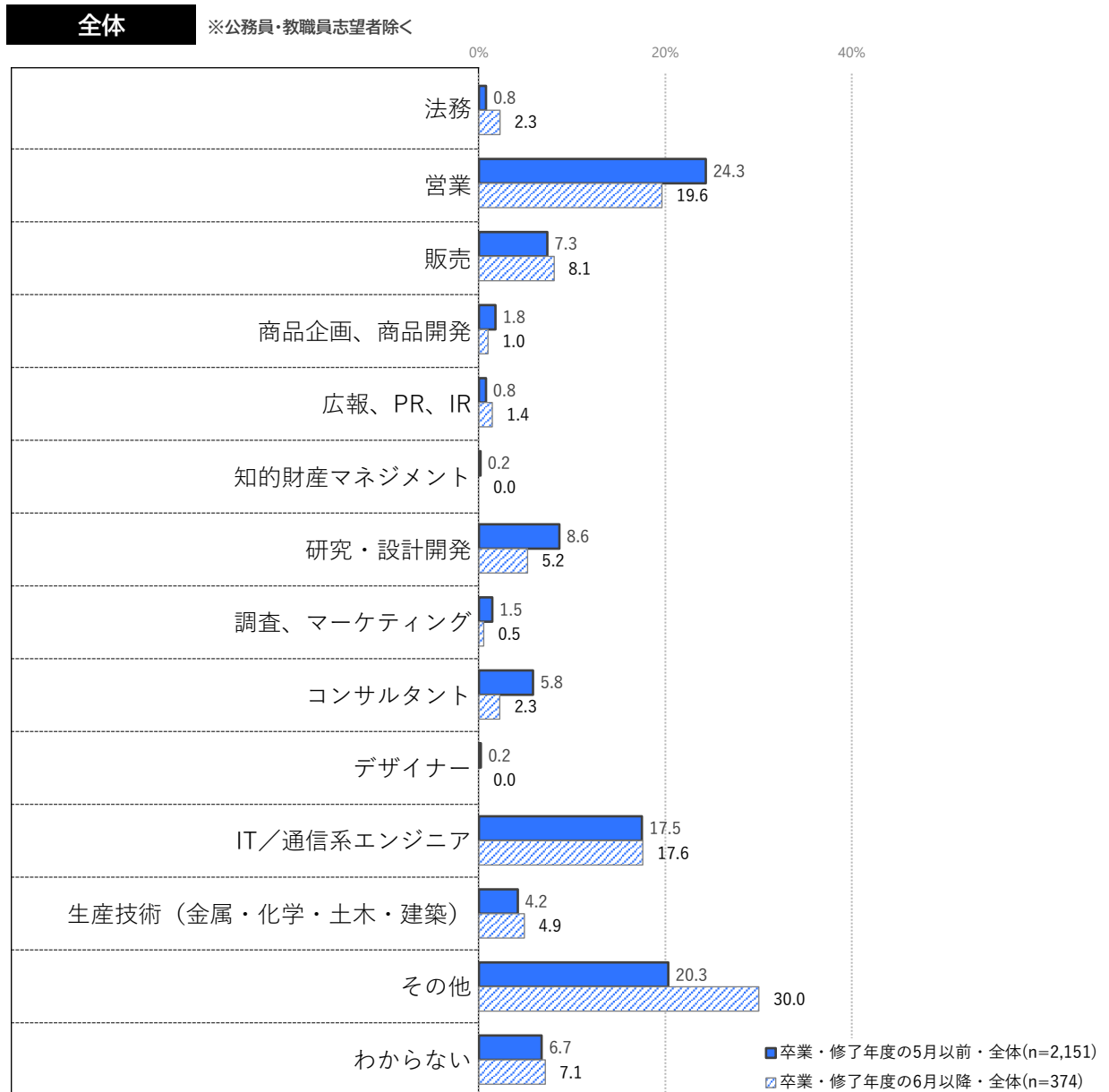
⑦最初に内々定を受けた企業の業界



⑧最初に内々定を受けた職種

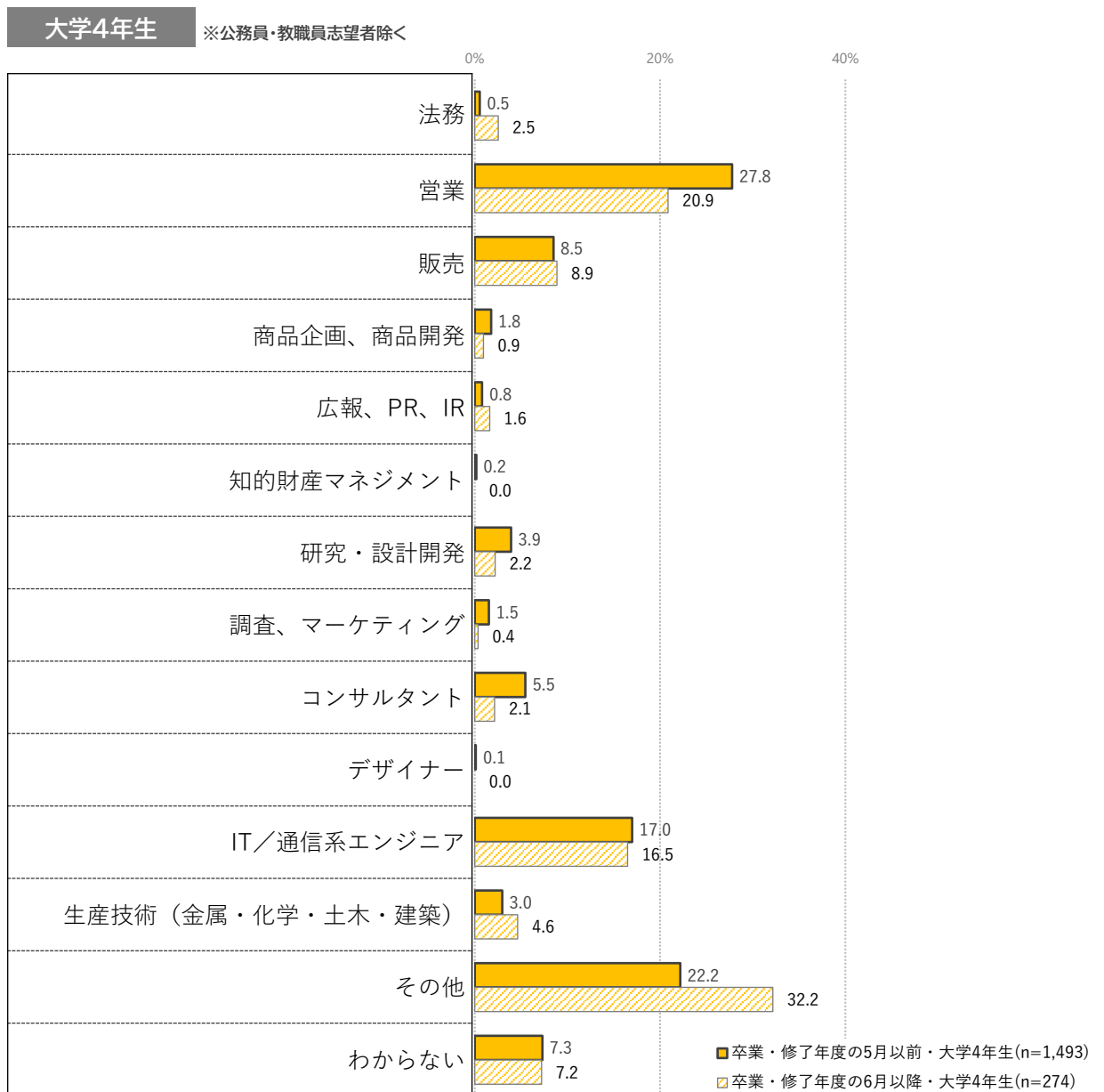
「最初に内々定※1を受けた」職種について、卒業・修了年度の5月以前では、「営業」が約2割と最も高く、次に「その他」「IT/通信系エンジニア」が高い。卒業・修了年度の6月以降では、「その他」が約3割と最も高い。

卒業・修了年度の6月以降に対して、卒業・修了年度の5月以前の方が高い職種は、「営業」「研究・設計開発」「コンサルタント」等。

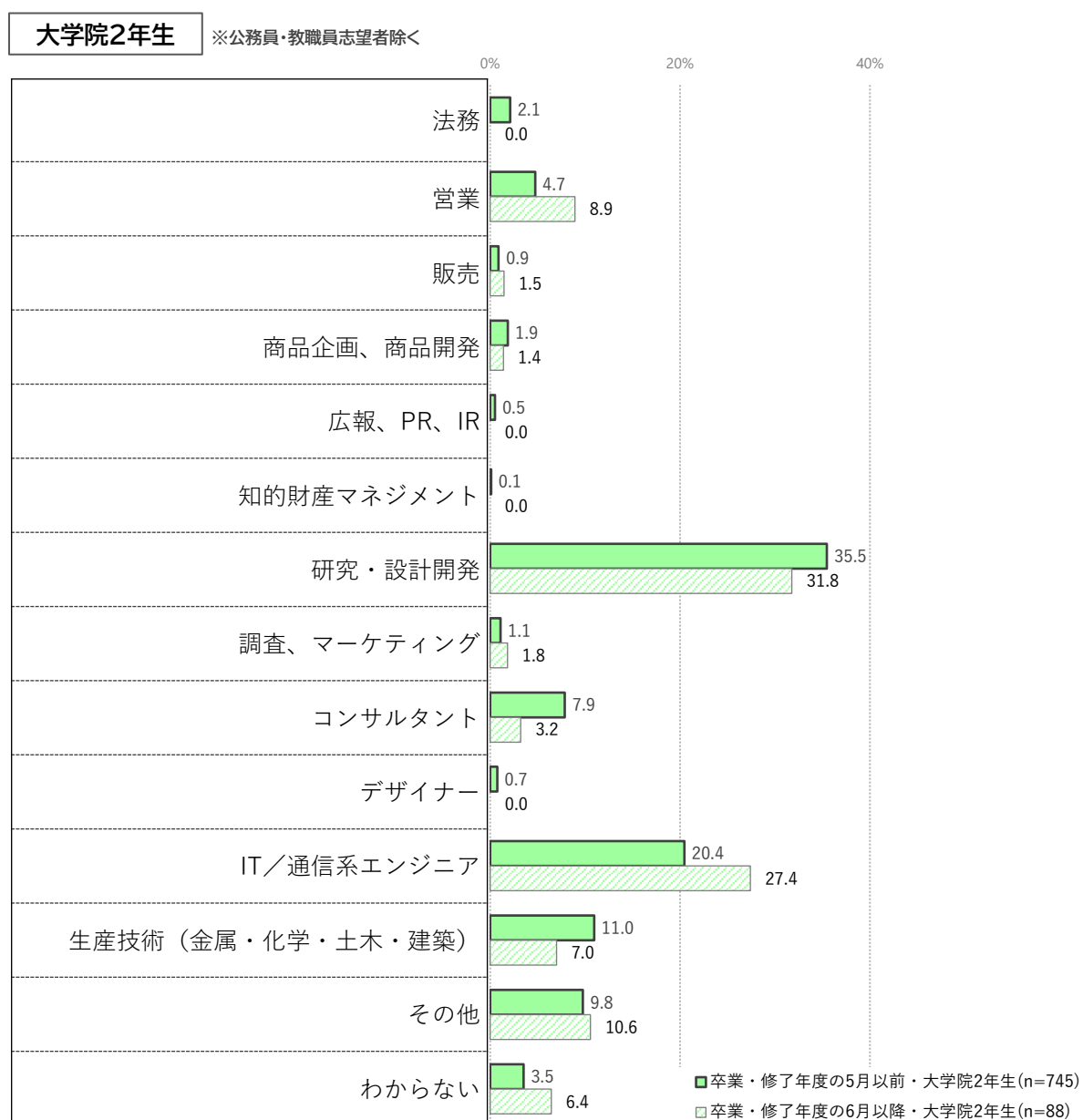


※1：2023年度調査より、内々定については正式な「内定」の前の、企業と形式的に内々に合意したものと案内をした上で調査を行った。

⑧最初に内々定を受けた職種



⑧最初に内々定を受けた職種



第八章 文系・理系別の集計

第八章 文系・理系別の集計

(1) 文系・理系別の就職活動の内容

①文系・理系別の企業説明会やセミナー等の参加状況

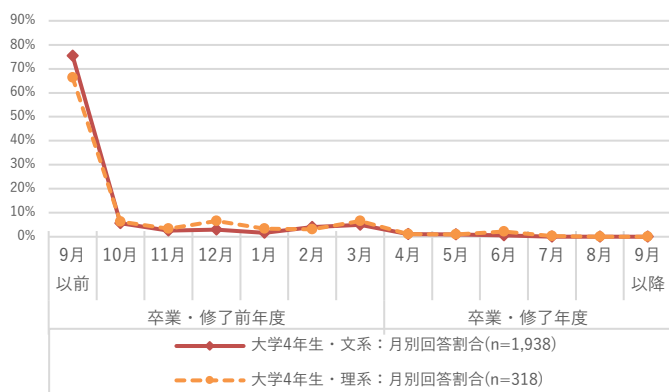
文系・理系別※1に、企業説明会やセミナー等の参加状況について累積割合をみると、大学4年生では、「最初に参加した時期」は文系の学生の方が早期の回答割合が若干高くなっており、「参加のピーク」は文系・理系で概ね同様となっており、「最後に参加した時期」は理系の学生の方が早期の回答割合が若干高くなっている。

※「まだ参加していない・参加する予定もない」と回答した者は、集計の対象外とした。

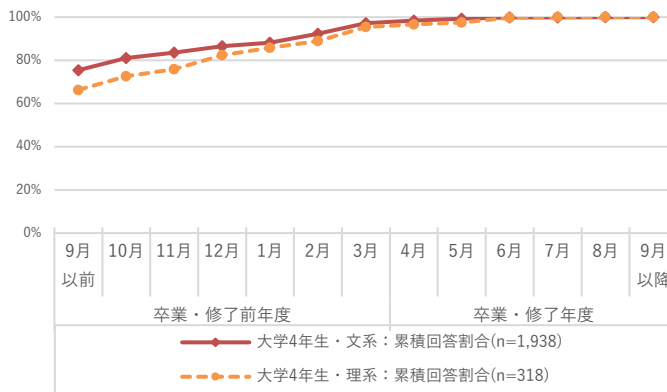
大学4年生

最初に参加した時期

月別回答割合

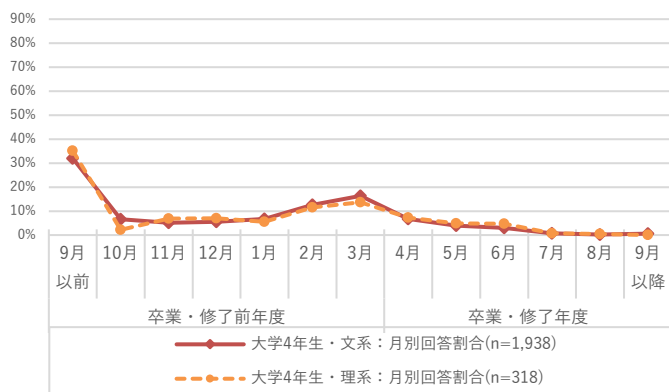


累積割合

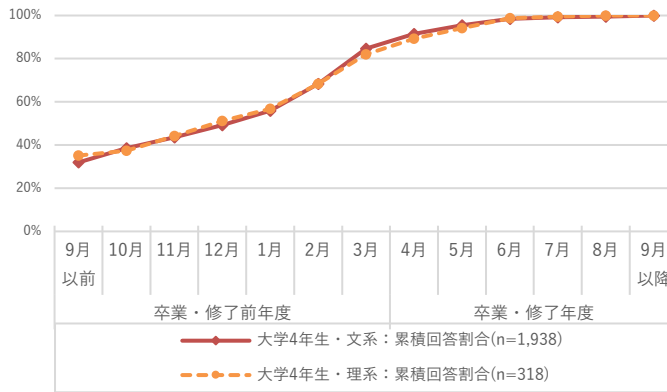


参加のピーク

月別回答割合

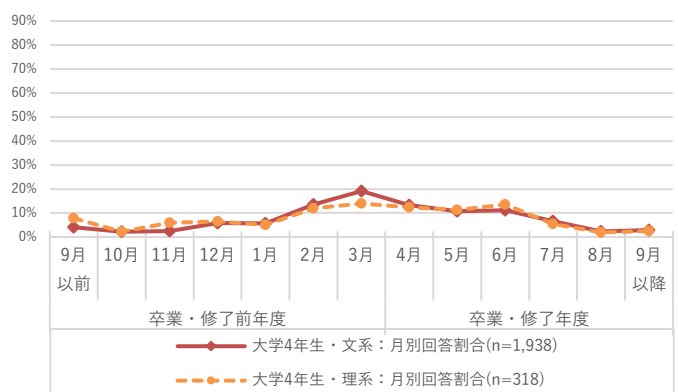


累積割合

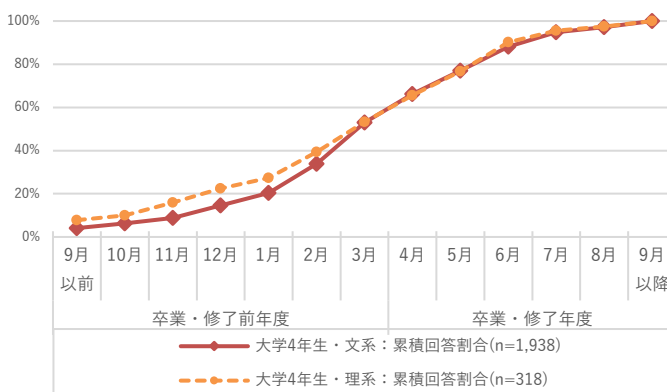


最後に参加した時期

月別回答割合



累積割合

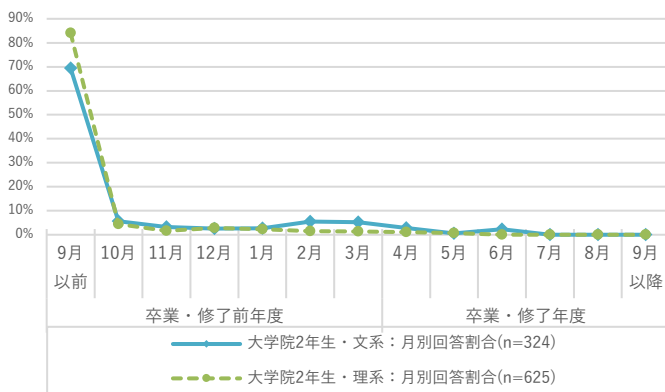


※1: 「人文科学」、「社会科学」、「情報」、「家政」、「教育」、「芸術」、「その他」を「文系」とし、「理学」、「工学」、「農学」、「保健」、「商船」を「理系」としている。

①文系・理系別の企業説明会やセミナー等の参加状況

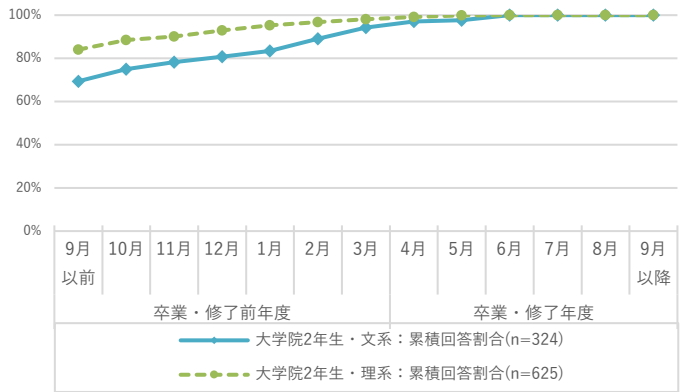
大学院2年生では、「最初に参加した時期」「参加のピーク」「最後に参加した時期」いずれも理系の学生の方が早期の回答割合が高くなっている。「最後に参加した時期」は修了前年度11月までは文系・理系で概ね同様となっているが、修了前年度12月以降は理系の学生の方が早期の回答割合が高くなっている。

大学院2年生
月別回答割合



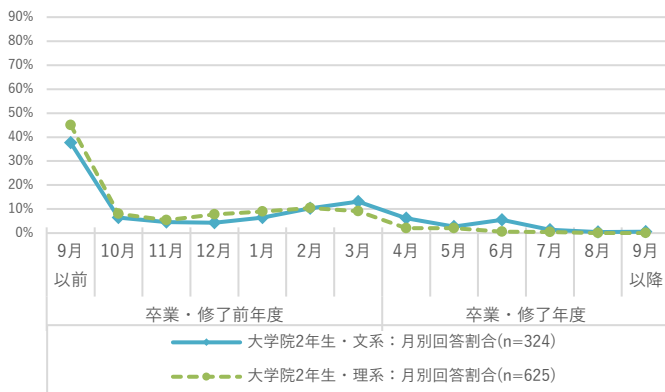
最初に参加した時期

累積割合

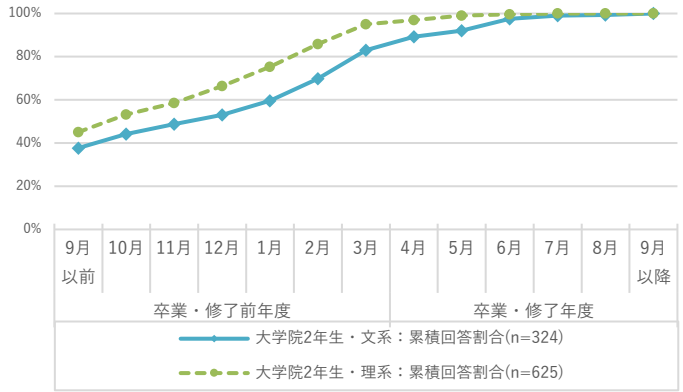


参加のピーク

月別回答割合

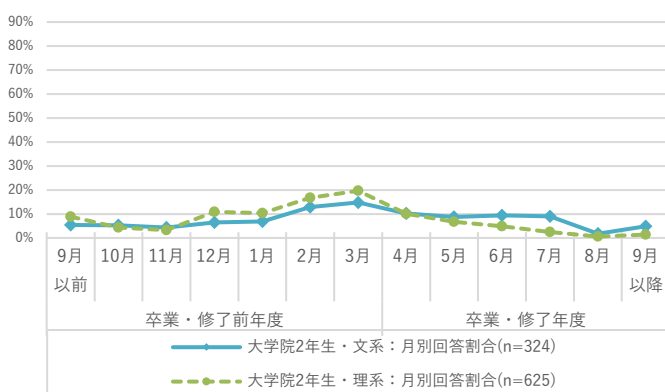


累積割合

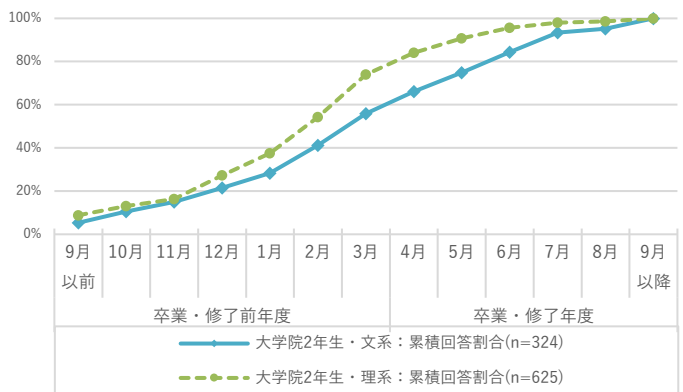


最後に参加した時期

月別回答割合



累積割合



②文系・理系別のエントリーシートの提出状況

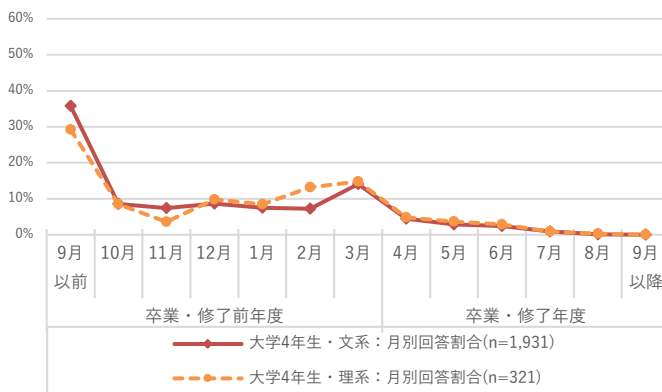
文系・理系別に、エントリーシートの提出状況について累積割合をみると、大学4年生では、「最初に提出した時期」は、卒業前年度11月以前は文系の学生の方が若干高くなっているものの、2月以降は文系・理系で概ね同様となっている。「提出のピーク」は文系・理系で概ね同様となっており、「最後に提出した時期」は理系の学生の方が早期の回答割合が若干高くなっている。

※「まだ提出していない・提出する予定もない」と回答した者は、集計の対象外とした。

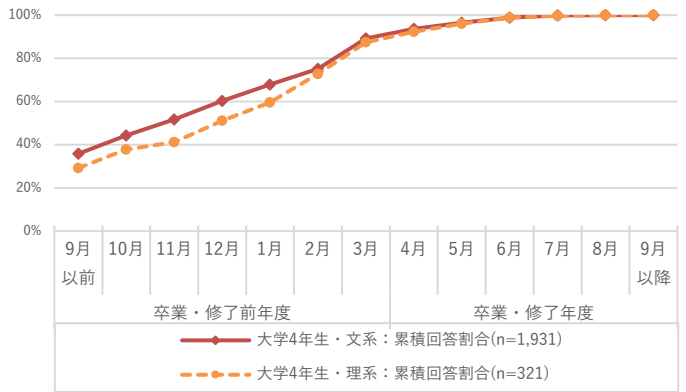
大学4年生

最初に提出した時期

月別回答割合

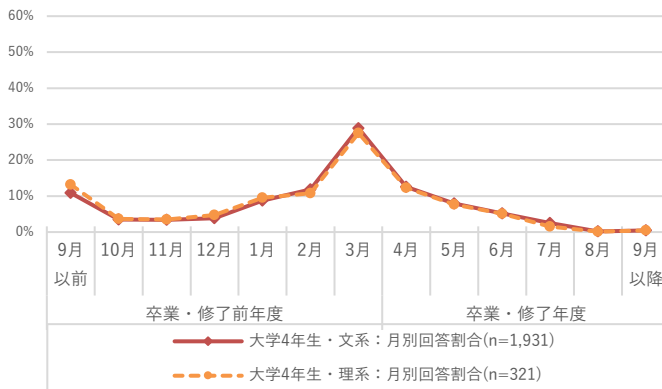


累積割合

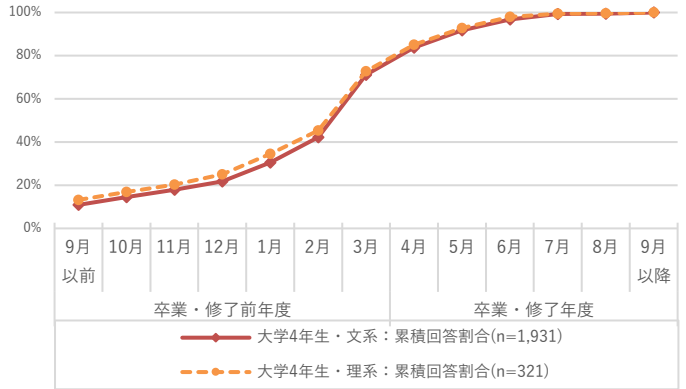


提出のピーク

月別回答割合

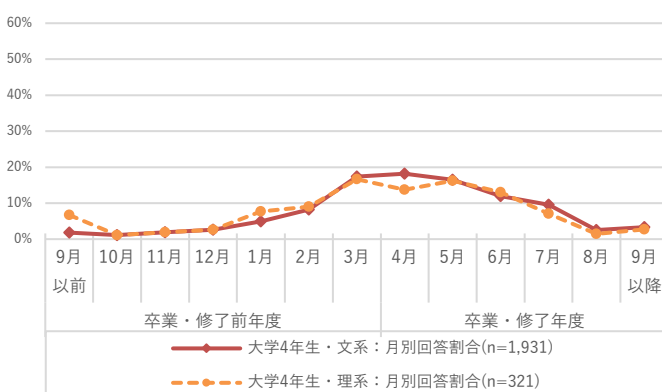


累積割合

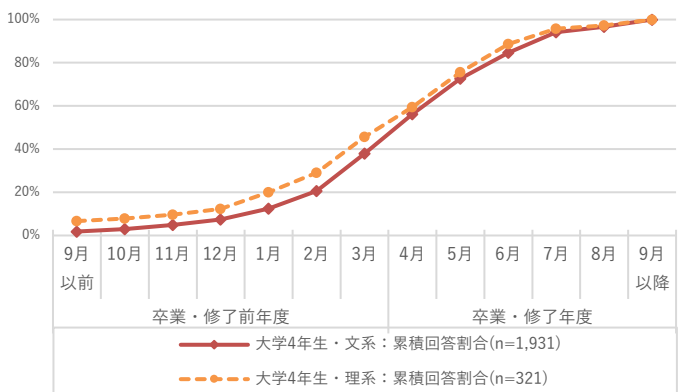


最後に提出した時期

月別回答割合



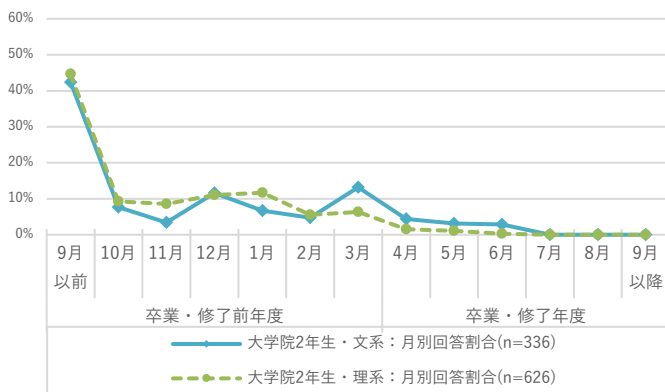
累積割合



②文系・理系別のエントリーシートの提出状況

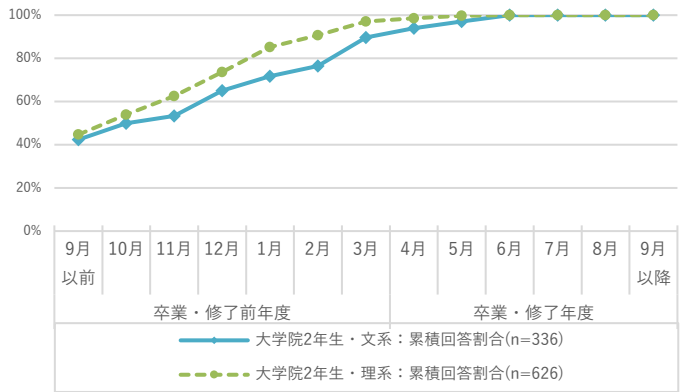
大学院2年生では、「最初に提出した時期」「最後に提出した時期」は理系の学生の方が早期の回答割合が高くなっているが、「提出のピーク」について、修了前年度11月以前では文系の学生の方が早期の回答割合が若干高く、1月以降では理系の学生の方が早期の回答割合が高くなっている。

大学院2年生
月別回答割合



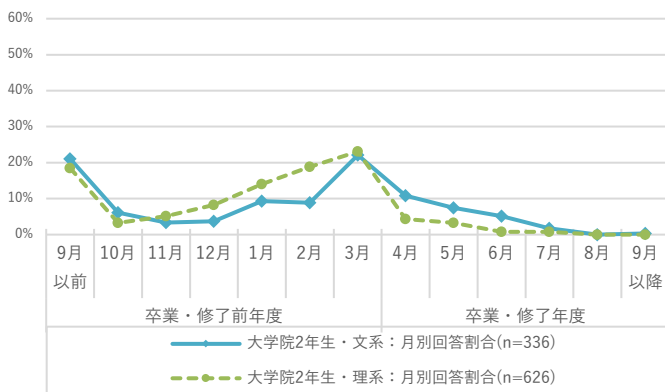
最初に提出した時期

累積割合

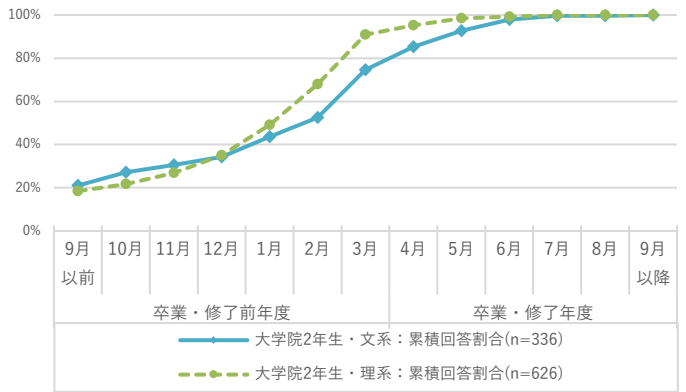


提出のピーク

月別回答割合

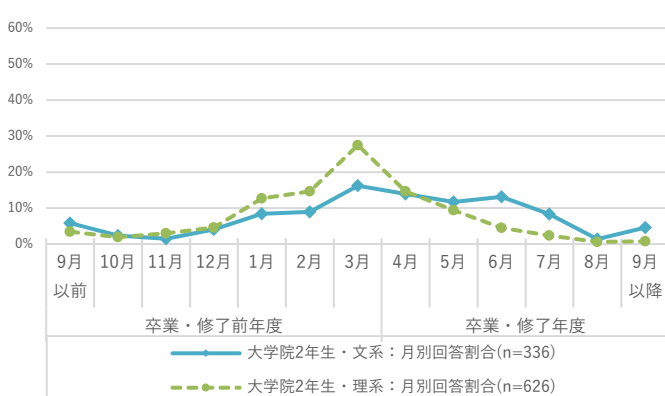


累積割合

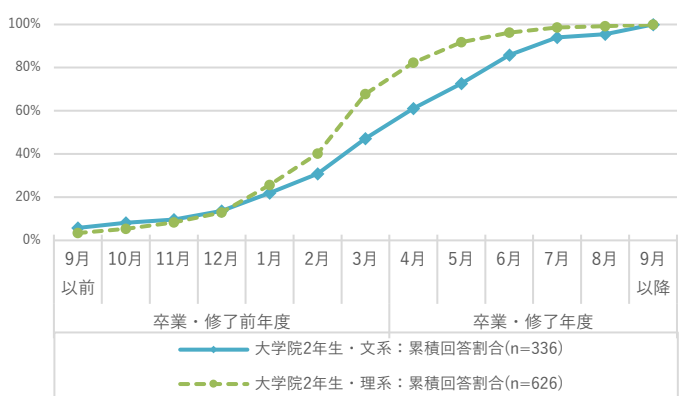


最後に提出した時期

月別回答割合



累積割合



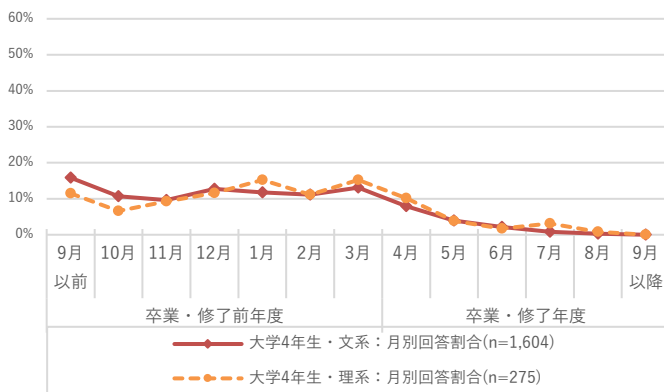
③文系・理系別の採用面接の実施状況

文系・理系別に、採用面接の実施状況について累積割合をみると※1、大学4年生では、「最初に受けた採用面接の時期」は文系の学生の方が若干高くなっているが、「採用面接のピーク」は文系・理系で概ね同様となっており、「最後に受けた採用面接の時期」は理系の学生の方が早期の回答割合が若干高くなっている。

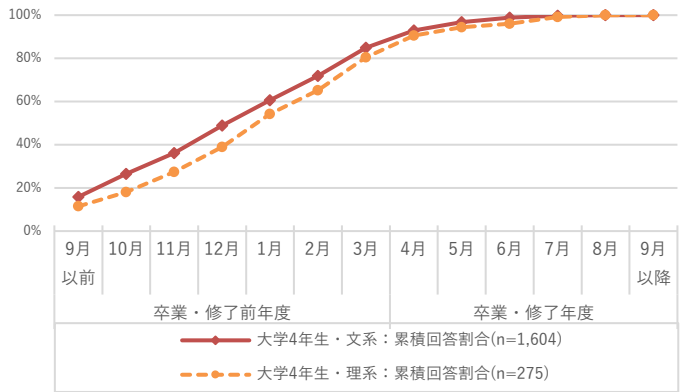
大学4年生

最初に受けた採用面接の時期

月別回答割合

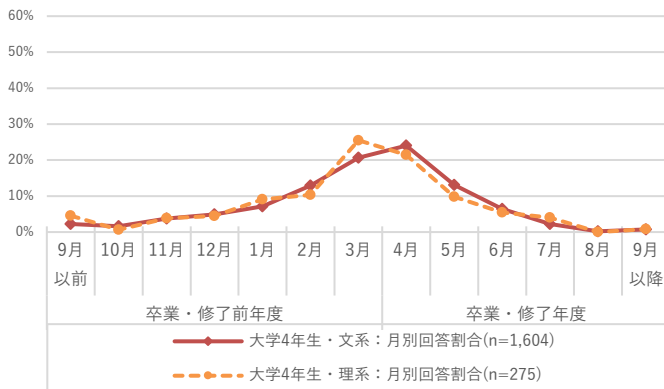


累積割合

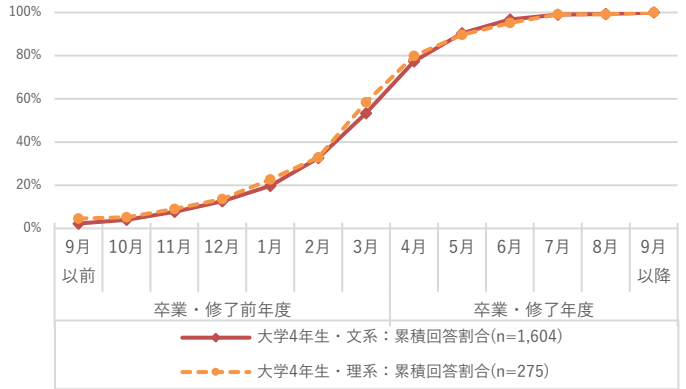


採用面接のピーク

月別回答割合

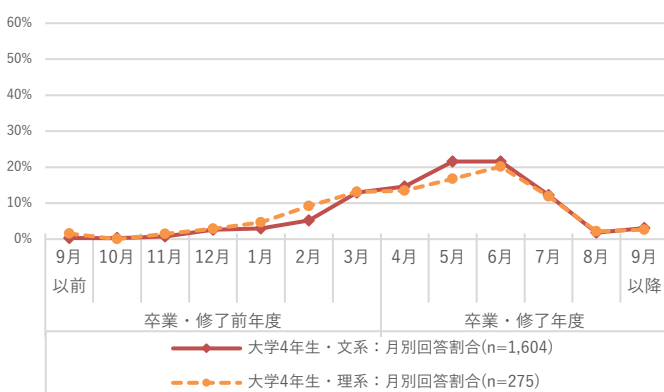


累積割合

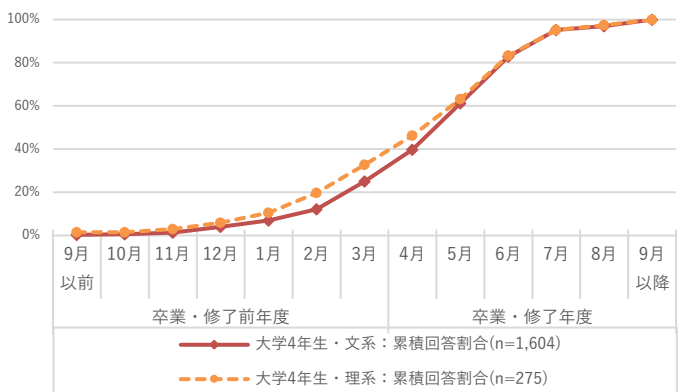


最後に受けた採用面接の時期

月別回答割合



累積割合

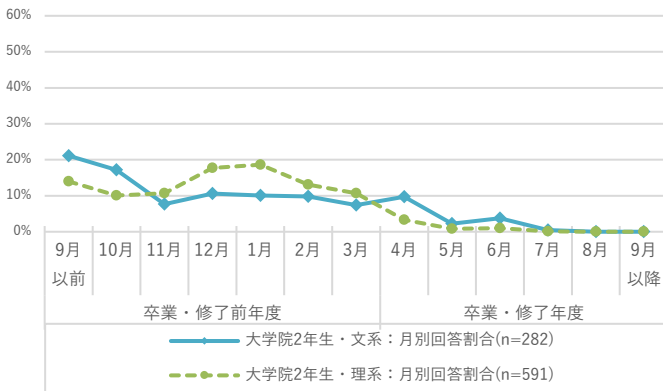


※1：公務員や教職員志望者に関しては、調査実施時点で採用の面接等が行われていないと想定されたことから、ここでは集計の対象外とした。また、その上で、「まだ参加していない・参加する予定もない」と回答した者は集計の対象外とした。

③文系・理系別の採用面接の実施状況

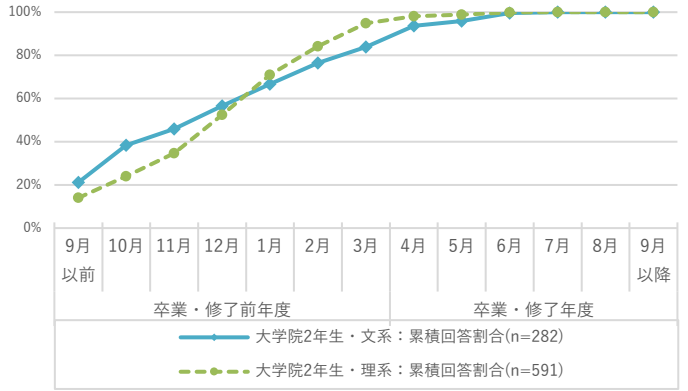
大学院2年生では、「最初に受けた採用面接の時期」「採用面接のピーク」について、修了前年度12月以前は文系の学生の方が高くなっているものの、2月以降は理系の学生の方が高くなっている。「最後に受けた採用面接の時期」については3月以降の時期において、理系の学生の方がより早期の回答割合が高くなっている。

大学院2年生
月別回答割合



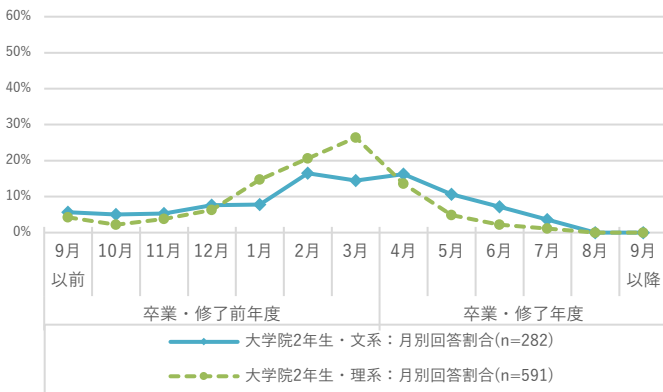
最初に受けた採用面接の時期

累積割合

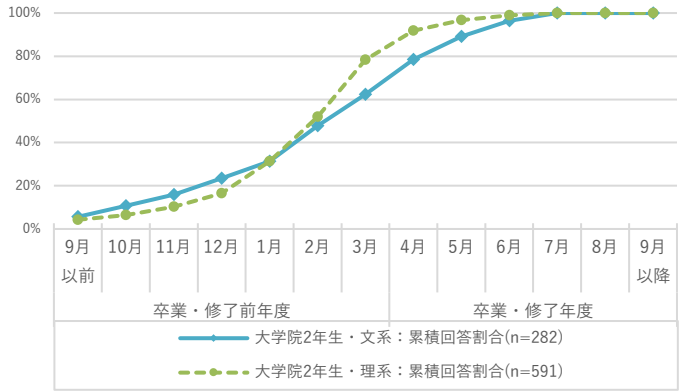


採用面接のピーク

月別回答割合

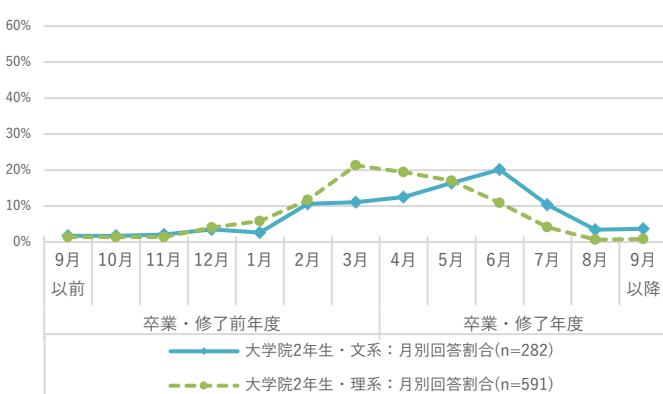


累積割合

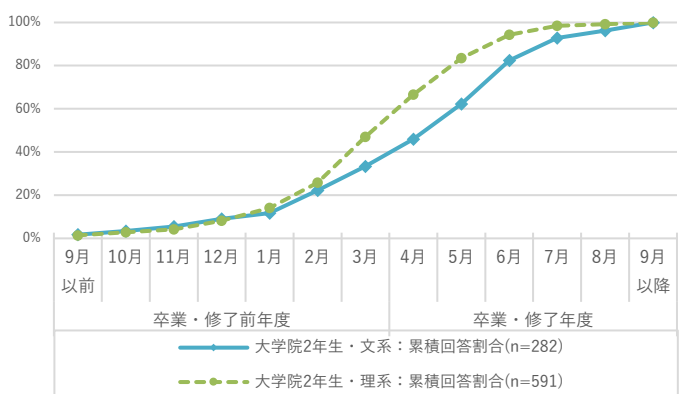


最後に受けた採用面接の時期

月別回答割合



累積割合



④文系・理系別の内々定を受けた時期

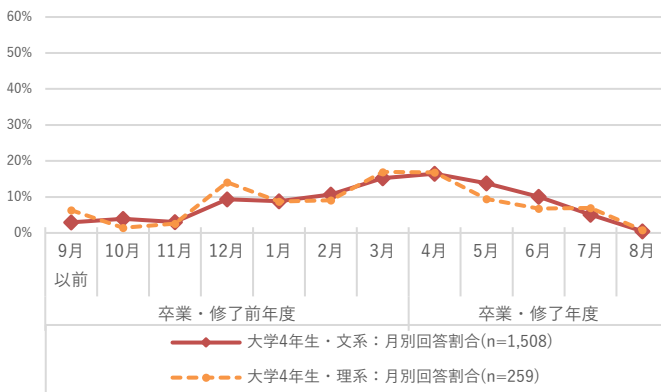
文系・理系別に、最初の内々定を受けた時期について集計すると ※1、大学4年生では、文系の学生は卒業前年度の4月、理系の学生は卒業前年度の3月の割合が最も高くなっている。

大学院2年生では、文系・理系ともに修了前年度の3月の回答割合が最も高くなっている。

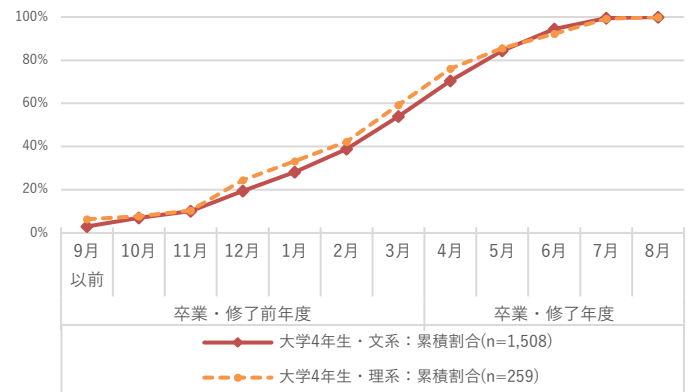
大学4年生

最初に内々定を受けた時期

月別回答割合

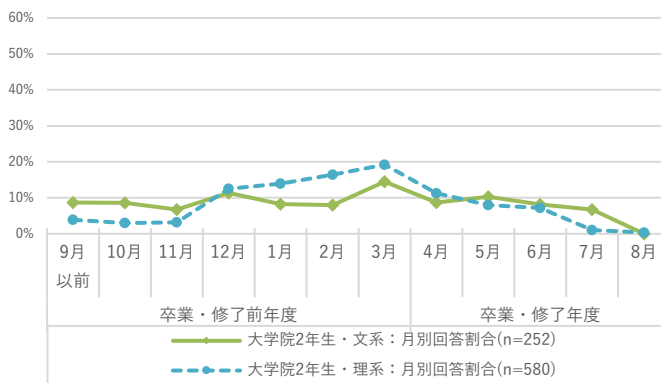


累積割合

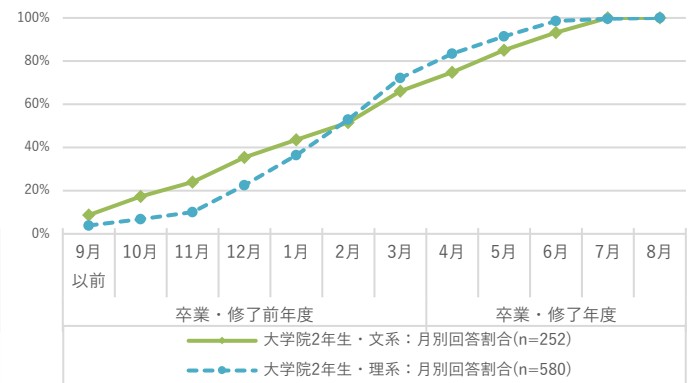


大学院2年生

月別回答割合



累積割合



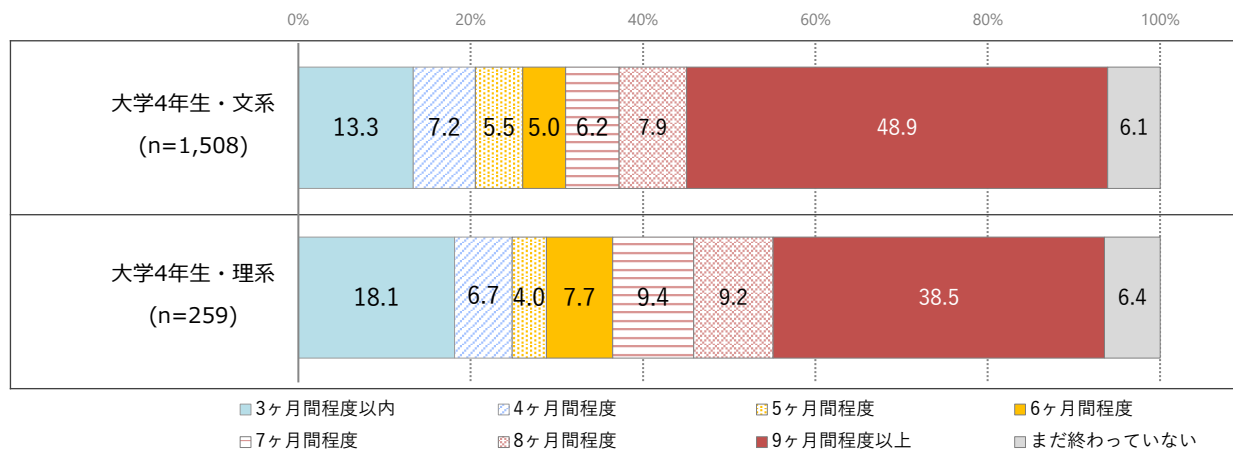
※1：1社から内々定を受けた者はその時期について、複数社から内々定を受けた者は最初に内々定を受けた時期について集計した。
 なお、ここでの集計でも、公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。また、内々定を「まだ受けていない」と回答した者は集計の対象外としている。

⑤就職活動の始まりから終わりまでの期間

文系・理系別に、「就職活動が始まったと考える時期」から「就職活動が終わったと考える時期」までの期間※1を集計すると、大学4年生に関しては、理系の学生の方がより短い期間の割合が高くなっている。大学院2年生については、文系・理系でどちらも「9ヶ月間程度以上」が約5割と概ね同様となっている。

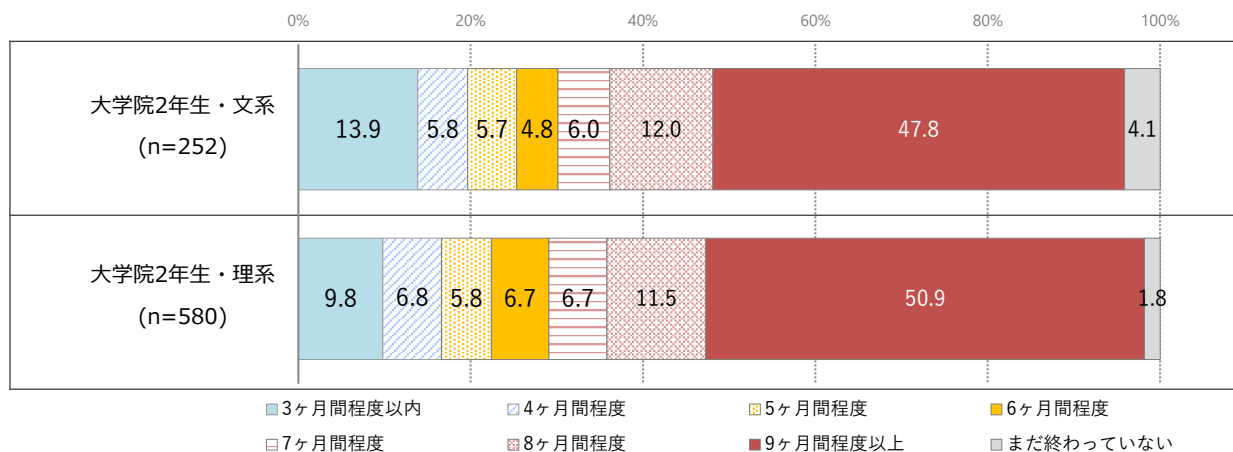
大学4年生

※公務員・教職員志望者除く



大学院2年生

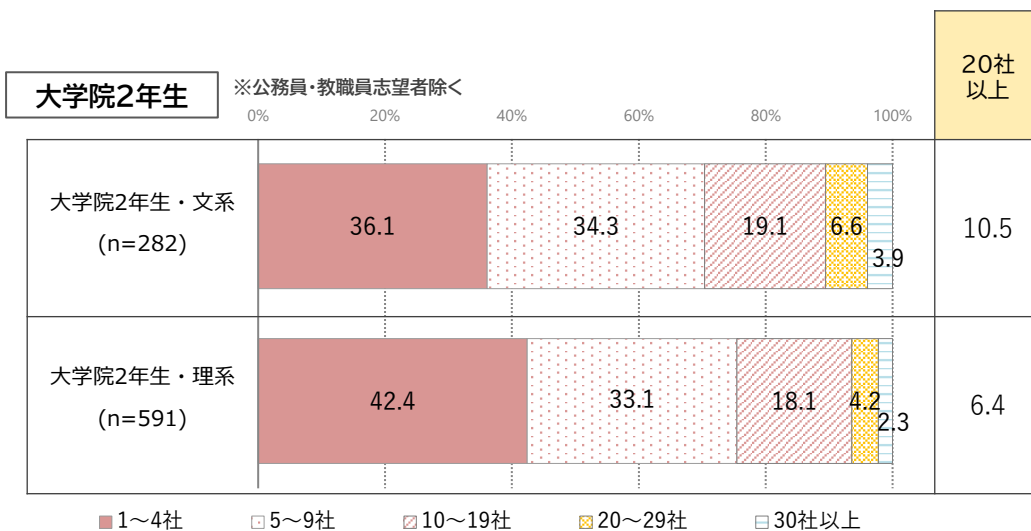
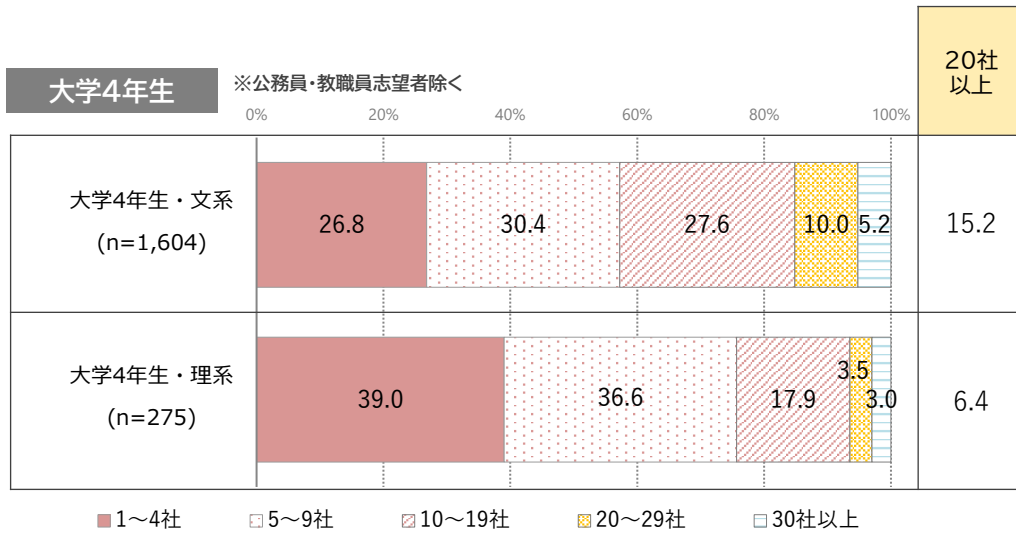
※公務員・教職員志望者除く



※1：ここでの集計において、「3ヶ月間程度」とは、例えば、「就職活動が始まったと考える時期」が3月、「就職活動が終わったと考える時期」が6月というように、両者の差が3ヶ月であることを意味する。したがって、「1ヶ月間程度」の分類には、最短で2日間、最長で約60日間の場合が含まれる。一方で、「同月内」の場合であっても実質的には最長で30日間である可能性もある。なお、最初と最後の月から計算しており、途中の期間に就職活動を行っていない可能性があるなど、必ずしも就職活動を行っていた実際の期間を意味するものではない点に留意が必要である。
公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。

⑥採用面接を受けた企業数

文系・理系別に、採用面接を受けた企業数について集計すると、大学4年生・大学院2年生ともに、「1～4社」の回答割合は、理系の学生の方が高く、特に大学4年生に関して、その差は大きくなっている。20社以上の採用面接を受けた者の割合についても、大学4年生で文系・理系の差が大きい。

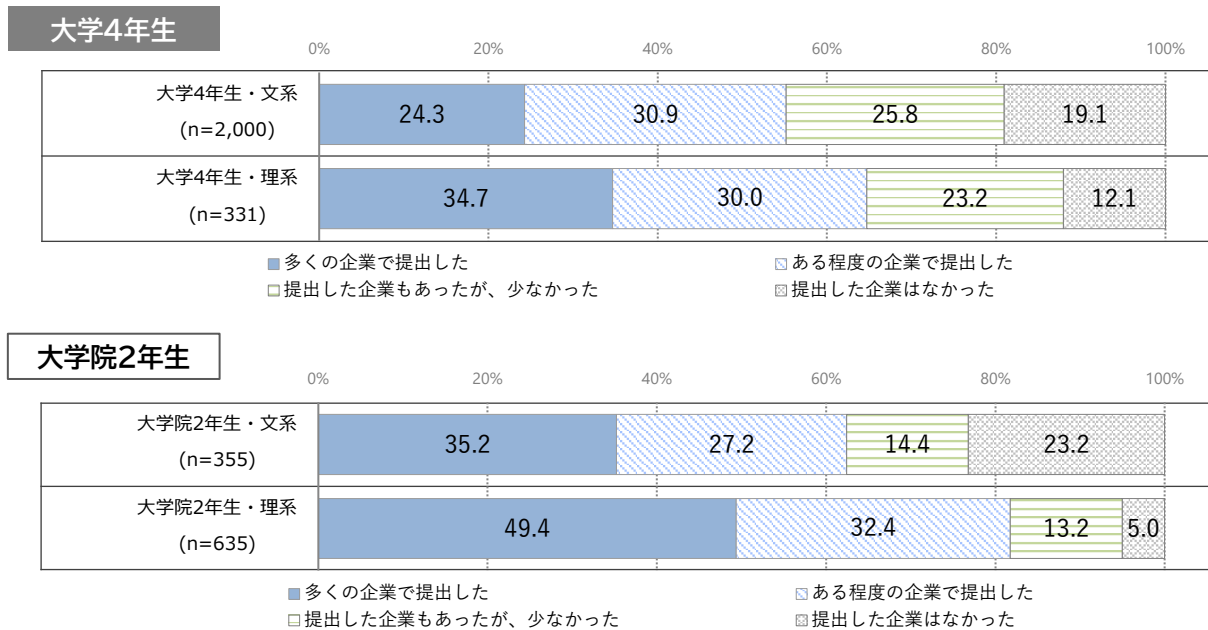


⑦文系・理系別の学業重視の選考

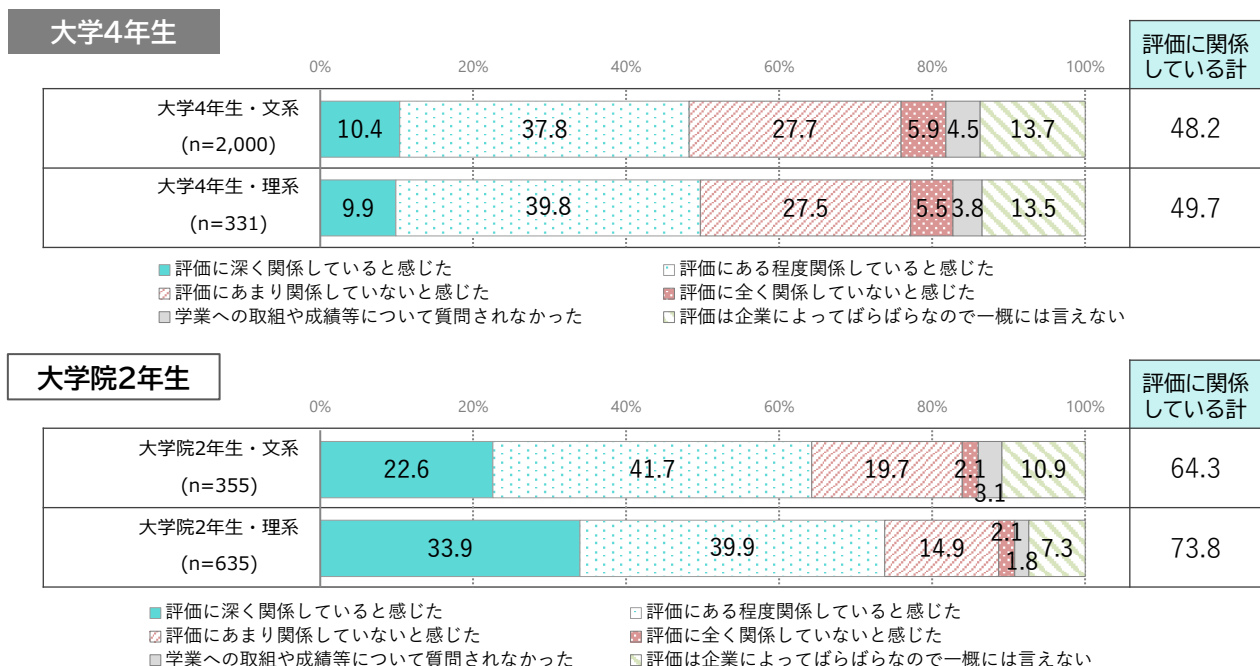
文系・理系別に、就職活動の面接や試験を受けるにあたり、履修履歴(成績証明書など)の提出がどの程度求められたかについて集計すると、大学4年生・大学院2年生ともに、「多くの企業で提出した」の回答割合は、理系の学生の方が高く、特に大学院2年生においてその差が大きくなっている。

また、採用面接において、研究・ゼミや専門分野などの学業への取組や成績等の質問を受け、その内容が採用選考の評価に関係していると感じたかについて、「評価に深く関係していると感じた」の回答割合は、大学4年生では文系・理系で概ね同様となっているが、大学院2年生では理系の学生の方が高くなっている。

【履修履歴(成績証明書など)の提出の状況】



【採用面接の際に学業の取組や成績等の質問を受け、評価に関係していると感じたか】

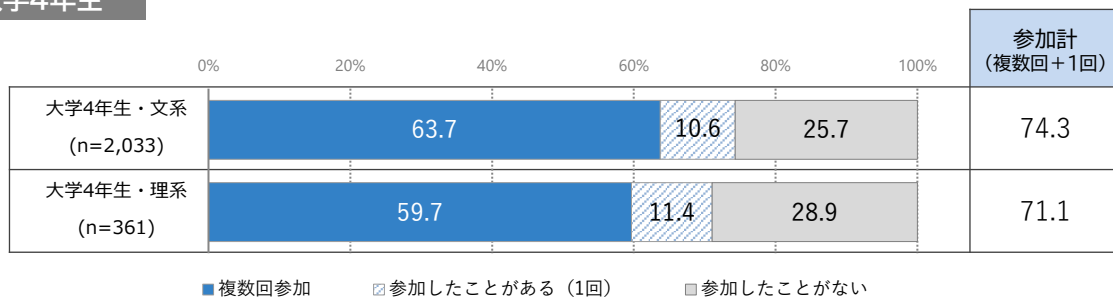


⑧文系・理系別のインターンシップと呼称されるものの参加状況

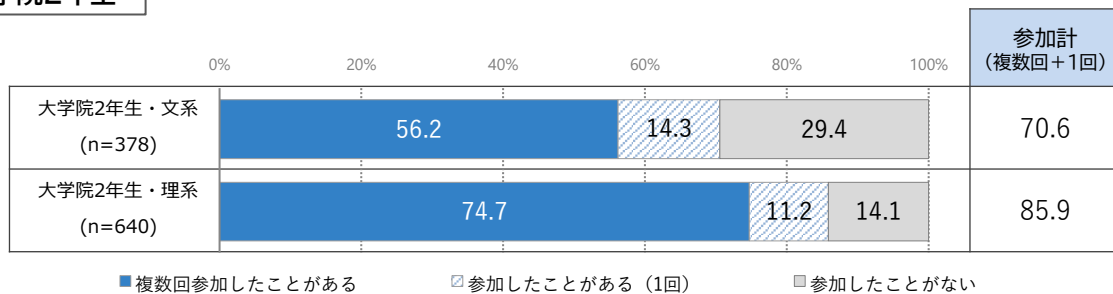
文系・理系別に、インターンシップと呼称されるもの※1の参加経験の有無について集計すると、「参加したことがある」の回答割合は、大学4年生では文系の学生の方がやや高く、大学院2年生では理系の学生の方が高くなっている。また、参加日数(参加したインターンシップと呼称されるものうち、最長の日数のもの)について、5日以上に参加したことがある者の割合は、大学4年生・大学院2年生ともに理系の学生の方が高い。

【インターンシップと呼称されるものの参加経験の有無】

大学4年生

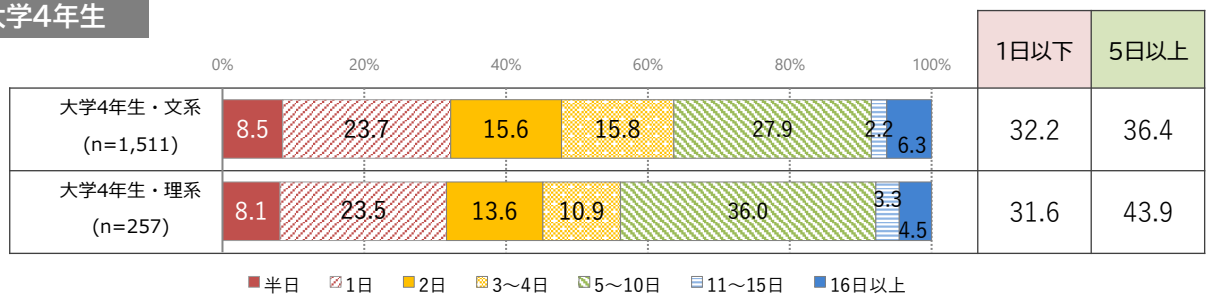


大学院2年生

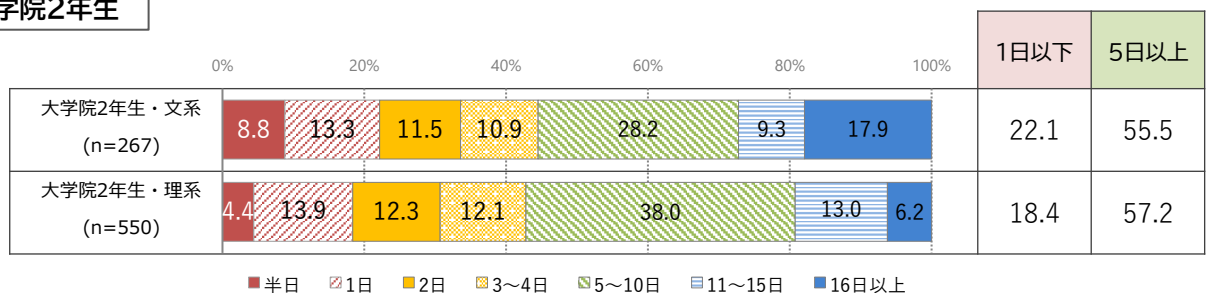


【インターンシップと呼称されるものの参加最長日数】

大学4年生



大学院2年生



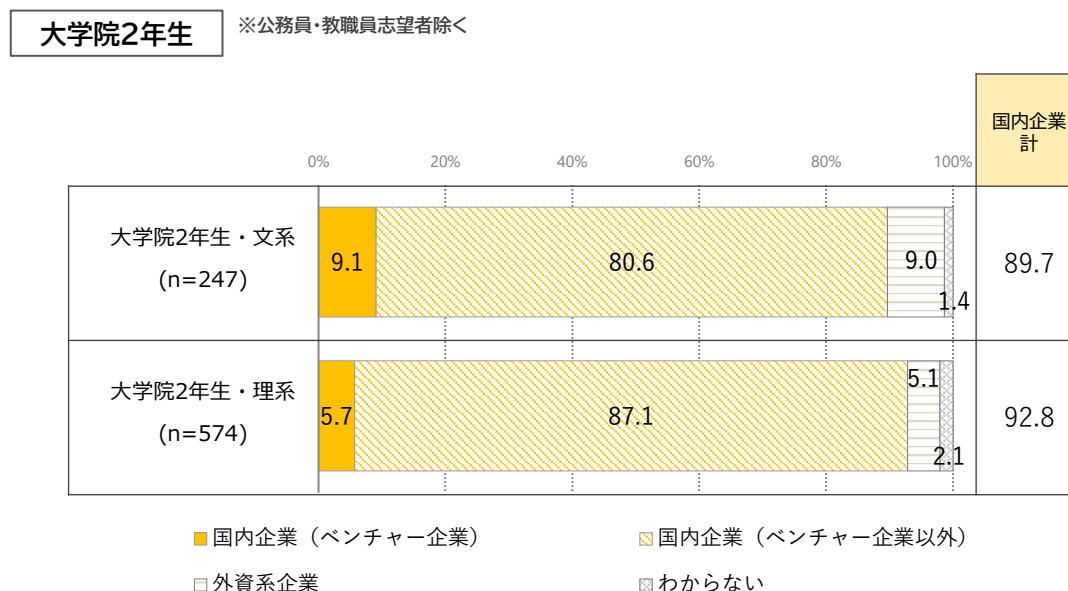
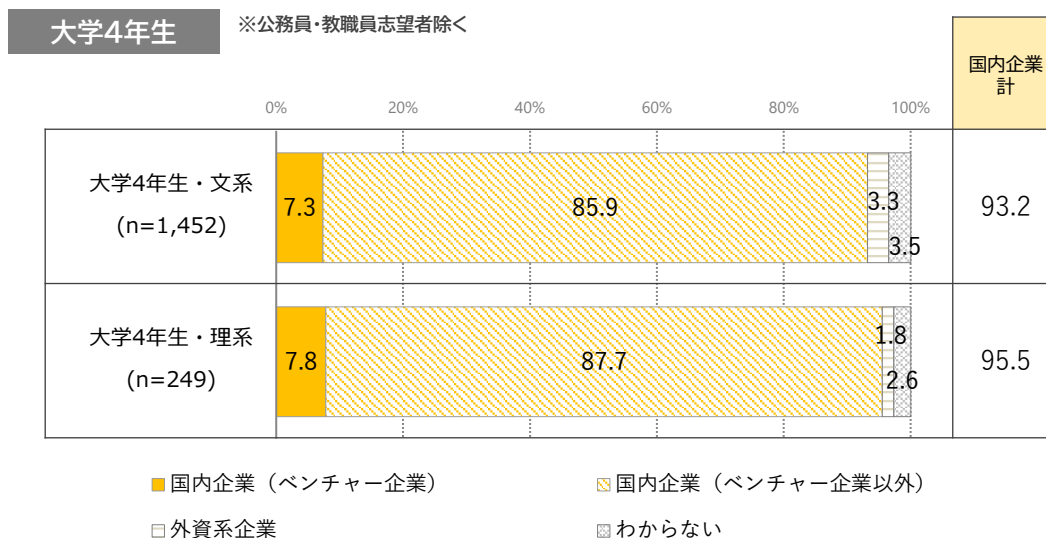
※1：2023年度調査より、定義変更に伴い、インターンシップについて「インターンシップと呼称されるもの」と提示している。

(2) 文系・理系別の就職予定企業について

①就職予定の企業の種類

文系・理系別に、就職予定の企業が国内企業かどうかについて集計すると、大学4年生では、「国内企業（ベンチャー企業※1）」の回答割合は約1割で、「国内企業（ベンチャー企業以外）」と合わせると国内企業は約9割と、文系・理系で概ね同様となっている。

大学院2年生では、理系の学生の方が「国内企業（ベンチャー企業）」「外資系企業」の回答割合が低くなっている。



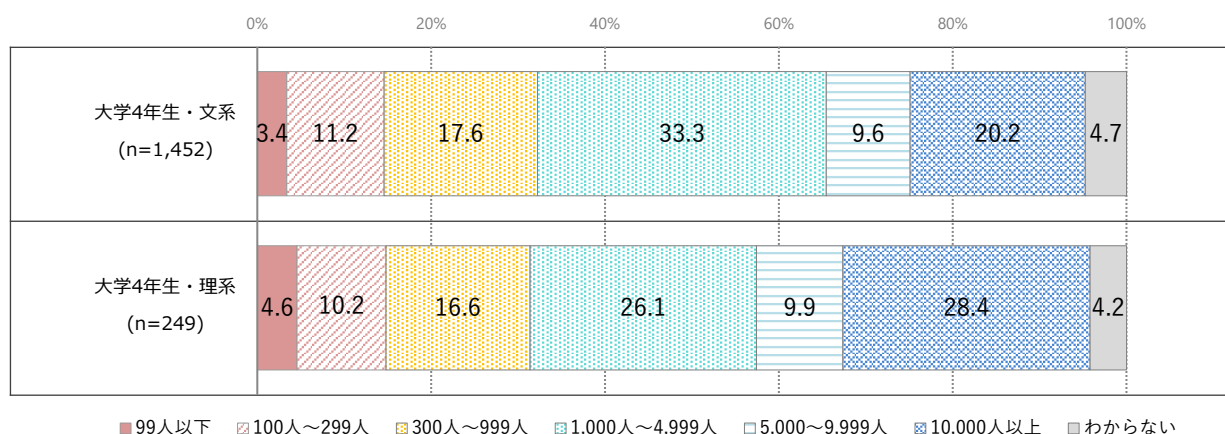
※1：ベンチャー企業については、2023年度調査より「新興企業であって、独自のアイデアや技術で新しいサービスやビジネスに挑戦している企業」と案内した上で調査を行っている。

②就職予定の企業の企業規模(従業員数)

文系・理系別に、就職予定の企業の企業規模(従業員数)について集計すると、大学4年生・大学院2年生ともに、理系の学生の方が規模(従業員数)の大きい企業である割合が高く、特に大学院2年生に関して、理系の学生の方が「10,000人以上」の回答が占める割合が高くなっている。

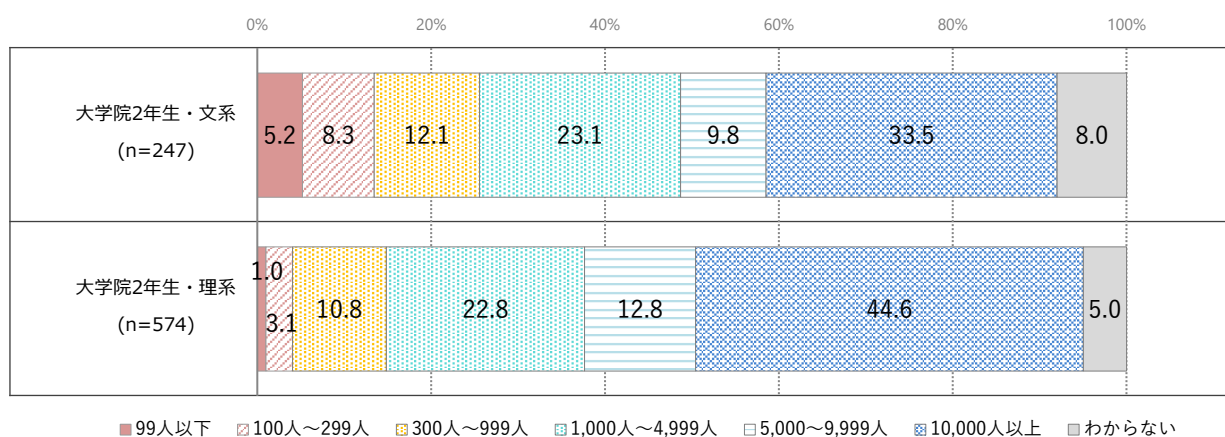
大学4年生

※公務員・教職員志望者除く



大学院2年生

※公務員・教職員志望者除く

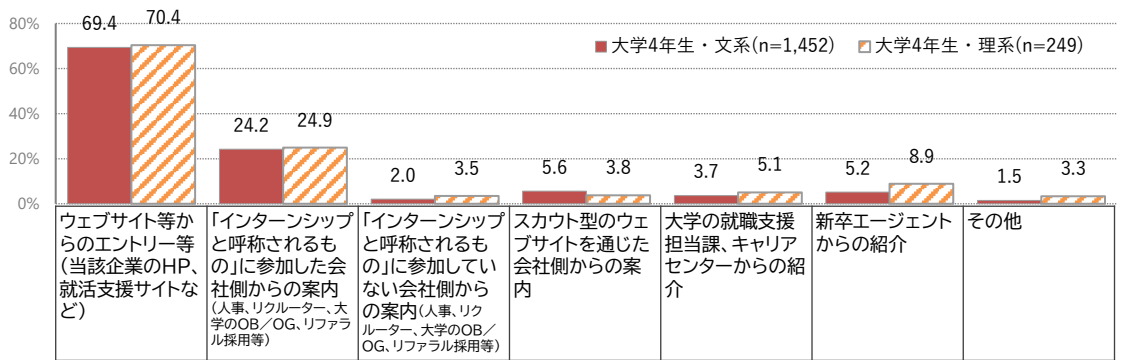


③就職予定の企業について採用試験・面接等を受けた経路

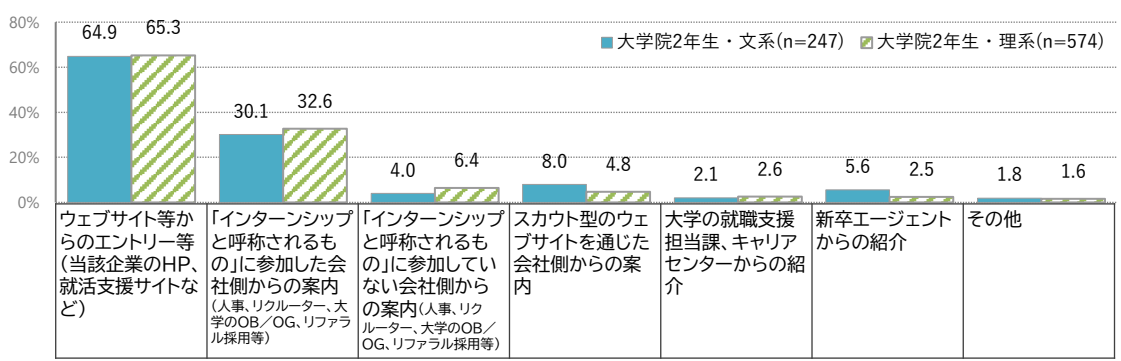
文系・理系別に、就職予定の企業に関してどのような経路で採用試験・面接等を受けたかについて集計すると、大学4年生では、文系・理系ともに「ウェブサイト等からのエントリー等(当該企業のHP、就活支援サイトなど)」の割合が最も高いが、「新卒エージェントからの紹介」の割合は、理系の学生の方が高くなっている。

大学院2年生では、文系・理系ともに「ウェブサイト等からのエントリー等(当該企業のHP、就活支援サイトなど)」の割合が最も高く、概ね同様の結果となっている。

大学4年生



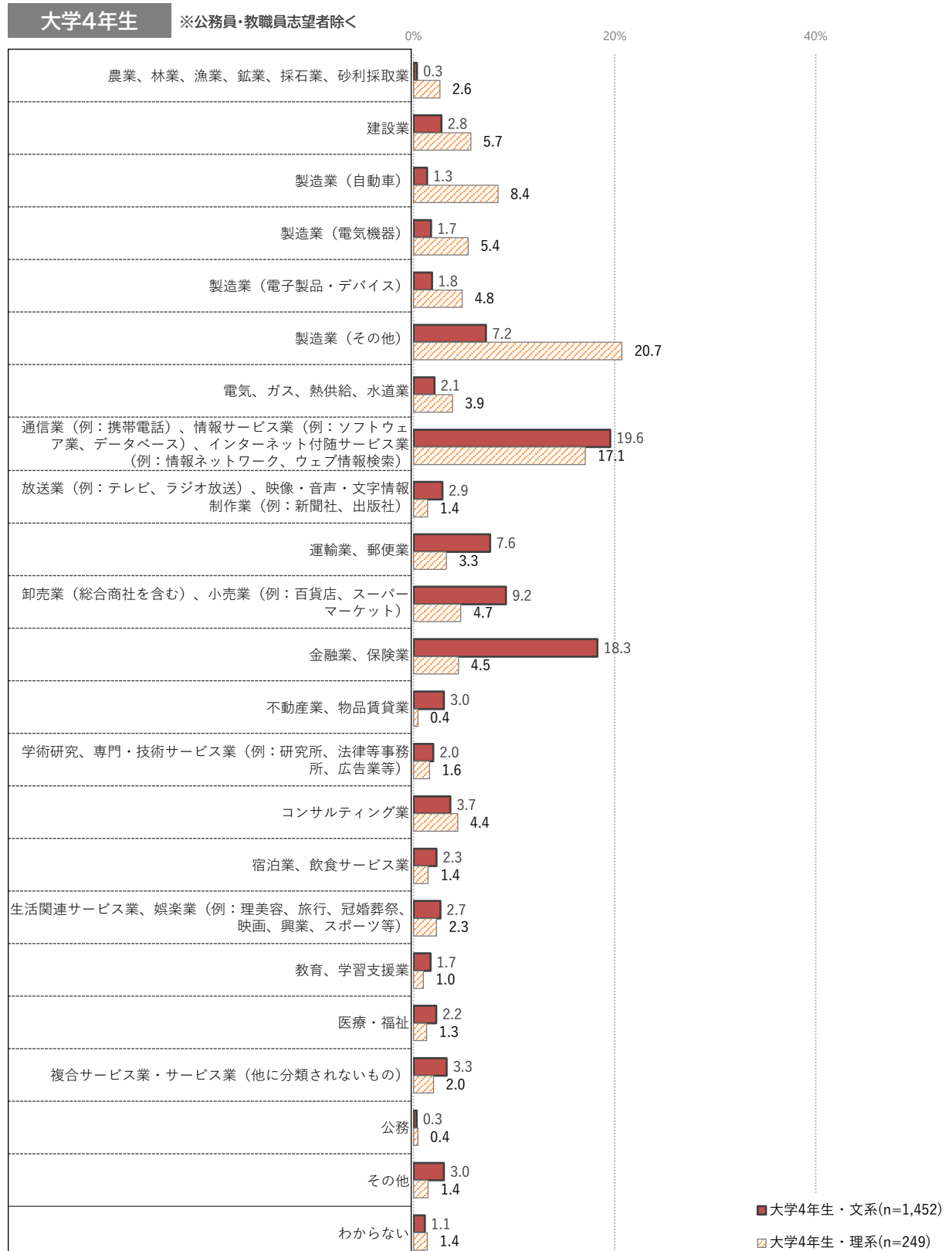
大学院2年生



④就職予定の企業の業界

文系・理系別に、就職予定の企業の業種について集計すると、大学4年生では、文系の学生では「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」が約2割、理系の学生では「製造業(その他)」が約2割と最も高くなっている。

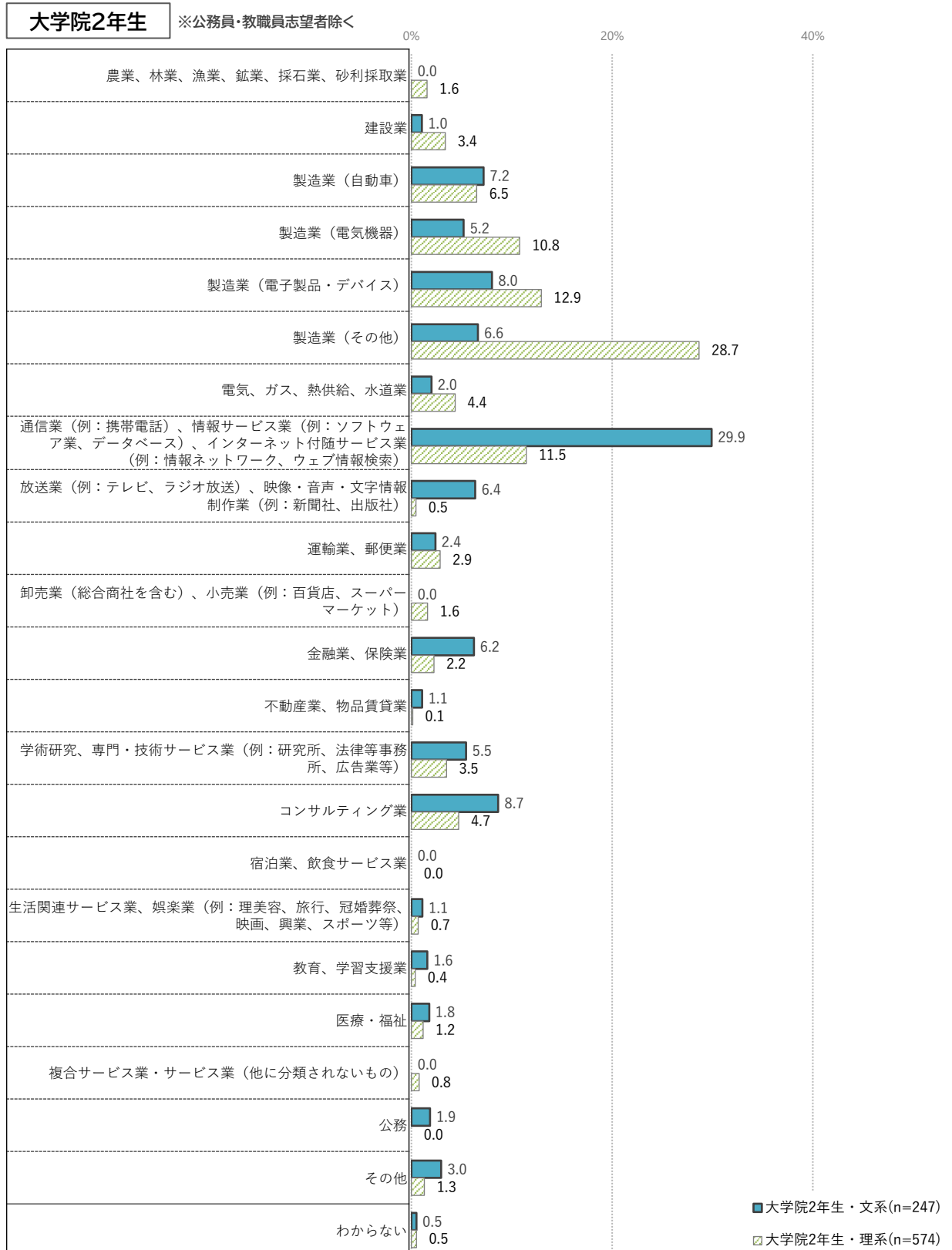
文系の方が高い業界について、差が大きい順に並べると、「金融業、保険業」「卸売業、小売業」「運輸業、郵便業」等。理系の方が高い業界は「製造業(その他)」「製造業(自動車)」「製造業(電気機器)」等。



④就職予定の企業の業界

文系・理系別に、就職予定の企業の業種について集計すると、大学院2年生では、文系の学生では「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」が約3割、理系の学生では「製造業(その他)」が約3割と最も高くなっている。

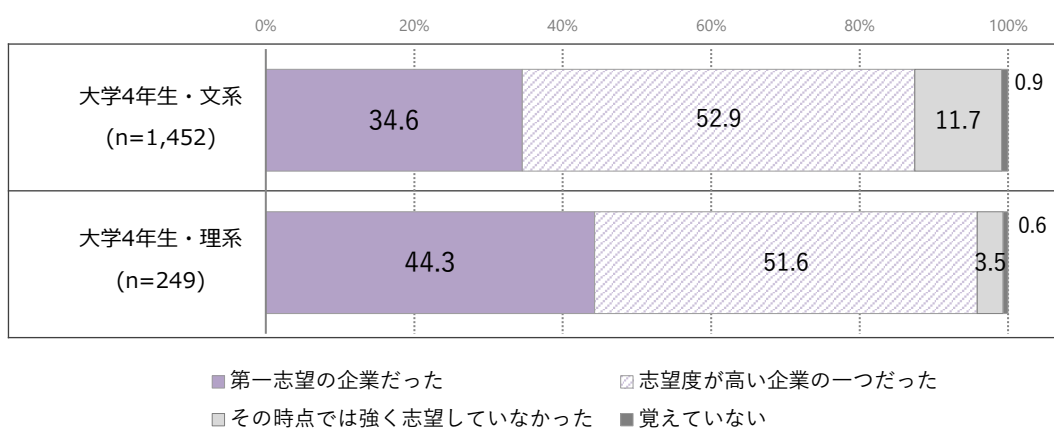
文系の方が高い業界について、差が大きい順に並べると、「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」「放送業、映像・音声・文字情報制作業」等。理系の方が高い業界は「製造業(その他)」「製造業(電気機器)」等。



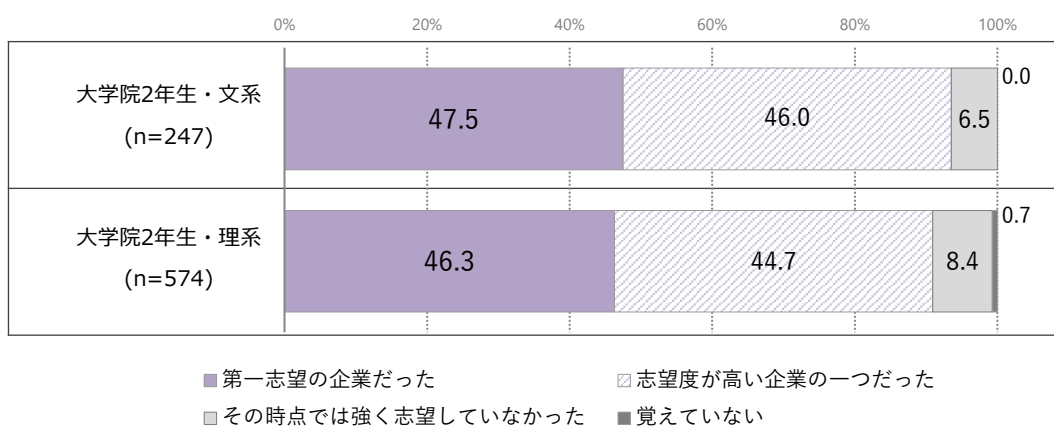
⑤就職予定の企業は第一志望だったか

文系・理系別に、就職予定の企業は第一志望だったかについて集計すると、「第一志望の企業だった」の回答割合は、大学4年生では、理系の学生の方が高く、大学院2年生では文系・理系で概ね同様となっている。

大学4年生



大学院2年生



第九章 就職予定の企業の業界別の集計

第九章 就職予定の企業の業界別の集計

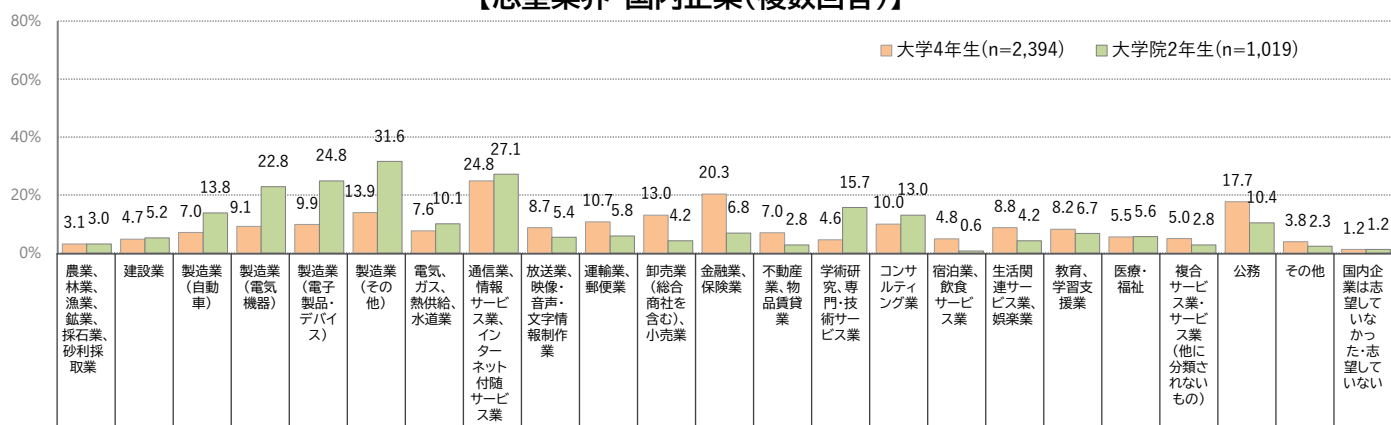
(1) 就職予定の企業の業界別の就職活動内容

①志望業界・就職予定の企業の業界に関する回答状況

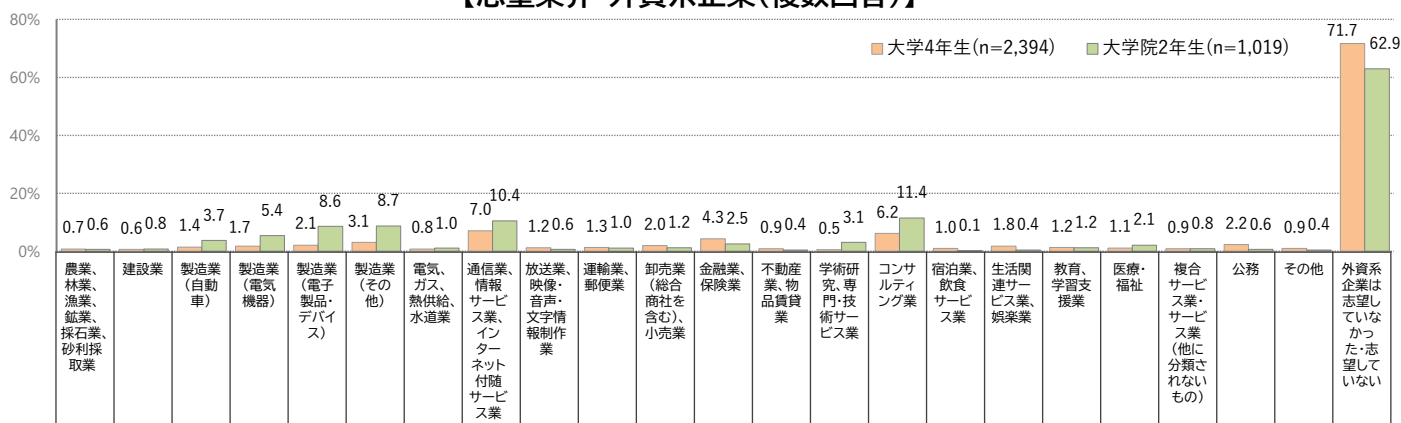
就職活動を行うにあたり、志望していた(志望している)国内企業の業界について集計すると、大学4年生は「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」、大学院2年生は「製造業(その他)」の回答割合が最も高くなっている。外資系企業については、「外資系企業は志望していなかった・志望していない」を除いて、大学4年生では「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」、大学院2年生では「コンサルティング業」の回答割合が最も高くなっている。

就職予定の企業の業界では※1、大学4年生では「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」、「金融業、保険業」、「製造業(その他)」の順、大学院2年生では「製造業(その他)」、「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」、「製造業(電子製品・デバイス)」の順で回答割合が高くなっている。

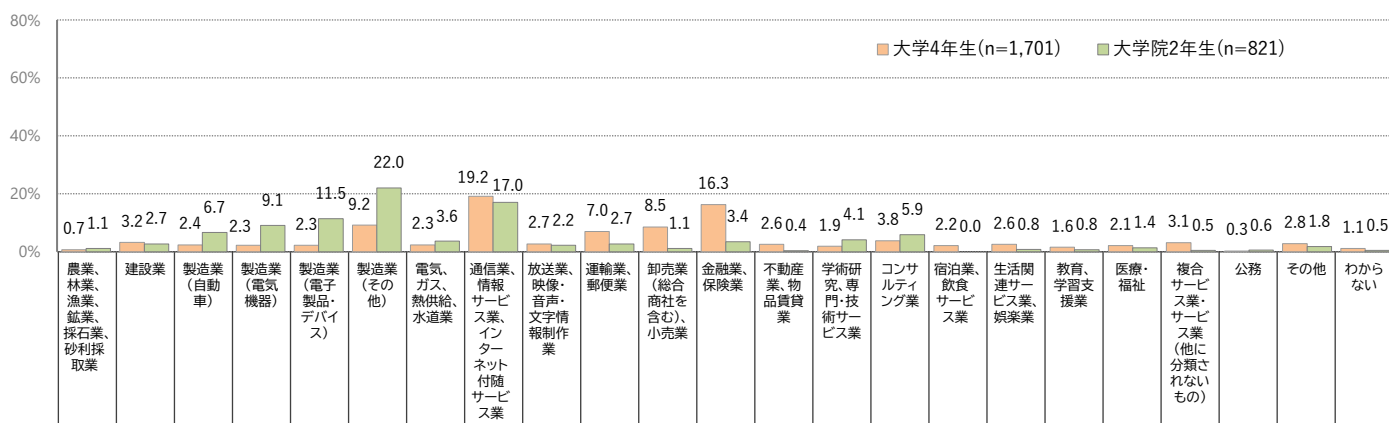
【志望業界・国内企業(複数回答)】



【志望業界・外資系企業(複数回答)】



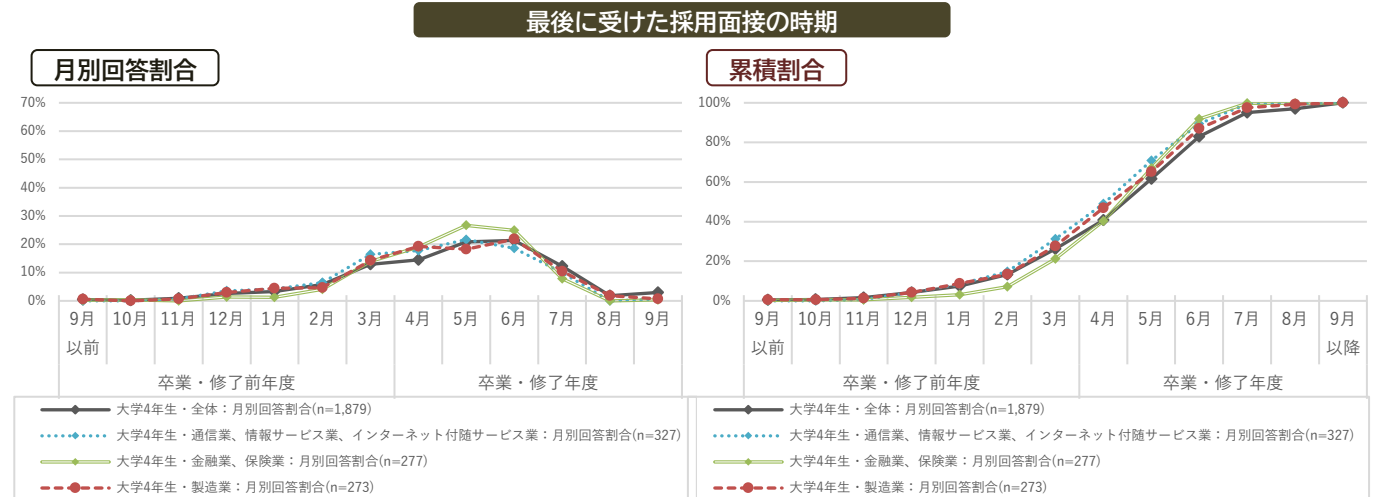
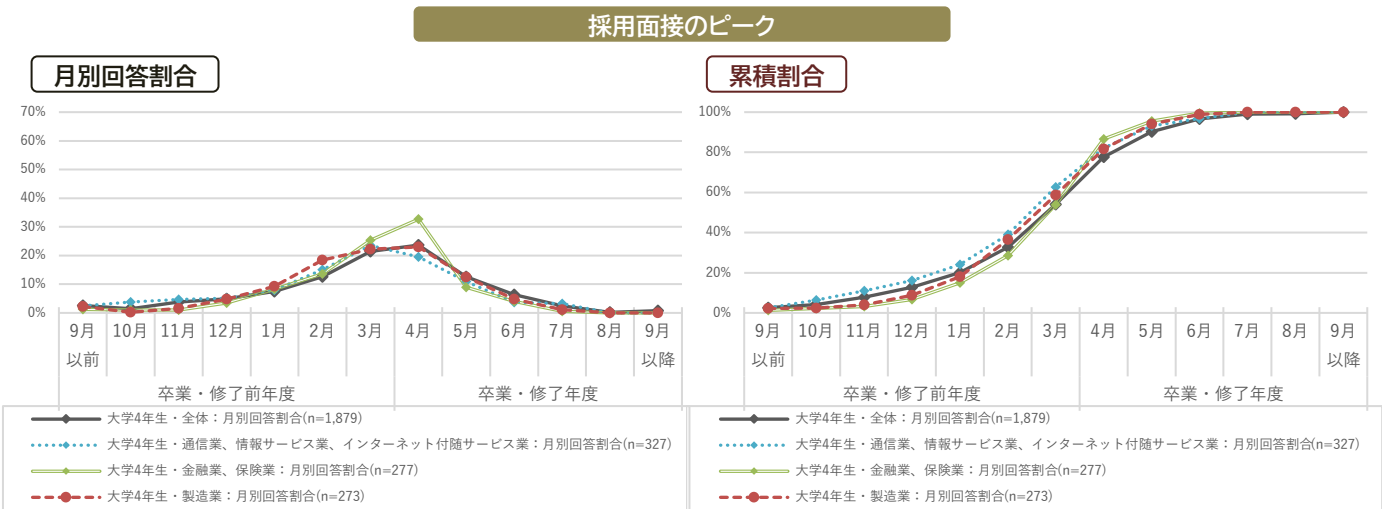
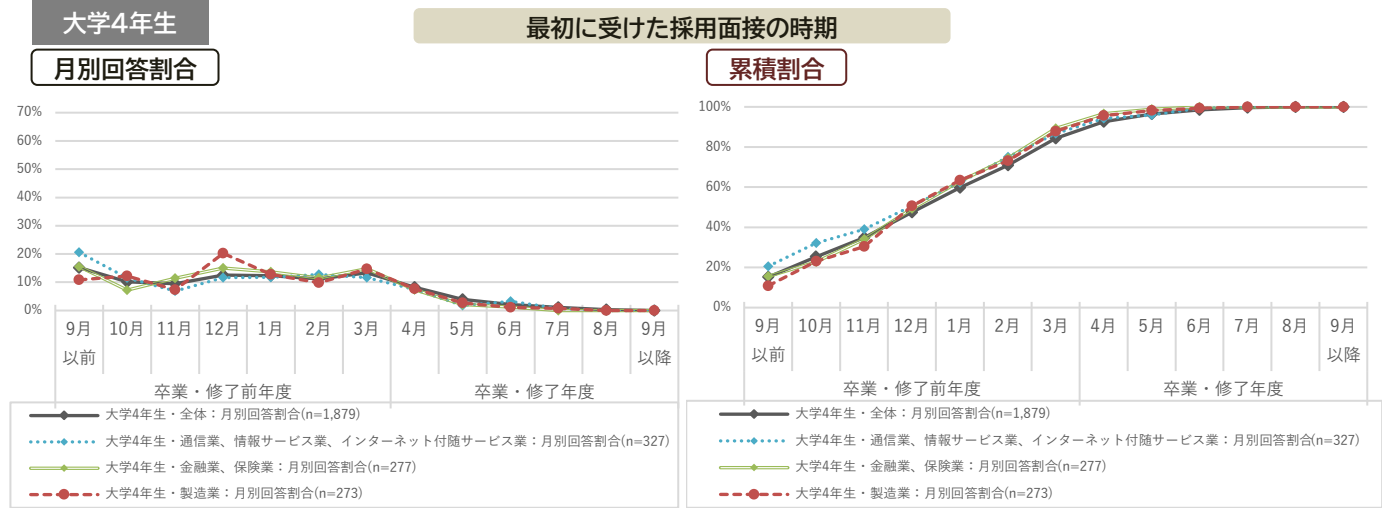
【内々定を受けた就職予定の企業の業界(単数回答)】 ※公務員・教職員志望者除く



※1：【志望業界(複数回答)】の図は志望していた就職先の業界について該当するものをすべて回答してもらったものであるのに対し、【内々定を受けた就職予定の企業の業界】は、就職予定の企業について選択肢よりひとつのみ回答する方式によるものである。

②就職予定の企業の業界別の採用面接の実施状況

就職予定の企業の業界について該当する割合が高い3業種(大学4年生は「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」「金融業、保険業」「製造業※1」、大学院2年生は「製造業」「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」「コンサルティング業)」で、業界別の採用面接の実施状況を集計すると※2、大学4年生では、「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」の者で、「最初」「ピーク」において、早期で回答割合がやや高い時期が見られる。大学院2年生では、「コンサルティング業」「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」の者について、「最初」「ピーク」「最後」のいずれについても、早期で回答割合が高い時期が見られる。特に「コンサルティング業」の者については、早期の回答割合が顕著に高い。



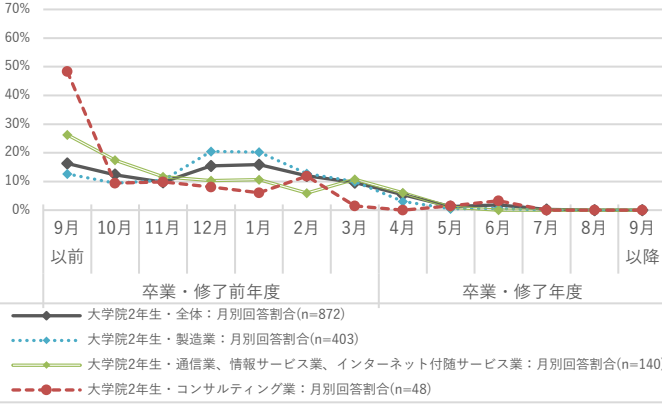
※1：製造業は「製造業（自動車）」「製造業（電気機器）」「製造業（電子製品・デバイス）」「製造業（その他）」を合算している。
 ※2：採用面接について「特段行わなかった」と回答した者は集計の対象外とした。また各学年における全体値は、就職予定企業がある者を対象としているが、公務員や教職員志望者を除いて集計している。

②就職予定の企業の業界別の採用面接の実施状況

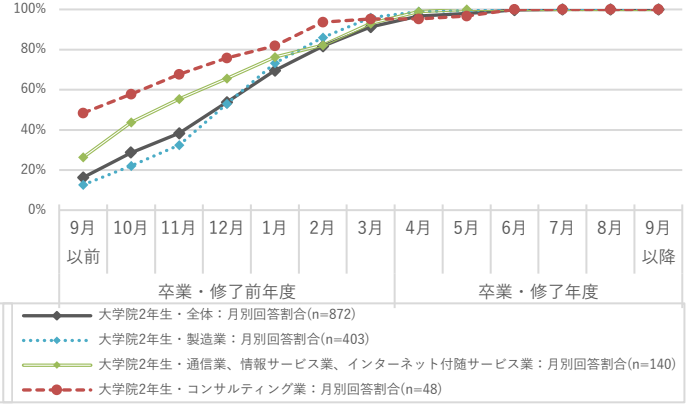
大学院2年生

最初に受けた採用面接の時期

月別回答割合

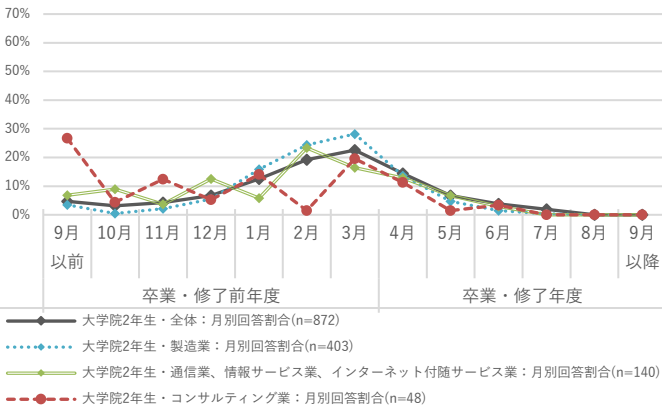


累積割合

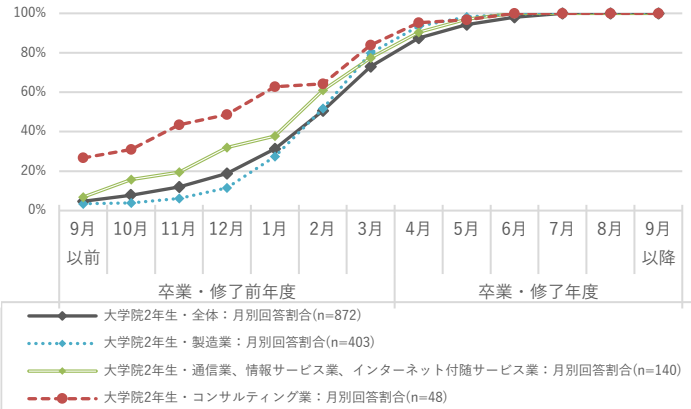


採用面接のピーク

月別回答割合

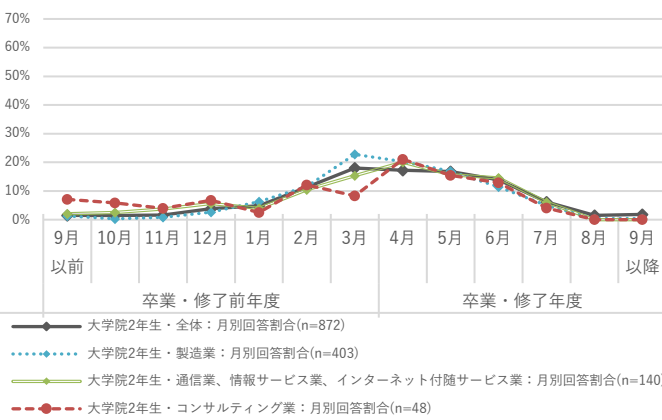


累積割合

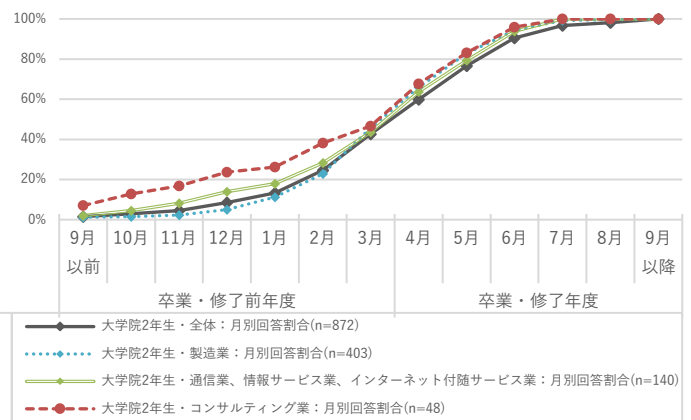


最後に受けた採用面接の時期

月別回答割合



累積割合

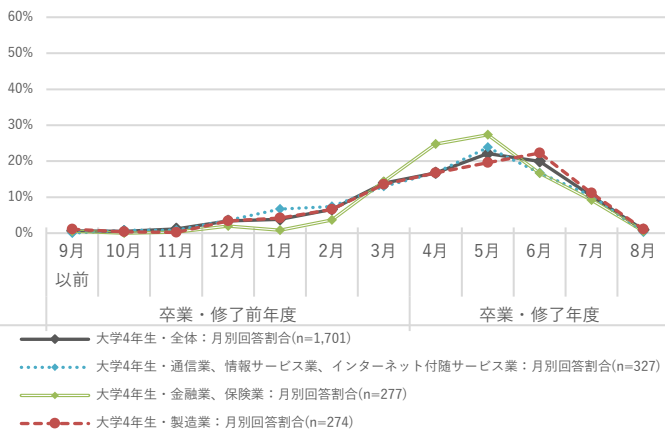


③就職予定の企業の業界別の内々定を受けた時期

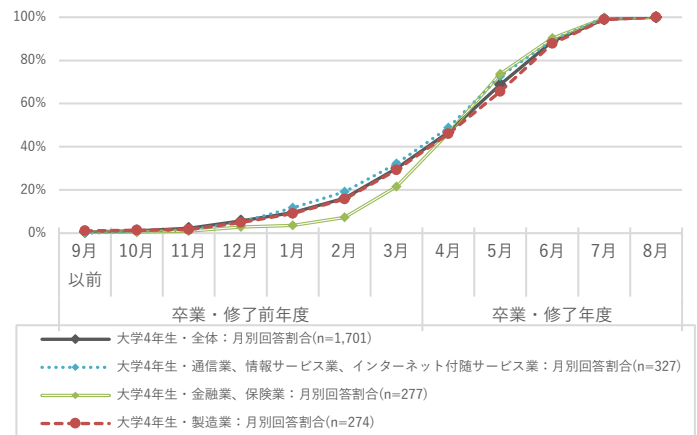
就職予定の企業の業界別に内々定を受けた時期について集計すると※1、大学4年生では、就職予定の企業の業界について該当する割合が高い3業種の中で、全体結果と比較し早い時期に内々定を受けた割合が高い業界はない。大学院2年生では、就職予定の企業の業界が「コンサルティング業」の者で、修了前年度に内々定を受けた割合が、他業界と比較して大幅に高くなっている。

大学4年生

月別回答割合

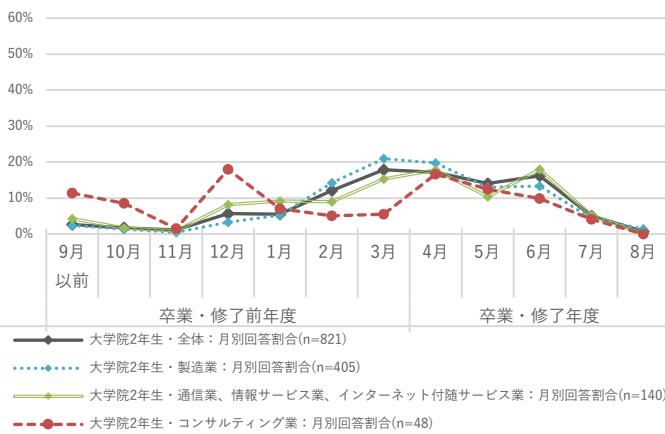


累積割合

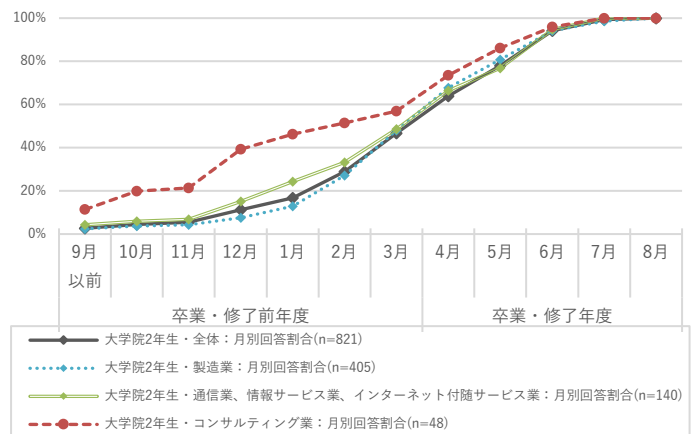


大学院2年生

月別回答割合



累積割合



※1：1社から内々定を受けた者はその時期について、複数社から内々定を受けた者は最初に内々定を受けた時期について集計した。なお、ここでの「内々定」は就職予定の企業のものに限らない。また各学年における全体値は、就職予定企業がある者を対象としているが、公務員や教職員志望者を除いて集計している。

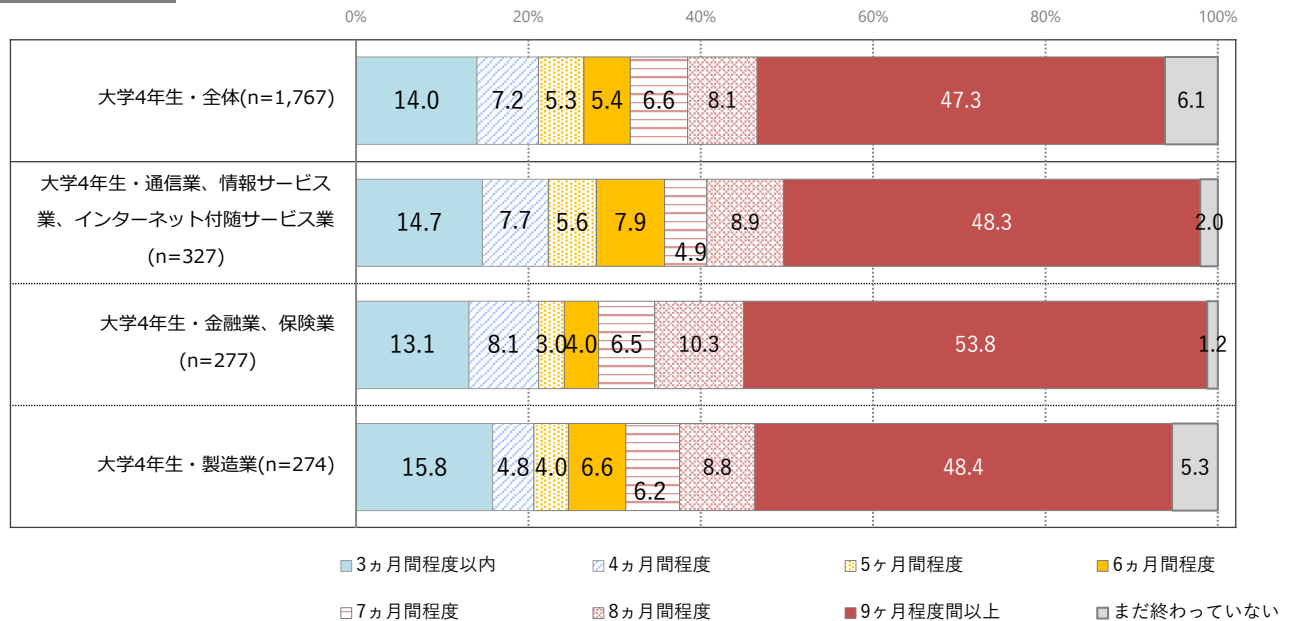
④就職予定の企業の業界別の、就職活動の始まりから終わりまでの期間

就職予定の企業の業界別に、「就職活動が始まったと考える時期」から「就職活動が終わったと考える時期」までの期間を集計すると※1※2※3、大学4年生では就職予定の企業の業界が「金融業、保険業」の者で「9ヶ月間程度以上」の割合が約5割超と、他業界と比べ高くなっている。

大学院2年生では、就職予定の企業の業界について該当する割合が高い3業種において、大きな差はない。

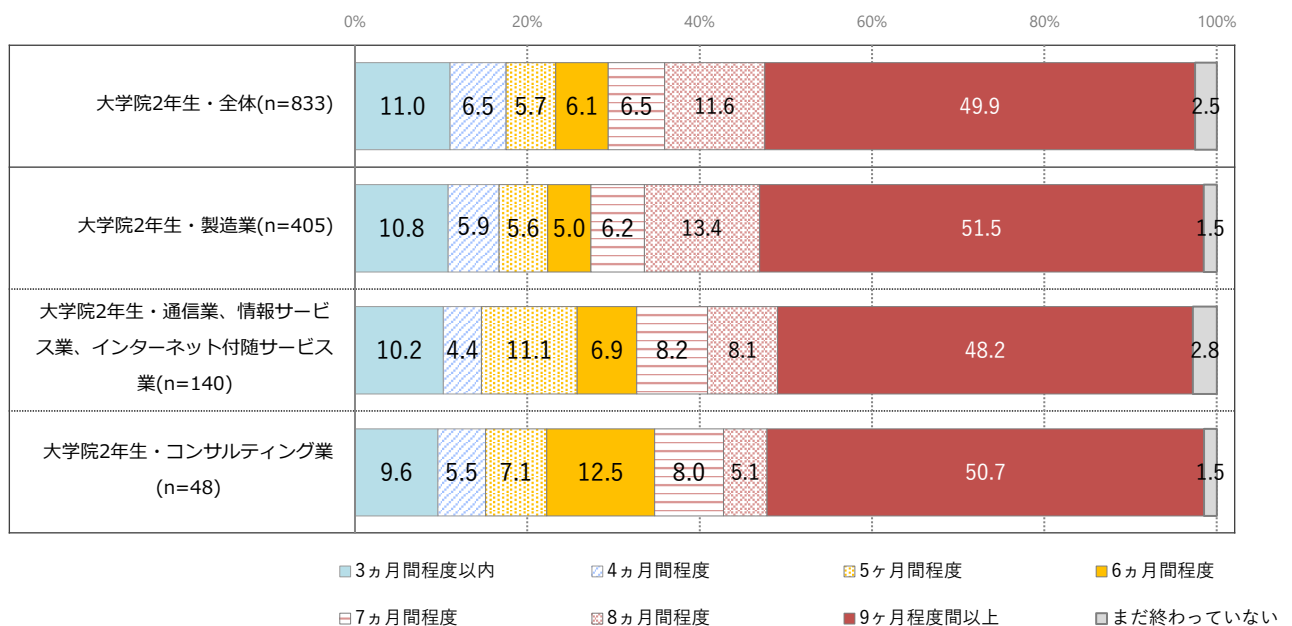
大学4年生

※公務員・教職員志望者除く



大学院2年生

※公務員・教職員志望者除く



※1：「全体」の集計結果は就職予定企業がある者を対象としているが、公務員や教職員志望者を除いて集計したものである。
 ※2：ここでの集計において、「3ヶ月間程度」とは、例えば、「就職活動が始まったと考える時期」が3月、「就職活動が終わったと考える時期」が6月というように、両者の差が3ヶ月であることを意味する。したがって、「1ヶ月間程度」の分類には、最短で2日間、最長で約60日間の場合が含まれる。一方で、「同月内」の場合であっても実質的には最長で30日間である可能性もある。なお、最初と最後の月から計算しており、途中の期間に就職活動を行っていない可能性があるなど、必ずしも就職活動を行っていた実際の期間を意味するものではない点に留意が必要である。
 ※3：就職予定企業があることは就職活動が終わっているとは必ずしも言えないため、就職予定企業がある者でも「まだ終わっていない」は回答可能となっている。

參考資料

【調査票】

◆令和7年度 学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査

注意事項

回答中にブラウザバックは使用しないでください。
回答は、各ページ60分以内に送信をしてください。
JavaScriptおよびCookieを有効にしてください。

推奨ブラウザ

【Windows】

Chrome 最新版

Firefox 最新版

Microsoft Edge 最新版

【MacOS】

Chrome 最新版

Firefox 最新版

Safari 最新版

【Android】

標準ブラウザ（Chrome）最新版

【iOS】

標準ブラウザ（Safari）最新版

Chrome 最新版

【1】あなたご自身についてお聞きします。

[必須]

Q1 あなたの年齢をご記入ください。／歳

※半角整数で記入

歳

[必須]

Q2 あなたの性別を教えてください。(ひとつ)

男性

女性

その他

答えたくない

[必須]

Q3 現在のあなたの学年をお選びください。(ひとつ)

※留学、留年、休学、編入等をされた方で、来年（2026年）3月に卒業・修了をする年次の方については、在学年数等に関わらず、「大学4年生」あるいは「大学院2年生」を選択してください。

※「大学院2年生」とは、修士課程（博士前期課程）2年生を指すこととします。(以下、同様)

大学4年生

大学院2年生

その他

[必須]

Q4 あなたが通っている大学／大学院はどれにあてはまりますか。(ひとつ)

- 国立
- 公立
- 私立

[必須]

Q5 あなたが通っている大学／大学院名をお答えください。例：〇〇大学（直接記入）

[必須]

Q6 あなたが通っている大学／大学院の所在地はどちらですか。(ひとつ)

選択して下さい▼

[必須]

Q7 あなたの出身地はどちらですか。(ひとつ)

※生まれた場所に限らず、実家がある場所など、大学に入学するまでの間、最もつながりがあると考える地域についてお答えください。

選択して下さい▼

[必須]

Q8 あなたの専攻はどれにあてはまりますか。(ひとつ)

- 人文科学（文学、言語学、史学、地理学、哲学、コミュニケーション学、心理学等）
- 社会科学（法学・政治学、商学・経済学、経営学、社会学等）
- 情報（データサイエンス・統計学等）
- 理学（数学、物理学、化学、生物学、地学等）
- 工学（機械工学、電気通信工学、土木建築工学、航空工学等）
- 農学（農学、農業経済学、林学、畜産学、水産学等）
- 保健（保健衛生学、スポーツ・健康医学等）
- 家政（家政学、栄養学、被服学）
- 教育（教育学、教育発達学等）
- 芸術（芸術、デザイン、音楽等）
- その他（教養学、国際関係学、総合科学、一般教養課程等）

【2】就職活動に関する意識・準備についてお聞きします。

[必須]

Q9 あなたは、**来年（2026年）3月**に卒業・修了（予定含む）するにあたり、就職活動（民間企業・官公庁等の職業に就くための活動）を行いましたか。（ひとつ）

※8月1日時点の状況を回答ください。

- 就職活動を行った（終えた）
- 就職活動を行っている（継続している）
- これから就職活動を行う予定である
- 就職活動を行わなかった（行う予定はない）

[必須]

Q10 就職活動の開始予定時期を教えてください。

- 2025年秋
- 2025年冬
- 2026年春
- 卒業・修了後以降

[必須]

Q11 あなたは、現在通っている大学／大学院を卒業・修了後にどのような進路を予定（希望）していますか。既に進路が決まっている場合は、その進路先について選択してください。まだ決まっていない場合などは、希望する進路先について回答してください。（いくつでも）

※例えば現在学部生で、大学院に進学した後に就職することを予定(希望)している場合、ここでは、「進学(国内)」や「海外留学」を選択してください。（院生の博士希望等も同様）

- 民間企業に就職
- 公務員に就職
- 教職員に就職
- NPOに就職
- 自営・家業に就職
- その他の就職
- 進学（国内）
- 海外留学
- 起業する
- 社会人としての経験があり、かつ卒業・修了後に元の職場に復職
- 就職も進学もしない
- まだわからない

[必須]

Q12 就職活動を行うにあたり、志望していた（志望している）就職先の**国内企業**の**業界**を教えてください。
（いくつでも）

※既に就職先が決まっている人であっても、就職活動を行う際に志望していた業界を教えてください。

- 農業、林業、漁業、鉱業、採石業、砂利採取業
- 建設業
- 製造業（自動車）
- 製造業（電気機器）
- 製造業（電子製品・デバイス）
- 製造業（その他）
- 電気、ガス、熱供給、水道業
- 通信業（例：携帯電話）、情報サービス業（例：ソフトウェア業、データベース）、インターネット付随サービス業（例：情報ネットワーク、ウェブ情報検索）
- 放送業（例：テレビ、ラジオ放送）、映像・音声・文字情報制作業（例：新聞社、出版社）
- 運輸業、郵便業
- 卸売業（総合商社を含む）、小売業（例：百貨店、スーパーマーケット）
- 金融業、保険業
- 不動産業、物品賃貸業
- 学術研究、専門・技術サービス業（例：研究所、法律等事務所、広告業等）
- コンサルティング業
- 宿泊業、飲食サービス業
- 生活関連サービス業、娯楽業（例：理美容、旅行、冠婚葬祭、映画、興業、スポーツ等）
- 教育、学習支援業
- 医療・福祉
- 複合サービス業・サービス業（他に分類されないもの）
- 公務
- その他
- 国内企業は志望していなかった・志望していない

[必須]

Q13 就職活動を行うにあたり、志望していた（志望している）就職先の**外資系企業**の**業界**を教えてください。（いくつでも）

※既に就職先が決まっている人であっても、就職活動を行う際に志望していた業界を教えてください。

- 農業、林業、漁業、鉱業、採石業、砂利採取業
- 建設業
- 製造業（自動車）
- 製造業（電気機器）
- 製造業（電子製品・デバイス）
- 製造業（その他）
- 電気、ガス、熱供給、水道業
- 通信業（例：携帯電話）、情報サービス業（例：ソフトウェア業、データベース）、インターネット付随サービス業（例：情報ネットワーク、ウェブ情報検索）
- 放送業（例：テレビ、ラジオ放送）、映像・音声・文字情報制作業（例：新聞社、出版社）
- 運輸業、郵便業
- 卸売業（総合商社を含む）、小売業（例：百貨店、スーパーマーケット）
- 金融業、保険業
- 不動産業、物品賃貸業
- 学術研究、専門・技術サービス業（例：研究所、法律等事務所、広告業等）
- コンサルティング業
- 宿泊業、飲食サービス業
- 生活関連サービス業、娯楽業（例：理美容、旅行、冠婚葬祭、映画、興業、スポーツ等）
- 教育、学習支援業
- 医療・福祉
- 複合サービス業・サービス業（他に分類されないもの）
- 公務
- その他
- 外資系企業は志望していなかった・志望していない

[必須]

Q14 あなたが、就職先を決めるにあたって重視しているものを教えてください。(いくつでも)

※その他の場合はその内容について記載してください。

<input type="checkbox"/>	企業等の安定性
<input type="checkbox"/>	企業等の成長可能性
<input type="checkbox"/>	知名度が高い
<input type="checkbox"/>	給与や賞与が高い／手当や社会保障が充実
<input type="checkbox"/>	残業が少なく、休暇が取れるなどのワークライフバランス
<input type="checkbox"/>	リモートワーク・在宅勤務が選択可能
<input type="checkbox"/>	兼業・副業が認められている
<input type="checkbox"/>	正社員として働ける
<input type="checkbox"/>	性別等関係なく活躍できる
<input type="checkbox"/>	育児休業や保育所などの両立支援の充実
<input type="checkbox"/>	地元(出身地)で働ける
<input type="checkbox"/>	希望する勤務地で働ける
<input type="checkbox"/>	職場の雰囲気良さそう
<input type="checkbox"/>	自分の能力や専門性を生かせる
<input type="checkbox"/>	自分の能力を高めキャリアアップにつなげられる
<input type="checkbox"/>	自分のやりたい仕事ができる。(やりがいがあることを含む)
<input type="checkbox"/>	社会貢献度が高い
<input type="checkbox"/>	若者の採用・育成に積極的である
<input type="checkbox"/>	その他 <input type="text"/>

[必須]

Q15 就職活動は、主にどの地域で行いましたか。(それぞれひとつずつ)

※複数の地域で活動された場合は、主に活動した都道府県を順に3つまで回答してください。

※オンラインで行った場合は「会社の所在地(勤務地)」について選択してください。

地域1

地域2

地域3

<<政府が経済団体等に要請している、いわゆる「就活日程ルール」について>>

現在の大学4年生、大学院2年生等の就職・採用活動時期については、

2024年度と同様に、**広報活動は3月1日以降**、**採用選考活動は6月1日以降**に開始することとされました。

[必須]

Q16 あなたは就職活動を開始するにあたり、就職・採用活動の時期（就活日程ルール）が2024年度と同様の日程（**広報活動は3月1日以降**、**採用選考活動は6月1日以降**など）で行われることについて、知っていましたか。（それぞれひとつ）

		よく知っていた	ある程度知っていた	聞いたことはあるがあまりよく知らなかった	知らなかった
広報活動は3月1日以降	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
採用選考活動は6月1日以降	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
正式内定は10月1日以降	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

[必須]

Q17 就職・採用活動開始時期（就活日程ルール）（**広報活動開始：卒業・修了年度に入る直前の3月1日以降**、**採用選考活動開始：卒業・修了年度の6月1日以降**）について、どう考えますか。（それぞれひとつ）

※その他の場合はその内容について記載してください。

		ルールは必要だが、現在の開始時期より早い方がよい	ルールは必要だが、現在の開始時期がよい	ルールは必要でない	その他
広報活動は3月1日以降	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
採用選考活動は6月1日以降	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
正式内定は10月1日以降	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

[必須]

Q18 就職・採用活動時期に関し、2024年度と同様の時期に設定された（広報活動は本年3月1日以降、採用選考活動は本年6月1日以降に開始）ことについて、あなたはどのように思いますか。（それぞれひとつずつ）

		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらでもない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
先輩の体験など、昨年の就職活動の情報を参考にすることができた	→	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
どの時期にどのような就職活動をするか予定をたてやすく準備・行動ができた	→	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
就職活動期間が比較的短期間で済んだ	→	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
大学・大学院の試験（※定期試験など）を始め、学修・研究に落ち着いて取り組むことができた	→	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
卒業論文（研究）・修士論文（研究）に早い時期から取り組むことができた	→	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
夏の暑い時期に就職活動を行わなくて済んだ	→	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
ボランティア、部活動、クラブやサークル活動など課外活動に取り組む機会を充実することができた	→	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
企業研究や就職先の選択のための時間が十分確保できた	→	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
面接などの選考活動を早期に開始する企業があったが、混乱せずに対応できた	→	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

[3] 「インターンシップと呼称されるもの（それ以外のキャリア形成支援は除く）」についてお聞きます。

[必須]

Q19 あなたは大学／大学院に入学以後、これまでに「**インターンシップと呼称されるもの**」に参加したことがありますか。参加したことがある方は、何日間のものに参加しましたか。（いくつでも）

※それぞれの日数に対して参加したかしていないかをチェック、参加した場合はこのあとの設問で件数を半角整数で記入。

※「半日」は、「半日以下」のものも含まれます。

※一度も参加していない方は、全ての項目について「参加していない」をお選びください。

回答方向→		参加した	参加していない
半日	→	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
1日	→	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
2日	→	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
3～4日	→	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
5～10日	→	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
11～15日	→	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
16日以上	→	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

[必須]

Q19_2 前問で参加したとお答えになった「インターンシップと呼称されるもの」のそれぞれの日数に対して件数を半角整数で記入してください。

※同一企業であったとしても、複数参加した場合は参加回数を件数としてご記入ください。

半日	<input type="text"/>	件
1日	<input type="text"/>	件
2日	<input type="text"/>	件
3～4日	<input type="text"/>	件
5～10日	<input type="text"/>	件
11～15日	<input type="text"/>	件
16日以上	<input type="text"/>	件
トータル参加件数	<input type="text" value="0"/>	件

[必須]

Q20 あなたは、どのような基準で参加した「インターンシップと呼称されるもの」を選択しましたか。当てはまるものを選択ください。(いくつでも)

- 業界・業種への理解を深められるプログラムだから
- 就職先として興味・関心を抱いている企業であったから
- 学業に役立つプログラムだから
- 社会人として必要なスキルや能力が身につくから
- そのまま採用選考につながるプログラムだから
- 給料が出るから（給料が他と比べても良いから）
- その他

[必須]

Q21 あなたが参加した「インターンシップと呼称されるもの」について、「対面のみでの実施」、「ウェブ等のみでの実施」、「対面とウェブ等の両方での実施」は何件程度ありましたか。(半角整数で記入)

- ※それぞれ、件数を半角整数で記入
- ※「半日」は、「半日以下」のものも含みます
- ※企業の業務内容の説明や職場見学のみのものは含まれません。
- ※「0」件の場合は「0」と入力してください。

トータルで [] 件参加と回答

		対面のみでの実施	ウェブ等のみでの実施	対面とウェブ等の両方での実施
半日 【[回答：Q19_2.c1]】件参加と回答	→	<input type="text"/> 件	<input type="text"/> 件	<input type="text"/> 件
1日 【[回答：Q19_2.c2]】件参加と回答	→	<input type="text"/> 件	<input type="text"/> 件	<input type="text"/> 件
2日 【[回答：Q19_2.c3]】件参加と回答	→	<input type="text"/> 件	<input type="text"/> 件	<input type="text"/> 件
3～4日 【[回答：Q19_2.c4]】件参加と回答	→	<input type="text"/> 件	<input type="text"/> 件	<input type="text"/> 件
5～10日 【[回答：Q19_2.c5]】件参加と回答	→	<input type="text"/> 件	<input type="text"/> 件	<input type="text"/> 件
11～15日 【[回答：Q19_2.c6]】件参加と回答	→	<input type="text"/> 件	<input type="text"/> 件	<input type="text"/> 件
16日以上 【[回答：Q19_2.c7]】件参加と回答	→	<input type="text"/> 件	<input type="text"/> 件	<input type="text"/> 件

[必須]

Q22 あなたが参加した「インターンシップと呼称されるもの」で、**就業体験**を行ったものは何件ぐらいでしたか。そのうち**有給**のものは何件ぐらいでしたか。

- ※それぞれ、件数を半角整数で記入。
- ※「半日」は、「半日以下」のものも含みます。
- ※企業の業務内容の説明や職場見学のみのものは含まれません。
- ※「0」件の場合は「0」と入力してください。

		A.就業体験	B.うち有給
半日 【[回答：Q19_2.c1]】件参加と回答	→	<input type="text"/> 件	<input type="text"/> 件
1日 【[回答：Q19_2.c2]】件参加と回答	→	<input type="text"/> 件	<input type="text"/> 件
2日 【[回答：Q19_2.c3]】件参加と回答	→	<input type="text"/> 件	<input type="text"/> 件
3～4日 【[回答：Q19_2.c4]】件参加と回答	→	<input type="text"/> 件	<input type="text"/> 件
5～10日 【[回答：Q19_2.c5]】件参加と回答	→	<input type="text"/> 件	<input type="text"/> 件
11～15日 【[回答：Q19_2.c6]】件参加と回答	→	<input type="text"/> 件	<input type="text"/> 件
16日以上 【[回答：Q19_2.c7]】件参加と回答	→	<input type="text"/> 件	<input type="text"/> 件

[必須]

Q23 あなたが参加した「**インターンシップと呼称されるもの**」は、**採用のための実質的な選考を行う活動**や**採用活動等への案内**を含んでいたものは何件ありましたか。

※それぞれ、件数を半角整数で記入。

※「半日」は、「半日以下」のものも含まれます。

※「採用のための実質的な選考を行う活動」とは、以下の内容等を含みます。

- ・「インターンシップと呼称されるもの」への参加が採用面接等を受けるための必須条件になっていた
- ・「インターンシップと呼称されるもの」の結果が内々定の獲得に影響していた

※「0」件の場合は「0」と入力してください。

半日		件
【[回答：Q19_2.c1]】 件参加と回答	<input type="text"/>	
1日		件
【[回答：Q19_2.c2]】 件参加と回答	<input type="text"/>	
2日		件
【[回答：Q19_2.c3]】 件参加と回答	<input type="text"/>	
3～4日		件
【[回答：Q19_2.c4]】 件参加と回答	<input type="text"/>	
5～10日		件
【[回答：Q19_2.c5]】 件参加と回答	<input type="text"/>	
11～15日		件
【[回答：Q19_2.c6]】 件参加と回答	<input type="text"/>	
16日以上		件
【[回答：Q19_2.c7]】 件参加と回答	<input type="text"/>	

[必須]

Q24 「**インターンシップと呼称されるもの**」に参加後に、**参加者を対象とした**採用説明会・採用面接等のアプローチを受けましたか。(当てはまるもの全て)

- 採用説明会、セミナーに参加した（2025年2月以前に開催されたもの）
- 採用説明会、セミナーに参加した（2025年3月以降に開催されたもの）
- 採用試験、面接等を受けた（2025年5月以前に実施されたもの）
- 採用試験、面接等を受けた（2025年6月以降に実施されたもの）
- 早期選考の案内
- 人事・リクルーターからの接触
- エントリーの案内
- 内々定（「インターンシップと呼称されるもの」からの採用直結であり、2025年5月以前に受けたもの）
- その他
- 「インターンシップと呼称されるもの」の参加者を対象とした採用に関わるものは何も受けていない

[必須]

Q25 あなたが参加した「インターンシップと称されるもの」のうち、**学業（授業）への影響**のあったものは、何件ぐらいありましたか。

※それぞれ、件数を半角整数で記入。

※「半日」は、「半日以下」のものも含まれます。

※授業の欠席を伴ったものなど、具体的に影響があったものをお答えください。

※「0」件の場合は「0」と入力してください。

半日		件
【[回答：Q19_2.c1]】件参加と回答	<input type="text"/>	
1日		件
【[回答：Q19_2.c2]】件参加と回答	<input type="text"/>	
2日		件
【[回答：Q19_2.c3]】件参加と回答	<input type="text"/>	
3～4日		件
【[回答：Q19_2.c4]】件参加と回答	<input type="text"/>	
5～10日		件
【[回答：Q19_2.c5]】件参加と回答	<input type="text"/>	
11～15日		件
【[回答：Q19_2.c6]】件参加と回答	<input type="text"/>	
16日以上		件
【[回答：Q19_2.c7]】件参加と回答	<input type="text"/>	

[必須]

Q26 「インターンシップと称されるもの」に参加した時期はいつですか。時期別の参加状況について教えてください。（それぞれいくつでも）

回答方向→		4月 ～ 6月	7月 ～ 9月	10月 ～ 12月	1月 ～ 3月	左記の期間には 参加していない
大学1年生	→	■	■	■	■	■
大学2年生	→	■	■	■	■	■
大学3年生	→	■	■	■	■	■
大学4年生	→	■	■	■	■	■
大学院1年生	→	■	■	■	■	■
大学院2年生	→	■	■	■	■	■

[必須]

Q27 あなたが参加した「インターンシップと称されるもの」のうち、期間が「最も長かったもの」に関して、参加してどのような効果があったと感じますか。(ひとつ)

回答方向→

			そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
良い影響	業界・業種を理解することができた	→	●	●	●	●
	仕事の内容を具体的に知ることができた	→	●	●	●	●
	会社の雰囲気を理解することができた	→	●	●	●	●
	自分の将来設計（キャリアプラン）を考えるのに役だった	→	●	●	●	●
	日頃の学修への意欲が上がった	→	●	●	●	●
悪い影響	専門分野における知識、スキルや能力が身についた	→	●	●	●	●
	学業に支障が生じた	→	●	●	●	●
その他	部活動・サークル活動・アルバイトに支障が生じた	→	●	●	●	●
	参加した企業から、その企業の採用選考に関する詳細な情報を聞くことができた	→	●	●	●	●
	「インターンシップと称されるもの」への参加者に対して企業説明会等（広報活動）の案内があった	→	●	●	●	●
	「インターンシップと称されるもの」への参加者に対して採用試験・面接等（採用選考活動）の案内があった	→	●	●	●	●
	採用選考の際のプロセスが一部省略されるなど、採用選考上の優遇が受けられた	→	●	●	●	●
	参加した企業から内々定を受けることにつながった	→	●	●	●	●

【4】新型コロナウイルス感染症による就職活動への影響についてお聞きします。

[必須]

Q28 あなたの就職活動全般について、新型コロナウイルス感染症によって影響を受けたと思いますか。(ひとつ)

- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらでもない
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない

【5】就職活動における各活動の参加時期についてお聞きします。

[必須]

Q29 企業説明会やセミナー等について、最初に参加した時期、参加のピーク、最後に参加した時期は、それぞれいつ頃でしたか。(ひとつずつ)

※いわゆる就職相談会、キャリアセミナー等の「採用を目的としない」説明会も含めて、お答えください。(採用を目的としない説明会等の例：就職活動の準備に関する説明会、キャリアセミナー・マナー講座、自己啓発セミナー等)

※まだ時期を迎えていないと考えるものがある場合には、「9月以降(予定)」を選択してください。

【①企業説明会・セミナー等】

回答方向→	2024年							2025年							9月以降(予定)	まだ参加していない・参加する予定もない		
	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月			8月	
最初に参加した企業の時期	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	-	<input type="radio"/>
参加のピーク	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
最後に参加した時期	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

[必須]

Q30 「採用を目的とした」企業説明会やセミナー等について、最初に参加した時期、参加のピークは、それぞれいつ頃でしたか。(ひとつずつ)

※先ほどの企業説明会やセミナー等の参加の回答を踏まえ、採用スケジュールなど採用に関する情報が発信されていた説明会・セミナー等や、その後の選考プロセスにおいて参加が必須であった説明会・セミナー等に限り、お答えください。

※当設問の趣旨は、いわゆる相談会等の採用を目的としない説明会を除いた活動の実態把握となります。(採用を目的としない説明会等の例：就職活動の準備に関する説明会、キャリアセミナー・マナー講座、自己啓発セミナー等)

※まだ時期を迎えていないと考えるものがある場合には、「9月以降(予定)」を選択してください。

回答方向→	2024年							2025年							9月以降(予定)	まだ参加していない・参加する予定もない		
	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月			8月	
最初に参加した企業の時期	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	-	<input type="radio"/>
参加のピーク	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

[必須]

Q31 最初に参加した**企業説明会やセミナー等**について、どのような経路で参加しましたか。(いくつでも)

- ※**リクルーター**…学生と個別に接点を持ち自社のことをアピールしたり、採用選考の案内や助言をしたりする社員のこと。
- ※**リファラル採用**…企業が求人媒体等を通して広く募集するのではなく、自社社員から知り合いや後輩の学生を紹介・推薦してもらう形で採用選考方法のこと。
- ※**スカウト型のウェブサイト**…学生が登録した情報を参照して、会社側から学生にアプローチする形式の就職・採用に関するサイトのこと。逆求人型サイトともいう。
- ※**新卒エージェント**…登録すると担当者がつき、就職活動の相談・助言をしたり求人を紹介したりしてくれる民間サービスのこと。

※その他の場合はその内容について記載してください。

- ウェブサイト等からのエントリー等 (当該企業のHP、就活支援サイトなど)
- 「インターンシップと称されるもの」に参加した会社側からの案内 (人事、リクルーター、大学のOB/OG、リファラル採用等)
- 「インターンシップと称されるもの」に参加していない会社側からの案内 (人事、リクルーター、大学のOB/OG、リファラル採用等)
- スカウト型のウェブサイトを通じた会社側からの案内
- 大学の就職支援担当課、キャリアセンターからの紹介
- 新卒エージェントからの紹介
- その他

[必須]

Q32 **エントリーシート提出**について、最初に提出した時期、提出のピーク、最後に提出した時期は、それぞれいつ頃でしたか。(ひとつずつ)

※まだ時期を迎えていないと考えるものがある場合には、「9月以降 (予定)」を選択してください。

	2024年							2025年							9月以降 (予定)	まだ提出していない・提出する予定もない	
	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月			8月
回答方向→																	
最初に提出した企業の時期	→	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	●
提出のピーク	→	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
最後に提出した時期	→	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

[必須]

Q33 **採用面接**について、最初に受けた時期、採用面接のピーク、最後に受けた時期は、それぞれいつ頃でしたか。(ひとつずつ)

※まだ時期を迎えていないと考えるものがある場合には、「9月以降 (予定)」を選択してください。

	2024年							2025年							9月以降 (予定)	まだ参加していない・参加する予定もない	
	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月			8月
回答方向→																	
最初に受けた時期	→	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	●
ピーク	→	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
最後に受けた時期	→	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

[必須]

Q34 最初に参加した「採用面接」について、どのような経路で案内・紹介を受けましたか。(いくつでも)

- ※リクレーター…学生と個別に接点を持ち自社のことをアピールしたり、採用選考の案内や助言をしたりする社員のこと。
- ※リファラル採用…企業が求人媒体等を通して広く募集するのではなく、自社社員から知り合いや後輩の学生を紹介・推薦してもらう形で行う採用選考方法のこと。
- ※スカウト型のウェブサイト…学生が登録した情報を参照して、会社側から学生にアプローチする形式の就職・採用に関するサイトのこと。逆求人型サイトともいう。
- ※新卒エージェント…登録すると担当者がつき、就職活動の相談・助言をしたり求人を紹介したりしてくれる民間サービスのこと。

※その他の場合はその内容について記載してください。

- ウェブサイト等からのエントリー等 (当該企業のHP、就活支援サイトなど)
- 「インターンシップと呼称されるもの」に参加した会社側からの案内 (人事、リクレーター、大学のOB/OG、リファラル採用等)
- 「インターンシップと呼称されるもの」に参加していない会社側からの案内 (人事、リクレーター、大学のOB/OG、リファラル採用等)
- スカウト型のウェブサイトを通じた会社側からの案内
- 大学の就職支援担当課、キャリアセンターからの紹介
- 新卒エージェントからの紹介
- その他

[必須]

Q35 最初に内々定を受けたのはいつ頃ですか。また、就職予定の企業の内々定を受けたのはいつ頃ですか。実質的に内々定を受けたと感じた時期についてお答えください。(ひとつずつ)

※内々定：正式な「内定」の前の、企業と形式的に内々に合意したものの。

【④内々定】

回答方向→	2024年							2025年							まだ受けていない	
	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月		8月
最初の内々定 →	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
就職予定の企業の内々定 →	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

◆就職活動における「エントリーシート提出」についてお聞きします。

[必須]

Q36 あなたはエントリーシートを何社に提出しましたか。(半角整数で記入)

社程度

◆就職活動における「採用面接」についてお聞きします。

[必須]

Q37 合計で何社の企業の採用面接を受けましたか。(半角整数で記入)

社程度

[必須]

Q38 採用面接について、「対面のみでの実施」、「ウェブ等のみでの実施」、「対面とウェブ等の両方での実施」は何社程度ありましたか。(半角整数で記入)

※「0」件の場合は「0」と入力してください。

トータルで 社実施と回答

対面のみでの実施→ 社程度

ウェブ等のみでの実施→ 社程度

対面とウェブ等の両方での実施→ 社程度

[必須]

Q39 秋・冬採用や**通年採用**などといった機会の提供や情報発信は、企業からあなたに対してなされていたか。(ひとつ)

- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない
- わからない

[必須]

Q40 今後採用面接を受ける予定の企業はどの程度ありますか。／社程度 (半角整数で記入)

※「0」件の場合は「0」と入力してください。

社程度

◆就職活動における「内々定」についてお聞きます。

[必須]

Q41 2025年8月1日までに、あなたは何社から**内々定**を受けましたか。(ひとつ)

※内々定：正式な「内定」の前の、企業と形式的に内々に合意したもの。

- 1社から内々定を受けた
- 複数社から内々定を受けた→ 社

[必須]

Q42 最初に内々定を受けた企業の企業規模（従業員数）を教えてください。（ひとつ）

- 99人以下
- 100人~299人
- 300人~999人
- 1,000人~4,999人
- 5,000人~9,999人
- 10,000人以上
- わからない

[必須]

Q43 最初に内々定を受けた企業は、下記のうちどれに当てはまりますか。（ひとつ）

※ベンチャー企業・新興企業であって、独自のアイデアや技術で新しいサービスやビジネスに挑戦している企業

- 国内企業（ベンチャー企業）
- 国内企業（ベンチャー企業以外）
- 外資系企業
- わからない

[必須]

Q44 **最初に内々定を受けた企業の業界を教えてください。(ひとつ)**

- 農業、林業、漁業、鉱業、採石業、砂利採取業
- 建設業
- 製造業（自動車）
- 製造業（電気機器）
- 製造業（電子製品・デバイス）
- 製造業（その他）
- 電気、ガス、熱供給、水道業
- 通信業（例：携帯電話）、情報サービス業（例：ソフトウェア業、データベース）、インターネット付随サービス業（例：情報ネットワーク、ウェブ情報検索）
- 放送業（例：テレビ、ラジオ放送）、映像・音声・文字情報制作業（例：新聞社、出版社）
- 運輸業、郵便業
- 卸売業（総合商社を含む）、小売業（例：百貨店、スーパーマーケット）
- 金融業、保険業
- 不動産業、物品賃貸業
- 学術研究、専門・技術サービス業（例：研究所、法律等事務所、広告業等）
- コンサルティング業
- 宿泊業、飲食サービス業
- 生活関連サービス業、娯楽業（例：理美容、旅行、冠婚葬祭、映画、興業、スポーツ等）
- 教育、学習支援業
- 医療・福祉
- 複合サービス業・サービス業（他に分類されないもの）
- 公務
- その他
- わからない

[必須]

Q45 最初に内々定を受けた企業の職種を教えてください。(ひとつ)

- 法務
- 営業
- 販売
- 商品企画、商品開発
- 広報、PR、IR
- 知的財産マネジメント
- 研究・設計開発
- 調査、マーケティング
- コンサルタント
- デザイナー
- IT/通信系エンジニア
- 生産技術(金属・化学・土木・建築)
- その他
- わからない

[必須]

Q46 最初に内々定を受けた企業について、どのような経路で採用試験・面接等を受けましたか。(いくつでも)

※その他の場合はその内容について記載してください。

- ※**リクレーター**…学生と個別に接点を持ち自社のことをアピールしたり、採用選考の案内や助言をしたりする社員のこと。
- ※**リファラル採用**…企業が求人媒体等を通して広く募集するのではなく、自社社員から知り合いや後輩の学生を紹介・推薦してもらう形で行う採用選考方法のこと。
- ※**スカウト型のウェブサイト**…学生が登録した情報を参照して、会社側から学生にアプローチする形式の就職・採用に関するサイトのこと。逆求人型サイトともいう。
- ※**新卒エージェント**…登録すると担当者がつき、就職活動の相談・助言をしたり求人を紹介したりしてくれる民間サービスのこと。

- ウェブサイト等からのエントリー等(当該企業のHP、就活支援サイトなど)
- 「インターンシップと称されるもの」に参加した会社側からの案内(人事、リクレーター、大学のOB/OG、リファラル採用等)
- 「インターンシップと称されるもの」に参加していない会社側からの案内(人事、リクレーター、大学のOB/OG、リファラル採用等)
- スカウト型のウェブサイトを通じた会社側からの案内
- 大学の就職支援担当課、キャリアセンターからの紹介
- 新卒エージェントからの紹介
- その他

[必須]

Q47 就職予定の企業の企業規模（従業員数）を教えてください。（ひとつ）

- 99人以下
- 100人-299人
- 300人-999人
- 1,000人-4,999人
- 5,000人-9,999人
- 10,000人以上
- わからない

[必須]

Q48 就職予定の企業は、下記のうちどれに当てはまりますか。（ひとつ）

※ベンチャー企業・・新興企業であって、独自のアイデアや技術で新しいサービスやビジネスに挑戦している企業

- 国内企業（ベンチャー企業）
- 国内企業（ベンチャー企業以外）
- 外資系企業
- わからない

[必須]

Q49 就職予定の企業の業界を教えてください。(ひとつ)

- 農業、林業、漁業、鉱業、採石業、砂利採取業
- 建設業
- 製造業（自動車）
- 製造業（電気機器）
- 製造業（電子製品・デバイス）
- 製造業（その他）
- 電気、ガス、熱供給、水道業
- 通信業（例：携帯電話）、情報サービス業（例：ソフトウェア業、データベース）、インターネット付随サービス業（例：情報ネットワーク、ウェブ情報検索）
- 放送業（例：テレビ、ラジオ放送）、映像・音声・文字情報制作業（例：新聞社、出版社）
- 運輸業、郵便業
- 卸売業（総合商社を含む）、小売業（例：百貨店、スーパーマーケット）
- 金融業、保険業
- 不動産業、物品賃貸業
- 学術研究、専門・技術サービス業（例：研究所、法律等事務所、広告業等）
- コンサルティング業
- 宿泊業、飲食サービス業
- 生活関連サービス業、娯楽業（例：理美容、旅行、冠婚葬祭、映画、興業、スポーツ等）
- 教育、学習支援業
- 医療・福祉
- 複合サービス業・サービス業（他に分類されないもの）
- 公務
- その他
- わからない

[必須]

Q50 就職予定の企業について、どのような経路で採用試験・面接等を受けましたか。(いくつでも)

※その他の場合はその内容について記載してください。

- ※**リクルーター**…学生と個別に接点を持ち自社のことをアピールしたり、採用選考の案内や助言をしたりする社員のこと。
- ※**リファラル採用**…企業が求人媒体等を通して広く募集するのではなく、自社社員から知り合いや後輩の学生を紹介・推薦してもらう形で行う採用選考方法のこと。
- ※**スカウト型のウェブサイト**…学生が登録した情報を参照して、会社側から学生にアプローチする形式の就職・採用に関するサイトのこと。逆求人型サイトともいう。
- ※**新卒エージェント**…登録すると担当者がつき、就職活動の相談・助言をしたり求人を紹介したりしてくれる民間サービスのこと。

- ウェブサイト等からのエントリー等（当該企業のHP、就活支援サイトなど）
- 「インターンシップと称されるもの」に参加した会社側からの案内（人事、リクルーター、大学のOB/OG、リファラル採用等）
- 「インターンシップと称されるもの」に参加していない会社側からの案内（人事、リクルーター、大学のOB/OG、リファラル採用等）
- スカウト型のウェブサイトを通じた会社側からの案内
- 大学の就職支援担当課、キャリアセンターからの紹介
- 新卒エージェントからの紹介
- その他

[必須]

Q51 就職予定の企業の採用選考に応募した時点であなたが志望していた企業のすべてを思い返してください。あなたの就職予定の企業は、**第一志望の企業でしたか。または、志望度が高い企業の一つ**でしたか。(ひとつ)

- 第一志望の企業だった
- 志望度が高い企業の一つだった
- その時点では強く志望していなかった
- 覚えていない

[必須]

Q52 内々定（内定）を受けた企業に**内々定（内定）を辞退**したことはありますか。(ひとつ)

※**内々定**：正式な「内定」の前の、企業と形式的に内々に合意したもの。

- はい
- いいえ

[必須]

Q53 就職予定の企業は、**最初に内々定**を受けた企業ですか。(ひとつ)

※**内々定**：正式な「内定」の前の、企業と形式的に内々に合意したもの。

- はい
- いいえ

特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）についてお伺いします。

<<特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）について>>

ここでは、以下のとおりとします。

- ・特定の職務等に限定した採用。入社後の職務内容を確定。または、
- ・入社後に従事する仕事が決まっており、その仕事を遂行できる人材を採用するため、応募者の専門能力を重視する。

[必須]

Q54 「**特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）**」について、**現時点までに**あなたは**就活経験**がありますか。以下の種類のうち、どのようなものに応募しましたか。（いくつでも）

※**就活経験：企業に応募した経験やエントリーした経験など**

「特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）」への就活経験はなかった

職務内容が厳密に定義されたもので、社内人事異動は原則として無いもの

職務内容が厳密に定義されたもので、社内人事異動が定期的にあるもの

職種別又はコース別の人事によって区分されたもの

初任時の配属のみ明示され、以降は人事異動によるもの

期間限定の職種として雇用されるもの

その他

[必須]

Q55 「**特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）**」について、内々定をもらいましたか。（ひとつ）

※**内々定：正式な「内定」の前の、企業と形式的に内々に合意したもの。**

「特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）」で内々定をもらっていない

「特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）」で内々定をもらったが、自身の専門性（学部・院での学業や資格等）と合致していない

「特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）」で内々定をもらい、自身の専門性（学部・院での学業や資格等）と合致する

[必須]

Q56 「**特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）**」で内々定をもらった企業は、下記のうちどれに当てはまりますか。（いくつでも）

※**ベンチャー企業・新興企業であって、独自のアイデアや技術で新しいサービスやビジネスに挑戦している企業**

国内企業（ベンチャー企業）

国内企業（ベンチャー企業以外）

外資系企業

わからない

【必須】

Q57 「**特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）**」で内々定をもらった職種を教えてください。（いくつでも）

- 法務
- 営業
- 販売
- 商品企画、商品開発
- 広報、PR、IR
- 知的財産マネジメント
- 研究・設計開発
- 調査、マーケティング
- コンサルタント
- デザイナー
- IT/通信系エンジニア
- 生産技術（金属・化学・土木・建築）
- その他分類されない専門的職種

【必須】

Q58 あなたは就職活動で、一つの企業において「**特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）**」と、**そうでない採用**の両方へ応募したこと、もしくは応募を検討したことがありましたか。（ひとつ）

- 一つの企業で両方応募した・もしくは応募を検討した
- 一つの企業で両方の応募はしてない・もしくは応募を検討していない

【必須】

Q59 あなたが一つの企業において「**特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）**」と、**そうでない採用**の両方で応募した・応募を検討した中で、両者の「待遇(初任給や年棒・諸手当等)」は異なっていましたか。（ひとつ）

- 「特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）」の方が「限定されていない採用」よりも、採用時点では、かなり好待遇
- 「特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）」の方が「限定されていない採用」よりも、採用時点では、多少好待遇
- どちらも待遇面は、ほぼ同等で変わらない
- 「特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）」の方が、「限定されていない採用」よりも、待遇面では劣っている
- 待遇面の違いはよくわからなかった

[必須]

Q60 現状と比べて、これからの就職・採用活動のあり方として、もっと増やすべきだと考えるものは何ですか。(いくつでも)

※その他の場合はその内容について記載してください。

- 対面での企業説明会（直接の対面式での開催）
- オンラインでの企業説明会
- OB・OG訪問
- 対面での面接
- オンラインでの面接
- 5日以上就業体験を伴う「インターンシップと称されるもの」
- 1か月以上の就業体験を伴う「インターンシップと称されるもの」
- 採用に直接結びつくような「インターンシップと称されるもの」
- 個別の職種等を限定した採用
- 秋・冬採用など、複数の機会・期間での採用活動の実施
- 通年での採用活動の実施
- 企業が主な採用スケジュールを公開すること
- その他
- 特にない

[必須]

Q61 あなたにとって、就職活動が「始まった」と考えるのはいつですか。(ひとつ)

		2024年						2025年								
回答方向→		6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
就職活動が「始まった」と考える時期	→	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

[必須]

Q62 あなたにとって、就職活動が「始まった」と考えるのは、どのタイミングですか。(ひとつ)

※最も強く始まったと考えるタイミングについてお答えください。

- 「インターンシップと呼称されるもの」に関するウェブサイト(当該企業のHP、就活支援サイト等)に登録した時
- 「インターンシップと呼称されるもの」に参加した時
- 就職活動に関するウェブサイトに登録した時
- SPIや資格などの就職活動に必要な勉強を始めた時
- 大学で開催される就職活動に関する説明会・セミナー・イベント等に参加した時
- 大学以外(就職活動ウェブサイト等)で開催される就職活動に関する説明会・セミナー・イベント等に参加した時
- 企業にエントリー（資料・情報の請求など）をした時
- OB・OG訪問をした時
- 企業説明会やセミナー等に参加した時
- エントリーシートを提出した時
- その他
- 特に具体的なタイミングはない・覚えていない

[必須]

Q63 あなたにとって、就職活動が「終わった」と考えるのはいつですか。(ひとつ)

回答方向→	2024年							2025年							まだ終わっていない	
	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月		8月
就職活動が終わったと考える時期	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

[必須]

Q64 あなたにとって、就職活動が「終わった」と考えるのは、どのタイミングですか。(ひとつ)

- 最後の面接等が終わり、もう他に何か自分から企業に対してPRする場がなくなった時
- 最初の内々定をもらった時
- 志望度の高い企業から内々定をもらった時
- 内々定をもらった企業の中から就職先を決定した時
- 内定承諾書を提出した時
- 内定式に出た時・正式な内定通知を受けた時
- その他
- 特に具体的なタイミングはない・わからない

[必須]

Q65 2025年度卒から、政府の要請において、採用プロセスが複線化された（※）ことについて、知っていましたか。（ひとつ）

※2025年度卒以降の学生については、専門活用型インターンシップ（2週間以上）で卒業・修了年度に入る直前の春休み以降に実施されるものを通じて高い専門的知識や能力を有すると判断された学生については、そのことに着目し、3月から行われる広報活動の周知期間を短縮して、6月より以前のタイミングから採用選考プロセスに移行できます。

※複線化に対応した専門活用型インターンシップの主な要件：

- ・実施期間2週間以上で半分を超える日数の就業体験
- ・卒業・修了年次直前の春休み以降に実施
- ・職場の社員が学生を指導し、インターンシップ終了後に学生にフィードバックを実施
- ・インターンシップ実施企業はインターンシップの情報とともに、学生に求める学修成果水準、採用計画に係る情報を開示

よく知っていた

ある程度知っていた

聞いたことはあるがあまりよく知らなかった

知らなかった

[必須]

Q66 2025年度卒から、政府の要請において、採用プロセスが複線化された（※）ことについて、どのように知りましたか。（いくつでも）

※2025年度卒以降の学生については、専門活用型インターンシップ（2週間以上）で卒業・修了年度に入る直前の春休み以降に実施されるものを通じて高い専門的知識や能力を有すると判断された学生については、そのことに着目し、3月から行われる広報活動の周知期間を短縮して、6月より以前のタイミングから採用選考プロセスに移行できます。

※複線化に対応した専門活用型インターンシップの主な要件：

- ・実施期間2週間以上で半分を超える日数の就業体験
- ・卒業・修了年次直前の春休み以降に実施
- ・職場の社員が学生を指導し、インターンシップ終了後に学生にフィードバックを実施
- ・インターンシップ実施企業はインターンシップの情報とともに、学生に求める学修成果水準、採用計画に係る情報を開示

企業からのお知らせ

大学からのお知らせ

政府のwebサイト

報道

その他

[必須]

Q67 2025年度卒から、政府の要請において、採用プロセスが複線化された（※）ことについて、どのように知らせるのがよいと考えますか。（いくつでも）

※2025年度卒以降の学生については、専門活用型インターンシップ（2週間以上）で卒業・修了年度に入る直前の春休み以降に実施されるものを通じて高い専門的知識や能力を有すると判断された学生については、そのことに着目し、3月から行われる広報活動の周知期間を短縮して、6月より以前のタイミングから採用選考プロセスに移行できます。

※複線化に対応した専門活用型インターンシップの主な要件：

- ・実施期間2週間以上で半分を超える日数の就業体験
- ・卒業・修了年次直前の春休み以降に実施
- ・職場の社員が学生を指導し、インターンシップ終了後に学生にフィードバックを実施
- ・インターンシップ実施企業はインターンシップの情報とともに、学生に求める学修成果水準、採用計画に係る情報を開示

企業からのお知らせ

大学からのお知らせ

政府のwebサイト

その他

[必須]

Q68 採用プロセスの複線化（※）について、あなた自身はどう考えますか。（ひとつ）

※2025年度卒以降の学生については、専門活用型インターンシップ（2週間以上）で卒業・修了年度に入る直前の春休み以降に実施されるものを通じて高い専門的知識や能力を有すると判断された学生については、そのことに着目し、3月から行われる広報活動の周知期間を短縮して、6月より以前のタイミングから採用選考プロセスに移行できます。

※複線化に対応した専門活用型インターンシップの主な要件：

- ・実施期間2週間以上で半分を超える日数の就業体験
- ・卒業・修了年次直前の春休み以降に実施
- ・職場の社員が学生を指導し、インターンシップ終了後に学生にフィードバックを実施
- ・インターンシップ実施企業はインターンシップの情報とともに、学生に求める学修成果水準、採用計画に係る情報を開示

賛成

反対

どちらでもない

よくわからない

Q69 上記のように答えた理由、また、採用プロセスの複線化について改善すべきと考える点があれば教えてください。（自由記述）

自由記述

[必須]

Q70 採用プロセスの複線化の対象となるインターンシップ※に参加しましたか。

※2025年度卒以降の学生については、専門活用型インターンシップ（2週間以上）で卒業・修了年度に入る直前の春休み以降に実施されるものを通じて高い専門的知識や能力を有すると判断された学生については、そのことに着目し、3月から行われる広報活動の周知期間を短縮して、6月より以前のタイミングから採用選考プロセスに移行できます。

※複線化に対応した専門活用型インターンシップの主な要件：

- ・実施期間2週間以上で半分を超える日数の就業体験
- ・卒業・修了年度直前の春休み以降に実施
- ・職場の社員が学生を指導し、インターンシップ終了後に学生にフィードバックを実施
- ・インターンシップ実施企業はインターンシップの情報とともに、学生に求める学修成果水準、採用計画に係る情報を開示

1社で参加した

複数社で参加した→ 社程度

参加していない

[必須]

Q71 「採用プロセスの複線化の対象となるインターンシップ」に参加した時期はいつですか。（ひとつ）

※複数社で受けた場合は、最も早期に受けたものを考えてお答えください。

	2025年								その他
	1月以前	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
「採用プロセスの複線化の対象となるインターンシップ」に参加した時期	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

[必須]

Q72 「採用プロセスの複線化の対象となるインターンシップ」の実施期間はどのくらいでしたか。（ひとつ）

※複数社で受けた場合は、最も早期に受けたものを考えてお答えください。

2週間程度

3週間程度

4週間程度以上

その他

[必須]

Q73 採用プロセスの複線化の対象となるインターンシップに参加した結果、内（々）定を受けましたか。（ひとつ）

※複数社で受けた場合は、最も早期に受けたものを考えてお答えください。

はい

いいえ

[必須]

Q74 採用プロセスの複線化の対象となるインターンシップに参加した結果、内々定を受けたのはいつ頃ですか。(ひとつ)

※複数社で受けた場合は、最も早期に受けたものを考えてお答えください。

	→	2025年								
		1月以前	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	その他
採用プロセスの複線化の対象となるインターンシップに参加した結果、内々定を受けた時期	→	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

[必須]

Q75 以下の就職活動に関連する法律（労働法令等）に関すること※について、正しいと思うもの(O)・間違いと思うもの(x)をそれぞれ教えてください。(それぞれひとつずつ)

※例：内定・内々定の辞退が法的に可能かどうか。

※内々定：正式な「内定」の前の、内々に合意したもの。

※内定：正式な労働契約。

セクハラ：セクシュアルハラスメントの略語

オワハラ（就職終われハラスメントの略語）：企業等から、あなたの意思に反して他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント行為

回答方向→	→	正しいと思う (O)	正しくないと思う (X)
		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
内々定に対して口頭・メール等で「入社する」と伝えた後でも、 内々定を辞退 することはできる	→	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
内定に対して口頭・メール等で「入社する」と伝えた後でも、 内定を辞退 することはできる	→	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
内定承諾書に法的拘束力はなく、 内定承諾書を提出 した後でも、 内定を辞退 することはできる	→	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
採用 内定・内々定と引き換え に、他の事業主に対する就職活動を取りやめる強要(オワハラ)をしてはならない	→	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
就職活動に関する セクハラ・オワハラ等 を実施した場合、 企業側が脅迫罪や強要罪に問われる可能性 がある	→	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
内定期間中に行われた研修 について、学生が辞退した後に 企業側が費用の返還を求める行為 はできない	→	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

[必須]

Q76 就職活動の採用試験・面接等を受けるにあたり、履修履歴（成績証明書など）を提出することがどの程度ありましたか。(ひとつ)

- 多くの企業で提出した
- ある程度の企業で提出した
- 提出した企業もあったが、少なかった
- 提出した企業はなかった

[必須]

Q77 就職予定の企業から、履修履歴（成績証明書など）の提出はいつ頃求められましたか。（ひとつ）

- 応募時
- 1次面接時
- 2次面接時以降
- 内々定時
- 内々定後
- 就職予定の企業からは提出を求められていない

[必須]

Q78 採用面接において、研究・ゼミや専門分野などの学業への取組や成績等の質問を受け、その内容が採用選考の評価に関係していると感じましたか。（ひとつ）

- 評価に深く関係していると感じた
- 評価にある程度関係していると感じた
- 評価にあまり関係していないと感じた
- 評価に全く関係していないと感じた
- 学業への取組や成績等について質問されなかった
- 評価は企業によってばらばらなので一概には言えない

[必須]

Q79 就職活動に関して、説明会や面接等に参加するために授業・ゼミ等を欠席することがありましたか。（ひとつ）

- しばしばあった
- まれにあった
- ほとんどなかった
- なかった

[必須]

Q80 就職活動に関して、**学期期間中の土日**に説明会や面接等に参加したことはありましたか。（ひとつ）

- しばしばあった
- まれにあった
- ほとんどなかった
- なかった

◆就職・採用活動の実施にあたり、あなたが就職活動を行った企業は、学生の学業などに対する配慮をしていたかどうか伺います。

[必須]

Q81 説明会や個別の面接日時・時間帯について、就職活動が授業・試験等の妨げにならないよう、連絡が余裕をもって行われたり、土日や平日夕方などの対応があったり、日程の候補が複数提示されたり、学生の要望を聞いたりするなどの配慮がありましたか。(ひとつ)

- 多くの企業で配慮していた
- ある程度の企業で配慮していた
- 配慮している企業もあったが、少なかった
- 配慮している企業はなかった
- よくわからない

◆就職・採用活動の実施にあたり、あなたが就職活動を行った企業は、学生の学業などに対する配慮をしていたかどうか伺います。

[必須]

Q82 地方から都市部への就職活動や、Uターン・Iターン・Jターン就職など、学生の負担の大きい遠隔地への就職活動に際して、企業側からの配慮がありましたか。(ひとつ)

(例) 1次面接等を地方支社等で行う、参加しやすい土日などに面接を行う、オンラインなど遠隔地で面接ができるように対応する、など

- 多くの企業で配慮していた
- ある程度の企業で配慮していた
- 配慮している企業もあったが、少なかった
- 配慮している企業はなかった
- よくわからない

[必須]

Q83 あなたが就職活動をした企業は、企業側から留学経験者向けのスケジュール・情報を別途示すなど、留学により不利にならないように配慮していましたか。(ひとつ)

- 多くの企業で配慮していた
- ある程度の企業で配慮していた
- 配慮している企業もあったが、少なかった
- 配慮している企業はなかった
- よくわからない

Q84 就活日程の在り方全般について、あなたの意見があれば教えてください。(自由記述)

自由記述

[必須]

Q85 企業等から、あなたの意思に反して他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント行為(いわゆる「オワハラ」)を受けたことはありますか。(ひとつ)

(例) 正式な内定前に他社への就職活動の終了を迫ったり、誓約書を要求したりすること

(例) 内(々)定期間中に行われた業務性が強い研修について、内(々)定辞退後に研修費用の返還を求めたり、事前にその誓約書を要求したりすること

ある

ない

[必須]

Q86 もし自分がオワハラを受けたとしたら、どこに相談すると思いますか。(いくつでも)

※オワハラ：企業等から、あなたの意思に反して他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント行為

大学のキャリアセンター

大学のキャリアセンター以外の部署(学生相談窓口など)

大学のOB・OG

家族・親戚

まわりの友達

民間の就職支援会社やエージェント

ハローワークや労働局

応募先企業の相談窓口

警察

弁護士

その他

相談するところがわからないので、相談しないと思う

相談するところがわかっているけど、相談しないと思う

[必須]

Q87 どのようなオワハラを受けましたか。(いくつでも)

※オワハラ：企業等から、あなたの意思に反して他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント行為

- 内々定を出す代わりに他社への就職活動をやめるように強要された（早めに内々定を受ける旨の返答をしない場合には、内々定を取り消すと言われたなど）
- 内々定後長時間（長期間）の研修があり、他社の選考を受けられなくなった
- 内々定後懇親会等が頻繁に開催され、必ず出席するように求められた
- 内々定の条件として、急遽大学の推薦状の提出を求められた
- 内々定の段階で、内定承諾書の提出を求められた（内定承諾書を提出しない場合は、内々定を辞退したものとみなすと言われたなど）
- 内々定辞退を申し出たところ、引き留めるために何度も説明を受けたり、拘束を受けた
- 内々定辞退の際、損害賠償金などお金を要求された（内々定期間中に行われた業務性が強い研修について、引き留めを目的として、内々定を辞退した場合において研究費用の返還を求められ、あるいは、事前にその誓約書を要求された）
- 面接担当者の目の前で、他社に電話をかけさせ、選考を辞退するように迫られた
- 引き留めを目的として、入社することについて保護者のサインを求められた
- その他

[必須]

Q88 オワハラを受けた企業は、下記のうちどれに当てはまりますか。(いくつでも)

※オワハラ：企業等から、あなたの意思に反して他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント行為

※ベンチャー企業・新興企業であって、独自のアイデアや技術で新しいサービスやビジネスに挑戦している企業

- 国内企業（ベンチャー企業）
- 国内企業（ベンチャー企業以外）
- 外資系企業
- わからない
- 答えたくない

[必須]

Q89 オフハラを受けた企業は、下記の業種のうちどれに当てはまりますか。(いくつでも)

※オフハラ：企業等から、あなたの意思に反して他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント行為

- 農業、林業、漁業、鉱業、採石業、砂利採取業
- 建設業
- 製造業（自動車）
- 製造業（電気機器）
- 製造業（電子製品・デバイス）
- 製造業（その他）
- 電気、ガス、熱供給、水道業
- 通信業（例：携帯電話）、情報サービス業（例：ソフトウェア業、データベース）、インターネット付随サービス業（例：情報ネットワーク、ウェブ情報検索）
- 放送業（例：テレビ、ラジオ放送）、映像・音声・文字情報制作業（例：新聞社、出版社）
- 運輸業、郵便業
- 卸売業（総合商社を含む）、小売業（例：百貨店、スーパーマーケット）
- 金融業、保険業
- 不動産業、物品賃貸業
- 学術研究、専門・技術サービス業（例：研究所、法律等事務所、広告業等）
- コンサルティング業
- 宿泊業、飲食サービス業
- 生活関連サービス業、娯楽業（例：理美容、旅行、冠婚葬祭、映画、興業、スポーツ等）
- 教育、学習支援業
- 医療・福祉
- 複合サービス業・サービス業（他に分類されないもの）
- 公務
- その他
- わからない
- 答えたくない

[必須]

Q90 オワハラについて相談したことはありますか。(いくつでも)

※オワハラ：企業等から、あなたの意思に反して他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント行為

- 大学のキャリアセンターに相談した
- 大学のキャリアセンター以外の部署（学生相談窓口など）に相談した
- 大学のOB・OGに相談した
- 家族・親戚に相談した
- まわりの友達に相談した
- 民間の就職支援会社やエージェントに相談した
- ハローワーク・労働局に相談した
- 応募先企業の相談窓口相談した
- 警察に相談した
- 弁護士に相談した
- その他
- 相談するところがわからなかったので相談しなかった
- 相談するところはわかっていたが相談しなかった

[必須]

Q91 オワハラをなくすためにあなたが求めたいことは、どんなことですか。(いくつでも)

※オワハラ：企業等から、あなたの意思に反して他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント行為

- 学生に対する、オワハラを受けた場合の対処方法についての周知・広報
- 企業に対する、オワハラの違法性、問題点などについての周知・広報
- 大学における相談窓口の設置
- 企業における相談窓口の設置
- 政府における相談窓口の設置
- オワハラについての法令、ガイドライン等の制定
- 政府による違反企業名の公表
- 政府による違反企業への是正措置
- その他
- わからない

[必須]

Q92 就職活動の過程において、セクシュアルハラスメント行為を受けたことはありますか。(ひとつ)

ある

ない

[必須]

Q93 セクシュアルハラスメント行為を受けたのはどのようなときでしたか。(いくつでも)

答えたくない

「インターンシップと称されるもの」に参加したとき

企業説明会やセミナーに参加したとき

就職採用面接を受けたとき

内々定を受けたとき

内々定を受けた後

リクルーターと会ったとき

大学のOB／OG訪問のとき

その他

[必須]

Q94 どのようなセクシュアルハラスメント行為を受けましたか。(いくつでも)

答えたくない

身体に触れられた

執拗に2人きりで食事等に誘われたり、交際をもとめられたりした

性的関係を求められた、迫られた

性的な話や質問をされた(性生活について尋ねられた、卑猥な冗談を聞かされた)

容姿や年齢、身体的特徴について話題にされた

セクシュアルハラスメントに対し、拒否や抗議の姿勢を示した結果、不利益を受けた

その他

[必須]

Q95 大学・企業等から、あなたの意思に反して **特定の性別に基づいた性差別的・抑圧的な服装やマナーの押し付け(※)** を受けたことはありますか。(ひとつ)

※意思に反して特定の性別に基づいた性差別的・抑圧的な服装やマナーの押し付けの例：就職活動時の服装について、「男らしく」「女らしく」すべきという指南を受けること等

ある

ない

[必須]

Q96 そのような押し付けは、どこから受けましたか。(いくつでも)

就職活動先の企業から

大学の就職支援担当課、キャリアセンターから

大学の教員から

大学のOB・OGから

就職活動に関する登録型のウェブサイトから

その他ウェブサイトから

公的な就職支援機関（ジョブカフェ、ハローワーク等）から

新卒エージェントから

家族・親戚から

まわりの友達から

弁護士・弁護士事務所から

その他

わからない・覚えていない

答えたくない

ご協力ありがとうございました。
これでアンケートは終了です。このページを閉じてください。
ご回答ありがとうございました。